

uCosminexus DocumentBroker Version 5  
**サンプル Web アプリケーション**

解説・操作書

3021-3-404

## 対象製品

R-1595F-43 uCosminexus DocumentBroker Developer Version 5 05-00 (適用 OS : Windows Server 2008 R2 , Windows 7 (x86) , Windows 7 (x64) )

## 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## 商標類

Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

GIF は、米国 CompuServe Inc. が開発したフォーマットの名称です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Eclipse は、開発ツールプロバイダのオープンコミュニティである Eclipse Foundation, Inc. により構築された開発ツール統合のためのオープンプラットフォームです。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

| 製品名称   | 略称                            |         |
|--|-------------------------------|---------|
| Microsoft(R) Active Directory(R)                       | Active Directory              |         |
| Microsoft(R) Internet Explorer(R)                      | Internet Explorer             |         |
| Microsoft(R) Internet Information Services             | Internet Information Services |         |
| Microsoft(R) Windows 7 Professional 日本語版 (32 ビット版)     | Windows 7                     | Windows |
| Microsoft(R) Windows 7 Enterprise 日本語版 (32 ビット版)       |                               |         |
| Microsoft(R) Windows 7 Ultimate 日本語版 (32 ビット版)         |                               |         |
| Microsoft(R) Windows 7 Professional 日本語版 (64 ビット版)     |                               |         |
| Microsoft(R) Windows 7 Enterprise 日本語版 (64 ビット版)       |                               |         |
| Microsoft(R) Windows 7 Ultimate 日本語版 (64 ビット版)         |                               |         |
| Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise 日本語版 | Windows Server 2008 R2        |         |
| Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard 日本語版   |                               |         |

## 発行

2012 年 9 月 3021-3-404

## 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, Hitachi, Ltd.

All Rights Reserved. Copyright (C) 2012, Hitachi Solutions, Ltd.

# はじめに

---

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトで提供するサンプル Web アプリケーションの機能と操作方法について説明したものです。

- R-1595F-43 uCosminexus DocumentBroker Developer Version 5

## 対象読者

このマニュアルは、DocumentBroker が提供する DocumentBroker クラスライブラリのサンプル Web アプリケーションを参考にしてユーザアプリケーションプログラムを開発する方を対象としています。なお、次の内容を理解されていることを前提としています。

- Windows に関する知識
- Java™ 言語に関する知識
- Java™ Servlet , JavaServer Pages™ , JavaBeans™ に関する知識
- Web ブラウザの基本的な操作方法についての知識

## マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

### 第 1 章 サンプル Web アプリケーションの概要

DocumentBroker が提供している DocumentBroker クラスライブラリのサンプル Web アプリケーションの機能の概要、プログラムの構成、サポートしている文書管理モデルの概要などについて説明しています。

### 第 2 章 環境設定

サンプル Web アプリケーションを使用するために必要な環境設定の方法について説明しています。

### 第 3 章 文書管理モデル

サンプル Web アプリケーションでサポートしている文書管理モデルについて説明しています。その文書管理モデルを実現するために、どのようなメタ情報が定義されているかについても説明しています。

### 第 4 章 操作の前に知っておくこと

サンプル Web アプリケーションを操作する前に知っておく必要がある、画面の構成や、基本的な操作の方法について説明しています。

### 第 5 章 操作

サンプル Web アプリケーションの操作方法について説明しています。

### 第 6 章 カスタマイズ

Cosminexus が提供している MyEclipse を使用して、サンプル Web アプリケーションをカスタマイズする方法について説明しています。

### 付録 A WWW ブラウザ使用時の注意事項

WWW ブラウザ使用時の注意事項について説明しています。

### 付録 B このマニュアルの参考情報

関連マニュアルや表記など、参考情報について説明しています。

### 付録 C 用語解説

サンプル Web アプリケーションで使用する用語について説明しています。

## このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

| 記号   | 意味   |
|------|--|
|      | 横に並べられた複数の項目に対する項目間の区切りを示し、「または」の意味を表します。<br>(例) A   B<br>A または B を指定することを示します。  |
| { }  | この記号で囲まれている複数の項目のうちから一つを選択することを示します。項目が横に並べられ、記号   で区切られている場合は、そのうちの一つを選択します。<br>(例) {A   B   C}<br>A, B または C のどれかを指定することを示します。   |
| [ ]  | この記号で囲まれている項目は省略してもよいことを意味します。複数の項目が横に並べて記述されている場合には、すべてを省略するか、記号 { } と同じくどれか一つを選択します。<br>(例 1) [A]<br>「何も指定しない」か「A を指定する」ことを示します。<br>(例 2) [B   C]<br>「何も指定しない」か「B または C を指定する」ことを示します。 |
| —    | 括弧で囲まれた複数項目のうち 1 項目に対し使用され、括弧内のすべてを省略した場合にシステムが取る標準値を示します。<br>(例) [A   B]<br>何も指定しない場合は A が仮定されます。   |
| < >  | この記号で囲まれている項目は、該当する要素を指定することを示します。<br>(例) <プロパティ><br>プロパティを記述します。  |
| :: = | この記号の左にあるものを右にあるもので定義することを示します。<br>(例) A :: = B<br>「A とは B である」と定義することを示します。   |
| ...  | 記述が省略されていることを示します。<br>(例) ABC...<br>ABC の後ろに記述があり、その記述が省略されていることを示します。   |
| ...  | この記号の直前の項目を繰り返し、複数個指定できることを示します。<br>(例) A ...<br>A を複数個指定できることを示します。   |

## このマニュアルで使用する構文要素記号

このマニュアルで使用する構文要素の種類を次に示します。

| 構文要素記号 | 意味   |
|--------|--|
| 英字     | A ~ Z a ~ z  |
| 英小文字   | a ~ z  |
| 英大文字   | A ~ Z  |
| 数字     | 0 ~ 9  |
| 英数字    | A ~ Z a ~ z 0 ~ 9  |
| 16 進数字 | 0 ~ 9 A ~ F a ~ f  |
| 記号     | ! " # \$ % & ' ( ) + , _ . / : ; < = > @ [ ] ^ - { }<br>空白 ¥ |

注 すべての半角文字を使用してください。

# 目次

|          |  |           |
|----------|--|-----------|
| <b>1</b> | <b>サンプル Web アプリケーションの概要</b>            | <b>1</b>  |
| 1.1      | サンプル Web アプリケーションとは                    | 2         |
| 1.2      | サンプル Web アプリケーションの機能概要                 | 3         |
| 1.2.1    | 文書管理モデルの概要                             | 3         |
| 1.2.2    | 実行できる機能                                | 3         |
| 1.2.3    | サンプル Web アプリケーションで扱うセッション              | 6         |
| 1.3      | システム構成                                 | 7         |
| 1.4      | プログラムの構成                               | 8         |
| 1.4.1    | サンプル Web アプリケーションで提供する Java クラス        | 8         |
| 1.4.2    | コアアプリケーションクラスに含まれる Java クラス            | 8         |
| 1.4.3    | Web 依存アプリケーションクラスに含まれる Java クラス        | 9         |
| 1.4.4    | JSP                                    | 10        |
| 1.5      | サンプル Web アプリケーションの処理の流れ                | 11        |
| 1.5.1    | アプリケーション全体での処理の流れ                      | 11        |
| 1.5.2    | サンプル Web アプリケーションのエラー処理                | 11        |
| 1.5.3    | サンプル Web アプリケーションのコンポーネントの再利用についての注意事項 | 12        |
| <b>2</b> | <b>環境設定</b>                            | <b>13</b> |
| 2.1      | ファイル構成とディレクトリ構成                        | 14        |
| 2.1.1    | 提供されるファイルの格納先                          | 14        |
| 2.1.2    | war ファイルの構成                            | 15        |
| 2.1.3    | ワークディレクトリ                              | 15        |
| 2.2      | 前提環境の設定                                | 17        |
| 2.2.1    | WWW ブラウザの設定                            | 17        |
| 2.2.2    | Cosminexus Component Container の環境設定   | 17        |
| 2.2.3    | DocumentBroker クラスライブラリの環境設定           | 17        |
| 2.2.4    | DocumentBroker のメタ情報の定義                | 17        |
| 2.2.5    | LDAP 対応のディレクトリサービスの設定                  | 18        |
| 2.3      | サンプル Web アプリケーションの設定                   | 20        |
| 2.3.1    | LDAP についての情報を設定するコンテキストパラメタ            | 20        |
| 2.3.2    | オブジェクトモデルの情報を設定するコンテキストパラメタ            | 21        |
| 2.3.3    | そのほかの情報を設定するコンテキストパラメタ                 | 22        |
| 2.4      | 起動                                     | 26        |
| <b>3</b> | <b>文書管理モデル</b>                         | <b>27</b> |
| 3.1      | オブジェクトの種類                              | 28        |
| 3.1.1    | 文書                                     | 28        |
| 3.1.2    | フォルダ                                   | 30        |

|       |                                |    |
|-------|--------------------------------|----|
| 3.1.3 | 共有 ACL                         | 30 |
| 3.1.4 | 文書空間オブジェクトとの対応                 | 31 |
| 3.2   | アクセス制御                         | 33 |
| 3.2.1 | サンプル Web アプリケーションで使用するアクセス制御情報 | 33 |
| 3.2.2 | オブジェクトのアクセス権を設定できるユーザ          | 33 |
| 3.2.3 | パーミッション                        | 33 |
| 3.3   | プロパティの種類                       | 34 |
| 3.3.1 | すべてのオブジェクトに定義されているプロパティ        | 34 |
| 3.3.2 | 文書とフォルダに定義されているプロパティ           | 36 |
| 3.3.3 | 文書のプロパティ (バージョンオブジェクトのプロパティ)   | 36 |
| 3.3.4 | 文書のプロパティ (バージョンオブジェクトのプロパティ)   | 37 |
| 3.3.5 | フォルダのプロパティ                     | 40 |
| 3.3.6 | 共有 ACL のプロパティ                  | 41 |
| 3.4   | プロパティに設定される値                   | 42 |
| 3.4.1 | 文書のプロパティに設定される値                | 42 |
| 3.4.2 | フォルダのプロパティに設定される値              | 48 |
| 3.4.3 | 共有 ACL のプロパティに設定される値           | 50 |
| 3.5   | サンプル Web アプリケーションで扱うメタ情報定義     | 52 |
| 3.5.1 | dwcClass_Folder_c クラス          | 52 |
| 3.5.2 | dwcClass_VerDoc_ch クラス         | 52 |
| 3.5.3 | dwcClass_VerDoc_dv クラス         | 53 |
| 3.5.4 | edmClass_PublicACL クラス         | 54 |

## 4

|              |                        |    |
|--------------|------------------------|----|
| 操作の前に知っておくこと | 57                     |    |
| 4.1          | サンプル Web アプリケーションの画面構成 | 58 |
| 4.1.1        | メインウィンドウ               | 58 |
| 4.1.2        | サブウィンドウ                | 60 |
| 4.2          | 画面・メッセージダイアログの種類と画面遷移  | 63 |
| 4.2.1        | 画面とメッセージダイアログの種類       | 63 |
| 4.2.2        | 画面遷移                   | 66 |
| 4.3          | 基本的な操作方法               | 70 |
| 4.3.1        | メニューからの操作方法            | 70 |
| 4.3.2        | フォルダツリーからの操作方法         | 70 |
| 4.3.3        | リスト表示の操作方法             | 72 |
| 4.3.4        | 画面操作での共通事項             | 75 |
| 4.4          | 実行できる操作とアクセス権の関係       | 77 |

## 5

|       |              |    |
|-------|--------------|----|
| 操作    | 79           |    |
| 5.1   | ログインとログアウト   | 80 |
| 5.1.1 | ログインする       | 80 |
| 5.1.2 | ルートフォルダを作成する | 80 |

|        |                            |     |
|--------|----------------------------|-----|
| 5.1.3  | ログアウトする                    | 81  |
| 5.1.4  | 再ログインする                    | 81  |
| 5.1.5  | ログインとログアウトに使用する画面          | 81  |
| 5.2    | フォルダの内容（オブジェクト一覧）を表示する     | 83  |
| 5.2.1  | オブジェクト一覧を表示する              | 83  |
| 5.2.2  | オブジェクト一覧を表示するフォルダを切り替える    | 83  |
| 5.2.3  | フォルダの内容の表示に使用する画面          | 84  |
| 5.3    | 文書またはフォルダを作成する             | 87  |
| 5.3.1  | フォルダを新規に作成する               | 87  |
| 5.3.2  | 文書を新規に作成する                 | 88  |
| 5.3.3  | 文書またはフォルダの作成に使用する画面        | 89  |
| 5.4    | 文書またはフォルダを検索する             | 96  |
| 5.4.1  | 文書を検索する                    | 96  |
| 5.4.2  | チェックアウト中の文書を検索する           | 97  |
| 5.4.3  | フォルダを検索する                  | 98  |
| 5.4.4  | 検索条件の指定方法                  | 99  |
| 5.4.5  | 文書またはフォルダの検索に使用する画面        | 101 |
| 5.5    | 文書のコンテンツを表示する              | 112 |
| 5.5.1  | コンテンツを表示する                 | 112 |
| 5.6    | 文書のバージョンを追加する              | 113 |
| 5.6.1  | 文書をチェックアウトする               | 113 |
| 5.6.2  | チェックアウトを取り消す               | 113 |
| 5.6.3  | 文書をチェックインする                | 114 |
| 5.6.4  | 文書のバージョンを追加する時に使用する画面      | 115 |
| 5.7    | 文書、フォルダ、または文書のバージョンを削除する   | 119 |
| 5.7.1  | 文書またはフォルダを削除する             | 119 |
| 5.7.2  | 文書のバージョンを削除する              | 119 |
| 5.8    | プロパティとアクセス権を参照する           | 121 |
| 5.8.1  | 文書またはフォルダのプロパティとアクセス権を参照する | 121 |
| 5.8.2  | バージョン一覧を表示する               | 121 |
| 5.8.3  | バージョンプロパティを参照する            | 122 |
| 5.8.4  | プロパティとアクセス権の参照に使用する画面      | 122 |
| 5.9    | プロパティを更新する                 | 129 |
| 5.9.1  | 文書またはフォルダのプロパティを更新する       | 129 |
| 5.9.2  | プロパティの更新に使用する画面            | 129 |
| 5.10   | アクセス権を更新する                 | 133 |
| 5.10.1 | 文書またはフォルダのアクセス権を更新する       | 133 |
| 5.10.2 | アクセス権の更新に使用する画面            | 133 |
| 5.11   | 共有 ACL を管理する               | 136 |
| 5.11.1 | 共有 ACL を新規に作成する            | 136 |
| 5.11.2 | 共有 ACL を更新する               | 138 |
| 5.11.3 | 共有 ACL を削除する               | 139 |

|        |                                 |     |
|--------|---------------------------------|-----|
| 5.11.4 | 共有 ACL の管理に使用する画面               | 140 |
| 5.12   | アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する         | 146 |
| 5.12.1 | ユーザを検索して選択する                    | 146 |
| 5.12.2 | 組織またはグループを検索して選択する              | 149 |
| 5.12.3 | 共有 ACL を検索して選択する                | 153 |
| 5.12.4 | 一致条件の指定方法                       | 155 |
| 5.12.5 | アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する時に使用する画面 | 155 |

## 6

|       |                                 |     |
|-------|---------------------------------|-----|
| 6     | カスタマイズ                          | 167 |
| 6.1   | カスタマイズの概要                       | 168 |
| 6.1.1 | プロジェクトのコピー                      | 169 |
| 6.1.2 | プロジェクトを開く                       | 169 |
| 6.1.3 | プロジェクトの環境設定                     | 170 |
| 6.1.4 | ファイルの編集                         | 170 |
| 6.1.5 | ビルドとデプロイ                        | 171 |
| 6.1.6 | DocumentBroker のメタ情報の再定義        | 171 |
| 6.1.7 | Eclipse 使用時の注意事項                | 171 |
| 6.2   | JSP ファイルの編集                     | 172 |
| 6.3   | Java クラスファイルの編集                 | 175 |
| 6.3.1 | Web 依存アプリケーションクラスの Java クラスファイル | 175 |
| 6.3.2 | コアアプリケーションクラスの Java クラスファイル     | 182 |
| 6.3.3 | Java クラスファイルと JSP ファイルの対応       | 186 |
| 6.4   | 配置ディスクリプタの編集                    | 189 |
| 6.5   | メタ情報定義ファイルの編集                   | 190 |
| 6.6   | カスタマイズ例                         | 191 |
| 6.6.1 | 配置ディスクリプタのコンテキストパラメタの追加         | 191 |
| 6.6.2 | プロパティの追加                        | 192 |
| 6.7   | カスタマイズ時の注意事項                    | 195 |

## 付録

|        |                              |     |
|--------|------------------------------|-----|
| 付録 A   | WWW ブラウザ使用時の注意事項             | 198 |
| 付録 B   | このマニュアルの参考情報                 | 199 |
| 付録 B.1 | 関連マニュアル                      | 199 |
| 付録 B.2 | このマニュアルでの表記                  | 199 |
| 付録 B.3 | DocumentBroker のマニュアルで使用する略語 | 200 |
| 付録 B.4 | KB (キロバイト) などの単位表記について       | 202 |
| 付録 C   | 用語解説                         | 203 |

## 索引

207

# 1

## サンプル Web アプリケーションの概要

この章では、DocumentBroker が提供している DocumentBroker クラスライブラリのサンプル Web アプリケーションの概要について説明します。

- 
- 1.1 サンプル Web アプリケーションとは
  - 1.2 サンプル Web アプリケーションの機能概要
  - 1.3 システム構成
  - 1.4 プログラムの構成
  - 1.5 サンプル Web アプリケーションの処理の流れ
-

## 1.1 サンプル Web アプリケーションとは

---

DocumentBroker は、Java 言語に対応したアプリケーションプログラムを作成するための DocumentBroker クラスライブラリを提供しています。この DocumentBroker クラスライブラリを、Servlet、JSP、JavaBeans、Enterprise JavaBeans などの Java の技術と組み合わせて使用すると、Java の環境で動作する文書管理 Web アプリケーションプログラムを開発できます。

サンプル Web アプリケーションとは、DocumentBroker が提供している DocumentBroker クラスライブラリを使用して開発された Web アプリケーションプログラムのサンプルです。サンプル Web アプリケーションは、データベースにアクセスする機能を備えています。また、文書の参照、更新、フォルダを使用した管理、文書やフォルダのアクセス制御などといった、基本的な文書管理を実行するための機能を備えています。

サンプル Web アプリケーションは、Web 環境で使用するユーザアプリケーションプログラムを開発する際のヒントとして使用していただくことを目的としています。サンプル Web アプリケーションのアーキテクチャや、具体的な DocumentBroker クラスライブラリの使用方法などを参考にさせていただくことで、効率よくユーザアプリケーションプログラムを作成できます。特に、DocumentBroker クラスライブラリを使用した文書管理機能については、具体的な実現方法を参考にいただけます。なお、ユーザアプリケーションプログラム開発の際には、サンプル Web アプリケーションを実際に操作してそれぞれの機能ごとの動きを確認することもできます。サンプル Web アプリケーションの操作方法については、「4. 操作の前に知っておくこと」および「5. 操作」を参照してください。

実現したい文書管理のモデルが、サンプル Web アプリケーションの提供する文書管理のモデル（オブジェクトモデルや機能の構成）に近い場合は、サンプル Web アプリケーションをカスタマイズして使用することもできます。これによって、ユーザアプリケーションプログラムを短時間で開発できます。

## 1.2 サンプル Web アプリケーションの機能概要

---

サンプル Web アプリケーションの機能の概要を説明します。

### 1.2.1 文書管理モデルの概要

サンプル Web アプリケーションの文書管理では、次の 3 種類のオブジェクトを使用します。

- 文書
- フォルダ
- 共有 ACL

これらのオブジェクトを使用して実現するモデルについて説明します。文書管理モデルの詳細については、「3. 文書管理モデル」を参照してください。

#### (1) 階層構造を持つフォルダに文書を関連付けて管理する

文書をフォルダに格納するイメージで管理できます。サンプル Web アプリケーションで扱うフォルダは、ルートフォルダを頂点とした階層構造を持っています。サンプル Web アプリケーションで扱う文書またはフォルダは、必ずどれか一つのフォルダに関連付けられて管理されます。

フォルダの下位には、複数の文書またはフォルダを関連付けられます。ただし、一つの文書またはフォルダの上位に複数のフォルダに関連付けることはできません。

#### (2) 文書またはフォルダにプロパティを設定して管理する

文書またはフォルダには、プロパティを設定して管理できます。このプロパティは、一覧の画面などで文書やフォルダの情報として表示されるほか、文書やフォルダを検索する時に、検索条件のキーとしても使用できます。

#### (3) 文書のバージョンを管理する

文書のコンテンツを更新する時に、古いバージョンを破棄しないで新しいバージョンを追加して更新します。これによって、新しいコンテンツで古いコンテンツを上書きしてしまうのではなく、一連の複数のバージョンの履歴を残して文書を管理できます。これを、文書のバージョン管理といいます。

#### (4) 文書のバージョンを対象に全文検索を実行する

文書はバージョンごとにコンテンツを持つことができます。そして、各バージョンに対応した全文検索インデックスを持つことができます。これによって、最新のバージョンのコンテンツだけでなく、古いバージョンのコンテンツも対象にした全文検索を実行できます。

全文検索を実行する時には、カレントバージョンのコンテンツだけを対象にするか、または全バージョンのコンテンツを対象にするかを選択できます。

#### (5) 文書またはフォルダに対してアクセス制御を実行する

文書またはフォルダに対してアクセス権を設定して、アクセスするユーザを制御できます。

### 1.2.2 実行できる機能

サンプル Web アプリケーションで実行できる機能を示します。なお、ログインユーザがそれぞれの機能を実行できるかどうかについては、文書やフォルダごとに設定されているアクセス権、およびそれぞれの

## 1. サンプル Web アプリケーションの概要

ユーザに与えられている特権によって異なります。

それぞれの機能を実行する方法については、「4. 操作の前に知っておくこと」および「5. 操作」を参照してください。

表 1-1 サンプル Web アプリケーションの機能一覧

| 分類          | 機能            | 説明  |
|-------------|---------------|---|
| セッション管理     | ログイン・ユーザ認証    | サンプル Web アプリケーションを使用したシステムには、複数のユーザが同時にログインできます。ログイン時には、ユーザ ID とパスワードによって認証を受けます。HTTP セッションがタイムアウトしたあと、またはログアウトのあとに再びログインしたい場合は、再度認証を受ける必要があります。                                    |
|             | ログアウト         | ログアウトできます。  |
| フォルダ階層      | フォルダ階層の表示     | フォルダ階層を階層表示できます。また、下位フォルダの表示 / 非表示を切り替えられます。  |
|             | フォルダの内容表示     | 個々のフォルダの下位オブジェクトである文書およびフォルダの一覧を表示できます。文書とフォルダを一緒に表示できます。また、上位フォルダをたどったり、下位フォルダをたどったりして、フォルダ階層を表示できます。  |
|             | ルートフォルダの自動生成  | セキュリティ管理者がログインした時にルートフォルダが存在しない場合は、自動的にルートフォルダが作成されます。  |
| 検索          | 全文検索          | 文書を対象に全文検索が実行できます。全文検索実行時には、文書のコンテンツに含まれる検索タームと、文書のプロパティの値を検索のキーとして指定できます。また、カレントバージョンだけを検索の対象にするか、チェックアウト中のバージョンを除くすべてのバージョンを対象にするかを選択できます。  |
|             | チェックアウト中文書の検索 | チェックアウト中の文書を検索できます。チェックアウト中文書検索実行時には、文書のプロパティの値を検索のキーとして指定できます。セキュリティ管理者以外のユーザは、自分がチェックアウトした文書だけを検索できます。セキュリティ管理者は、任意のユーザがチェックアウトしている文書を検索できます。                                     |
|             | フォルダ検索        | フォルダを検索できます。フォルダ検索の実行時には、フォルダのプロパティの値を検索のキーとして指定できます。   |
| オブジェクトの新規作成 | フォルダの新規作成     | フォルダを作成できます。作成時には、フォルダのプロパティとアクセス権を設定できます。また、作成したフォルダは、作成と同時にフォルダ階層上のどれかのフォルダ下に関連付けられます。なお、ルートフォルダは、セキュリティ管理者がログインした時に自動的に作成されます。   |
|             | 文書の新規作成       | 文書を作成できます。作成時には、文書のプロパティ、アクセス権、およびコンテンツとしてアップロードするファイルを指定できます。作成した文書は、作成と同時にフォルダ階層上のどれかのフォルダ下に関連付けられます。また、文書作成時には、全文検索に必要なインデックスを作成するための機能を選択できます。必要に応じて全文検索用のテキストファイルを指定することもできます。 |
|             | 共有 ACL の新規作成  | セキュリティ管理者の場合は、共有 ACL を作成できます。作成時には、ACL を含む共有 ACL のプロパティを設定できます。なお、セキュリティ管理者以外のユーザは、共有 ACL は作成できません。   |
| フォルダの操作     | プロパティの参照      | ルートフォルダ以外のフォルダのプロパティを参照できます。  |

| 分類         | 機能                 | 説明   |
|------------|--------------------|--|
|            | プロパティの更新           | ルートフォルダ以外のフォルダのプロパティを更新できます。   |
|            | アクセス権の参照           | ルートフォルダ以外のフォルダのアクセス権を参照できます。   |
|            | アクセス権の更新           | ルートフォルダ以外のフォルダのアクセス権を更新できます。   |
|            | フォルダの削除            | ルートフォルダ以外のフォルダであり、かつ下位に文書またはフォルダを持たないフォルダを削除できます。  |
| 文書の操作      | プロパティの参照           | 文書のプロパティを参照できます。   |
|            | プロパティの更新           | ほかのユーザがチェックアウトしていない文書のプロパティを更新できます。  |
|            | アクセス権の参照           | 文書のアクセス権を参照できます。   |
|            | アクセス権の更新           | ほかのユーザがチェックアウトしていない文書のアクセス権を更新できます。  |
|            | 文書の削除              | ほかのユーザがチェックアウトしていない文書を削除できます。<br>セキュリティ管理者の場合は、ほかのユーザにチェックアウトされている文書でも削除できます。  |
|            | コンテンツのダウンロード       | カレントバージョンのコンテンツまたは特定のバージョンのコンテンツをダウンロードできます。   |
| 文書のバージョン管理 | チェックアウト            | 文書をチェックアウトして、仮のバージョンを予約できます。チェックアウトすると、ほかのユーザによって更新処理ができないようになります。   |
|            | チェックイン             | 自分がチェックアウトした文書をチェックインできます。チェックインする時には、カレントバージョンになるバージョンのプロパティとコンテンツを設定できます。<br>なお、セキュリティ管理者の場合は、チェックアウトされているすべての文書をチェックインできます。 |
|            | チェックアウトの取り消し       | 自分がチェックアウトした文書のチェックアウトを取り消せます。<br>なお、セキュリティ管理者の場合は、チェックアウトされているすべての文書のチェックアウトを取り消せます。  |
|            | バージョン一覧の参照         | 文書が持つバージョンの一覧を参照できます。  |
|            | バージョンプロパティの参照      | バージョンごとに設定されているプロパティを参照できます。   |
|            | バージョンの削除           | チェックアウトされていない文書の個々のバージョンを削除できます。<br>ただし、文書は最低一つのバージョンを持つ必要があります。このため、すべてのバージョンを削除することはできません。                                   |
|            |                    |  |
| 共有 ACL の操作 | 共有 ACL の検索         | セキュリティ管理者は、共有 ACL を検索できます。検索実行時には、共有 ACL のプロパティの値を検索のキーとして指定できます。  |
|            | プロパティの参照           | セキュリティ管理者は、共有 ACL のプロパティを参照できます。   |
|            | プロパティの更新           | セキュリティ管理者は、共有 ACL のプロパティを更新できます。   |
|            | 共有 ACL の削除         | セキュリティ管理者は、共有 ACL を削除できます。   |
| アクセス制御     | ACFlag を使用したアクセス制御 | 文書またはフォルダに対して ACFlag によってアクセス権を設定して、ユーザのアクセスを制御できます。<br>各オブジェクトの ACFlag の設定は、オブジェクトの所有者またはセキュリティ管理者だけが実行できます。                  |

## 1. サンプル Web アプリケーションの概要

| 分類             | 機能                 | 説明  |
|----------------|--------------------|---|
|                | 共有 ACL を使用したアクセス制御 | 文書またはフォルダに共有 ACL をバインドすることによってアクセス権を設定して、ユーザのアクセスを制御できます。なお、一つのオブジェクトにバインドできる共有 ACL は一つです。<br>文書またはフォルダに共有 ACL をバインドしたりアンバインドしたりできるのは、オブジェクトの所有者またはセキュリティ管理者だけです。 |
| ディレクトリ<br>情報検索 | ユーザ検索              | 条件を指定して、LDAP 対応のディレクトリサービスからユーザを検索できます。   |
|                | 組織検索               | 条件を指定して、LDAP 対応のディレクトリサービスから組織を検索できます。条件を指定しないで、ログインユーザが所属する組織を検索することもできます。   |
|                | グループ検索             | 条件を指定して、LDAP 対応のディレクトリサービスからグループを検索できます。条件を指定しないで、ログインユーザが所属するグループを検索することもできます。   |

### 1.2.3 サンプル Web アプリケーションで扱うセッション

ここでは、サンプル Web アプリケーションで扱う 3 種類のセッションについて説明します。

#### (1) HTTP セッション

HTTP セッションは、クライアントである WWW ブラウザとサーバである WWW サーバ間のセッションを表します。

#### (2) AP セッション

AP セッションは、サンプル Web アプリケーションのクライアントとサーバ間での、アプリケーションとしてのセッションを表します。AP セッションは、エンドユーザがログインしてからログアウトするまでの間、確立されているセッションです。

HTTP セッションが終了した場合には、AP セッションも自動的に終了します（自動ログアウトが実行されます）。逆に、AP セッションが終了しても、HTTP セッションが終了するとは限りません。

#### (3) DocBro セッション

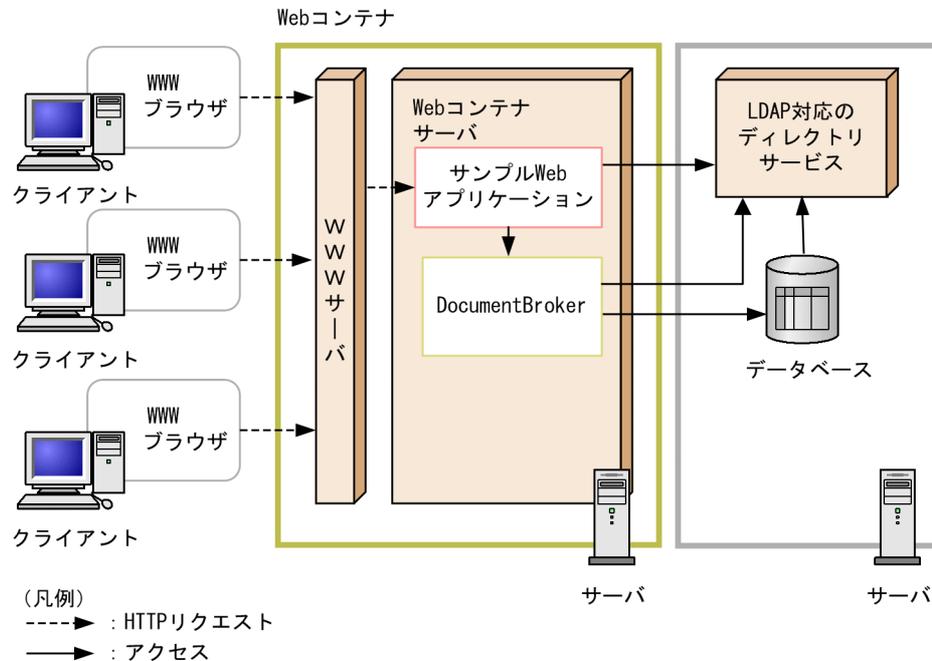
DocBro セッションは、サンプル Web アプリケーションと DocumentBroker とのセッションを表します。DocBro セッションは、AP セッション内で、DocumentBroker にログインしてからログアウトするまでの間、確立されているセッションです。

AP セッションが終了した場合には、自動的に DocBro セッションも終了します。逆に、DocBro セッションが終了しても、AP セッションが終了するとは限りません。

## 1.3 システム構成

サンプル Web アプリケーションを使用する場合のシステム構成について説明します。サンプル Web アプリケーションを使用する場合のサーバ、およびクライアントの構成を次の図に示します。

図 1-1 サンプル Web アプリケーション使用時のサーバおよびクライアントの構成



### クライアント

クライアントには、WWW ブラウザを使用します。

### サーバ

サーバは、Web コンテナと EIS から構成されます。

#### Web コンテナ

Web コンテナは、Web コンテナサーバと WWW サーバから構成されます。

Web コンテナサーバは、Servlet や JSP を実行するサーバです。サンプル Web アプリケーションでは、Web コンテナサーバとして、Cosminexus Component Container を使用します。

WWW サーバには、Hitachi Web Server、または Internet Information Services を使用します。

#### EIS (エンタープライズ情報システム)

EIS は、LDAP 対応のディレクトリサービス、DocumentBroker および HiRDB から構成されます。

LDAP 対応のディレクトリサービスは、ユーザ認証などに使用します。

サンプル Web アプリケーションは、DocumentBroker と共有して LDAP 対応のディレクトリサービスを使用します。サンプル Web アプリケーションでは、JNDI を使用して LDAP 対応のディレクトリサービスにアクセスします。

DocumentBroker および HiRDB については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 概説」を参照してください。なお、サンプル Web アプリケーションを使用する場合、サンプル Web アプリケーションとともに提供されているメタ情報定義ファイルを使用して、DocumentBroker を構築してください。

## 1.4 プログラムの構成

サンプル Web アプリケーションのプログラムの構成について説明します。

サンプル Web アプリケーションは、Servlet および JavaBeans を含めた Java クラス群と、JSP によって構成されています。さらに、Java クラスにはコアアプリケーションクラスと Web 依存アプリケーションクラスの 2 種類があります。

それぞれの特徴について、次の表に示します。

表 1-2 コアアプリケーションクラス、Web 依存アプリケーションクラスおよび JSP の特徴

| 項目           | コアアプリケーションクラス | Web 依存アプリケーションクラス | JSP   |
|--------------|---------------|-------------------|-------|
| リクエストパラメタの扱い | 扱いません。        | 扱います。             | 扱います。 |
| 画面表示ロジック     | 含みません。        | 含みません。            | 含みます。 |

### 1.4.1 サンプル Web アプリケーションで提供する Java クラス

サンプル Web アプリケーションでは、次の 2 種類の Java クラスを提供します。

コアアプリケーションクラス

Web 依存アプリケーションクラス

これらの Java クラスに対して、それぞれパッケージが提供されています。

#### (1) コアアプリケーションクラス

Web 上の処理に依存しないクラス群を、コアアプリケーションクラスといいます。例えば、HTTP リクエスト処理をしないクラスが該当します。

コアアプリケーションクラスで、Web 依存アプリケーションクラスのメソッドを実行することはありません。コアアプリケーションクラスには、JavaBeans が含まれます。

コアアプリケーションクラスのパッケージ名を次に示します。

コアアプリケーションクラスのパッケージ名

```
jp.co.Hitachi.soft.docbroker.sampleApp.core
```

#### (2) Web 依存アプリケーションクラス

Web 上の処理に依存するクラス群を、Web 依存アプリケーションクラスといいます。

Web 依存アプリケーションクラスでは、コアアプリケーションクラスのメソッドを実行することもあります。Web 依存アプリケーションクラスには、Servlet が含まれます。

Web 依存アプリケーションクラスのパッケージ名を次に示します。

Web 依存アプリケーションクラスのパッケージ名

```
jp.co.Hitachi.soft.docbroker.sampleApp.web
```

### 1.4.2 コアアプリケーションクラスに含まれる Java クラス

ここでは、コアアプリケーションクラスに含まれる Java クラスについて説明します。

## (1) JavaBeans

Servlet によって処理された結果を保持して、Servlet と JSP 間のデータの受け渡しをします。プレゼンテーション層を構築する役割を果たします。

## (2) AP セッションを表すクラス

AP セッションを表すクラスです。

ログインユーザ名などの AP セッションの情報を保持して、DocBro セッションを管理する機能を持っています。DocBro セッションがタイムアウトなどで切断された場合は、自動接続処理も実行します。

サンプル Web アプリケーションでは、DocumentBroker クラスライブラリの文書管理機能を利用する場合に、AP セッションクラスが管理している DocBro セッションを使用します。このため、同時に同一の DocBro セッションが使用されないように、AP セッションクラスのオブジェクトに対してロックを設定してから、DocBro セッションを使用してください。

### ! 注意事項

DocumentBroker クラスライブラリでは、一つの DocBro セッションに対して、同時に複数のリクエスト（メソッド）を受け付けられません。

## (3) LDAP アクセスクラス

LDAP 対応のディレクトリサービスに LDAP アクセスをするためのクラスです。

## (4) ワークディレクトリクラス

ファイルのダウンロード時やアップロード時に使用する作業用ディレクトリを管理するクラスです。

## (5) コアアプリケーションを表すクラス

コアアプリケーションの本体を表すクラスです。アプリケーションの初期化と終了処理を実行します。

## 1.4.3 Web 依存アプリケーションクラスに含まれる Java クラス

ここでは、Web 依存アプリケーションクラスに含まれる Java クラスについて説明します。

### (1) Servlet

サンプル Web アプリケーションで扱う Servlet は、次の 2 種類に分けられます。

#### コマンドディスパッチャ

クライアントからの HTTP リクエストを受け付けて、ほかの Servlet に処理を分岐させる機能を持つ Servlet です。この Servlet では、処理を分岐する前にユーザ認証などのチェックを実行します。

サンプル Web アプリケーションのコマンドディスパッチャには次の 2 種類があります。

- 通常のリクエストを受け付けて処理を実行するコマンドディスパッチャ
- ファイルのアップロードなどの multipart リクエストを受け付けて処理を実行する、マルチパートリクエスト対応のコマンドディスパッチャ

#### コマンドサーブレット

コマンドディスパッチャが分岐させた処理を実行する機能を持つ Servlet です。機能ごとに存在しません。

## 1. サンプル Web アプリケーションの概要

### (2) AP フレーム

サンプル Web アプリケーションでは、Web 依存アプリケーションクラスである AP フレームを介して HTTP セッションに AP セッションをバインドします。

AP フレームは、サンプル Web アプリケーションの HTTP セッションの役割を果たします。また、AP セッションクラスのオブジェクトや LDAP アクセスクラスのオブジェクトおよびワークディレクトリクラスのオブジェクトを包含します。AP フレームは、AP セッションよりも長く、HTTP セッションより短い期間、有効です。

AP フレームは、HttpSessionBindingListener インターフェースを実装します。HTTP セッションにバインドまたはアンバインドされる時点で、AP セッションを初期化または終了します。

### 1.4.4 JSP

JSP は、クライアントからの HTTP リクエストの結果を画面に表示するプレゼンテーション層の役割を果たします。WWW ブラウザに表示するための HTML データを生成する機能を持っています。

Servlet など処理された結果は、JavaBeans を介して JSP に渡されます。そして、JSP によって HTML データとして出力され、クライアントに表示されます。

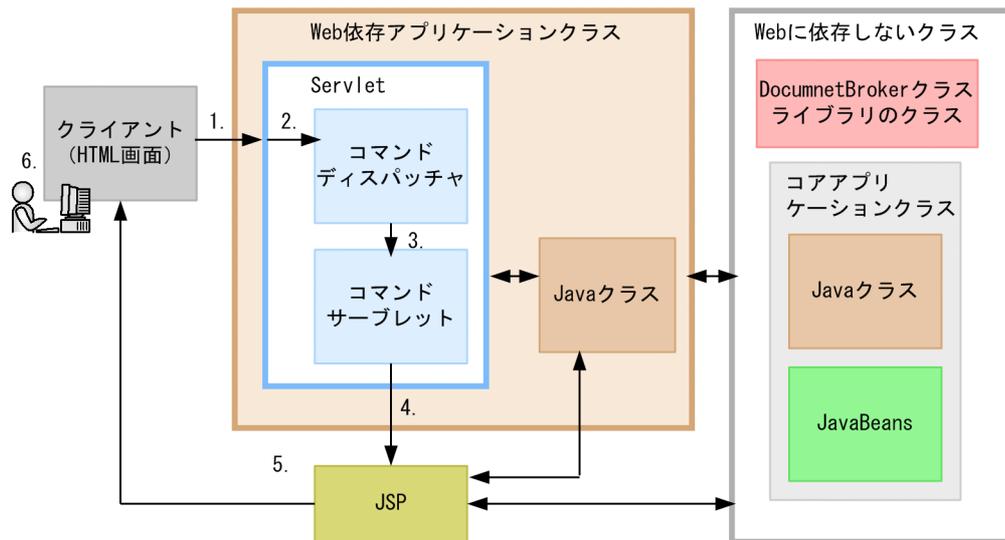
## 1.5 サンプル Web アプリケーションの処理の流れ

サンプル Web アプリケーションの処理の流れについて説明します。

### 1.5.1 アプリケーション全体での処理の流れ

サンプル Web アプリケーションの処理の流れを次の図に示します。

図 1-2 サンプル Web アプリケーションの部品間の処理の流れ



サンプル Web アプリケーションの基本的な処理の流れは、次のとおりです。これらの処理がユーザからの操作ごとに繰り返し実行されます。

1. ユーザが実行した操作に応じて、クライアント（WWW ブラウザ）から Web コンテナに HTTP リクエストが送られます。
2. リクエストを受け付けた Web コンテナが制御をコマンドディスパッチャに移します。
3. コマンドディスパッチャがリクエストの内容に応じた機能を持つコマンドサーブレットに処理を分岐します。
4. コマンドサーブレットが処理を実行します。その後、JSP に制御を移します。
5. JSP が HTML データを生成して、HTTP レスポンスをクライアントに送出します。
6. クライアントが JSP から受け付けた HTML データを画面に表示します。

Servlet や JSP は、Web 依存アプリケーションクラスやコアアプリケーションクラスに、適宜アクセスして処理を実行します。

### 1.5.2 サンプル Web アプリケーションのエラー処理

ここではサンプル Web アプリケーションのエラー処理の概要について説明します。

#### (1) エラー処理の流れ

サンプル Web アプリケーションでエラーが発生した場合、Servlet の処理中に各クラスから例外がスローされ、上位アプリケーションにエラーが通知されます。Servlet は例外をキャッチして、エラーページを表示するための JSP に処理を分岐します。JSP は、エラー内容を表すページを作成して、クライアントに

## 1. サンプル Web アプリケーションの概要

表示します。

JSP 内でエラーが発生した場合は、JSP のエラー処理機能を使用して、エラーページを表す JSP が表示されます。

### (2) エラーの種類

サンプル Web アプリケーションで処理するエラーの種類を次に示します。

サンプル Web アプリケーション固有のエラー

- 必須プロパティが指定されていない場合のエラー
- 初期化失敗エラー
- ユーザの操作順序不正エラー

DocumentBroker クラスライブラリのエラー

- ログイン時の認証エラー
- データベースエラー

LDAP アクセス時のエラー

- LDAP 対応のディレクトリサービスアクセス時のエラー

Java API のエラー

- Servlet のエラー
- JSP のエラー

### 1.5.3 サンプル Web アプリケーションのコンポーネントの再利用についての注意事項

サンプル Web アプリケーションは、具体的な DocumentBroker クラスライブラリの使用方法が、実際に動作するソースコードで示されているアプリケーションプログラムです。このため、DocumentBroker クラスライブラリを使用した Web アプリケーションプログラムを設計および構築する場合、具体的なサンプルとして参考にできます。

ただし、サンプル Web アプリケーションとして提供するコンポーネントは、はん用的な用途を想定して作られているわけではありません。このため、業務に合わせたユーザアプリケーションプログラムの設計・構築を十分にしないまま、コンポーネントを流用したり、再利用したりしないでください。

サンプル Web アプリケーションは、あくまでも DocumentBroker クラスライブラリの具体的な使用方法や、アーキテクチャの参考にするために使用してください。ユーザアプリケーションプログラムは、業務に合った機能を持つものをユーザ自身で設計、構築してください。

# 2

## 環境設定

この章では、サンプル Web アプリケーションを使用するための環境設定について説明します。

なお、サンプル Web アプリケーションを使用するためには、ここで説明する環境設定のほか、DocumentBroker クラスライブラリ自体を使用するための環境も設定する必要があります。DocumentBroker クラスライブラリを使用するための環境設定については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」を参照してください。

- 
- 2.1 ファイル構成とディレクトリ構成
  - 2.2 前提環境の設定
  - 2.3 サンプル Web アプリケーションの設定
  - 2.4 起動
-

## 2.1 ファイル構成とディレクトリ構成

DocumentBroker で提供されるファイルのうち、サンプル Web アプリケーションのために提供されているファイルの構成、およびサンプル Web アプリケーションが使用するディレクトリの構成について説明します。

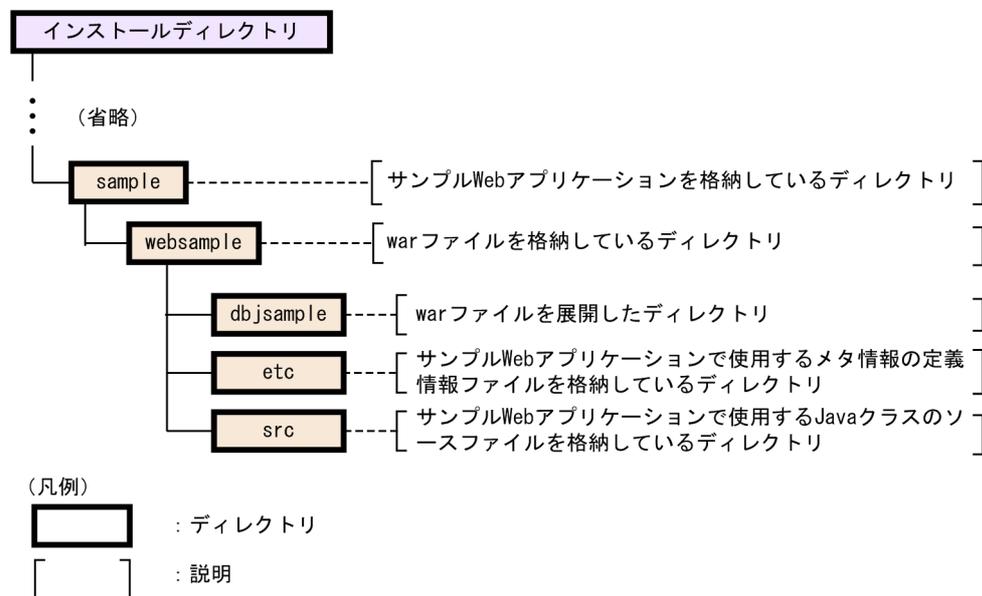
### 2.1.1 提供されるファイルの格納先

サンプル Web アプリケーションのソースファイル、メタ情報定義ファイルおよび war ファイルは、DocumentBroker のインストール時に、次のディレクトリ下に格納されます。

<インストールディレクトリ>¥DocBroker¥Developer¥sample

sample ディレクトリ下のディレクトリ構成を次の図に示します。

図 2-1 sample ディレクトリ下のディレクトリ構成



sample ディレクトリ以下のディレクトリおよび格納されているファイルについて説明します。

#### sample

サンプル Web アプリケーションのルートディレクトリです。

#### websample

サンプル Web アプリケーションで使用する war ファイルが格納されているディレクトリです。次の war ファイルが格納されています。

- dbjsample.war

#### websample ディレクトリ下の dbjsample

dbjsample.war ファイルが展開されたものと同じファイルが格納されているディレクトリです。war ファイルを展開しないで JSP などを参照したい場合、このディレクトリ下の JSP ファイルを参照してください。

#### websample ディレクトリ下の etc

サンプル Web アプリケーションのメタ情報を定義するための定義情報ファイルが格納されているディレクトリです。

次の定義情報ファイルが格納されています。

- addclass.csv
- addclassprop.csv
- addprop.csv
- dbjsampleText.en\_US.properties
- dbjsampleText.ja\_JP.properties

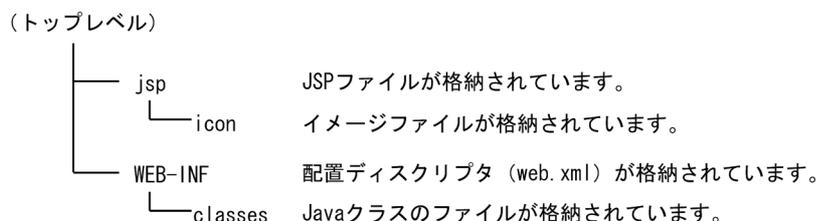
websample ディレクトリ下の src

サンプル Web アプリケーションで使用する Java クラスのソースファイルが格納されているディレクトリです。

## 2.1.2 war ファイルの構成

dbjsample.war に含まれるファイルの構成を次に示します。

図 2-2 dbjsample.war に含まれるファイルの構成



web.xml

配置ディスクリプタです。

JSP ファイル

サンプル Web アプリケーションで使用する JSP ファイルです。

イメージファイル

サンプル Web アプリケーションで使用するイメージファイルです。

クラスファイル

サンプル Web アプリケーションで使用する Java のクラスファイルです。

## 2.1.3 ワークディレクトリ

サンプル Web アプリケーションは、処理を実行する時に次に示す 2 種類のワークディレクトリを使用します。これらのディレクトリは、文書のコンテンツであるファイルをアップロードしたりダウンロードしたりする時に、一時的に必要な作業用のディレクトリです。

### (1) AP ワークディレクトリ

サンプル Web アプリケーションの初期化実行時に、サンプル Web アプリケーションのルートディレクトリ下に work というディレクトリが作成されます。このディレクトリを AP ワークディレクトリといいます。すでに AP ワークディレクトリが存在する場合、新規には作成されません。また、AP ワークディレクトリは、アプリケーションを終了しても削除されません。

## 2. 環境設定

なお、AP ワークディレクトリを作成するパスは、配置ディスクリプタのコンテキストパラメタの設定で変更できます。

### (2) AP セッション固有のワークディレクトリ

AP セッションごとに固有のワークディレクトリが必要になった時に、AP ワークディレクトリ下にワークディレクトリが作成されます。すでに AP セッション固有のワークディレクトリが存在する場合、新規には作成されません。作成された AP セッション固有のワークディレクトリおよびそのディレクトリ下のファイルは、AP セッション終了時にすべて削除されます。

## 2.2 前提環境の設定

---

サンプル Web アプリケーションの前提として必要な環境の設定方法について説明します。

### 2.2.1 WWW ブラウザの設定

前提となる WWW ブラウザは、Internet Explorer、または Mozilla Firefox です。WWW ブラウザは、Cookie を常に受け付ける設定にしてください。

### 2.2.2 Cosminexus Component Container の環境設定

Cosminexus Component Container の環境設定について説明します。

Cosminexus Component Container は、Cosminexus HTTP Server または Internet Information Services と連携した Web コンテナサーバを、J2EE モードで使用します。

#### (1) Web コンテナサーバのセットアップ

セットアップ方法については、Cosminexus Component Container での Web コンテナサーバのセットアップ手順に従ってください。

#### (2) WWW サーバとの連携

Cosminexus Component Container でのリダイレクタの設定方法に従って、リダイレクタを設定してください。

「/dbjsample/\*」の URL パターンにリダイレクトするようにしてください。URL マッピング定義には、「/dbjsample/\*」をリダイレクトするように設定してください。

#### (3) ユーザ定義ファイルの設定

Cosminexus Component Container のユーザ定義ファイルを設定します。設定方法の詳細は、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」の「アプリケーションサーバの設定」を参照してください。

#### (4) サンプル Web アプリケーションのディプロイ

サンプル Web アプリケーションで提供している war ファイル (dbjsample.war) を、Cosminexus Component Container での手順に従ってディプロイしてください。

### 2.2.3 DocumentBroker クラスライブラリの環境設定

DocumentBroker クラスライブラリを使用するための環境設定をしてください。環境設定の手順については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」の環境設定の手順を説明している箇所を参照してください。

### 2.2.4 DocumentBroker のメタ情報の定義

サンプル Web アプリケーションで使用するメタ情報については、サンプル Web アプリケーションのメタ情報定義ファイル を提供しています。

## 2. 環境設定

このファイルを使用して、DocumentBroker で文書空間のメタ情報を設定してください。文書空間のメタ情報の定義方法については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」を参照してください。

注 メタ情報定義ファイルは以下に格納されています。

<インストールディレクトリ>¥DocBroker¥Developer¥sample¥websample¥etc

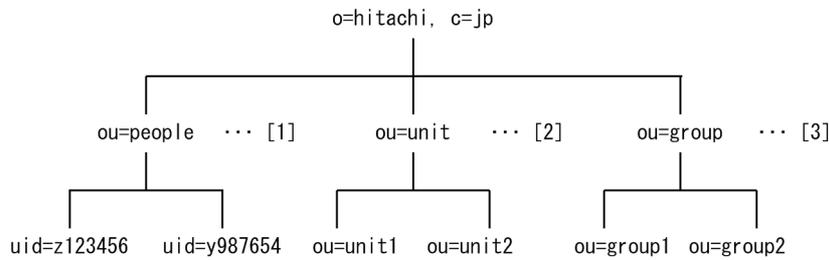
### 2.2.5 LDAP 対応のディレクトリサービスの設定

サンプル Web アプリケーションが前提としている LDAP 対応のディレクトリサービスの設定について説明します。詳細な設定方法は、ご使用になる LDAP 対応のディレクトリサービスのマニュアルを参照してください。

#### (1) 前提になる DIT

サンプル Web アプリケーションでは、次の図に示すような DIT を前提としています。

図 2-3 前提になる DIT



#### (2) ユーザエントリ

ユーザ情報を持つエントリです。図 2-3 では、[1] のエントリの下位エントリノードとして、ツリーを構成します。ユーザ情報として管理されているのは、次の属性の情報です。ユーザ情報は、inetOrgPerson などのユーザを表すクラスによって管理されます。

ユーザ ID

ユーザパスワード

表示用ユーザ名

所属組織 ID

注

DocumentBroker と共用する情報です。

#### (3) 組織エントリ

組織情報を持つエントリです。組織は、ある程度普遍的で静的なグループのことを指します。例えば、企業内での組織変更によって影響を受けにくい「企画部」、「営業部」、「開発部」などの部単位の集まりを指します。

図 2-3 では、[2] のエントリの下位エントリノードとして、ツリーを構成します。組織情報として管理されているのは、次の属性の情報です。組織情報は、organizationalUnit などの組織を表すクラスによって管理されます。

組織 ID

表示用組織名

注

DocumentBroker と共有する情報です。

#### (4) グループエントリ

グループ情報を持つエントリです。グループは、組織と比較すると、動的で、規模の小さいグループのことを指します。例えば、「製品 A 企画プロジェクト」、「製品 B 開発グループ」など、企業内で一つの作業が終了するたびに新しく編成される作業単位の集まりを指します。

図 2-3 では、[ 3 ] の下位エントリノードとして、ツリーを構成します。グループ情報として管理されているのは、次の属性の情報です。グループ情報は、groupOfUniqueNames などのグループを表すクラスによって管理されています。

グループ ID

表示用グループ名

グループ所属メンバ

注

DocumentBroker と共有する情報です。

## 2.3 サンプル Web アプリケーションの設定

サンプル Web アプリケーションの設定について説明します。

サンプル Web アプリケーションでは、配置ディスクリプタ (web.xml) のコンテキストパラメタの値を変更することで、一部の動作を変更できます。

### 2.3.1 LDAP についての情報を設定するコンテキストパラメタ

LDAP についての情報を設定するコンテキストパラメタについて説明します。このコンテキストパラメタを編集すると、LDAP 対応のディレクトリサービスについての設定を変更できます。

設定値を次の表に示します。

表 2-1 コンテキストパラメタ (LDAP についての情報の設定)

| パラメタ名                     | 設定値                    | デフォルト値             | 説明  |
|---------------------------|------------------------|--------------------|---|
| ldap.hostName             | ホスト名または IP アドレス        | 127.0.0.1          | LDAP 対応のディレクトリサービスのホスト名または IP アドレスを指定します。                                       |
| ldap.port                 | ポート番号                  | 389                | LDAP 対応のディレクトリサービスのポート番号を指定します。   |
| ldap.userObjectClass      | オブジェクトクラス名             | inetOrgPerson      | ユーザ検索の対象になるクラス名を指定します。  |
| ldap.orgObjectClass       | オブジェクトクラス名             | organizationalUnit | 組織検索の対象になるクラス名を指定します。   |
| ldap.grpObjectClass       | オブジェクトクラス名             | groupOfUniqueNames | グループ検索の対象になるクラス名を指定します。   |
| ldap.userSearchDn         | DN                     | (必須)               | ユーザ検索対象のベースになる DN を指定します。   |
| ldap.orgSearchDn          | DN                     | (必須)               | 組織検索対象のベースになる DN を指定します。  |
| ldap.grpSearchDn          | DN                     | (必須)               | グループ検索対象のベースになる DN を指定します。  |
| ldap.attr.userId          | ユーザエントリの属性名            | uid                | ユーザ ID として使用するユーザエントリの属性名を指定します。ユーザエントリの検索などで使用されます。指定する属性は、ユーザごとに一意である必要があります。 |
| ldap.attr.displayUserName | ユーザエントリの属性名            | cn:lang-ja         | 表示用ユーザ名として使用するユーザエントリの属性名を指定します。  |
| ldap.attr.orgId           | ユーザエントリの属性名、組織エントリの属性名 | ou                 | 組織 ID として使用する属性名を指定します。ユーザエントリの所属組織を表す属性、組織エントリの組織 ID を表す属性を指定します。              |
| ldap.attr.displayOrgName  | 組織エントリの属性名             | ou:lang-ja         | 表示用組織名として使用する組織エントリの属性名を指定します。  |
| ldap.attr.groupMember     | グループエントリの属性名           | uniqueMember       | グループエントリのグループメンバーとして使用する属性名を指定します。この属性にグループメンバーとなるユーザエントリの DN を設定します。           |

| パラメタ名                    | 設定値          | デフォルト値     | 説明                                 |
|--------------------------|--------------|------------|------------------------------------|
| ldap.attr.grpId          | グループエントリの属性名 | ou         | グループ ID として使用する属性名を指定します。          |
| ldap.attr.displayGrpName | グループエントリの属性名 | ou:lang-ja | 表示用グループ名として使用するグループエントリの属性名を指定します。 |

## 2.3.2 オブジェクトモデルの情報を設定するコンテキストパラメタ

オブジェクトモデルについての情報を設定するコンテキストパラメタについて説明します。このコンテキストパラメタを編集すると、サンプル Web アプリケーションの画面上で扱うオブジェクトモデル (DocumentBroker クラス、プロパティなど) についての設定を変更できます。オブジェクトモデルについての詳細は、「3. 文書管理モデル」を参照してください。

設定値を次の表に示します。

表 2-2 コンテキストパラメタ (オブジェクトモデルについての情報の設定)

| パラメタ名                       | デフォルト値                  | 説明                                   |
|-----------------------------|-------------------------|--------------------------------------|
| model.class.folder          | dwcClass_Folder_c       | フォルダの DocumentBroker クラス名を指定します。     |
| model.class.document        | dwcClass_VerDoc_ch      | 文書の DocumentBroker クラス名を指定します。       |
| model.class.documentVersion | dwcClass_VerDoc_dv      | 文書のバージョンの DocumentBroker クラス名を指定します。 |
| model.prop.name             | dwcProp_Name            | オブジェクト名プロパティを指定します。                  |
| model.prop.attr             | dwcProp_Attr            | オブジェクト種別プロパティを指定します。                 |
| model.prop.comment          | dwcProp_Comment         | コメントプロパティを指定します。                     |
| model.prop.createTime       | dwcProp_CreateTime      | 作成日時プロパティを指定します。                     |
| model.prop.modifyTime       | dwcProp_ModifyTime      | 更新日時プロパティを指定します。                     |
| model.prop.checkOutTime     | dwcProp_CheckOutTime    | 文書のチェックアウト日時プロパティを指定します。             |
| model.prop.creator          | dwcProp_Creator         | 作成者 ID プロパティを指定します。                  |
| model.prop.modifier         | dwcProp_Modifier        | 更新者 ID プロパティを指定します。                  |
| model.prop.reservedUser     | dwcProp_ReservedUser    | チェックアウトユーザ ID プロパティを指定します。           |
| model.prop.displayOwner     | dwcProp_DisplayOwner    | 所有者名プロパティを指定します。                     |
| model.prop.displayCreator   | dwcProp_DisplayCreator  | 作成者名プロパティを指定します。                     |
| model.prop.displayModifier  | dwcProp_DisplayModifier | 更新者名プロパティを指定します。                     |

## 2. 環境設定

| パラメタ名                          | デフォルト値                      | 説明                        |
|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| model.prop.displayPrimaryGroup | dwcProp_DisplayPrimaryGroup | プライマリグループ名プロパティを指定します。    |
| model.prop.displayReservedUser | dwcProp_DisplayReservedUser | チェックアウトユーザ名プロパティを指定します。   |
| model.prop.versioningOIID      | dwcProp_VersioningOIID      | バージョンング OIID プロパティを指定します。 |
| model.prop.docName             | dwcProp_DocName             | 登録文書ファイル名プロパティを指定します。     |
| model.prop.fileSize            | dwcProp_FileSize            | 登録文書ファイルサイズプロパティを指定します。   |
| model.prop.versionNumber       | dwcProp_VersionNumber       | 文書のバージョン番号プロパティを指定します。    |

### 2.3.3 そのほかの情報を設定するコンテキストパラメタ

そのほかの情報を設定するコンテキストパラメタの設定値を次の表に示します。

表 2-3 コンテキストパラメタ (そのほかの情報の設定)

| パラメタ名                    | 設定値                   | デフォルト値  | 説明  |
|--------------------------|-----------------------|---------|---|
| app.mode                 | release または debug     | release | 動作モードを指定します。次のどちらかの値を指定します。<br>release<br>リリースモードを指定します。エラーが発生した時、エラー画面にスタックトレースなどの詳細情報は出力されません。また、標準出力にもデバッグ情報が出力されません。<br>debug<br>デバッグモードを表します。エラーが発生した時、エラー画面にスタックトレースなどの詳細情報が出力されます。また、標準出力にも、必要に応じてデバッグ情報が出力されます。 |
| app.default.renditonType | デフォルトのレンディショ<br>ンタイプ  | (なし)    | レンディション定義ファイルに指定されていない拡張子のファイルを文書オブジェクトに設定する際のデフォルトのレンディションタイプを指定します。<br>コンテキストパラメタにこのエントリを指定しなかった場合は、レンディションタイプが設定されません。空文字列が設定されます。   |
| app.defineTextPath       | 固定リテラル情報定義ファ<br>イルのパス | (必須)    | アプリケーションのリテラル・メッセージテキスト定義ファイルのパスを指定します。   |

| パラメタ名                     | 設定値   | デフォルト値                                   | 説明   |
|---------------------------|---|--|--|
| app.docspace              | 「X」を0～9およびa～f<br>またはA～Fで表される<br>16進数とした<br>「XXXXXXXX-XXXX-XXXX<br>X-XXXX-<br>XXXXXXXXXXXX (8けた<br>-4けた -4けた -4けた -12<br>けた)」の形式 | 673d2be0-d1fd-11d0-ab59-<br>08002be29e1d | アプリケーションが接続する<br>DocumentBroker の文書空間<br>識別子を指定します。  |
| app.html.header           | 文字列   | (なし)                                     | jsp の <head> タグに指定する<br>文字列を指定します。<br>この指定は、dwcEntry.jsp や<br><head> タグを持たない部品<br>jsp などには適用されません。                           |
| app.initialPage           | JSP ページ   | dwcSubFrm.jsp                            | ログイン後の初期表示画面を<br>指定します。指定できるファ<br>イル名は次のとおりです。<br>• dwcSubFrm.jsp (オブジェ<br>クト一覧)<br>• dwcSearchFrm.jsp (検索)<br>この指定は省略できません。 |
| app.login.title           | 文字列   | (なし)                                     | ログイン画面の右上に表示す<br>るタイトル文字列を指定しま<br>す。   |
| app.logo                  | イメージファイル名   | logo.gif                                 | アプリケーションのイメージ<br>ロゴ (大) を指定します。<br>下記の jsp で表示されます。<br>• dwcAutoLogin2.jsp<br>• dwcLogout.jsp                                |
| app.small_logo            | イメージファイル名   | logo_s.gif                               | アプリケーションのイメージ<br>ロゴ (小) を指定します。<br>下記の jsp で表示されます。<br>• dwcMenu.jsp   |
| app.workPath              | ローカルパス<br>(絶対パス)  | (なし)                                     | AP ワークディレクトリのパス<br>を指定します。   |
| folcont.cacheMaxRow       | 1以上の整数  | 200                                      | フォルダ内容表示 (オブジェ<br>クト一覧) で表示するデー<br>タの最大キャッシュ件数を指<br>定します。  |
| folcont.displayResultRow  | 1以上の整数  | 20                                       | フォルダ内容表示 (オブジェ<br>クト一覧) の最大表示行数<br>を指定します。   |
| rootFolder.autoCreateName | 文字列   | root                                     | 自動生成されるルートフォル<br>ダのフォルダ名を指定します。  |

## 2. 環境設定

| パラメタ名            | 設定値       | デフォルト値 | 説明  |
|------------------|-----------|--------|---|
| rootFolder.multi | Yes<br>No | No     | <p>複数のルートフォルダを使用する場合に YES を指定します。</p> <p>Yes を指定した場合は、複数のルートフォルダを扱えます。セキュリティ管理者が最初にログインしたときに自動生成されるルートフォルダは、rootFolder.autoCreateName に指定した名称で生成されます。</p> <p>No を指定した場合は、単一のルートフォルダを扱えます。自動生成されるルートフォルダ名は、以下の優先順位で決定されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. model.rootFolder.initName を指定している場合は、model.rootFolder.initName に指定した値で作成されます。</li> <li>2. model.rootFolder.initName を指定していない場合は、rootFolder.autoCreateName に指定した値で作成されます。</li> <li>3. rootFolder.autoCreateName を指定していない場合は、「root」で作成されます。</li> </ol> <p>なお、サンプル Web アプリケーションで複数のルートフォルダを使用するためには、サンプル Web アプリケーションが提供する JSP を変更する必要があります。</p> |
| rootFolder.count | 1 以上の整数   | 1      | <p>複数のルートフォルダを使用する場合、使用するルートフォルダの数を指定します。自動生成されるルートフォルダを含めた数を指定します。実際に存在するルートフォルダの数が、このコンテキストパラメタに指定した値と一致しているかどうかは確認されません。このコンテキストパラメタの使用方法については、rootFolder.name[n] を参照してください。</p>   |

| パラメタ名                      | 設定値     | デフォルト値  | 説明   |
|----------------------------|---------|---|--|
| rootFolder.name[n]         | 文字列     | コンテキストパラメタの添字に指定した n が 0 の場合：root<br>n が 1 以上の場合：なし | ルートフォルダの名称を指定します。rootFolder.count に指定した値の数だけ指定します。このコンテキストパラメタに指定した数が rootFolder.count に指定した値と一致しているかどうかは確認されません。[n] には、[0] ~ [rootFolder.count に指定した値 -1] の範囲で添字を指定します。このコンテキストパラメタは、ユーザがルートフォルダ一覧機能からルートフォルダ名を取得するのではなく、このコンテキストパラメタから順にルートフォルダ名を取得するために使用します。 |
| search.cacheMaxRow         | 1 以上の整数 | 200   | 検索結果の最大キャッシュ件数を指定します。  |
| search.dictionary          | 文字列     | "USERDIC01"   | 同義語辞書名を指定します。同義語辞書は、同義語展開オプションを指定した全文検索を実行する時に使用されます。  |
| search.displayResultRow    | 1 以上の整数 | 20  | 検索結果の最大表示行数を指定します。   |
| subsearch.cacheMaxRow      | 1 以上の整数 | 100   | ユーザ検索結果、組織検索結果、グループ検索結果およびバージョン一覧の最大キャッシュ件数を指定します。   |
| subsearch.displayResultRow | 1 以上の整数 | 10  | ユーザ検索結果、組織検索結果、グループ検索結果およびバージョン一覧の最大表示行数を指定します。  |

## 2.4 起動

---

サンプル Web アプリケーションは、Cosminexus Component Container のサーバの開始方法に従って起動してください。

クライアントからログインする時には、次の URL を使用して、エントリ画面を表示してください。

URL

`http://ホスト名/dbjsample/`

「ホスト名」はそれぞれの環境に合わせて指定してください。

エントリ画面には、ログイン画面を表示するためのアンカーが表示されています。アンカーをクリックして、ログイン画面を表示してください。

なお、サンプル Web アプリケーションに最初にログインする時には、まずセキュリティ管理者がログインして、ルートフォルダを自動生成してください。

# 3

## 文書管理モデル

この章では、サンプル Web アプリケーションでサポートしている文書管理モデルについて説明します。どのようなメタ情報が定義されているかについても説明します。

---

3.1 オブジェクトの種類

---

3.2 アクセス制御

---

3.3 プロパティの種類

---

3.4 プロパティに設定される値

---

3.5 サンプル Web アプリケーションで扱うメタ情報定義

---

## 3.1 オブジェクトの種類

---

サンプル Web アプリケーションで扱うオブジェクトは、次の 3 種類です。

文書

フォルダ

共有 ACL

### 3.1.1 文書

サンプル Web アプリケーションで扱う文書は、次のような機能を持っています。

複数のバージョンを持ち、バージョン管理ができます。

バージョンの分岐はできません。例えば、バージョン 1 の文書に対する次バージョン（バージョン 2）の文書は一つだけ作成できます。

個々のバージョンを削除できます。ただし、すべてのバージョンを削除することはできません。必ず一つのバージョンを持つ必要があります。

一つのバージョンに一つのファイルをコンテンツとして登録できます。

バージョンごとのコンテンツを対象に、全文検索が実行できます。全文検索を実行するために必要な全文検索インデクスは、文書の作成時またはチェックイン時に作成できます。

チェックアウト中の文書に対しては、参照処理、チェックアウトのキャンセルまたはチェックインだけができます。ほかの更新処理（プロパティの更新、アクセス権の更新、オブジェクトの削除またはバージョンの削除）はできません。

プロパティを設定して管理できます。

なお、文書は必ずどれかのフォルダの下位に関連付けられて管理されます。また、個々のバージョンを直接操作することはできません。バージョンを直接操作すると、正しくアクセス制御ができません。

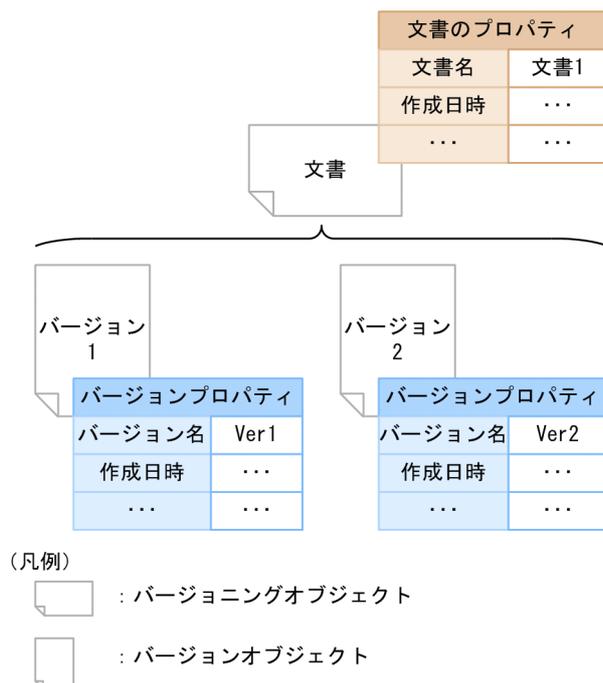
#### (1) 文書の構成

文書は、バージョンングオブジェクト（一連のバージョンを統括する文書空間オブジェクト）とバージョンオブジェクト（個々のバージョンを表す文書空間オブジェクト）から構成されています。

バージョンングオブジェクトおよびバージョンオブジェクトは、それぞれプロパティを持っています。

文書の構成を次の図に示します。

図 3-1 文書の構成



## (2) 文書のバージョン管理

文書のバージョン管理について説明します。

文書のバージョンを管理するためには、文書を更新する時に、チェックアウトとチェックインという操作をします。なお、最新のバージョンのことを、カレントバージョンといいます。

### チェックアウト

チェックアウトとは、文書のバージョンの追加を予約することです。チェックアウトした文書に対しては、ほかのユーザによる更新操作が抑止されます。

チェックアウト中の文書に対して、チェックアウトしたユーザおよびセキュリティ管理者が実行できる更新操作は、次のとおりです。

- チェックイン
- チェックアウトの取り消し
- 文書の削除

このほか、セキュリティ管理者は、自分がチェックアウトしている文書の一覧と自分以外のユーザがチェックアウトしている文書の一覧を参照できます。プロパティやアクセス権を更新したり、文書のバージョンを削除したり、再度チェックアウトしたりすることはできません。

なお、チェックアウトしたユーザ以外で、セキュリティ管理者ではないユーザは、すべての更新処理が実行できません。

### チェックイン

チェックインとは、チェックアウトして予約した仮のバージョンをカレントバージョンとして確定することです。

文書をバージョンアップする場合の操作の流れを次に示します。

1. 文書をチェックアウトします。
2. ダウンロードしたコンテンツを編集します。  
コンテンツを編集しない場合、この手順は不要です。

3. 文書をチェックインします。

### 3.1.2 フォルダ

サンプル Web アプリケーションで扱うフォルダは、次のような機能を持っています。

一つのフォルダを頂点にした階層構造で管理できます。

一つのフォルダの下位に複数の文書やフォルダを関連付けて管理できます。

プロパティを設定して管理できます。

なお、フォルダは必ずどれかのフォルダの下位に直接型リンクでリンク付けられて管理されます。上位フォルダと下位フォルダの関係は、1：多になります。これによって、フォルダの階層構造が形成されます。

階層の頂点になるフォルダを、ルートフォルダといいます。セキュリティ管理者は、ルートフォルダを複数作成することができます。セキュリティ管理者が最初にログインしたときに自動的にルートフォルダが一つ作成されます。以後、セキュリティ管理者が必要に応じてルートフォルダを追加してください。追加するルートフォルダ名は、すでに存在するルートフォルダと重複しない名称で作成してください。セキュリティ管理者以外のユーザは、ルートフォルダが作成されたあとでログインしてください。ルートフォルダとそれ以外のフォルダは、オブジェクト属性プロパティの値で区別されます。

ルートフォルダは、セキュリティ管理者だけが削除できます。ルートフォルダやルートフォルダ以外のフォルダは、下位にオブジェクトが存在しない場合にだけ削除できます。

なお、サンプル Web アプリケーションで複数のルートフォルダを扱うためには、配置ディスクリプタ (web.xml) のコンテキストパラメタの設定とサンプル Web アプリケーションが提供する JSP を変更する必要があります。

### 3.1.3 共有 ACL

サンプル Web アプリケーションで扱う共有 ACL は、複数の文書またはフォルダに対して、同じアクセス権を設定する機能を持っています。

共有 ACL は、プロパティとして ACL を持っています。

#### (1) 共有 ACL を操作できるユーザ

共有 ACL の作成、更新、削除などの操作は、セキュリティ管理者だけが実行できます。

#### (2) 共有 ACL を使用したアクセス制御

共有 ACL は、ユーザまたは組織などが、文書やフォルダに対してどのような操作ができるかという情報を保持しているオブジェクトです。アクセス権を与えられる対象になるユーザやグループのことを、サブジェクトといいます。また、許可される操作の範囲のことを、パーミッションといいます。

共有 ACL は、同じアクセス権を設定したい複数の文書やフォルダに設定できます。また、複数のサブジェクトとパーミッションの組み合わせを、リストにまとめて設定できます。このリストを、アクセス制御リスト (ACL) といいます。リストの要素であるサブジェクトとパーミッションの組み合わせを、アクセス制御エレメント (ACE) といいます。

#### (3) 共有 ACL を使用した運用例

共有 ACL を使用したアクセス制御の運用方法について、DocumentBroker に登録されている文書の編集

から公開までの作業過程で、共有 ACL を使用する運用を例に説明します。この例では、次のことが前提となっています。

文書が完成するまでの編集の過程では、ある二人のユーザにアクセスを限定する

文書が完成したら、複数の組織に文書を公開する

なお、この例の中で、共有 ACL が作成できるのはセキュリティ管理者だけです。また、文書に対して共有 ACL を設定したり、共有 ACL を解除したりできるのは、文書の所有者またはセキュリティ管理者だけです。

1. 共有 ACL を作成します。作成する共有 ACL とそれに設定するアクセス制御エレメントは、次のとおりです。
  - 「編集用の共有 ACL」
 

編集を担当するある二人のユーザに「更新」のパーミッションを設定して、更新する権利を与えます。
  - 「公開用の共有 ACL」
 

公開時に文書を参照する複数の組織に「参照」のパーミッションを設定して、更新する権利を与えます。
2. 文書を更新する前に「編集用の共有 ACL」を文書に設定します。
 

これによって、編集を担当する二人のユーザ以外は、文書へのアクセスを制限されます。
3. 文書の編集が終了したら、文書に設定されている「編集用の共有 ACL」の設定を解除します。
4. 文書を公開する前に、「公開用の共有 ACL」を文書に設定します。
 

これによって、公開時に文書を参照する組織に所属するユーザ以外は、文書へのアクセスを制限されます。

### 3.1.4 文書空間オブジェクトとの対応

サンプル Web アプリケーションで扱うオブジェクトと、DocumentBroker クラスライブラリで扱う文書空間オブジェクトとの対応について説明します。

#### (1) 文書

サンプル Web アプリケーションの文書は、文書空間オブジェクトのバージョン付き文書と対応します。

文書のトップオブジェクトクラスは、dwcClass\_VerDoc\_ch クラスおよび dwcClass\_VerDoc\_dv クラスです。dwcClass\_VerDoc\_ch クラスは dmaClass\_ConfigurationHistory クラスのサブクラスです。dwcClass\_VerDoc\_dv クラスは edmClass\_VersionTracedComponentDocVersion クラスのサブクラスです。

#### (2) フォルダ

サンプル Web アプリケーションのフォルダは、文書空間オブジェクトのバージョンなしフォルダと対応します。

フォルダのトップオブジェクトクラスは、dwcClass\_Folder\_c クラスです。これは、edmClass\_ContainerVersion クラスのサブクラスです。

#### (3) 共有 ACL

サンプル Web アプリケーションの共有 ACL は、文書空間オブジェクトのパブリック ACL と対応します。

### 3. 文書管理モデル

共有 ACL のトップオブジェクトクラスは、edmClass\_PublicACL クラスにプロパティを追加した DocumentBroker クラスです。

## 3.2 アクセス制御

サンプル Web アプリケーションで実現しているアクセス制御機能について説明します。

### 3.2.1 サンプル Web アプリケーションで使用するアクセス制御情報

オブジェクトごとに設定されたアクセス制御に関する情報を、アクセス制御情報といいます。サンプル Web アプリケーションでは、アクセス制御情報として ACFlag と共有 ACL を使用します。

アクセス制御は、ユーザ、組織またはグループ単位にパーミッションを設定することで実現します。

ACFlag では、所有者、プライマリグループおよびすべてのユーザに対するパーミッションを設定できます。共有 ACL では、任意のサブジェクトに対するパーミッションを設定できます。サブジェクトは、LDAP 対応のディレクトリサービスなどのユーザ管理システムに登録されているユーザ、組織またはグループから選択できます。

### 3.2.2 オブジェクトのアクセス権を設定できるユーザ

文書またはフォルダのアクセス権を設定できるのは、オブジェクトの所有者またはセキュリティ管理者だけです。

また、共有 ACL のアクセス権は変更できません。共有 ACL を操作できるのは、セキュリティ管理者だけです。

### 3.2.3 パーミッション

サンプル Web アプリケーションの画面上で設定できるパーミッションは次の表に示す 5 種類です。これらのパーミッションを、ACFlag または ACL の個々のサブジェクトに対して設定できます。

表 3-1 ACFlag に設定されるパーミッションの値

| パーミッション | 説明  | DocumentBroker クラスライブラリの定数  |
|---------|---|---|
| すべて     | すべての操作を実行できます。  | DbjDef.PERM_FULL_CONTROL  |
| 更新      | 削除以外の操作を実行できます。   | DbjDef.PERM_READ_WRITE<br>  DbjDef.PERM_PRIM_LINK<br>  DbjDef.PERM_PRIM_VERSION |
| リンク     | フォルダの場合は、そのフォルダの下位にオブジェクトを作成でき、フォルダのプロパティを参照できます。<br>文書の場合は、「参照」と同様に、文書のプロパティおよびコンテンツを参照できます。 | DbjDef.PERM_READ<br>  DbjDef.PERM_PRIM_LINK                                     |
| 参照      | フォルダの場合は、フォルダのプロパティを参照できます。<br>文書の場合は、文書のプロパティおよびコンテンツを参照できます。                                | DbjDef.PERM_READ  |
| なし      | 操作を実行できません。   | DbjDef.PERM_NONE  |

## 3.3 プロパティの種類

サンプル Web アプリケーションのオブジェクトに設定されているプロパティについて説明します。これらのプロパティは、サンプル Web アプリケーションの画面で確認したり、更新したりできます。

なお、プロパティに null 値は設定できません。

### 3.3.1 すべてのオブジェクトに定義されているプロパティ

文書、フォルダおよび共有 ACL に定義されているプロパティについて説明します。

#### (1) オブジェクト種別

それぞれのオブジェクトに設定されている、オブジェクトの種類を表すプロパティです。オブジェクト種別プロパティは、オブジェクト作成時にシステムによって設定されます。

それぞれのオブジェクトに設定される値について、次の表に示します。

表 3-2 オブジェクト種別プロパティの値

| オブジェクトの種類      | 値  |
|----------------|----|
| ルートフォルダ        | 1  |
| ルートフォルダ以外のフォルダ | 3  |
| 文書             | 4  |
| 文書のバージョン       | 8  |
| 共有 ACL         | 16 |

#### (2) オブジェクト名

オブジェクト名を表すプロパティです。オブジェクトの種類によって、サンプル Web アプリケーションの画面では、「文書名」、「フォルダ名」または「共有 ACL 名」と呼ばれています。

オブジェクト名は、サンプル Web アプリケーションを操作するユーザがそれぞれのオブジェクトを識別するためのプロパティですが、重複する名前を付けることもできます。システムがオブジェクトを識別するためには、OID が使用されています。

なお、オブジェクト名に空文字列は設定できません。

オブジェクト名は、オブジェクトの作成時に設定します。プロパティの更新時に更新できます。

#### (3) 作成日時

作成日時を表すプロパティです。オブジェクトの作成時に設定されます。

1970 年 1 月 1 日 0 時からの通算秒を表す整数値が設定されます。

#### (4) 作成者 ID

文書空間にオブジェクトを作成したユーザを表すプロパティです。ユーザ ID が設定されます。オブジェクトの作成時に設定されます。空文字列が設定されることはありません。

#### (5) 作成者名

文書空間にオブジェクトを作成したユーザを表すプロパティです。作成者 ID に対応する表示用ユーザ名

が設定されます。作成者 ID との対応は、LDAP 対応のディレクトリサービス上で管理されています。空文字列が設定されることもあります。

なお、オブジェクトを作成したあとで、LDAP 対応のディレクトリサービス上のユーザ ID と表示ユーザ名の対応が変更された場合、作成者 ID と作成者名の整合性は保証されません。

#### (6) 更新日時

オブジェクトに対して何かの更新処理が実行された日時を表すプロパティです。

1970 年 1 月 1 日 0 時からの通算秒を表す整数値が設定されます。

なお、文書のチェックアウトは、更新処理に含まれません。このため、チェックアウトを実行した時、このプロパティは更新されません。

#### (7) 更新者 ID

オブジェクトに対して何かの更新処理を実行したユーザを表すプロパティです。ユーザ ID が設定されます。オブジェクトの作成時には、作成者 ID と同じ値が設定されます。空文字列が設定されることはありません。

なお、文書のチェックアウトは、更新処理に含まれません。このため、チェックアウトを実行した時、このプロパティは更新されません。

#### (8) 更新者名

オブジェクトに対して何かの更新処理を実行したユーザを表すプロパティです。更新者 ID に対応する表示用ユーザ名が設定されます。更新者 ID との対応は、LDAP 対応のディレクトリサービス上で管理されています。空文字列が設定されることもあります。

なお、更新処理を実行したあとで、LDAP 対応のディレクトリサービス上のユーザ ID と表示ユーザ名の対応が変更された場合、更新者 ID と更新者名の整合性は保証されません。

なお、文書のチェックアウトは、更新処理に含まれません。このため、チェックアウトを実行した時、このプロパティは更新されません。

#### (9) 所有者 ID

オブジェクトの所有者を表すプロパティです。ユーザ ID が設定されます。オブジェクトの作成時に設定できます。デフォルトの設定では作成者 ID と同じ値が設定されます。アクセス権を変更する権利を持ったユーザによって、アクセス権更新時に変更できます。空文字列が設定されることはありません。

#### (10) 所有者名

オブジェクトの所有者を表すプロパティです。所有者 ID に対応する表示用ユーザ名が設定されます。所有者 ID との対応は、LDAP 対応のディレクトリサービス上で管理されています。

オブジェクトの作成時に設定できます。デフォルトの設定では作成者名と同じ値が設定されます。アクセス権を変更する権利を持ったユーザによって、アクセス権更新時に変更できます。空文字列が設定されることもあります。

なお、オブジェクト作成後またはアクセス権更新後に、LDAP 対応のディレクトリサービス上のユーザ ID と表示ユーザ名の対応が変更された場合、所有者 ID と所有者名の整合性は保証されません。

## (11) コメント

オブジェクトに対する任意のコメントを設定するプロパティです。空文字列も設定できます。

### 3.3.2 文書とフォルダに定義されているプロパティ

文書とフォルダには、「3.3.1 すべてのオブジェクトに定義されているプロパティ」で説明したプロパティに加えて、この項で説明するプロパティが定義されています。

#### (1) プライマリグループ ID

オブジェクトの属するプライマリグループを表すプロパティです。グループ ID または組織 ID が設定されます。

オブジェクトの作成時に設定できます。アクセス権を変更する権利を持ったユーザによって、アクセス権更新時に変更できます。空文字列が設定されることもあります。

#### (2) プライマリグループ名

オブジェクトが属するプライマリグループを表すプロパティです。表示用組織名または表示用グループ名が設定できます。プライマリグループ ID との対応は、LDAP 対応のディレクトリサービス上で管理されています。

オブジェクトの作成時に設定されます。アクセス権を変更する権利を持ったユーザによって、アクセス権更新時に変更できます。空文字列が設定されることもあります。プライマリグループ ID が空文字列の場合は、必ず空文字列になります。

なお、オブジェクト作成後またはアクセス権更新後に LDAP 対応のディレクトリサービス上の組織 ID と表示組織名、またはグループ ID と表示グループ名の対応が変更された場合、プライマリグループ ID とプライマリグループ名の整合性は保証されません。

#### (3) ACFlag

オブジェクトの所有者に対するパーミッション、プライマリグループに対するパーミッション、およびすべてのユーザに対するパーミッションを表すプロパティです。

オブジェクトの作成時に設定できます。また、アクセス権を変更する権利を持ったユーザによって、アクセス権更新時に変更できます。

設定できるパーミッションの種類については、「3.2.3 パーミッション」を参照してください。

#### (4) 共有 ACL

オブジェクトがバインドしている共有 ACL を表すプロパティです。サンプル Web アプリケーションでは、バインドできる共有 ACL は一つだけです。

オブジェクトの作成時に設定できます。また、アクセス権を変更する権利を持ったユーザによって、アクセス権更新時に共有 ACL をバインドまたはアンバインドできます。

### 3.3.3 文書のプロパティ (バージョンングオブジェクトのプロパティ)

文書のバージョンングオブジェクトには、「3.3.1 すべてのオブジェクトに定義されているプロパティ」、「3.3.2 文書とフォルダに定義されているプロパティ」に加えて、次に示すプロパティが定義されています。

#### (1) チェックアウト日時

文書をチェックアウトした日時を表すプロパティです。文書をチェックアウトした時に設定されます。チェックアウト中以外は0が設定されています。

文書作成時には0が設定されます。文書をチェックアウトした時に値が設定され、チェックインまたはチェックアウトの取り消し時に再び0が設定されます。

1970年1月1日0時からの通算秒を表す整数値が設定されます。

#### (2) チェックアウトユーザID

文書をチェックアウトしたユーザを表すプロパティです。ユーザIDが設定されます。チェックアウト中以外は空文字列が設定されています。

文書作成時には空文字列が設定されます。文書をチェックアウトした時にチェックアウトしたユーザのユーザIDが設定され、チェックインまたはチェックアウトの取り消し時に、再び空文字列が設定されます。

#### (3) チェックアウトユーザ名

文書をチェックアウトしたユーザを表すプロパティです。ユーザ名が設定されます。チェックアウトユーザIDとの対応は、LDAP対応のディレクトリサービス上で管理されています。チェックアウト中以外は空文字列が設定されています。

文書作成時には空文字列が設定されます。文書をチェックアウトした時にチェックアウトしたユーザのユーザ名が設定され、チェックインまたはチェックアウトの取り消し時に、再び空文字列が設定されます。

なお、チェックアウト後にLDAP対応のディレクトリサービス上のユーザIDと表示ユーザ名の対応が変更された場合、チェックアウトユーザIDとチェックアウトユーザ名の整合性は保証されません。

#### (4) 登録文書ファイル名

カレントバージョンのコンテンツとして登録されているファイル名を表すプロパティです。カレントバージョンが変更される時に、あわせて設定できます。空文字列が設定されることもあります。

#### (5) 登録文書ファイルサイズ

カレントバージョンのコンテンツとして登録されているファイルのサイズを表すプロパティです。単位はバイトです。文書作成時および文書のチェックイン時に設定されます。

#### (6) バージョン番号

バージョン番号は、それまでにその文書が持ったバージョンの総数を表すプロパティです。

バージョン番号は、文書作成時に1が設定されます。その後、バージョンをチェックインするたびに、1ずつ追加した値が設定されます。

### 3.3.4 文書のプロパティ (バージョンオブジェクトのプロパティ)

バージョンオブジェクトには、次に示すプロパティが設定されています。

#### (1) バージョン名

それぞれのバージョンの名前が設定されるプロパティです。省略はできません。

バージョン名は、サンプル Web アプリケーションを操作するユーザがオブジェクトを識別するためのプロ

### 3. 文書管理モデル

パーティですが、重複する名前を付けることもできます。システムがバージョンを識別するためには、バージョン ID が使用されています。

バージョン名は、文書を新規に作成する時および文書をチェックインする時にだけ設定できます。デフォルトでは、バージョン番号と同じ値が設定されます。

#### (2) 作成日時

バージョンの作成日時を表すプロパティです。文書を新規に作成した時または文書をチェックアウトした時に設定されます。

1970 年 1 月 1 日 0 時からの通算秒を表す整数値が設定されます。

#### (3) 作成者 ID

バージョンを作成したユーザを表すプロパティです。ユーザ ID が設定されます。

文書を新規に作成した時または文書をチェックアウトした時に設定されます。チェックアウトしたユーザのユーザ ID は、バージョン作成者 ID ともいいます。

#### (4) 作成者名

バージョンを作成したユーザを表すプロパティです。ユーザ ID に対応する表示用ユーザ名が設定されます。

文書を新規に作成した時または文書をチェックアウトした時に設定されます。チェックアウトしたユーザ名は、バージョン作成者名ともいいます。作成者 ID との対応は、LDAP 対応のディレクトリサービス上で管理されています。

なお、バージョンを作成したあとで LDAP 対応のディレクトリサービス上のユーザ ID と表示ユーザ名の対応が変更された場合、作成者 ID と作成者名の整合性は保証されません。

#### (5) 更新日時

バージョンに対して更新処理を実行した日時を表すプロパティです。文書を新規に作成した時、または文書をチェックインした時に設定されます。

1970 年 1 月 1 日 0 時からの通算秒を表す整数値が設定されます。

#### (6) 更新者 ID

バージョンに対して更新処理を実行したユーザを表すプロパティです。ユーザ ID が設定されます。文書を新規に作成する時には、作成者 ID と同じ値が設定されます。文書をチェックインする時には、文書をチェックインしたユーザを表す値が設定されます。

#### (7) 更新者名

バージョンに対して更新処理を実行したユーザを表すプロパティです。ユーザ ID に対応する表示用ユーザ名が設定されます。文書を新規に作成する時には、作成者名と同じ値が設定されます。文書をチェックインする時には、文書をチェックインしたユーザを表す値が設定されます。更新者 ID との対応は、LDAP 対応のディレクトリサービス上で管理されています。

なお、更新処理を実行したあとで、LDAP 対応のディレクトリサービス上でユーザ ID と表示ユーザ名の対応が変更された場合、更新者 ID と更新者名の整合性は保証されません。

#### (8) 所有者 ID

所有者 ID には、文書を新規に作成した時にバージョンングオブジェクトに設定された値と同じ値が設定されます。

#### (9) 所有者名

所有者名には、文書を新規に作成した時にバージョンングオブジェクトに設定された値と同じ値が設定されます。

#### (10) コメント

各バージョンに対して、任意の文字列を設定できます。空文字列も設定できます。各バージョンのコメントは、バージョンコメントともいいます。

#### (11) プライマリグループ ID

バージョンが作成された時に、空文字列が設定されます。

#### (12) プライマリグループ名

バージョンが作成された時に、空文字列が設定されます。

#### (13) ACFlag

バージョンが作成された時に、すべて「フルコントロール」が設定されます。

#### (14) 共有 ACL

バージョンは共有 ACL をバインドしないため、設定されません。

#### (15) チェックアウト日時

文書をチェックアウトした日時を表すプロパティです。バージョンングオブジェクトのチェックアウト日時と同じ値が設定されます。1970 年 1 月 1 日 0 時からの通算秒を表す整数値が設定されます。

文書をチェックアウトした時に値が設定され、チェックインまたはチェックアウトの取り消し時に 0 が設定されます。仮のバージョン以外のバージョンでは、0 が設定されています。

#### (16) チェックアウトユーザ ID

文書をチェックアウトしたユーザを表すプロパティです。バージョンングオブジェクトのチェックアウト ID と同じ値が設定されます。文書をチェックアウトした時に作成される仮のバージョンに対して設定されます。

仮のバージョン以外のバージョンのチェックアウト ID には、空文字列が設定されています。

#### (17) チェックアウトユーザ名

文書をチェックアウトしたユーザを表すプロパティです。バージョンングオブジェクトのチェックアウト名と同じ値が設定されます。文書をチェックアウトした時に作成される仮のバージョンに対して設定されています。

仮のバージョン以外のバージョンのチェックアウト名には、空文字列が設定されます。

#### (18) 登録文書ファイル名

各バージョンのコンテンツとして登録されているファイルのファイル名を表すプロパティです。文書を新

### 3. 文書管理モデル

規に作成した時、または文書をチェックインした時に設定されます。空文字列も設定できます。

#### (19)登録文書ファイルサイズ

カレントバージョンのコンテンツとして登録されているファイルのサイズを表すプロパティです。単位はバイトです。文書作成時および文書のチェックイン時に設定されます。

#### (20)登録文書のレンディションタイプ

各バージョンのコンテンツとして登録されているファイルのレンディションタイプを表すプロパティです。文書作成時および文書のチェックイン時に設定されます。ファイルの拡張子がレンディション定義ファイルに指定されている場合は、指定した値が設定されます。ファイルの拡張子がレンディション定義ファイルに指定されていない場合で、コンテキストパラメタの `app.default.renditionType` に指定されているときは、`app.default.renditionType` の値が設定されます。

なお、ファイルの拡張子がレンディション定義ファイルに指定されていない場合で、コンテキストパラメタの `app.default.renditionType` にも指定がないときは、レンディションタイプが設定されません。

#### (21)バージョン番号

バージョンの番号を表すプロパティです。文書の新規作成またはチェックインによってバージョンを確定する時に設定されます。文書作成時には「1」が設定されます。それ以降は、チェックインごとに「前バージョンのバージョン番号+1」の値が設定されます。

#### (22)バージョンング OIID

そのバージョンを所有する文書の OIID を表すプロパティです。つまり、バージョンングオブジェクトの OIID を表します。133 バイトの文字列で構成される OIID のうち、最後の 16 バイトの値が設定されます。

バージョンが作成された時に設定されます。

### 3.3.5 フォルダのプロパティ

フォルダには、「3.3.1 すべてのオブジェクトに定義されているプロパティ」、「3.3.2 文書とフォルダに定義されているプロパティ」に加えて、次に示すプロパティが設定されています。ただし、これらのプロパティは、フォルダの管理では使用されないため、常に空文字列または 0 が設定されています。

チェックアウト日時  
0 が設定されています。

チェックアウトユーザ ID  
空文字列が設定されています。

チェックアウトユーザ名  
空文字列が設定されています。

登録文書ファイル名  
空文字列が設定されています。

登録文書ファイルサイズ  
0 が設定されています。

バージョン番号  
0 が設定されています。

### 3.3.6 共有 ACL のプロパティ

共有 ACL には、「3.3.1 すべてのオブジェクトに定義されているプロパティ」のほか、次に示すプロパティが設定されています。

#### (1) ACL

複数の文書やフォルダで共有するアクセス制御情報のリストを表すプロパティです。

サブジェクト、サブジェクト種別およびパーミッションの組み合わせである ACE が、リストの要素になります。

## 3.4 プロパティに設定される値

プロパティが設定されるタイミングと設定される値について、オブジェクトごとに説明します。

### 3.4.1 文書のプロパティに設定される値

文書のプロパティに設定される値について説明します。

#### (1) 文書を作成する時に設定されるプロパティ

文書を作成する時に設定されるプロパティについて説明します。

バージョンングオブジェクトのプロパティを、次の表に示します。

表 3-3 文書の作成時に設定されるバージョンングオブジェクトのプロパティ

| プロパティ            | デフォルトの設定値  | 設定者        | ユーザが設定できる値  |
|------------------|------------|------------|---|
| オブジェクト種別         | 4          | システム       | -   |
| 文書名              | (なし)       | ユーザ        | 空文字列以外の文字列を指定できます。省略できません。  |
| 作成日時             | 文書を作成した日時  | システム       | -   |
| 更新日時             | 文書を作成した日時  | システム       | -   |
| 所有者名             | ログインユーザ名   | システム / ユーザ | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定できます。  |
| 所有者 ID           | ログインユーザ ID | システム / ユーザ | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定することで、それに対応するユーザ ID が設定されます。                             |
| 作成者名             | ログインユーザ名   | システム       | -   |
| 作成者 ID           | ログインユーザ ID | システム       | -   |
| 更新者名             | ログインユーザ名   | システム       | -   |
| 更新者 ID           | ログインユーザ ID | システム       | -   |
| コメント             | 空文字列       | ユーザ        | 任意の文字列を指定できます。  |
| プライマリグループ名       | 空文字列       | システム / ユーザ | 組織検索で検索した組織名、またはグループ検索で検索したグループ名を指定できます。                                  |
| プライマリグループ ID     | 空文字列       | システム / ユーザ | 組織検索で検索した組織名、またはグループ検索で検索したグループ名を指定することで、それに対応する組織 ID またはグループ ID が設定されます。 |
| 所有者パーミッション       | 「すべて」      | システム / ユーザ | 「なし」以外の任意のパーミッションを指定できます。   |
| プライマリグループパーミッション | 「更新」       | システム / ユーザ | 任意のパーミッションを指定できます。  |
| 全ユーザパーミッション      | 「参照」       | システム / ユーザ | 任意のパーミッションを指定できます。  |
| チェックアウト日時        | 0          | システム       | -   |
| チェックアウトユーザ名      | 空文字列       | システム       | -   |
| チェックアウトユーザ ID    | 空文字列       | システム       | -   |
| 登録文書ファイル名        | 空文字列       | システム / ユーザ | ファイル名を指定できます (パスは含みません)。  |

| プロパティ       | デフォルトの設定値 | 設定者           | ユーザが設定できる値                     |
|-------------|-----------|---------------|--------------------------------|
| 登録文書ファイルサイズ | 0         | システム<br>/ ユーザ | 登録文書ファイル名に指定したファイルのサイズが設定されます。 |
| 共有 ACL      | 空文字列      | ユーザ           | 共有 ACL 検索で検索した共有 ACL を指定できます。  |
| バージョン番号     | 1         | システム          | -                              |

## (凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

システム/ユーザ：システムによってデフォルトの値が設定されていますが、ユーザが値を設定することもできるプロパティです。

-：設定できません。

バージョンオブジェクトのプロパティを、次の表に示します。

表 3-4 文書を作成する時に設定されるバージョンオブジェクトのプロパティ

| プロパティ            | デフォルトの設定値  | 設定者           | ユーザが設定できる値  |
|------------------|------------|---------------|---|
| オブジェクト種別         | 8          | システム          | -   |
| バージョン名           | 1          | ユーザ           | 空文字列以外の文字列を指定できます。省略できません。  |
| 作成日時             | 文書を作成した日時  | システム          | -   |
| 更新日時             | 文書を作成した日時  | システム          | -   |
| 所有者名             | ログインユーザ名   | システム<br>/ ユーザ | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定できます。  |
| 所有者 ID           | ログインユーザ ID | システム<br>/ ユーザ | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定することで、それに対応するユーザ ID が設定されます。                             |
| 作成者名             | ログインユーザ名   | システム          | -   |
| 作成者 ID           | ログインユーザ ID | システム          | -   |
| 更新者名             | ログインユーザ名   | システム          | -   |
| 更新者 ID           | ログインユーザ ID | システム          | -   |
| バージョンコメント        | 空文字列       | ユーザ           | 任意の文字列を指定できます。  |
| プライマリグループ名       | 空文字列       | システム<br>/ ユーザ | 組織検索で検索した組織名、またはグループ検索で検索したグループ名を指定できます。                                  |
| プライマリグループ ID     | 空文字列       | システム<br>/ ユーザ | 組織検索で検索した組織名、またはグループ検索で検索したグループ名を指定することで、それに対応する組織 ID またはグループ ID が設定されます。 |
| 所有者パーミッション       | 「すべて」      | システム          | -   |
| プライマリグループパーミッション | 「すべて」      | システム          | -   |
| 全ユーザパーミッション      | 「すべて」      | システム          | -   |
| チェックアウト日時        | 0          | システム          | -   |
| チェックアウトユーザ名      | 空文字列       | システム          | -   |
| チェックアウトユーザ ID    | 空文字列       | システム          | -   |
| 登録文書ファイル名        | 空文字列       | システム<br>/ ユーザ | ファイル名を指定できます (パスは含みません)。  |

### 3. 文書管理モデル

| プロパティ           | デフォルトの設定値               | 設定者          | ユーザが設定できる値                     |
|-----------------|-------------------------|--------------|--------------------------------|
| 登録文書ファイルサイズ     | 0                       | システム<br>/ユーザ | 登録文書ファイル名に指定したファイルのサイズが設定されます。 |
| 登録文書のレンディションタイプ | 拡張子に対応するレンディション定義ファイルの値 | システム         | -                              |
| 共有 ACL          | 空文字列                    | システム         | -                              |
| バージョンing OIID   | バージョンingオブジェクトの OIID    | システム         | -                              |
| バージョン番号         | 1                       | システム         | -                              |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

システム/ユーザ：システムによってデフォルトの値が設定されていますが、ユーザが値を設定することもできるプロパティです。

-：設定できません。

#### (2) 文書のプロパティを更新する時に設定されるプロパティ

文書のプロパティを更新する時に設定されるプロパティについて、次の表に示します。なお、プロパティを更新する時に設定されるのは、バージョンingオブジェクトのプロパティだけです。バージョンオブジェクトのプロパティは設定されません。

表 3-5 文書のプロパティを更新する時に設定されるバージョンingオブジェクトのプロパティ

| プロパティ  | デフォルトの設定値    | 設定者  | ユーザが設定できる値         |
|--------|--------------|------|--------------------|
| 文書名    | 変更なし         | ユーザ  | 空文字列以外の文字列を指定できます。 |
| 更新日時   | プロパティを更新した日時 | システム | -                  |
| 更新者名   | ログインユーザ名     | システム | -                  |
| 更新者 ID | ログインユーザ ID   | システム | -                  |
| コメント   | 変更なし         | ユーザ  | 任意の文字列を指定できます。     |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

-：設定できません。

#### (3) 文書のアクセス権を更新する時に設定されるプロパティ

文書のアクセス権を更新する時に設定されるプロパティについて、次の表に示します。なお、アクセス権を更新する時に設定されるのは、バージョンingオブジェクトのプロパティだけです。バージョンオブジェクトのプロパティは設定されません。

表 3-6 文書のアクセス権を更新する時に設定されるバージョンingオブジェクトのプロパティ

| プロパティ  | デフォルトの設定値    | 設定者  | ユーザが設定できる値                                    |
|--------|--------------|------|---|
| 更新日時   | アクセス権を更新した日時 | システム | -   |
| 所有者名   | 変更なし         | ユーザ  | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定できます。                        |
| 所有者 ID | 変更なし         | ユーザ  | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定することで、それに対応するユーザ ID が設定されます。 |

| プロパティ            | デフォルトの設定値  | 設定者  | ユーザが設定できる値  |
|------------------|------------|------|---|
| 更新者名             | ログインユーザ名   | システム | -   |
| 更新者 ID           | ログインユーザ ID | システム | -   |
| プライマリグループ名       | 変更なし       | ユーザ  | 組織検索で検索した組織名, またはグループ検索で検索したグループ名を指定できます。                                   |
| プライマリグループ ID     | 変更なし       | ユーザ  | 組織検索で検索した組織名, またはグループ検索で検索したグループ名を指定することで, それに対応する組織 ID またはグループ ID が設定されます。 |
| 所有者パーミッション       | 変更なし       | ユーザ  | 「なし」以外の任意のパーミッションを指定できます。   |
| プライマリグループパーミッション | 変更なし       | ユーザ  | 任意のパーミッションを指定できます。  |
| 全ユーザパーミッション      | 変更なし       | ユーザ  | 任意のパーミッションを指定できます。  |
| 共有 ACL           | 変更なし       | ユーザ  | 共有 ACL 検索で検索した共有 ACL を指定できます。   |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

-：設定できません。

#### (4) 文書をチェックアウトする時に設定されるプロパティ

文書をチェックアウトする時に設定されるプロパティについて説明します。

バージョンングオブジェクトのプロパティについて, 次の表に示します。

表 3-7 文書をチェックアウトする時に設定されるバージョンングオブジェクトのプロパティ

| プロパティ         | デフォルトの設定値   | 設定者  | ユーザが設定できる値 |
|---------------|-------------|------|------------|
| チェックアウト日時     | チェックアウトした日時 | システム | -          |
| チェックアウトユーザ名   | ログインユーザ名    | システム | -          |
| チェックアウトユーザ ID | ログインユーザ ID  | システム | -          |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

-：設定できません。

バージョンオブジェクトのプロパティについて, 次の表に示します。ここで設定されるのは, チェックアウト時に作成された, 仮のバージョンのプロパティです。

表 3-8 文書をチェックアウトする時に設定されるバージョンオブジェクトのプロパティ

| プロパティ  | デフォルトの設定値   | 設定者  | ユーザが設定できる値 |
|--------|-------------|------|------------|
| 作成日時   | チェックアウトした日時 | システム | -          |
| 更新日時   | チェックアウトした日時 | システム | -          |
| 作成者名   | ログインユーザ名    | システム | -          |
| 作成者 ID | ログインユーザ ID  | システム | -          |
| 更新者名   | ログインユーザ名    | システム | -          |

### 3. 文書管理モデル

| プロパティ         | デフォルトの設定値   | 設定者  | ユーザが設定できる値 |
|---------------|-------------|------|------------|
| 更新者 ID        | ログインユーザ ID  | システム | -          |
| チェックアウト日時     | チェックアウトした日時 | システム | -          |
| チェックアウトユーザ名   | ログインユーザ名    | システム | -          |
| チェックアウトユーザ ID | ログインユーザ ID  | システム | -          |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

-：設定できません。

#### (5) 文書をチェックインする時に設定されるプロパティ

文書をチェックインする時に設定されるプロパティについて説明します。

バージョンングオブジェクトのプロパティについて、次の表に示します。

表 3-9 文書をチェックインする時に設定されるバージョンングオブジェクトのプロパティ

| プロパティ         | デフォルトの設定値         | 設定者  | ユーザが設定できる値                     |
|---------------|-------------------|------|--------------------------------|
| 文書名           | 変更なし              | ユーザ  | 空文字列以外の文字列を指定できます。             |
| 更新日時          | チェックインした日時        | システム | -                              |
| 更新者名          | ログインユーザ名          | システム | -                              |
| 更新者 ID        | ログインユーザ ID        | システム | -                              |
| コメント          | 変更なし              | ユーザ  | 任意の文字列を指定できます。                 |
| チェックアウト日時     | 0                 | システム | -                              |
| チェックアウトユーザ名   | 空文字列              | システム | -                              |
| チェックアウトユーザ ID | 空文字列              | システム | -                              |
| 登録文書ファイル名     | 変更なし              | ユーザ  | ファイル名を指定できます（パスは含みません）。        |
| 登録文書ファイルサイズ   | 変更なし              | ユーザ  | 登録文書ファイル名に指定したファイルのサイズが設定されます。 |
| バージョン番号       | チェックイン前の値に +1 した値 | システム | -                              |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

-：設定できません。

バージョンオブジェクトのプロパティについて、次の表に示します。

表 3-10 文書をチェックインする時に設定されるバージョンオブジェクトのプロパティ

| プロパティ     | デフォルトの設定値  | 設定者  | ユーザが設定できる値                |
|-----------|------------|------|---------------------------|
| バージョン名    | バージョン番号    | ユーザ  | 任意の文字列を指定できます。必ず指定してください。 |
| 更新日時      | チェックインした日時 | システム | -                         |
| 更新者名      | ログインユーザ名   | システム | -                         |
| 更新者 ID    | ログインユーザ ID | システム | -                         |
| バージョンコメント | 空文字列       | ユーザ  | 任意の文字列を指定できます。            |

| プロパティ           | デフォルトの設定値                  | 設定者  | ユーザが設定できる値                     |
|-----------------|----------------------------|------|--------------------------------|
| チェックアウト日時       | 0                          | システム | -                              |
| チェックアウトユーザ名     | 空文字列                       | システム | -                              |
| チェックアウトユーザ ID   | 空文字列                       | システム | -                              |
| 登録文書ファイル名       | 変更なし                       | ユーザ  | ファイル名を指定できます（パスは含みません）。        |
| 登録文書ファイルサイズ     | 変更なし                       | ユーザ  | 登録文書ファイル名に指定したファイルのサイズが設定されます。 |
| 登録文書のレンディションタイプ | 拡張子に対応するレンディション定義ファイルの値    | システム | -                              |
| バージョン番号         | 更新前のバージョンオブジェクトのバージョン番号 +1 | システム | -                              |

（凡例）

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

-：設定できません。

#### （6）文書のチェックアウトを取り消す時に設定されるプロパティ

文書のチェックアウトを取り消す時に設定されるバージョンオブジェクトのプロパティについて、次の表に示します。なお、文書のチェックアウトを取り消す時に設定されるのは、バージョンオブジェクトのプロパティだけです。バージョンオブジェクトのプロパティは設定されません。

表 3-11 文書のチェックアウトを取り消した時に設定されるバージョンオブジェクトのプロパティ

| プロパティ         | デフォルトの設定値 | 設定者  | ユーザが設定できる値 |
|---------------|-----------|------|------------|
| チェックアウト日時     | 0         | システム | -          |
| チェックアウトユーザ名   | 空文字列      | システム | -          |
| チェックアウトユーザ ID | 空文字列      | システム | -          |

（凡例）

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

-：設定できません。

#### （7）文書のバージョンを削除する時に設定されるプロパティ

文書のバージョンを削除する時に設定されるバージョンオブジェクトのプロパティについて、次の表に示します。なお、文書のバージョンを削除する時に設定されるのは、バージョンオブジェクトのプロパティだけです。バージョンオブジェクトのプロパティは設定されません。

表 3-12 文書のバージョンを削除する時に設定されるバージョンオブジェクトのプロパティ

| プロパティ     | デフォルトの設定値           | 設定者  | ユーザが設定できる値 |
|-----------|---------------------|------|------------|
| 更新日時      | 文書のバージョンを削除した日時     | システム | -          |
| 更新者名      | ログインユーザ名            | システム | -          |
| 更新者 ID    | ログインユーザ ID          | システム | -          |
| 登録文書ファイル名 | カレントバージョンの登録文書ファイル名 | システム | -          |

### 3. 文書管理モデル

| プロパティ       | デフォルトの設定値             | 設定者  | ユーザが設定できる値 |
|-------------|-----------------------|------|------------|
| 登録文書ファイルサイズ | カレントバージョンの登録文書ファイルサイズ | システム | -          |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

-：設定できません。

## 3.4.2 フォルダのプロパティに設定される値

ここでは、フォルダのプロパティに設定される値について説明します。

### (1) フォルダを作成する時に設定されるプロパティ

フォルダを作成する時に設定されるプロパティについて、次の表に示します。

表 3-13 フォルダを作成する時に設定されるプロパティ

| プロパティ            | デフォルトの設定値                         | 設定者        | ユーザが設定できる値  |
|------------------|-----------------------------------|------------|---|
| オブジェクト種別         | 3                                 | システム       | -   |
| フォルダ名            | (なし)                              | ユーザ        | 空文字列以外の文字列を指定できます。必ず指定してください。ルートフォルダの場合は、すでに存在しているルートフォルダのフォルダ名と重複しない名称を指定してください。 |
| 作成日時             | フォルダを作成した日時                       | システム       | -   |
| 更新日時             | フォルダを作成した日時                       | システム       | -   |
| 所有者名             | ログインユーザ名                          | システム / ユーザ | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定できます。  |
| 所有者 ID           | ログインユーザ ID                        | システム / ユーザ | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定することで、それに対応するユーザ ID が設定されます。                                     |
| 作成者名             | ログインユーザ名                          | システム       | -   |
| 作成者 ID           | ログインユーザ ID                        | システム       | -   |
| 更新者名             | ログインユーザ名                          | システム       | -   |
| 更新者 ID           | ログインユーザ ID                        | システム       | -   |
| コメント             | 空文字列                              | ユーザ        | 任意の文字列を指定できます。  |
| プライマリグループ名       | 空文字列                              | システム / ユーザ | 組織検索で検索した組織名、またはグループ検索で検索したグループ名を指定できます。  |
| プライマリグループ ID     | 空文字列                              | システム / ユーザ | 組織検索で検索した組織名、またはグループ検索で検索したグループ名を指定することで、それに対応する組織 ID またはグループ ID が設定されます。         |
| 所有者パーミッション       | 「すべて」                             | システム / ユーザ | 「なし」以外の任意のパーミッションを指定できます。   |
| プライマリグループパーミッション | 「更新」                              | システム / ユーザ | 任意のパーミッションを指定できます。  |
| 全ユーザパーミッション      | ルートフォルダの場合：リンク<br>ルートフォルダ以外の場合：参照 | システム / ユーザ | 任意のパーミッションを指定できます。  |

| プロパティ         | デフォルトの設定値 | 設定者  | ユーザが設定できる値                     |
|---------------|-----------|------|--------------------------------|
| チェックアウト日時     | 0         | システム | -                              |
| チェックアウトユーザ名   | 空文字列      | システム | -                              |
| チェックアウトユーザ ID | 空文字列      | システム | -                              |
| 登録文書ファイル名     | 空文字列      | システム | -                              |
| 登録文書ファイルサイズ   | 0         | システム | -                              |
| 共有 ACL        | 空文字列      | ユーザ  | 共有 ACL 検索で検索した共有 ACL 名を指定できます。 |
| バージョン番号       | 0         | システム | -                              |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

システム/ユーザ：システムによってデフォルトの値が設定されていますが、ユーザが値を設定することもできるプロパティです。

-：設定できません。

注 ルートフォルダの場合は 1 です。

## (2) フォルダを更新する時に設定されるプロパティ

フォルダを更新する時に設定されるプロパティについて、次の表に示します。

なお、フォルダの更新とは、フォルダのプロパティを更新すること、またはフォルダからほかのオブジェクトへのリンクを設定することです。

表 3-14 フォルダを更新する時に設定されるプロパティ

| プロパティ  | デフォルトの設定値   | 設定者  | ユーザが設定できる値   |
|--------|-------------|------|--|
| フォルダ名  | 変更なし        | ユーザ  | 空文字列以外の文字列を指定できます。ルートフォルダの場合は、すでに存在しているルートフォルダのフォルダ名と重複しない名称を指定してください。 |
| 更新日時   | フォルダを更新した日時 | システム | -  |
| 更新者名   | ログインユーザ名    | システム | -  |
| 更新者 ID | ログインユーザ ID  | システム | -  |
| コメント   | 変更なし        | ユーザ  | 任意の文字列を指定できます。   |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

-：設定できません。

## (3) フォルダのアクセス権を更新する時に設定されるプロパティ

フォルダのアクセス権を更新する時に設定されるプロパティについて、次の表に示します。

表 3-15 フォルダのアクセス権を更新する時に設定されるプロパティ

| プロパティ | デフォルトの設定値    | 設定者  | ユーザが設定できる値             |
|-------|--------------|------|------------------------|
| 更新日時  | アクセス権を更新した日時 | システム | -                      |
| 所有者名  | 変更なし         | ユーザ  | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定できます。 |

### 3. 文書管理モデル

| プロパティ            | デフォルトの設定値  | 設定者  | ユーザが設定できる値  |
|------------------|------------|------|---|
| 所有者 ID           | 変更なし       | ユーザ  | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定することで、それに対応するユーザ ID が設定されます。                             |
| 更新者名             | ログインユーザ名   | システム | -   |
| 更新者 ID           | ログインユーザ ID | システム | -   |
| プライマリグループ名       | 変更なし       | ユーザ  | 組織検索で検索した組織名、またはグループ検索で検索したグループ名を指定できます。                                  |
| プライマリグループ ID     | 変更なし       | ユーザ  | 組織検索で検索した組織名、またはグループ検索で検索したグループ名を指定することで、それに対応する組織 ID またはグループ ID が設定されます。 |
| 所有者パーミッション       | 変更なし       | ユーザ  | 「なし」以外の任意のパーミッションを指定できます。   |
| プライマリグループパーミッション | 変更なし       | ユーザ  | 任意のパーミッションを指定できます。  |
| 全ユーザパーミッション      | 変更なし       | ユーザ  | 任意のパーミッションを指定できます。  |
| 共有 ACL           | 変更なし       | ユーザ  | 任意の共有 ACL を指定できます。  |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

-：設定できません。

### 3.4.3 共有 ACL のプロパティに設定される値

ここでは、共有 ACL に設定される値について説明します。

#### (1) 共有 ACL を作成する時に設定されるプロパティ

共有 ACL を作成する時に設定されるプロパティについて、次の表に示します。

表 3-16 共有 ACL を作成する時に設定されるプロパティ

| プロパティ    | デフォルトの設定値  | 設定者        | ユーザが設定できる値                                    |
|----------|------------|------------|---|
| オブジェクト種別 | 16         | システム       | -   |
| 共有 ACL 名 | (なし)       | ユーザ        | 空文字列以外の文字列を指定できます。必ず指定してください。                 |
| 作成日時     | 作成した日時     | システム       | -   |
| 更新日時     | 作成した日時     | システム       | -   |
| 所有者名     | ログインユーザ名   | システム / ユーザ | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定できます。                        |
| 所有者 ID   | ログインユーザ ID | システム / ユーザ | ユーザ検索で検索したユーザ名を指定することで、それに対応するユーザ ID が設定されます。 |
| 作成者名     | ログインユーザ名   | システム       | -   |
| 作成者 ID   | ログインユーザ ID | システム       | -   |
| 更新者名     | ログインユーザ名   | システム       | -   |
| 更新者 ID   | ログインユーザ ID | システム       | -   |

| プロパティ | デフォルトの設定値 | 設定者          | ユーザが設定できる値                           |
|-------|-----------|--------------|--------------------------------------|
| コメント  | 空文字列      | ユーザ          | 任意の文字列を指定できます。                       |
| ACL   | 空文字列      | システム<br>/ユーザ | サブジェクトの追加, 削除, およびパーミッションの変更を指定できます。 |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

システム/ユーザ：システムによってデフォルトの値が設定されていますが、ユーザが値を設定することもできるプロパティです。

-：設定できません。

## (2) 共有 ACL のプロパティを更新する時に設定されるプロパティ

共有 ACL のプロパティを更新する時に設定されるプロパティについて、次の表に示します。

表 3-17 共有 ACL のプロパティを更新する時に設定されるプロパティ

| プロパティ    | デフォルトの設定値  | 設定者          | ユーザが設定できる値                           |
|----------|------------|--------------|--------------------------------------|
| 共有 ACL 名 | 変更なし       | ユーザ          | 空文字列以外の任意の文字列を指定できます。                |
| 更新日時     | 更新した日時     | システム         | -                                    |
| 更新者名     | ログインユーザ名   | システム         | -                                    |
| 更新者 ID   | ログインユーザ ID | システム         | -                                    |
| コメント     | 変更なし       | ユーザ          | 任意の文字列を指定できます。                       |
| ACL      | 変更なし       | システム<br>/ユーザ | サブジェクトの追加, 削除, およびパーミッションの変更を指定できます。 |

(凡例)

システム：システムによって値が設定されるプロパティです。ユーザは設定できません。

ユーザ：ユーザが値を設定できるプロパティです。

システム/ユーザ：システムによってデフォルトの値が設定されていますが、ユーザが値を設定することもできるプロパティです。

-：設定できません。

## 3.5 サンプル Web アプリケーションで扱うメタ情報定義

サンプル Web アプリケーションで扱う文書空間オブジェクトのメタ情報定義について説明します。

サンプル Web アプリケーションで扱うメタ情報の定義情報ファイルの提供先については、「2.1.1 提供されるファイルの格納先」を参照してください。

### 3.5.1 dwcClass\_Folder\_c クラス

フォルダのトップオブジェクトクラスであり、edmClass\_ContainerVersion クラスのサブクラスです。

次の表に示すプロパティが追加定義されています。

表 3-18 dwcClass\_Folder\_c クラスのプロパティ

| プロパティ名                      | データ型  | 文字列の最大長<br>(バイト) | 説明              |
|-----------------------------|-------|------------------|-----------------|
| dwcProp_Attr                | INT 型 | -                | オブジェクト種別        |
| dwcProp_Name                | STR 型 | 255              | フォルダ名 (オブジェクト名) |
| dwcProp_Creator             | STR 型 | 255              | 作成者 ID          |
| dwcProp_Modifier            | STR 型 | 255              | 更新者 ID          |
| dwcProp_DisplayOwner        | STR 型 | 255              | 所有者名            |
| dwcProp_DisplayCreator      | STR 型 | 255              | 作成者名            |
| dwcProp_DisplayModifier     | STR 型 | 255              | 更新者名            |
| dwcProp_CreateTime          | INT 型 | -                | 作成日時 (通算秒)      |
| dwcProp_ModifyTime          | INT 型 | -                | 更新日時 (通算秒)      |
| dwcProp_Comment             | STR 型 | 255              | コメント            |
| dwcProp_DisplayPrimaryGroup | STR 型 | 255              | プライマリグループ名      |
| dwcProp_ReservedUser        | STR 型 | 255              | 未使用 ("")        |
| dwcProp_DisplayReservedUser | STR 型 | 255              | 未使用 ("")        |
| dwcProp_CheckOutTime        | INT 型 | -                | 未使用 (0)         |
| dwcProp_DocName             | STR 型 | 255              | 未使用 ("")        |
| dwcProp_FileSize            | INT 型 | -                | 未使用 (0)         |
| dwcProp_VersionNumber       | INT 型 | -                | 未使用 (0)         |

(凡例)

- : 該当しません。

### 3.5.2 dwcClass\_VerDoc\_ch クラス

文書のバージョンングオブジェクトのトップオブジェクトクラスであり、dmaClass\_ConfigurationHistory クラスのサブクラスです。

次の表に示すプロパティが追加定義されています。

表 3-19 dwcClass\_VerDoc\_ch のプロパティ

| プロパティ名                      | データ型  | 文字列の最大長<br>(バイト) | 説明                    |
|-----------------------------|-------|------------------|-----------------------|
| dwcProp_Attr                | INT 型 | -                | オブジェクト種別              |
| dwcProp_Name                | STR 型 | 255              | 文書名 (オブジェクト名)         |
| dwcProp_Creator             | STR 型 | 255              | 作成者 ID                |
| dwcProp_Modifier            | STR 型 | 255              | 更新者 ID                |
| dwcProp_DisplayOwner        | STR 型 | 255              | 所有者名                  |
| dwcProp_DisplayCreator      | STR 型 | 255              | 作成者名                  |
| dwcProp_DisplayModifier     | STR 型 | 255              | 更新者名                  |
| dwcProp_CreateTime          | INT 型 | -                | 作成日時 (通算秒)            |
| dwcProp_ModifyTime          | INT 型 | -                | 更新日時 (通算秒)            |
| dwcProp_Comment             | STR 型 | 255              | コメント                  |
| dwcProp_DisplayPrimaryGroup | STR 型 | 255              | プライマリグループ名            |
| dwcProp_ReservedUser        | STR 型 | 255              | チェックアウトユーザ ID         |
| dwcProp_DisplayReservedUser | STR 型 | 255              | チェックアウトユーザ名           |
| dwcProp_CheckOutTime        | INT 型 | -                | チェックアウト日時 (通算秒)       |
| dwcProp_DocName             | STR 型 | 255              | 登録文書ファイル名 (カレントバージョン) |
| dwcProp_FileSize            | INT 型 | -                | 登録文書ファイルサイズ           |
| dwcProp_VersionNumber       | INT 型 | -                | バージョン番号               |

(凡例)

- : 該当しません。

### 3.5.3 dwcClass\_VerDoc\_dv クラス

文書のバージョンオブジェクトのトップオブジェクトクラスであり、  
edmClass\_VersionTracedComponentDocVersion クラスのサブクラスです。

次の表に示すプロパティが追加定義されています。

表 3-20 dwcClass\_VerDoc\_dv のプロパティ

| プロパティ名                  | データ型  | 文字列の最大長<br>(バイト) | 説明               |
|-------------------------|-------|------------------|------------------|
| dwcProp_Attr            | INT 型 | 255              | オブジェクト種別         |
| dwcProp_Name            | STR 型 | 255              | バージョン名 (オブジェクト名) |
| dwcProp_Creator         | STR 型 | 255              | バージョンの作成者 ID     |
| dwcProp_Modifier        | STR 型 | 255              | バージョンの更新者 ID     |
| dwcProp_DisplayOwner    | STR 型 | 255              | バージョンの所有者名       |
| dwcProp_DisplayCreator  | STR 型 | 255              | バージョンの作成者名       |
| dwcProp_DisplayModifier | STR 型 | 255              | バージョンの更新者名       |
| dwcProp_CreateTime      | INT 型 | -                | バージョンの作成日時 (通算秒) |

### 3. 文書管理モデル

| プロパティ名                      | データ型  | 文字列の最大長<br>(バイト) | 説明                               |
|-----------------------------|-------|------------------|----------------------------------|
| dwcProp_ModifyTime          | INT 型 | -                | バージョンの更新日時 (通算秒)                 |
| dwcProp_Comment             | STR 型 | 255              | バージョンコメント                        |
| dwcProp_DisplayPrimaryGroup | STR 型 | 255              | バージョンのプライマリグループ名                 |
| dwcProp_ReservedUser        | STR 型 | 255              | チェックアウトユーザ ID                    |
| dwcProp_DisplayReservedUser | STR 型 | 255              | チェックアウトユーザ名                      |
| dwcProp_CheckOutTime        | INT 型 | -                | チェックアウト日時 (通算秒)                  |
| dwcProp_DocName             | STR 型 | 255              | 登録文書ファイル名                        |
| dwcProp_FileSize            | INT 型 | -                | 登録文書ファイルサイズ                      |
| dwcProp_VersionNumber       | INT 型 | -                | バージョン番号                          |
| dwcProp_VersioningOIID      | STR 型 | 16               | バージョンを含む文書の OIID (バージョンニング OIID) |
| edmProp_TextIndex           | -     | -                | 全文検索用プロパティ                       |
| edmProp_Score               | -     | -                | 全文検索用プロパティ                       |
| edmProp_RawScore            | -     | -                | 全文検索用プロパティ                       |
| edmProp_DocLength           | -     | -                | 全文検索用プロパティ                       |
| edmProp_ContentIndexStatus  | -     | -                | 全文検索用プロパティ                       |

(凡例)

- : 該当しません。

#### 3.5.4 edmClass\_PublicACL クラス

共有 ACL のトップオブジェクトクラスです。DocumentBroker で提供している edmClass\_PublicACL クラスに、プロパティを追加定義したクラスです。

次の表に示すプロパティが追加定義されています。

表 3-21 edmClass\_PublicACL クラスのプロパティ

| プロパティ名                  | データ型  | 文字列の最大長<br>(バイト) | 説明                 |
|-------------------------|-------|------------------|--------------------|
| dwcProp_Attr            | INT 型 | -                | オブジェクト種別           |
| dwcProp_Name            | STR 型 | 255              | 共有 ACL 名 (オブジェクト名) |
| dwcProp_Creator         | STR 型 | 255              | 作成者 ID             |
| dwcProp_Modifier        | STR 型 | 255              | 更新者 ID             |
| dwcProp_DisplayCreator  | STR 型 | 255              | 作成者名               |
| dwcProp_DisplayOwner    | STR 型 | 255              | 所有者名               |
| dwcProp_DisplayModifier | STR 型 | 255              | 更新者名               |
| dwcProp_CreateTime      | INT 型 | -                | 作成日時 (通算秒)         |
| dwcProp_ModifyTime      | INT 型 | -                | 更新日時 (通算秒)         |
| dwcProp_Comment         | STR 型 | 255              | コメント               |

(凡例)

- : 該当しません。



# 4

## 操作の前に知っておくこと

この章では、サンプル Web アプリケーションを操作する前に知っておく必要がある、画面の構成や、基本的な操作の方法について説明します。

---

4.1 サンプル Web アプリケーションの画面構成

---

4.2 画面・メッセージダイアログの種類と画面遷移

---

4.3 基本的な操作方法

---

4.4 実行できる操作とアクセス権の関係

---

## 4.1 サンプル Web アプリケーションの画面構成

---

サンプル Web アプリケーションでは、次の 2 種類のウィンドウを使用します。

メインウィンドウ

サブウィンドウ

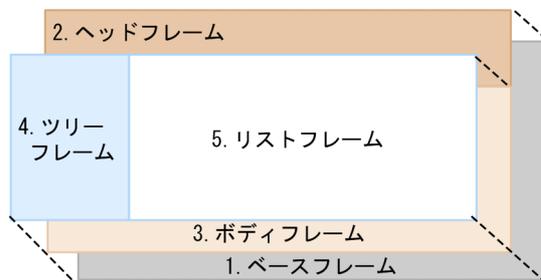
### 4.1.1 メインウィンドウ

メインウィンドウのフレーム構成と画面の種類について説明します。

#### (1) フレーム構成

メインウィンドウのフレーム構成を、次に示します。

図 4-1 メインウィンドウのフレーム構成



1. ベースフレーム  
フレームが一つの場合（フレーム分割されていない状態）のフレームです。
2. ヘッドフレーム  
フレームが二つ以上の場合に、上部に表示されるフレームです。「4.3.1 メニューからの操作方法」で説明するメニューが表示されます。
3. ボディフレーム  
フレームが二つ以上の場合に、下部に表示されるフレームです。
4. ツリーフレーム  
フレームが三つ以上の場合、下部左に表示されるフレームです。
5. リストフレーム  
フレームが三つ以上の場合、下部右に表示されるフレームです。  
また、セキュリティ管理者が共有 ACL を操作する場合、リストフレームが上下に二分割されることがあります。

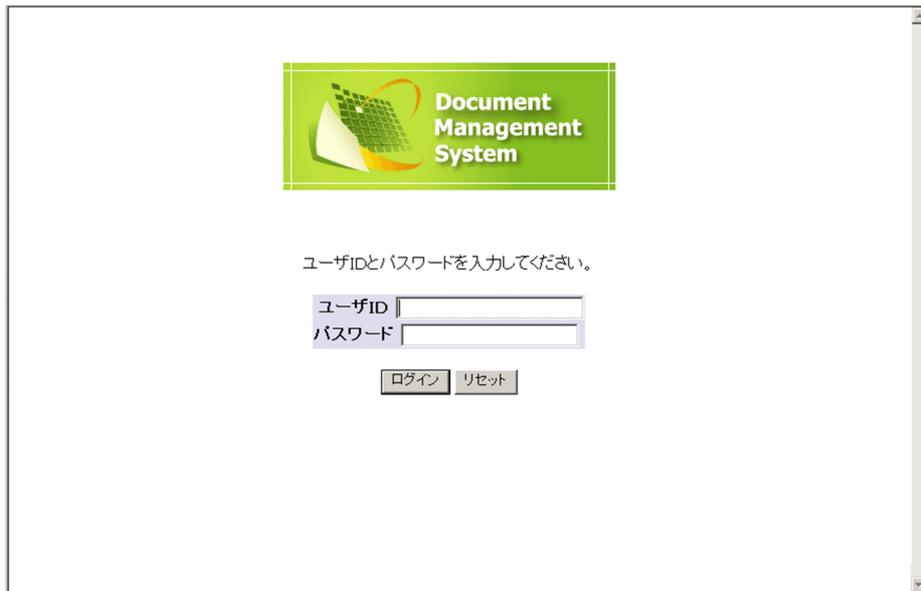
#### (2) 画面の種類

メインウィンドウの画面の種類について説明します。

シングル画面

ベースフレームだけで構成される画面です。

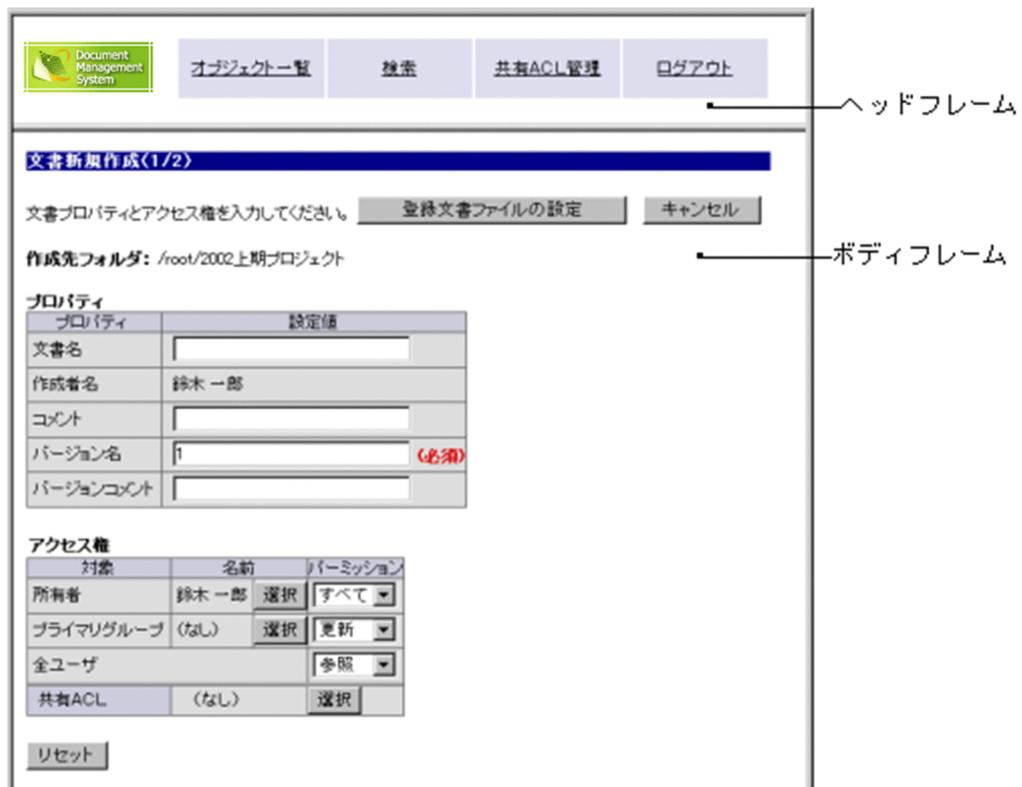
図 4-2 シングル画面の例



## 2 分割画面

ヘッドフレームとボディフレームで構成される画面です。

図 4-3 2 分割画面の例



## 3 分割画面

ヘッドフレーム，ツリーフレーム，およびリストフレームで構成される画面です。

4. 操作の前に知っておくこと

図 4-4 3 分割画面の例

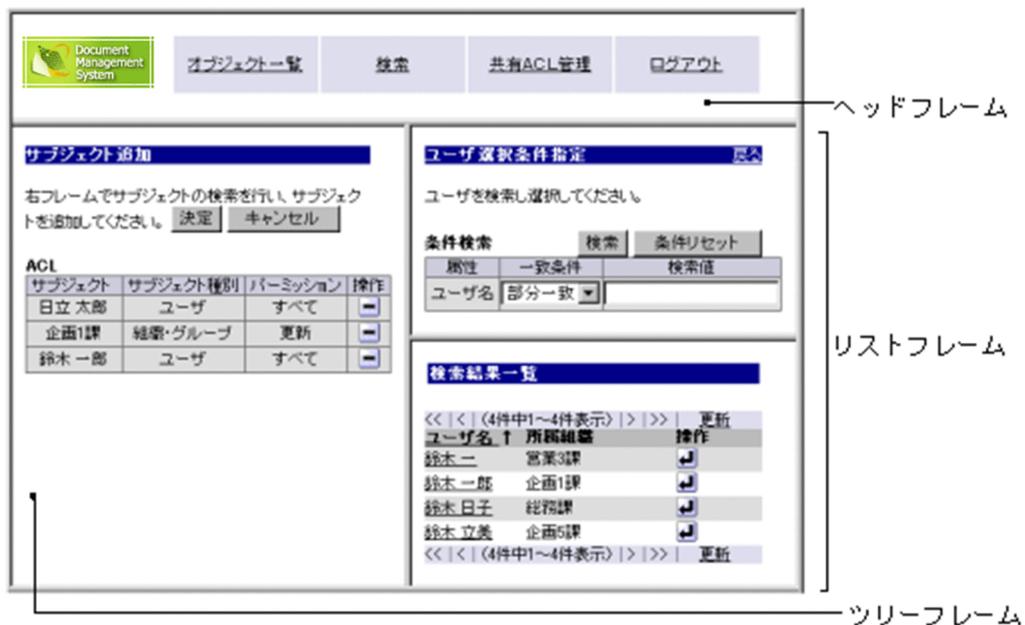


4 分割画面

ヘッドフレーム，ツリーフレーム，リストフレームから構成され，リストフレームが上下に分割されている画面です。

セキュリティ管理者が共有 ACL を操作する時に表示されます。

図 4-5 4 分割画面の例



4.1.2 サブウィンドウ

サブウィンドウのフレーム構成と画面の種類について説明します。

## (1) フレーム構成

サブウィンドウのフレーム構成を、次に示します。

図 4-6 サブウィンドウのフレーム構成



1. ベースフレーム  
サブウィンドウのフレームが一つの場合（フレームが分割されていない状態）のフレームです。
2. アップフレーム  
サブウィンドウのフレームが二つ以上の場合に、上部に表示されるフレームです。
3. ダウンフレーム  
サブウィンドウのフレームが二つ以上の場合に、下部に表示されるフレームです。

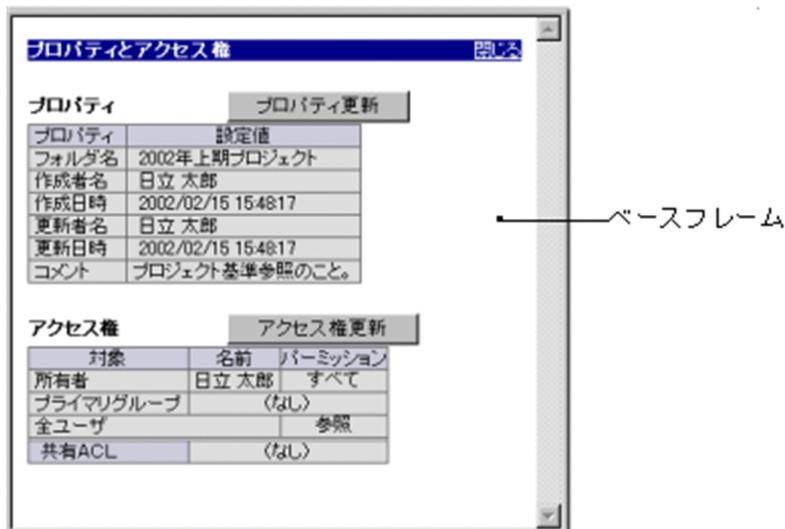
## (2) 画面の種類

サブウィンドウの画面の種類について説明します。

シングル画面（サブウィンドウ）

ベースフレームだけで構成される画面です。

図 4-7 シングル画面（サブウィンドウ）

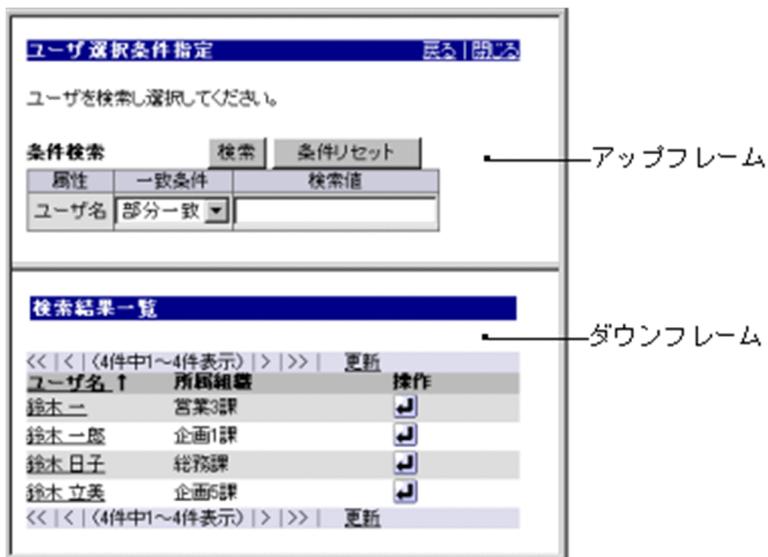


2分割画面（サブウィンドウ）

アップフレームとダウンフレームで構成される画面です。

4. 操作の前に知っておくこと

図 4-8 2分割画面 (サブウィンドウ)



## 4.2 画面・メッセージダイアログの種類と画面遷移

サンプル Web アプリケーションの画面・メッセージダイアログの種類と画面遷移について説明します。

### 4.2.1 画面とメッセージダイアログの種類

ここでは、画面とメッセージダイアログの種類について説明します。

#### (1) サンプル Web アプリケーションの画面の種類

サンプル Web アプリケーションで表示される画面の種類を次の表に示します。それぞれの画面での操作方法の詳細については、「5. 操作」を参照してください。

表 4-1 画面の種類

| 画面名           | 説明  | この画面での操作   |
|---------------|---|--|
| アクセス権更新       | 文書またはフォルダに設定されたアクセス権を更新する画面です。  | • 5.10 アクセス権を更新する  |
| エラー           | サンプル Web アプリケーションの操作実行時にエラーが発生した場合に表示される画面です。DocumentBroker クラスライブラリのエラーが発生した場合や、内部処理でエラーが発生した場合に表示されます。エラー内容を示すメッセージが表示されます。   | -  |
| エントリ          | URL「http://ホスト名/dbjsample」を指定すると表示される画面です。ログイン画面を表示するための画面です。   | • 5.1 ログインとログアウト   |
| オブジェクト一覧      | カレントフォルダの下位にリンク付けられている文書およびフォルダの一覧を表示する画面です。この画面から、文書やフォルダのプロパティやアクセス権の参照、文書のコンテンツの参照、文書のバージョンの追加、文書やフォルダの削除などができます。<br>なお、この画面をリストフレームに表示して、ツリーフレームに「フォルダツリー」画面を表示した画面を、合わせてフォルダ内容表示画面といえます。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.2 フォルダの内容（オブジェクト一覧）を表示する</li> <li>• 5.3 文書またはフォルダを作成する</li> <li>• 5.5 文書のコンテンツを表示する</li> <li>• 5.6 文書のバージョンを追加する</li> <li>• 5.7 文書、フォルダ、または文書のバージョンを削除する</li> <li>• 5.8 プロパティとアクセス権を参照する</li> </ul> |
| 共有 ACL 検索条件指定 | セキュリティ管理者が共有 ACL を編集する時に、検索条件を指定して共有 ACL を検索する画面です。<br>なお、この画面をツリーフレームに表示して、リストフレームにブランク画面または「検索結果一覧」画面を表示した画面を、合わせて共有 ACL 検索画面といえます。   | • 5.11 共有 ACL を管理する  |
| 共有 ACL 更新     | 共有 ACL のプロパティおよび ACL を更新する画面です。   | • 5.11 共有 ACL を管理する  |
| 共有 ACL 新規作成   | 共有 ACL を新規に作成する時に、共有 ACL のプロパティおよび ACL を設定する画面です。   | • 5.11 共有 ACL を管理する  |
| 共有 ACL 選択条件指定 | 文書またはフォルダにバインドする共有 ACL を、検索条件を指定して検索する画面です。<br>なお、この画面をツリーフレームに表示して、リストフレームにブランク画面または「検索結果一覧」画面を表示した画面を、合わせて共有 ACL 選択画面といえます。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.3 文書またはフォルダを作成する</li> <li>• 5.10 アクセス権を更新する</li> <li>• 5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する</li> </ul>  |

#### 4. 操作の前に知っておくこと

| 画面名              | 説明   | この画面での操作   |
|------------------|--|--|
| 共有 ACL 表示        | 共有 ACL のプロパティを表示する画面です。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.11 共有 ACL を管理する</li> </ul>  |
| グループ選択条件指定       | アクセス権を与えるグループを、検索条件を指定して検索する画面です。<br>なお、この画面をツリーフレームに表示して、リストフレームにブランク画面または「検索結果一覧」画面を表示した画面を、合わせてグループ選択画面といいます。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.3 文書またはフォルダを作成する</li> <li>• 5.10 アクセス権を更新する</li> <li>• 5.11 共有 ACL を管理する</li> <li>• 5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する</li> </ul>   |
| 検索結果一覧           | 各検索結果を一覧で表示する画面です。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.4 文書またはフォルダを検索する</li> <li>• 5.5 文書のコンテンツを表示する</li> <li>• 5.7 文書、フォルダ、または文書のバージョンを削除する</li> <li>• 5.8 プロパティとアクセス権を参照する</li> <li>• 5.11 共有 ACL を管理する</li> <li>• 5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する</li> </ul> |
| サブジェクト追加         | 共有 ACL に設定するサブジェクトを追加する画面です。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.11 共有 ACL を管理する</li> <li>• 5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する</li> </ul>  |
| 全文検索条件指定         | 文書を、検索条件を指定して検索する画面です。<br>なお、この画面をツリーフレームに表示して、リストフレームにブランク画面または「検索結果一覧」画面を表示した画面を、合わせて全文検索画面といいます。                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.4 文書またはフォルダを検索する</li> </ul>   |
| 組織選択条件指定         | アクセス権を与える組織を、検索条件を指定して検索する画面です。<br>なお、この画面をツリーフレームに表示して、リストフレームにブランク画面または「検索結果一覧」画面を表示した画面を、合わせて組織選択画面といいます。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.3 文書またはフォルダを作成する</li> <li>• 5.10 アクセス権を更新する</li> <li>• 5.11 共有 ACL を管理する</li> <li>• 5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する</li> </ul>   |
| チェックアウト結果        | チェックアウトの結果を表示する画面です。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.6 文書のバージョンを追加する</li> </ul>  |
| チェックアウト中文書検索条件指定 | チェックアウト中の文書を、検索条件を指定して検索する画面です。<br>なお、この画面をツリーフレームに表示して、リストフレームにブランク画面または「検索結果一覧」画面を表示した画面を、合わせてチェックアウト中文書検索画面といいます。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.4 文書またはフォルダを検索する</li> </ul>   |
| チェックイン ( 1/2 )   | 文書をチェックインする時に、新しいバージョンのプロパティを設定する画面です。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.6 文書のバージョンを追加する</li> </ul>  |
| チェックイン ( 2/2 )   | 文書をチェックインする時に、新しいバージョンにコンテンツとして登録するファイルおよび全文検索インデックスの作成方法を設定する画面です。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.6 文書のバージョンを追加する</li> </ul>  |
| チェックイン完了         | チェックインが完了したことを表示する画面です。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.6 文書のバージョンを追加する</li> </ul>  |
| バージョン一覧          | 文書のバージョンの一覧を表示する画面です。<br>この画面から、バージョンのプロパティやコンテンツを参照したり、バージョンを削除したりできます。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.7 文書、フォルダ、または文書のバージョンを削除する</li> <li>• 5.8 プロパティとアクセス権を参照する</li> </ul>   |
| バージョンプロパティ       | バージョンプロパティを表示する画面です。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.8 プロパティとアクセス権を参照する</li> </ul>   |

| 画面名         | 説明  | この画面での操作   |
|-------------|---|--|
| フォルダツリー     | ルートフォルダを頂点とした、フォルダの階層構造を表示する画面です。各フォルダは、階層に応じてインデントが付けられて表示されます。それぞれのフォルダで、下位フォルダの表示/非表示が切り替えられます。フォルダ名のアンカーをクリックすると、リストフレームにカレントフォルダの内容が表示されます。                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.2 フォルダの内容（オブジェクト一覧）を表示する</li> </ul>   |
| フォルダ検索条件指定  | フォルダを、検索条件を指定して検索する画面です。なお、この画面をツリーフレームに表示して、リストフレームにブランク画面または「検索結果一覧」画面を表示した画面を、合わせてフォルダ検索画面といいます。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.4 文書またはフォルダを検索する</li> </ul>   |
| フォルダ新規作成    | フォルダを新規に作成する時に、フォルダのプロパティおよびアクセス権を設定する画面です。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.3 文書またはフォルダを作成する</li> </ul>   |
| ブランク        | 検索を実行する前のリストフレームなど、何も表示されない画面です。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.4 文書またはフォルダを検索する</li> <li>5.10 アクセス権を更新する</li> <li>5.11 共有 ACL を管理する</li> <li>5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する</li> </ul> |
| プロパティとアクセス権 | 文書またはフォルダのプロパティとアクセス権を参照する画面です。参照後、更新処理に移ることもできます。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.8 プロパティとアクセス権を参照する</li> </ul>   |
| プロパティ更新     | 文書またはフォルダのプロパティを更新する画面です。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.9 プロパティを更新する</li> </ul>   |
| 文書新規作成（1/2） | 文書を新規に作成する時に、文書のプロパティおよびアクセス権を設定する画面です。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.3 文書またはフォルダを作成する</li> </ul>   |
| 文書新規作成（2/2） | 文書を新規に作成する時に、文書にコンテンツとして登録するファイルおよび全文検索インデックスの作成方法を設定する画面です。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.3 文書またはフォルダを作成する</li> </ul>   |
| メニュー        | ログインしている間、常にヘッドフレームに表示されている画面です。次のアンカーが表示されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>オブジェクト一覧</li> <li>検索</li> <li>共有 ACL 管理（セキュリティ管理者の場合）</li> <li>ログアウト</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>5 章（全体）</li> </ul>  |
| ユーザ情報       | ユーザ選択条件指定検索の結果で表示されたユーザの情報を参照する画面です。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する</li> </ul>   |
| ユーザ選択条件指定   | アクセス権を与えるユーザを、検索条件を指定して検索する画面です。なお、この画面をツリーフレームに表示して、リストフレームにブランク画面または「検索結果一覧」画面を表示した画面を、合わせてユーザ選択画面といいます。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.3 文書またはフォルダを作成する</li> <li>5.10 アクセス権を更新する</li> <li>5.11 共有 ACL を管理する</li> <li>5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する</li> </ul> |
| ログアウト       | サンプル Web アプリケーションからのログアウト結果を表示する画面です。再ログインも実行できます。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.1 ログインとログアウト</li> </ul>   |
| ログイン        | ユーザ ID とパスワードを指定して、サンプル Web アプリケーションにログインする画面です。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>5.1 ログインとログアウト</li> </ul>   |

#### 4. 操作の前に知っておくこと

### (2) 操作の確認と結果を表示するメッセージダイアログ

オブジェクトを削除する時や、チェックアウトを実行する時など、操作を確認するメッセージダイアログが表示されます。メッセージの内容を確認して、操作を続ける場合は「OK」を、操作を中止する場合は「キャンセル」をクリックしてください。

操作を確認するメッセージダイアログの例を次に示します

図 4-9 操作を確認するメッセージダイアログの例



また、オブジェクトの作成や削除が完了した場合など、操作結果を表すメッセージダイアログが表示されます。メッセージの内容を確認して、「OK」をクリックしてください。

操作結果を表すメッセージダイアログの例を次に示します

図 4-10 操作結果を表すメッセージダイアログの例



## 4.2.2 画面遷移

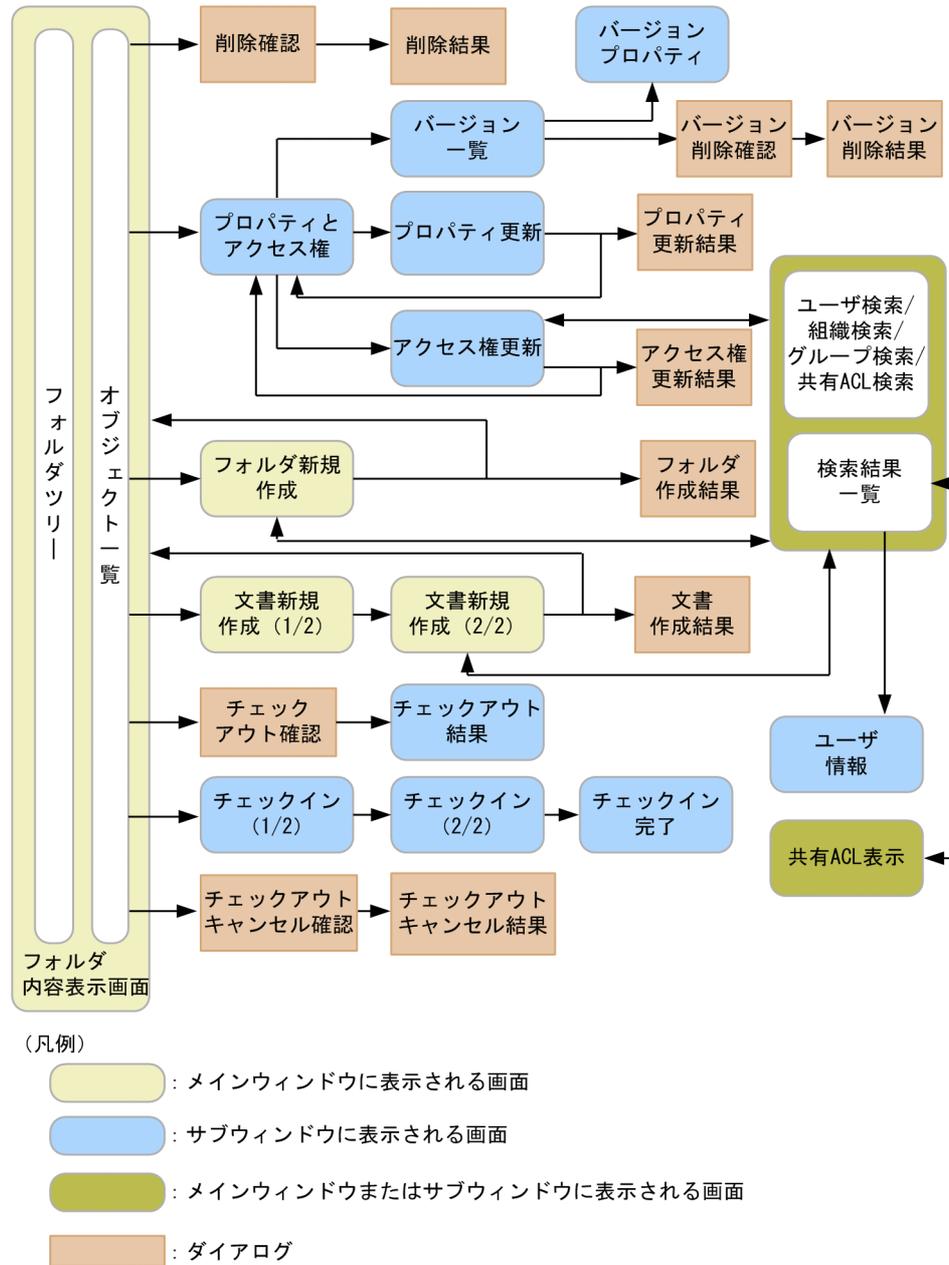
サンプル Web アプリケーションの画面遷移について、メニューごとに説明します。

### (1) 「オブジェクト一覧」アンカーからの画面遷移

ここでは、メニューの「オブジェクト一覧」アンカーをクリックすると表示される「オブジェクト一覧」画面からの遷移を示します。「オブジェクト一覧」アンカーをクリックすると、ツリーフレームに「フォルダツリー」画面、リストフレームに「オブジェクト一覧」画面が表示されます。この二つの画面からの画面遷移を、次の図に示します。

なお、それぞれの画面が表示されるフレームについては、「5. 操作」の説明を参照してください。

図 4-11 「オブジェクト一覧」アンカーからの画面遷移

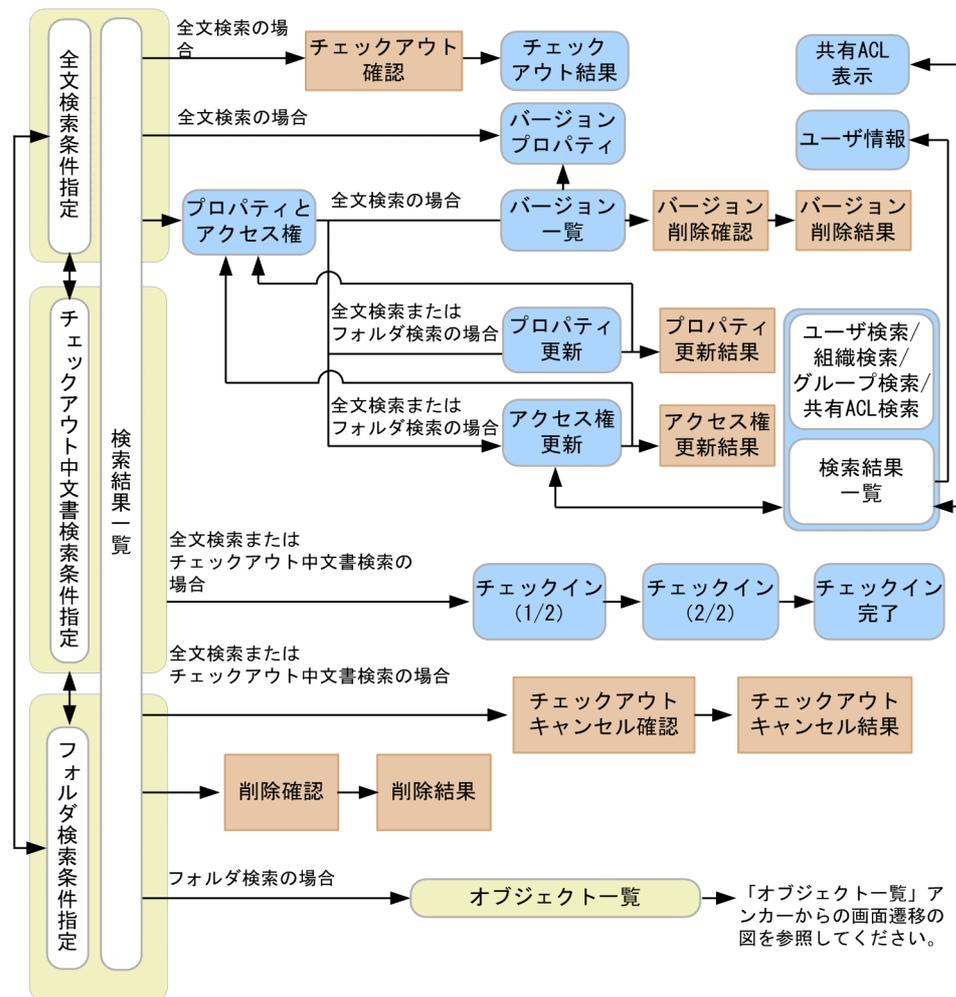


(2) 「検索」アンカーからの画面遷移

ここでは、メニューの「検索」アンカーをクリックすると表示される「全文検索条件指定」画面からの遷移を示します。「検索」アンカーをクリックすると、ツリーフレームに「全文検索条件指定」画面、リストフレームにブランク画面が表示されます。この二つの画面からの画面遷移を、次の図に示します。

なお、それぞれの画面が表示されるフレームについては、「5. 操作」の説明を参照してください。

図 4-12 「検索」アンカーからの画面遷移



(凡例)

- : メインウィンドウに表示される画面
- : サブウィンドウに表示される画面
- : ダイアログ

全文検索の場合 :

全文検索の「検索結果一覧」画面からの遷移

全文検索またはチェックアウト中文書検索の場合 :

全文検索またはチェックアウト中文書検索の「検索結果一覧」画面からの遷移

全文検索またはフォルダ検索の場合 :

全文検索またはフォルダ検索の「検索結果一覧」画面からの遷移

フォルダ検索の場合 :

フォルダ検索の「検索結果一覧」画面からの遷移

(説明なし) :

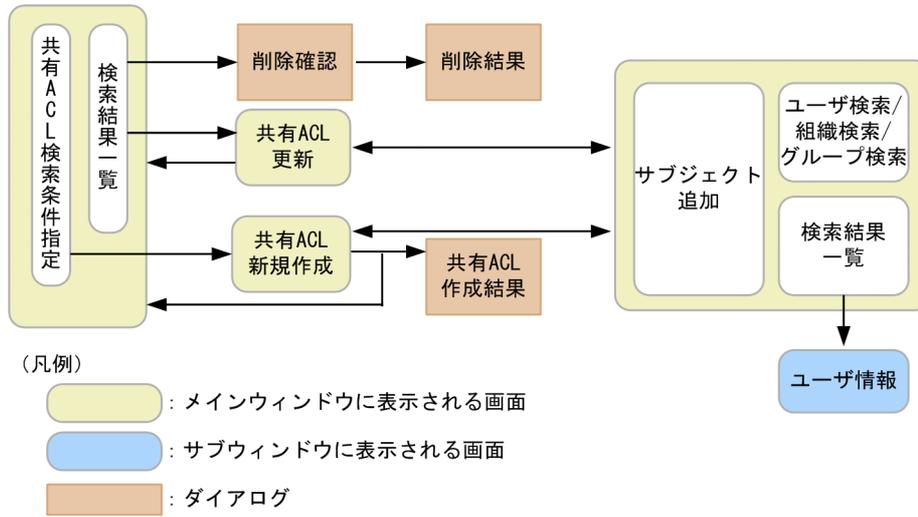
全文検索、チェックアウト中文書検索またはフォルダ検索の「検索結果一覧」画面からの遷移

### (3) 「共有 ACL 管理」アンカーからの画面遷移

ここでは、メニューの「共有 ACL 管理」アンカーをクリックすると表示される「共有 ACL 検索条件指定」画面からの遷移を示します。「共有 ACL 管理」アンカーは、セキュリティ管理者がログインした場合にだけ表示されます。「共有 ACL 管理」アンカーをクリックすると、ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面、リストフレームにブランク画面が表示されます。この二つの画面からの画面遷移を、次の図に示します。

それぞれの画面が表示されるフレームについては、「5. 操作」の説明を参照してください。

図 4-13 「共有 ACL 管理」アンカーからの画面遷移



## 4.3 基本的な操作方法

サンプル Web アプリケーションの基本的な操作方法について説明します。

### 4.3.1 メニューからの操作方法

ログイン後の画面で、ヘッドフレームに表示されるアンカー群のことをメニューといいます。メニューに表示されるアンカーの種類は、ログインしたユーザがセキュリティ管理者かそれ以外のユーザかで異なります。

セキュリティ管理者の場合に表示されるメニューを次に示します。なお、セキュリティ管理者以外の場合には、「共有 ACL 管理」アンカーは表示されません。

図 4-14 メニュー



#### 「オブジェクト一覧」アンカー

フォルダ内容表示画面を表示します。

フォルダ内容表示画面では、ツリーフレームに「フォルダツリー」画面が、リストフレームに「オブジェクト一覧」画面が表示されます。

#### 「検索」アンカー

全文検索画面を表示します。

全文検索画面では、ツリーフレームに「全文検索条件指定」画面が、リストフレームにブランク画面が表示されます。

#### 「共有 ACL 管理」アンカー

共有 ACL 検索画面を表示します。

共有 ACL 検索画面では、ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面が、リストフレームにブランク画面が表示されます。

セキュリティ管理者の場合にだけ表示されるアンカーです。

#### 「ログアウト」アンカー

シングル画面になり、ベースフレームに「ログアウト」画面を表示して、ログアウトします。

### 4.3.2 フォルダツリーからの操作方法

メニューの「オブジェクト一覧」アンカーをクリックすると、ツリーフレームに「フォルダツリー」画面が表示されます。「フォルダツリー」画面に表示されるフォルダ階層を、フォルダツリーといいます。

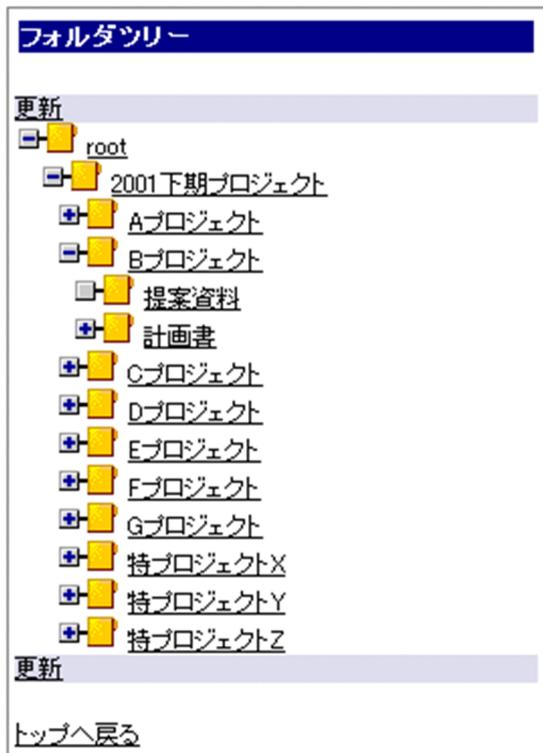
フォルダツリーを使用すると、フォルダ階層をたどって文書またはフォルダを参照できます。フォルダツリーは、各フォルダが階層レベルに応じてインデントされて表示されます。同じ階層のフォルダは、フォルダ名で昇順にソートされて表示されます。

リストフレームの「オブジェクト一覧」画面で表示対象とするフォルダをカレントフォルダといいます。初期状態では、ルートフォルダが開いた状態で、その下位のフォルダは閉じた状態で表示されます。ルートフォルダに下位フォルダが存在しない場合は、ルートフォルダのアイコンが「下位フォルダなし」の状態が表示されます。「フォルダ名」のアンカーをクリックすると、カレントフォルダを切り替えることがで

きます。

「フォルダツリー」画面の例を次に示します。

図 4-15 「フォルダツリー」画面の例



フォルダツリーの表示項目について説明します。

表 4-2 フォルダツリーの表示項目

| 表示項目  | 説明   |
|---|--|
| 「開く」アイコン<br>       | クリックすると、下位フォルダの一覧が表示され、「閉じる」アイコン  に変わります。<br>下位フォルダが存在しない場合は、「下位フォルダなし」アイコン  に変わります。 |
| 「閉じる」アイコン<br>      | クリックすると、下位フォルダが非表示になり、「開く」アイコン  に変わります。   |
| 「下位フォルダなし」アイコン<br> | 「開く」アイコン  をクリックした時に、下位フォルダがない場合に表示されます。   |
| 「フォルダ名」のアンカー  | クリックすると、選択したアンカーのフォルダがカレントフォルダになります。また、選択してカレントフォルダとしたフォルダの内容が、「オブジェクト一覧」画面に表示されます。表示しようとしたフォルダがすでにほかのユーザによって削除されていた場合、リストフォルダにはルートフォルダの「オブジェクト一覧」画面が表示されます。   |
| 「更新」アンカー  | フォルダツリーの表示を最新の状態に更新します。  |
| 「トップへ戻る」アンカー  | ページのトップを表示します。   |

フォルダツリーは、フォルダ階層全体の情報のうちの一部をキャッシュとして保持しています。「フォルダツリー」画面に表示されるフォルダツリーは、キャッシュの情報を表示したものです。このため、画面上

#### 4. 操作の前に知っておくこと

にほかのユーザによって削除されたフォルダが表示されたままになっている場合もあります。この場合は、「更新」アンカーをクリックすると、最新の状態のフォルダツリーを表示できます。

フォルダツリーは、サーバ側で、AP セッションごとに管理されています。一つの AP セッションには、一つのフォルダツリーが関連づけられます。また、フォルダツリーの各ノードは、OID と表示用ラベル、およびフォルダの開閉状態の情報を保持しています。

### 4.3.3 リスト表示の操作方法

「オブジェクト一覧」画面や「検索結果一覧」画面などに表示される文書やフォルダなどの一覧は、リスト表示という形式で表示されます。

#### (1) リスト表示の概要

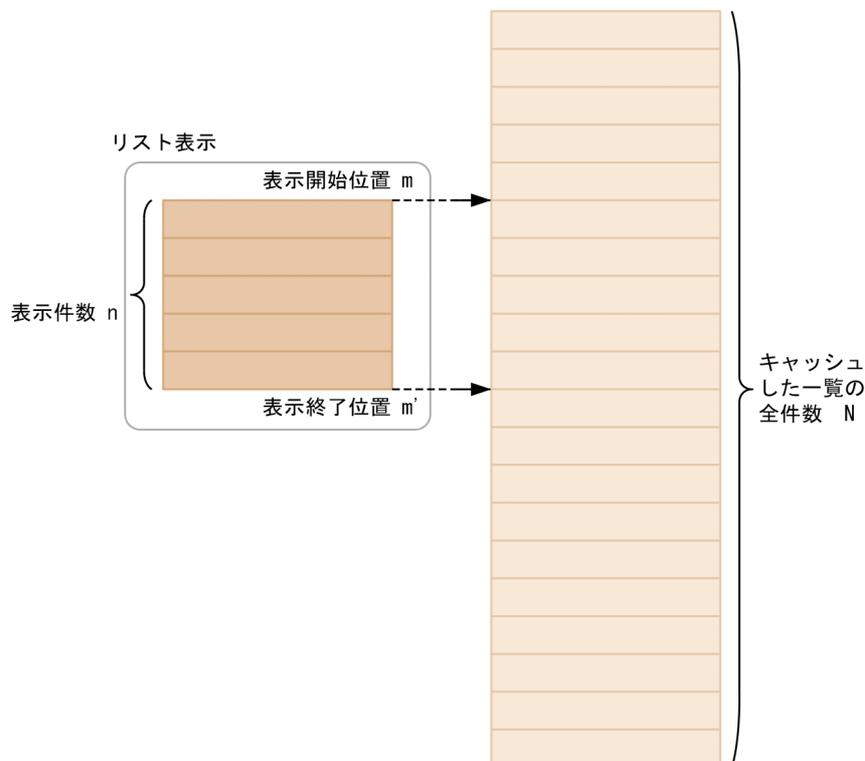
リスト表示は、検索などによって取得した、文書やフォルダなどの集合の一部を画面に表示したものです。

サンプル Web アプリケーションでは、検索などによって取得したオブジェクトは、キャッシュに取得されます。キャッシュに取得されたオブジェクトは、順序性のあるリストとして管理されます。リスト表示は、このリストの一部を表示する機能です。したがって、最大件数はサンプル Web アプリケーションで設定されている最大キャッシュ取得件数以下になります。キャッシュは、「更新」アンカーをクリックした場合、または別な条件で一覧画面を表示し直した場合に、最新の情報に更新されます。

なお、最大キャッシュ取得件数、およびリスト表示の最大表示件数は、配置ディスクリプタのコンテキストパラメタで定義できます。コンテキストパラメタの定義方法については、「2.3.3 そのほかの情報を設定するコンテキストパラメタ」を参照してください。

リスト表示の概要を、次の図に示します。

図 4-16 リスト表示の概要



## (2) リスト表示の構成要素

リスト表示を構成する要素について説明します。

図 4-17 リスト表示の構成要素

| 名前 ↑      | 更新者   | 更新日時                | コメント | 操作 |
|-----------|-------|---------------------|------|----|
| A企画       | 鈴木 一郎 | 2002/03/15 15:48:17 |      | ✖  |
| B企画       | 九州 次郎 | 2002/03/22 20:08:48 |      | ✖  |
| C企画       | 東京 雪江 | 2002/01/17 18:19:44 |      | ✖  |
| D企画       | 四国 花子 | 2002/01/18 19:00:29 |      | ✖  |
| E企画       | 鈴木 一郎 | 2002/01/09 20:36:59 |      | ✖  |
| 2001 上期実績 | 大阪 月美 | 2002/02/25 12:38:55 |      | ✖  |
| ガイドライン    | 日立 太郎 | 2002/02/26 15:19:37 |      | ✖  |
| 企画基準      | 日立 太郎 | 2002/02/26 20:07:53 |      | ✖  |
| 企画書1      | 長野 四郎 | 2002/02/02 01:01:04 |      | ✖  |
| 企画書2      | 長野 四郎 | 2002/02/17 15:33:39 |      | ✖  |

## ナビゲーションバー

一覧の全件数中、画面に表示している表示範囲が表示されます。

また、表示範囲を切り替えたり、表示している一覧を最新の状態に更新したりするためのアンカーが表示されます。

ナビゲーションバーの表示項目を次の表に示します。

表 4-3 ナビゲーションバーの表示項目

| 表示項目               | 説明   |
|--------------------|--|
| 表示範囲情報             | 現在の表示範囲が、「N 件中 m ~ m' 件表示」の形式で表示されます。ただし、リスト表示される情報がない場合または情報が 1 件の場合は、「0 件表示」または「1 件表示」と表示されます。 |
| 「<<」アンカー<br>(先頭表示) | 表示開始位置を、一覧全体の先頭に切り替えるアンカーです。アンカーをクリックすると、一覧の表示範囲は「1 ~ n-1 件表示」になります。m=1 の場合、アンカーは非活性になります。       |
| 「<」アンカー<br>(前表示)   | 表示開始位置を、m-n 件目に切り替えるアンカーです。ただし、m-n<1 の場合は、表示開始位置は 1 になります。m=1 の場合、アンカーは非活性になります。                 |
| 「>」アンカー<br>(次表示)   | 表示開始位置を、m+n 件目に切り替えるアンカーです。m+n>N の場合、アンカーは非活性になります。  |
| 「>>」アンカー<br>(最終表示) | 表示開始位置を、N-n+1 件目に切り替えるアンカーです。m+n>N の場合または N-n<1 の場合、アンカーは非活性になります。                               |
| 「更新」アンカー           | 一覧のデータを最新の情報に更新するアンカーです。クリックすると、データ部分が最新の状態に更新されます。  |

## (凡例)

N: 一覧の全件数 (キャッシュ件数) を表します。N ≤ 最大キャッシュ件数です。

m: リスト表示の表示開始位置を表します。

m': リスト表示の表示終了位置を表します。

n: リスト表示の表示件数を表します。

なお、N, m, m', n はすべて 0 以上の整数です。

## コラムヘッダ

#### 4. 操作の前に知っておくこと

一覧に表示されている項目の列名が表示されます。  
 列名がアンカーになっている場合は、アンカーをクリックすると、その列をソートキーにして、昇順または降順に一覧をソートできます。  
 ソートのキーになる列のうち、その時点で最もソートの優先順位が高い列のことを、カレント列といいます。  
 カラムヘッダの表示項目を次の表に示します。

表 4-4 カラムヘッダの表示項目

| 表示項目     | 説明   |
|----------|--|
| アンカーなし列名 | 該当する列の項目の名前を示します。  |
| アンカー付き列名 | 該当する列の項目の名前を示します。また、この列の項目をソートキーにして、昇順または降順にソートできることを表します。カレント列のアンカーをクリックすると、現在のソート方向とは逆の方向で一覧がソートされて、再表示されます。カレント列以外のアンカーをクリックすると、クリックした列がカレント列になり、その列をキーとしてソートされて、再表示されます。ソート方向は変更されません。 |
| または      | カレント列であるアンカー付き列の横に表示されます。カレント列が昇順または降順のどちらでソートされているかを示します。<br>:<br>その列の項目をソートキーにして、昇順にソートされていることを示します。<br>:<br>その列の項目をソートキーにして、降順にソートされていることを示します。   |

#### データ部分

文書やフォルダなどのオブジェクトを行とした一覧が表示されます。また、ユーザ検索、組織検索またはグループ検索では、ユーザ、組織またはグループを行とした一覧が表示されます。「オブジェクト一覧」画面や「検索結果一覧」画面の場合、1行が一つのオブジェクトに対応します。各列にはプロパティの値などが表示されます。列に表示される項目は、一覧によって異なります。詳細は、「5. 操作」中のそれぞれの画面の説明を参照してください。  
 データ部分に表示される項目は、アンカーで表示されることがあります。アンカーをクリックした時の動作は、そのオブジェクトによって異なります。詳細は、「5. 操作」中のそれぞれの画面の説明を参照してください。  
 また、データ部分には、アンカー付きのアイコンが表示されることがあります。それぞれのアイコンをクリックした時の動作を、次の表に示します。

表 4-5 データ部分に表示されるアイコン

| アイコン  | クリックした時の動作   |
|---|--|
|  | フォルダ名の前に表示される「プロパティ」アイコンです。フォルダの「プロパティとアクセス権」画面を表示します。     |
|  | 文書名の前に表示される「プロパティ」アイコンです。文書の「プロパティとアクセス権」画面を表示します。         |
|  | バージョン名の前に表示される「バージョンプロパティ」アイコンです。「バージョンプロパティ」画面を表示します。     |
|  | 「操作」列に表示される「削除」アイコンです。オブジェクトの削除を確認するメッセージダイアログを表示します。      |
|  | 「操作」列に表示されるバージョンの「削除」アイコンです。バージョンの削除を確認するメッセージダイアログを表示します。 |

| アイコン  | クリックした時の動作   |
|---|--|
|  | 「操作」列に表示される「チェックイン」アイコンです。「チェックイン (1/2)」画面を表示します。                  |
|  | 「操作」列に表示される「チェックアウト」アイコンです。チェックアウトを確認するメッセージダイアログを表示します。           |
|  | 「操作」列に表示される「チェックアウトキャンセル」アイコンです。チェックアウトの取り消しを確認するメッセージダイアログを表示します。 |
|  | 「操作」列に表示される「選択」アイコンです。ユーザ、組織、グループまたは共有ACLを選択します。                   |
|  | 「操作」列に表示される「削除」アイコンです。ユーザ、組織、グループまたは共有ACLを削除します。                   |

### (3) リスト表示のソート方法

リスト表示のソート方法について説明します。

ソートのキーにできるのは、カラムヘッダの列名がアンカーで表示されている項目です。

カレント列のアンカーをクリックすると、現在のソート方向と逆のソート方向でソートされます。例えば、昇順でソートされていたカレント列のアンカーをクリックすると、降順でソートされて、再表示されます。

カレント列以外のアンカーをクリックすると、クリックした列がカレント列になります。この時、クリックした列以外のソート可能列（列名がアンカーの列）のソートの優先順位は、クリック前と相対的に同じになります。例えば、カレント列が「名前」で、「名前」「更新日時」「更新者」の優先順でソートされていた場合に、「更新者」をクリックしてカレント列に変更すると、ソートの優先順位は、「更新者」「名前」「更新日時」の順になります。このあとでさらに、「名前」をクリックしてカレント列に変更すると、ソートの優先順位は「名前」「更新者」「更新日時」の順になります。ソート方向およびソートの優先順位の初期状態は、一覧を表示する画面ごとに異なります。

また、「オブジェクト一覧」画面の場合、フォルダと文書は、それぞれ分けてソートされます。カレント列のソート方向が昇順の場合は、フォルダ、文書の順で表示されます。降順の場合は、文書、フォルダの順で表示されます。

なお、この画面で実行するソートは、キャッシュ上のデータの並べ替えです。データベースに格納されているデータが並べ替えられているわけではありません。

### (4) キャッシュが有効な期間

リスト表示では、キャッシュの内容を表示します。

サンプル Web アプリケーションが取得するキャッシュのうち、ユーザ検索、組織検索およびグループ検索によってLDAPシステムから取得する情報のキャッシュは、APセッションによって管理されています。このため、APセッション接続中有効です。

それ以外のキャッシュは、DocBroセッションが接続されている間有効です。

## 4.3.4 画面操作での共通事項

ここでは、サンプル Web アプリケーションの共通的な画面操作について説明します。

テキストボックスに値を指定する場合、文字列の先頭または末尾の空白は削除されます。例えば、「文書」（は半角スペース）と指定した場合、「文書」として扱われます。「 」と指定した場合、空文字列として扱われます。

#### 4. 操作の前に知っておくこと

登録文書ファイル登録時などファイルをアップロードする時に、ファイル選択ボックスに存在しないファイルを指定しないでください。存在しないファイルを指定すると、サイズ0のファイルとして登録されてしまいます。

ファイル選択ボックスに、OSで使用できない文字を含むファイル名は指定できません。なお、ファイル名の前後に空白を指定した場合、空白は削除されます。

ファイル選択ボックスに指定するパスでは、「¥」または「/」がパスの区切りとして扱われ、パスのいちばん末尾の「¥」または「/」の後ろの文字列がファイル名として扱われます。例えば、パスの区切りに「¥」を指定した場合に、「D:¥temp¥sample.txt」と指定すると、「sample.txt」がファイル名として扱われます。また、パスの区切りに「/」を使用した場合でも、「/tmp/a¥b.txt」と指定すると、「b.txt」がファイル名として扱われますので、ご注意ください。

## 4.4 実行できる操作とアクセス権の関係

サンプル Web アプリケーションで実行できる操作とアクセス権の関係について説明します。

サンプル Web アプリケーションでは、文書やフォルダに対して、作成時にアクセス権を設定できます。また、所有者またはセキュリティ管理者によって、作成後にアクセス権を更新することもできます。

### (1) 文書やフォルダの操作に必要なパーミッション

文書やフォルダに対するアクセス権は、ユーザ、グループ、組織または全ユーザに対してパーミッションを与えることで設定できます。

実行できる操作とパーミッションの関係を、次の表に示します。

表 4-6 実行できる操作とパーミッションの関係

| 実行できる操作                     | パーミッション |    |              |              |              |
|-----------------------------|---------|----|--------------|--------------|--------------|
|                             | なし      | 参照 | リンク          | 更新           | すべて          |
| 文書のコンテンツを表示する               | ×       |    |              |              |              |
| 文書またはフォルダのプロパティを参照する        | ×       |    |              |              |              |
| 文書またはフォルダのアクセス権を参照する        | ×       |    |              |              |              |
| 文書またはフォルダを作成する <sup>1</sup> | ×       | ×  | <sup>2</sup> | <sup>2</sup> | <sup>2</sup> |
| 文書をチェックアウトする                | ×       | ×  | ×            |              |              |
| 文書のチェックアウトを取り消す             | ×       | ×  | ×            |              |              |
| 文書をチェックインする                 | ×       | ×  | ×            |              |              |
| 文書またはフォルダのプロパティを更新する        | ×       | ×  | ×            |              |              |
| 文書またはフォルダを削除する              | ×       | ×  | ×            | ×            |              |
| 文書のバージョンを削除する               | ×       | ×  | ×            | ×            |              |

(凡例)

○：実行できます。

×：実行できません。

注 1 この表で示しているパーミッションのほか、ユーザ権限としてオブジェクト作成権限が必要です。

注 2 文書またはフォルダの作成先にするフォルダに対して必要なパーミッションです。

なお、アクセス権の更新は、パーミッションに関係なく、所有者またはセキュリティ管理者が実行できます。

### (2) 文書空間に対する権限が必要な操作

文書やフォルダを作成するためには、文書空間に対してオブジェクトを作成する権限（ユーザ権限）が必要です。ユーザ権限は、DocumentBroker Platform で定義されています。

ユーザ権限では、作成以外の操作に必要なパーミッションも定義できます。文書空間に対してユーザ権限を設定されている場合は、文書またはフォルダに対して設定されているアクセス権とは関係なく、操作を実行できます。例えば、文書空間に対して「参照」を許可されているユーザは、個々の文書やフォルダに対してアクセス権が設定されていなくても、文書空間のすべての文書とフォルダに対して、文書のコンテンツの参照、文書またはフォルダのプロパティの参照、文書またはフォルダのアクセス権の参照が実行できます。

ユーザ権限の定義方法については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド

#### 4. 操作の前に知っておくこと

ド」を参照してください。

#### (3) セキュリティ管理者だけが実行できる操作

共有 ACL の作成と更新は、セキュリティ管理者だけが実行できる操作です。セキュリティ管理者とは、DocumentBroker に登録されたオブジェクトやオブジェクトのアクセス権を保守するユーザです。DocumentBroker Platform で定義されています。

セキュリティ管理者の定義方法については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」を参照してください。

# 5

## 操作

この章では，サンプル Web アプリケーションの操作方法について説明します。  
なお，ログイン以外の操作は，すべてログインした状態で実行してください。

- 
- 5.1 ログインとログアウト
  - 5.2 フォルダの内容（オブジェクト一覧）を表示する
  - 5.3 文書またはフォルダを作成する
  - 5.4 文書またはフォルダを検索する
  - 5.5 文書のコンテンツを表示する
  - 5.6 文書のバージョンを追加する
  - 5.7 文書，フォルダ，または文書のバージョンを削除する
  - 5.8 プロパティとアクセス権を参照する
  - 5.9 プロパティを更新する
  - 5.10 アクセス権を更新する
  - 5.11 共有 ACL を管理する
  - 5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する
-

## 5.1 ログインとログアウト

---

ログインとログアウトについて説明します。

### 5.1.1 ログインする

#### (1) 機能概要

サンプル Web アプリケーションにログインします。

#### (2) 操作手順

1. WWW ブラウザで、サンプル Web アプリケーションのログイン画面の URL 指定して、エントリ画面を表示します。  
URL は、「`http://(ホスト名)/dbjsample/`」です。ホスト名は環境に合わせて設定してください。
2. エントリ画面の「サンプル文書管理システムにログインする」アンカーをクリックします。  
ベースフレームに「ログイン」画面が表示されます。ただし、すでにユーザ認証されている状態で再度エントリ画面のアンカーをクリックした場合は、フォルダ内容表示画面が表示されます。
3. ユーザ ID とパスワードを指定します。
4. 「ログイン」ボタンをクリックします。  
ログインが完了します。ログイン後、フォルダ内容表示画面が表示されます。

#### (3) 注意事項

サンプル Web アプリケーションを初めて使用する場合は、最初にセキュリティ管理者がログインしてルートフォルダを一つ作成してください。この時、複数のブラウザから同時にセキュリティ管理者でログインしないでください。なお、ルートフォルダが作成されていない状態でセキュリティ管理者以外のユーザがログインしようとするエラーになります。作成するルートフォルダの名前は、配置ディスクリプタのコンテキストパラメタに定義できます。デフォルトの名前は「root」です。また、複数のルートフォルダを使用する場合の指定、複数のルートフォルダのフォルダ数および名称も同様に配置ディスクリプタのコンテキストパラメタに定義できます。定義方法については、「2.3.2 オブジェクトモデルの情報を設定するコンテキストパラメタ」を参照してください。

また、次の場合はエラーになります。

- 不正なユーザ ID またはパスワードを指定した場合
- ユーザ ID またはパスワードの指定を省略した場合

### 5.1.2 ルートフォルダを作成する

#### (1) 機能概要

ルートフォルダを作成します。ルートフォルダは、サンプル Web アプリケーションで管理するフォルダ階層の最上位フォルダです。

このフォルダは、セキュリティ管理者が最初にログインした時に自動的に一つ作成されます。なお、この時、複数のブラウザから同時にセキュリティ管理者でログインしないでください。

また、このフォルダが作成されていない状態で、セキュリティ管理者以外のユーザがログインしようすると、エラーになります。

#### ルートフォルダの名前と数

作成されるルートフォルダの名前は、配置ディスクリプタのコンテキストパラメタに定義できます。デフォルトの名前は「root」です。

また、複数のルートフォルダを扱うかどうかの指定と、複数のルートフォルダを扱う場合のルートフォルダの数および名称も同様に配置ディスクリプタのコンテキストパラメタに定義できます。定義方法については、「2.3.2 オブジェクトモデルの情報を設定するコンテキストパラメタ」を参照してください。

#### ルートフォルダのアクセス権

ルートフォルダには、次のアクセス権が設定されます。

- 所有者（セキュリティ管理者）のパーミッションは、「すべて」が設定されます。
- プライマリグループは設定されません。
- すべてのユーザのパーミッションは、「リンク」が設定されます。

### (2) 操作手順

1. 「ログイン」画面で、セキュリティ管理者のユーザ ID とパスワードを指定します。
2. 「ログイン」ボタンをクリックします。  
ログインが完了して、ルートフォルダが作成されます。フォルダ内容表示画面が表示され、ツリーフェームの「フォルダツリー」画面にルートフォルダが表示されます。

## 5.1.3 ログアウトする

### (1) 機能概要

サンプル Web アプリケーションからログアウトします。

### (2) 操作手順

1. メニューの「ログアウト」アンカーをクリックします。  
ログアウトが完了します。「ログアウト」画面が表示されます。

### (3) 注意事項

サンプル Web アプリケーションを終了する時は、必ずログアウトしてから WWW ブラウザを終了してください。

## 5.1.4 再ログインする

### (1) 機能概要

ログアウト直後にサンプル Web アプリケーションに再ログインします。

### (2) 操作手順

1. 「ログアウト」画面の「再ログイン」ボタンをクリックします。  
「ログイン」画面が表示されます。  
「ログイン」画面での操作は、「5.1.1 ログインする」を参照してください。

## 5.1.5 ログインとログアウトに使用する画面

ログインまたはログアウトする時に使用する画面について説明します。

## 5. 操作

### (1) エントリ画面

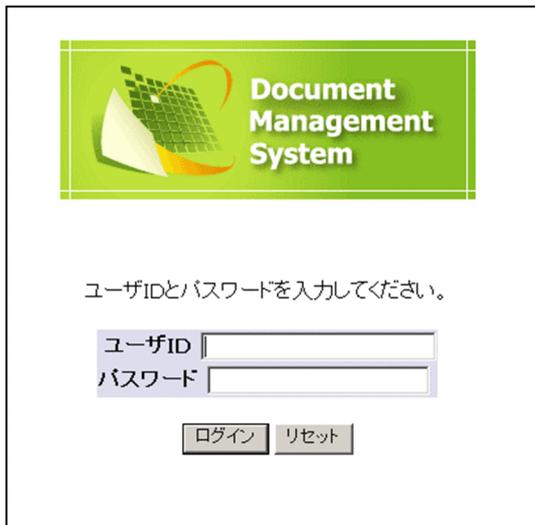
エントリ画面は、URL「http://(ホスト名)/dbjsample/」を指定した時に表示される画面です。次に示すアンカーが表示されます。

「サンプル文書管理システムにログインする」アンカー  
「ログイン」画面を表示します。

### (2) 「ログイン」画面

「ログイン」画面は、サンプル Web アプリケーションにログインするための画面です。

図 5-1 「ログイン」画面



「ユーザ ID」テキストボックス

ユーザ ID を 24 バイト以内で指定します。

「パスワード」テキストボックス

パスワードを 24 バイト以内で指定します。

なお、指定した文字は、アスタリスクで表示されます。

「ログイン」ボタン

ログイン処理を実行します。実行後、フォルダ内容表示画面が表示されます。

なお、指定したユーザ ID またはパスワードが不正な場合は、エラーになります。

「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

### (3) 「ログアウト」画面

「ログアウト」画面は、ログアウト後に表示される画面です。再ログインが実行できます。次に示すボタンが表示されます。

「再ログイン」ボタン

「ログイン」画面を表示します。

## 5.2 フォルダの内容（オブジェクト一覧）を表示する

「オブジェクト一覧」画面の表示方法について説明します。「オブジェクト一覧」画面は、一つのフォルダ下にリンク付けられている、文書とフォルダの一覧を表示するための画面です。文書とフォルダの一覧のことを、オブジェクト一覧といいます。

### 5.2.1 オブジェクト一覧を表示する

#### (1) 機能概要

「オブジェクト一覧」画面に、カレントフォルダの下位にリンク付けられているフォルダおよび文書の一覧を表示します。

「オブジェクト一覧」画面からは、表示したフォルダおよび文書の一覧に対して、プロパティやアクセス権の参照、文書のバージョンアップなどの操作が実行できます。

#### (2) 操作手順

ここでは、カレントフォルダの下位にリンク付けられている文書およびフォルダの一覧の表示方法について説明します。

1. メニューの「オブジェクト一覧」アンカーをクリックします。  
フォルダ内容表示画面が表示され、文書とフォルダの一覧が表示されます。
  - ツリーフレームには、「フォルダツリー」画面が表示されます。  
初期状態では、ルートフォルダが開いた状態で、その下位のフォルダは閉じた状態で表示されます。  
なお、下位のフォルダがない場合は、下位フォルダがないことを示すアイコン  が表示されます。
  - リストフレームには、「オブジェクト一覧」画面が表示されます。「オブジェクト一覧」画面は、カレントフォルダの下位にリンク付けられているフォルダおよび文書の一覧が表示されます。  
初期状態では、ルートフォルダの「オブジェクト一覧」画面が表示されます。

### 5.2.2 オブジェクト一覧を表示するフォルダを切り替える

オブジェクト一覧を表示するフォルダを切り替えます。

#### (1) 機能概要

オブジェクト一覧を表示するフォルダを切り替えます。

#### (2) 操作手順

##### (a) 「フォルダツリー」画面を使用する方法

1. 「フォルダツリー」画面に表示されたフォルダの「開く」アイコン  をクリックします。  
下位にリンク付けられたフォルダの一覧が表示されます。
2. オブジェクト一覧を表示したいフォルダの「フォルダ名」のアンカーをクリックします。  
カレントフォルダが切り替わります。リストフレームに、選択したフォルダ下の文書とフォルダの一覧を表示した「オブジェクト一覧」画面が表示されます。

##### (b) 「オブジェクト一覧」画面を使用する方法（下位フォルダを表示する場合）

1. 「オブジェクト一覧」画面にリスト表示されたフォルダから、表示したいフォルダの「名前」列のアンカーをクリックします。  
カレントフォルダが切り替わります。リストフレームに、選択したフォルダ下の文書とフォルダの一覧

## 5. 操作

を表示した「オブジェクト一覧」画面が表示されます。

なお、「フォルダツリー」画面は、「更新」アンカーをクリックして最新の状態に更新してください。

### (c) 「オブジェクト一覧」画面を使用する方法（上位フォルダを表示する場合）

1. 「オブジェクト一覧」画面の「表示フォルダ」のパスに表示されているフォルダ名のアンカーをクリックします。  
例えば、「2001 下期プロジェクト」に表示フォルダを切り替える場合は、図に示した反転した部分をクリックしてください。

図 5-2 「表示フォルダ」アンカーの選択



表示フォルダ /root/2001下期プロジェクト

カレントフォルダが切り替わります。リストフレームに、選択したフォルダ下の文書とフォルダの一覧を表示した「オブジェクト一覧」画面が表示されます。

なお、「フォルダツリー」画面は、「更新」アンカーをクリックして最新の状態に更新してください。

## 5.2.3 フォルダの内容の表示に使用する画面

フォルダの内容を表示する時に使用する画面について説明します。

### (1) 「フォルダツリー」画面

「フォルダツリー」画面には、フォルダツリーが表示されます。フォルダツリーについては、「4.3.2 フォルダツリーからの操作方法」を参照してください。

### (2) 「オブジェクト一覧」画面

「オブジェクト一覧」画面について説明します。この画面はリストフレームに表示されます。

図 5-3 「オブジェクト一覧」画面

| オブジェクト一覧                     |        |                     |              |      |
|------------------------------|--------|---------------------|--------------|------|
| 表示フォルダ /root/2001下期プロジェクト    |        | フォルダ作成              |              | 文書作成 |
| << < (28件中1~20件表示) > >>   更新 |        |                     |              |      |
| 名前 ↑                         | 更新者    | 更新日時                | コメント         | 操作   |
| ■ Aプロジェクト                    | 鈴木 一郎  | 2002/03/15 15:48:17 | (株)ABC対応     | ✖    |
| ■ Bプロジェクト                    | 九州 次郎  | 2002/03/22 20:08:48 |              | ✖    |
| ■ Cプロジェクト                    | 東京 雪江  | 2002/01/17 18:19:44 | いろは(株)対応     | ✖    |
| ■ Dプロジェクト                    | 四国 花子  | 2002/01/18 19:00:29 | (株)ABC対応     | ✖    |
| ■ Eプロジェクト                    | 鈴木 一郎  | 2002/01/09 20:36:59 | プロジェクト凍結中    | ✖    |
| ■ Fプロジェクト                    | 四国 花子  | 2002/01/18 15:17:02 |              | ✖    |
| ■ Gプロジェクト                    | 四国 花子  | 2002/02/12 19:56:20 |              | ✖    |
| ■ 特プロジェクトX                   | 日立 太郎  | 2002/01/17 17:11:02 | プロジェクトメンバー限定 | ✖    |
| ■ 特プロジェクトY                   | 大阪 月美  | 2002/02/26 20:07:13 | プロジェクトメンバー限定 | ✖    |
| ■ 特プロジェクトZ                   | 日立 太郎  | 2002/02/19 11:31:26 | プロジェクトメンバー限定 | ✖    |
| 📄 2001下期目標                   | 日立 太郎  | 2002/02/21 13:17:29 |              | ✖    |
| 📄 2001上期実績                   | 大阪 月美  | 2002/02/25 12:38:55 | 更新不可         | ✖ ↕  |
| 📄 ガイドライン                     | 日立 太郎  | 2002/02/26 15:19:37 | 必読           | ✖ ↕  |
| 📄 プロジェクト基準                   | 日立 太郎  | 2002/02/26 20:07:53 | 必読           | ✖ ↕  |
| 📄 企画書フォーマット1                 | 長野 四郎  | 2002/02/02 01:01:04 |              | ✖ ↕  |
| 📄 企画書フォーマット2                 | 長野 四郎  | 2002/02/17 15:33:39 |              | ✖ ↕  |
| 📄 企画書フォーマット3                 | 長野 四郎  | 2002/02/09 17:29:01 |              | ✖ ↕  |
| 📄 統計データ                      | 神奈川 鶴子 | 2002/02/15 13:24:53 |              | ✖ ↕  |
| 📄 連絡事項                       | 青森 亀雄  | 2002/02/15 13:46:00 |              | ✖ ↕  |
| 📄 連絡票フォーマット                  | 九州 次郎  | 2002/01/30 13:04:26 |              | ✖ ↕  |
| << < (28件中1~20件表示) > >>   更新 |        |                     |              |      |

#### 「表示フォルダ」のパスのアンカー

カレントフォルダのフォルダパスが表示されます。

それぞれのフォルダ名は、アンカーになっています。アンカーをクリックすると、カレントフォルダがそのフォルダに変更され、リストフレームに選択したフォルダのオブジェクト一覧を表示した「オブジェクト一覧」画面が表示されます。

#### 「フォルダ作成」アンカー

ボディフレームに「フォルダ新規作成」画面を表示します。

フォルダは「表示フォルダ」に表示されているパスのフォルダ下に作成されます。

#### 「文書作成」アンカー

ボディフレームに「文書新規作成 (1/2)」画面を表示します。

文書は「表示フォルダ」に表示されているパスのフォルダ下に作成されます。

#### (リスト表示)

表示しているフォルダ下に格納されているフォルダおよび文書の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-1 「オブジェクト一覧」画面のリスト表示

| 列名   | アンカー / アイコン   | 説明  |
|------|---|---|
| 名前   |  「プロパティ」<br>または<br> 「プロパティ」 | オブジェクトの種別によって、次のどちらかのアイコンが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  (フォルダの場合)</li> <li>•  (文書の場合)</li> </ul> アイコンをクリックすると、サブウィンドウに「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。 |
|      | (アンカー)または<br>(テキスト)   | フォルダ名または文書名(オブジェクト名プロパティ)が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• フォルダ名のアンカーをクリックすると、カレントフォルダが変更され、選択したフォルダの「オブジェクト一覧」画面が表示されます。</li> <li>• 文書名のアンカーをクリックすると、カレントバージョンのコンテンツが表示されます。</li> </ul> なお、カレントバージョンの登録文書ファイルが未登録の場合、アンカーではなく、テキストで表示されます。   |
| 更新者  | -   | 更新者名(更新者名プロパティ)が表示されます。   |
| 更新日時 | -   | 更新日時(更新日時プロパティ)が表示されます。   |
| コメント | -   | コメント(コメントプロパティ)が表示されます。   |
| 操作   |  「削除」   | クリックすると、オブジェクトの削除を確認するメッセージダイアログが表示されます。  |
|      |  「チェックアウト」   | チェックアウトされていない文書の場合に表示されます。クリックすると、文書のチェックアウトを確認するメッセージダイアログが表示されます。   |
|      |  「チェックイン」  | 自分がチェックアウトした文書の場合、またはセキュリティ管理者の場合に表示されます。クリックすると、サブウィンドウに、「チェックイン(1/2)」画面が表示されます。   |
|      |  「チェックアウトキャンセル」  | 自分がチェックアウトした文書の場合、またはセキュリティ管理者の場合に表示されます。クリックすると、チェックアウトの取り消しを確認するメッセージダイアログが表示されます。  |

また、「オブジェクト一覧」画面で表示される項目の、初期状態でのソートの優先順位およびソート方向は、次に示す表のとおりです。これ以外の項目は、ソートキーにはなりません。

表 5-2 「オブジェクト一覧」画面の項目のソート順位とソート方向

| ソートキーになる項目 | 優先順位 | 方向 |
|------------|------|----|
| 名前         | 1    | 昇順 |
| 更新者        | 2    | 昇順 |
| 更新日時       | 3    | 降順 |

## 5.3 文書またはフォルダを作成する

文書またはフォルダを作成する方法について説明します。

作成する文書またはフォルダは、カレントフォルダの下位に関連づけられます。

### 5.3.1 フォルダを新規に作成する

#### (1) 機能概要

フォルダを新規に作成します。フォルダのプロパティおよびアクセス権も設定できます。フォルダは、「作成先フォルダ」に表示されているフォルダ下に作成されます。

#### (2) 操作手順

1. 新規にフォルダを作成するフォルダの「オブジェクト一覧」画面を表示します。  
オブジェクト一覧の表示方法については「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。  
表示中のフォルダについては、「表示フォルダ」のパスを確認してください。
2. 「オブジェクト一覧」画面の「フォルダ作成」アンカーをクリックします。  
ボディフレームに「フォルダ新規作成」画面が表示されます。「作成先フォルダ：」に表示されているパスが、フォルダの作成先にしたいフォルダのパスになっていることを確認してください。
3. プロパティとアクセス権を指定します。  
例えば、フォルダ名「2002 上期プロジェクト」、コメントを「プロジェクト作成基準を参照のこと」として、プライマリグループ「企画1課」に「リンク」パーミッションを設定する場合、次のように指定します。

図 5-4 フォルダ作成時のプロパティとアクセス権の指定例

| プロパティ |                 |      |
|-------|-----------------|------|
| プロパティ | 設定値             |      |
| フォルダ名 | 2002 上期プロジェクト   | (必須) |
| 作成者名  | 日立 太郎           |      |
| コメント  | プロジェクト作成基準を参照のこ |      |

| アクセス権     |       |    |         |
|-----------|-------|----|---------|
| 対象        | 名前    |    | パーミッション |
| 所有者       | 日立 太郎 | 選択 | すべて     |
| プライマリグループ | 企画1課  | 選択 | クリア     |
| 全ユーザ      |       |    | 参照      |
| 共有ACL     | (なし)  |    | 選択      |

4. 「作成」ボタンをクリックします。  
フォルダが作成されて、結果を表すメッセージダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、作成した文書が追加されて、フォルダ内容表示画面が表示されます。

#### (3) 注意事項

次の場合はエラーになります。

「フォルダ新規作成」画面で、省略できない項目である「フォルダ名」を指定しないで「作成」ボタンをクリックした場合

文書またはフォルダを作成する権限がないユーザが「フォルダ作成」アンカーをクリックした場合

## 5.3.2 文書を新規に作成する

### (1) 機能概要

文書を新規に作成します。文書のプロパティ、アクセス権、最初のバージョンのバージョンプロパティおよび登録文書ファイルもあわせて設定できます。全文検索インデクスの作成方法も指定できます。文書は、「作成先フォルダ」に表示されているフォルダ下に作成されます。

なお、文書名を明示的に指定しなかった場合、登録するファイルのファイル名から文書名が設定されます。この場合、文書名には、ファイル名から拡張子を除いたものが設定されます。例えば、「企画案 1.doc」を登録した場合は、「企画案 1」という文書名で登録されます。

### (2) 操作手順

1. 新規に文書を作成するフォルダの「オブジェクト一覧」画面を表示します。  
オブジェクト一覧の表示方法については「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。  
表示中のフォルダについては、「表示フォルダ」のパスを確認してください。
2. 「オブジェクト一覧」画面の「文書作成」アンカーをクリックします。  
ボディフレームに「文書新規作成 (1/2)」画面が表示されます。「作成先フォルダ：」に表示されているパスが、文書の作成先にしたいフォルダのパスになっていることを確認してください。
3. プロパティおよびアクセス権を指定します。  
例えば、文書名「プロジェクト A 企画案」、バージョンコメントを「素案」として、プライマリグループのユーザに参照を許可し、それ以外のユーザには参照させない場合、次のように指定します。バージョン名はデフォルトのままにします。

図 5-5 文書作成時のプロパティとアクセス権の指定例

| プロパティ     |              |      |
|-----------|--------------|------|
| プロパティ     | 設定値          |      |
| 文書名       | プロジェクト A 企画案 |      |
| 作成者名      | 鈴木 一郎        |      |
| コメント      |              |      |
| バージョン名    | 1            | (必須) |
| バージョンコメント | 素案           |      |

| アクセス権     |   |  |
|-----------|---|--|
| 対象        | 名前  | パーミッション  |
| 所有者       | 鈴木 一郎 <input type="button" value="選択"/>                                   | <input type="button" value="すべて"/> ▼                                 |
| プライマリグループ | 企画1課 <input type="button" value="選択"/> <input type="button" value="クリア"/> | <input type="button" value="参照"/> ▼                                  |
| 全ユーザ      |   | <input type="button" value="なし"/> ▼                                  |
| 共有ACL     | 原稿作成用ACL  | <input type="button" value="選択"/> <input type="button" value="クリア"/> |

4. 「登録文書ファイルの設定」ボタンをクリックします。  
「文書新規作成 (2/2)」画面が表示されます。

5. 「登録文書ファイル」ファイル選択ボックスにコンテンツとして登録するファイルのパスを指定します。手順3. で文書名の指定を省略した場合、この項目は省略できません。
6. 全文検索インデクスを作成する場合は、「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックスをチェックするか、または「全文検索用インデクスファイル」ファイル選択ボックスに全文検索用ファイルのファイルパスを指定します。  
例えば、登録文書ファイルとして「D:¥user¥ 企画案 1.doc」を登録して、全文検索インデクス用ファイルとして「D:¥user¥ 企画案 1.txt」を登録する場合、次のように指定します。

図 5-6 登録文書ファイルのパスと全文検索用インデクスファイルのパスの指定例

|   |   |  |                                      |
|---|---|--|--------------------------------------|
| 登録文書ファイル  | : | <input type="text" value="D:¥user¥ 企画案1.doc"/> | <input type="button" value="参照..."/> |
| 全文検索用インデクスファイル  | : | <input type="text" value="D:¥user¥ 企画案1.txt"/> | <input type="button" value="参照..."/> |
| <input type="checkbox"/> 全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する |   |  |                                      |

7. 「作成」ボタンをクリックします。  
文書が作成されて、結果を表すメッセージダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、作成した文書が追加されて、フォルダ内容表示画面が表示されます。

### (3) 注意事項

次の場合はエラーになります。

「文書新規作成 (1/2)」画面で、省略できない項目であるバージョン名を指定しないで「登録文書ファイルの設定」ボタンをクリックした場合

「文書新規作成 (1/2)」画面の「文書名」と「文書新規作成 (2/2)」画面の「登録文書ファイル」のどちらの指定も省略して「文書新規作成 (2/2)」画面の「作成」ボタンをクリックした場合

文書またはフォルダを作成する権限がないユーザが「文書作成」アンカーをクリックした場合

## 5.3.3 文書またはフォルダの作成に使用する画面

文書またはフォルダを作成する時に使用する画面について説明します。

### (1) 「フォルダ新規作成」画面

フォルダを作成する時に使用する「フォルダ新規作成」画面について説明します。この画面は、ボディフレームに表示されます。

図 5-7 「フォルダ新規作成」画面

フォルダ新規作成

フォルダプロパティとアクセス権を入力してください。

作成先フォルダ: /root

**プロパティ**

| プロパティ | 設定値   |
|-------|---|
| フォルダ名 | <input style="width: 90%;" type="text"/> (必須) |
| 作成者名  | 日立 太郎   |
| コメント  | <input style="width: 90%;" type="text"/>      |

**アクセス権**

| 対象        | 名前    |                                   | パーミッション                              |
|-----------|-------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 所有者       | 日立 太郎 | <input type="button" value="選択"/> | <input type="button" value="すべて"/> ▼ |
| プライマリグループ | (なし)  | <input type="button" value="選択"/> | <input type="button" value="更新"/> ▼  |
| 全ユーザ      |       |                                   | <input type="button" value="参照"/> ▼  |
| 共有ACL     | (なし)  | <input type="button" value="選択"/> |                                      |

#### 「作成」ボタン

フォルダの作成を実行します。作成後、作成したフォルダが追加された「オブジェクト一覧」画面が表示されます。

プロパティおよびアクセス権に必要な情報を指定してからクリックしてください。省略できない項目が指定されていない場合、エラーになります。

#### 「キャンセル」ボタン

フォルダの作成をキャンセルして、カレントフォルダのフォルダ内容表示画面を表示します。

#### 作成先フォルダ：

作成するフォルダの上位フォルダになるフォルダのパスが表示されます。

作成先フォルダは、「フォルダ新規作成」画面を表示する前に表示していた「オブジェクト一覧」画面の「表示フォルダ」のパスになります。

#### プロパティ

フォルダに設定するプロパティを指定します。指定する項目について次の表に示します。

表 5-3 フォルダのプロパティに指定する項目

| 項目              | 説明   |
|-----------------|--|
| 「フォルダ名」テキストボックス | 作成するフォルダの名前（オブジェクト名プロパティ）を、255 バイト以内で指定します。この項目は省略できません。 |
| 作成者名            | ログインユーザのユーザ名が表示されます。この項目は変更できません。                        |
| 「コメント」テキストボックス  | コメント（コメントプロパティ）を、必要に応じて 255 バイト以内で指定します。                 |

#### アクセス権

フォルダに設定するアクセス権を指定します。指定する項目について次の表に示します。

表 5-4 フォルダのアクセス権に指定する項目

| 対象        | 項目               | 説明  |
|-----------|------------------|---|
| 所有者       | 名前               | 所有者名が表示されます。<br>デフォルトでは、ログインユーザ名が表示されています。  |
|           | 「選択」ボタン          | 所有者にするユーザを選択します。<br>クリックすると、3分割画面に切り替わり、ツリーフレームに「ユーザ選択条件指定」画面が表示されます。   |
|           | 「パーミッション」リストボックス | 所有者のパーミッションを選択します。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」のどれかが選択できます。<br>デフォルトでは、「すべて」が選択されています。                                   |
| プライマリグループ | 名前               | プライマリグループ名が表示されます。<br>デフォルトでは、設定されていません。  |
|           | 「選択」ボタン          | プライマリグループに設定する組織またはグループを選択します。<br>クリックすると、3分割画面に切り替わり、ツリーフレームに「組織選択条件指定」画面が表示されます。                                |
|           | 「クリア」ボタン         | プライマリグループの設定をクリアします。<br>プライマリグループが設定されていない場合は、表示されません。  |
|           | 「パーミッション」リストボックス | プライマリグループのパーミッションを選択します。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが選択できます。<br>デフォルトでは、「更新」が選択されています。                          |
| 全ユーザ      | 「パーミッション」リストボックス | すべてのユーザのパーミッションを選択します。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが選択できます。<br>デフォルトでは、「参照」が選択されています。ルートフォルダの場合は、「リンク」が選択されています。 |
| 共有 ACL    | 名前               | バインドする共有 ACL が表示されます。<br>デフォルトでは、設定されていません。   |
|           | 「選択」ボタン          | バインドする共有 ACL を選択します。<br>クリックすると、3分割画面に切り替わり、ツリーフレームに「共有 ACL 選択条件指定」画面が表示されます。                                     |
|           | 「クリア」ボタン         | 共有 ACL の設定をクリアします。<br>共有 ACL が設定されていない場合は、表示されません。  |

「ユーザ選択条件指定」画面、「組織選択条件指定」画面および「共有 ACL 選択条件指定」画面の操作方法については、「5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する」を参照してください。

「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

## (2) 「文書新規作成 (1/2)」画面

「文書新規作成 (1/2)」画面について説明します。この画面は、ボディフレームに表示されます。

図 5-8 「文書新規作成 (1/2)」画面

文書新規作成(1/2)

文書プロパティとアクセス権を入力してください。

登録文書ファイルの設定
キャンセル

**作成先フォルダ:** /root/2002上期プロジェクト

**プロパティ**

| プロパティ     | 設定値   |
|-----------|---|
| 文書名       | <input style="width: 95%;" type="text"/>  |
| 作成者名      | 鈴木 一郎   |
| コメント      | <input style="width: 95%;" type="text"/>  |
| バージョン名    | <input style="width: 95%;" type="text" value="1"/> <span style="color: red; font-weight: bold;">(必須)</span> |
| バージョンコメント | <input style="width: 95%;" type="text"/>  |

**アクセス権**

| 対象        | 名前    |    | パーミッション |
|-----------|-------|----|---------|
| 所有者       | 鈴木 一郎 | 選択 | すべて ▼   |
| プライマリグループ | (なし)  | 選択 | 更新 ▼    |
| 全ユーザ      |       |    | 参照 ▼    |
| 共有ACL     | (なし)  | 選択 |         |

リセット

「登録文書ファイルの設定」ボタン

「文書新規作成 (2/2)」画面を表示します。

プロパティおよびアクセス権に、必要な情報を指定してからクリックしてください。

省略できない項目が指定されていない場合、エラーになります。

「キャンセル」ボタン

文書の作成をキャンセルして、カレントフォルダのフォルダ内容表示画面を表示します。

作成先フォルダ:

作成する文書の上位フォルダになるフォルダのパスが表示されます。

作成先フォルダは、「文書新規作成 (1/2)」画面を表示する前に表示していた「オブジェクト一覧」画面の「表示フォルダ」のパスになります。

プロパティ

文書に設定するプロパティを指定します。指定する項目について次の表に示します。

表 5-5 文書のプロパティに指定する項目

| 項目                  | 説明   |
|---------------------|--|
| 「文書名」テキストボックス       | 作成する文書の名前（オブジェクトプロパティ）を 255 バイト以内で指定します。<br>この項目を省略すると、「文書新規作成（2/2）」画面で指定する登録文書ファイルのファイル名が文書名になります。ただし、この項目と、登録文書ファイルの両方を省略することはできません。 |
| 作成者名                | ログインユーザのユーザ名が表示されます。この項目は変更できません。  |
| 「コメント」テキストボックス      | コメント（コメントプロパティ）を、必要に応じて 255 バイト以内で指定します。   |
| 「バージョン名」テキストボックス    | 最初のバージョンのバージョン名（バージョン名プロパティ）を 255 バイト以内で指定します。この項目は省略できません。<br>デフォルト値として、バージョン番号「1」が表示されます。  |
| 「バージョンコメント」テキストボックス | 最初のバージョンになるバージョンのコメントを、必要に応じて 255 バイト以内で指定します。   |

#### アクセス権

文書に設定するアクセス権を指定します。設定できるアクセス権は、フォルダと同じです。詳細は、「(1)「フォルダ新規作成」画面」を参照してください。

#### 「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

### (3)「文書新規作成（2/2）」画面

「文書新規作成（2/2）」画面について説明します。この画面は、ボディフレームに表示されます。

図 5-9 「文書新規作成 (2/2)」画面

文書新規作成(2/2) 戻る

登録する文書ファイルを選択してください。

登録文書ファイル :

全文検索用インデクスファイル :

全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する

---

作成先フォルダ: /root/2002上期プロジェクト

**プロパティ**

| プロパティ     | 設定値        |
|-----------|------------|
| 文書名       | プロジェクトA企画案 |
| 作成者名      | 鈴木 一郎      |
| コメント      |            |
| バージョン名    | 1          |
| バージョンコメント | 素案         |

**アクセス権**

| 対象        | 名前    | パーミッション |
|-----------|-------|---------|
| 所有者       | 鈴木 一郎 | すべて     |
| プライマリグループ | 企画1課  | 更新      |
| 全ユーザ      |       | なし      |
| 共有ACL     | (なし)  |         |

#### 「戻る」アンカー

「文書新規作成 (1/2)」画面に戻ります。

#### 「作成」ボタン

文書の作成を実行します。作成後、作成した文書が追加された「オブジェクト一覧」画面が表示されます。

「登録文書ファイル」ファイル選択ボックス、「全文検索用インデクスファイル」ファイル選択ボックス、「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックスに必要な情報を設定してからクリックしてください。

省略できない項目が指定されていない場合、エラーになります。

#### 「キャンセル」ボタン

文書の作成をキャンセルして、カレントフォルダのフォルダ内容表示画面を表示します。

#### 「登録文書ファイル」ファイル選択ボックス

コンテンツとして登録するファイルを指定します。

ファイルは、「参照...」ボタンをクリックすると表示される、ファイルの選択ダイアログで選択してください。なお、ファイルパスの手入力による編集はできません。

この指定を省略した場合、登録文書ファイルが未登録になります。この場合、「全文検索用インデクスファイル」の指定も無効になります。

「文書新規作成 (1/2)」画面で「文書名」の指定を省略した場合は、この項目に指定したファイル名から拡張子を除いた文字列が、文書名として設定されます。

「文書新規作成 (1/2)」画面で「文書名」の指定を省略した場合、この項目は省略できません。

#### 「全文検索用インデクスファイル」ファイル選択ボックス

作成する文書を全文検索の対象にする場合に、全文検索インデクス を作成する基になるファイル

指定します。テキスト形式のファイル (MIME が「text/」で始まる形式のファイル) を、「参照 ...」ボタンをクリックすると表示される、ファイルの選択ダイアログで選択してください。なお、ファイルパスの手入力による編集はできません。

ただし、「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックスがチェックされている場合、指定は無視されます。

注

全文検索インデクスとは、文書を全文検索するためにデータベースに登録するインデクスです。

「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックス

登録文書ファイルから全文検索インデクスを作成する場合にチェックします。

登録文書ファイルがテキスト形式のファイル (MIME が「text/」で始まる形式のファイル) の場合にだけ指定できます。登録文書ファイルがテキスト以外の形式の場合は、意図しない全文検索インデクスが作成されたり、エラーになったりすることがあります。この場合、このチェックボックスはチェックしないで、登録文書ファイルと内容が同じテキスト形式のファイルを全文検索用ファイルとして指定してください。

デフォルトでは、チェックされていません。

「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

作成先フォルダ:

作成する文書の上位フォルダになるフォルダのパスが表示されます。

作成先フォルダは、「文書新規作成 (1/2)」画面を表示する前に表示していた「オブジェクト一覧」画面の「表示フォルダ」のパスになります。

プロパティ

「文書新規作成 (1/2)」画面で指定したプロパティが表示されます。

アクセス権

「文書新規作成 (1/2)」画面で指定したアクセス権が表示されます。

注 「全文検索用インデクスファイル」を省略して「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックスをチェックしなかった場合、全文検索インデクスは作成されません。

## 5.4 文書またはフォルダを検索する

---

文書またはフォルダを検索する方法について説明します。

サンプル Web アプリケーションでは、次の種類の検索ができます。

- 文書の検索
- チェックアウト中の文書の検索
- フォルダの検索

### 5.4.1 文書を検索する

#### (1) 機能概要

文書の検索では、次の 2 種類の検索ができます。

文書のコンテンツに含まれる文字列による検索

文書に登録されているコンテンツに含まれる文字列を検索条件として、検索を実行できます。オプションを指定したり、複数の文字列を指定して結合条件を指定したりすることもできます。全文検索では、文書の各バージョンが検索対象になります。また、複数の文字列を指定した場合は、結合条件を指定して、指定した文字列のすべてを含む文書を検索するか、指定した文字列のどれかを含む文書を検索するか、選択できます。

なお、検索条件に指定する文字列を、検索タームといいます。

プロパティによる検索

文書のプロパティの値を検索条件として、検索を実行できます。また、プロパティによる検索では、一致条件を指定できます。一致条件を指定すると、指定した値とプロパティの値が完全に一致しなくても、指定した値を含むプロパティ値を持つ文書を検索できます。

これらの検索条件は、どちらかを指定して実行することも、両方を指定して実行することもできます。両方を指定した場合は、両方の検索条件を満たす文書が検索できます。

また、検索実行後に表示される「検索結果一覧」画面から、個々の文書のプロパティを参照したり、コンテンツをダウンロードしたりできます。

#### (2) 操作手順

1. メニューの「検索」アンカーをクリックします。  
ツリーフレームに「全文検索条件指定」画面が表示されます。リストフレームにはブランク画面が表示されます。
2. 検索条件を指定します。  
検索条件には、検索タームおよびプロパティの値が指定できます。  
例えば、文書中に「Java」と「コンポーネント」という文字列をどちらも含む文書で、更新日が「2001年4月1日」～「2002年3月31日」である文書を検索する場合は、次のように指定します。  
対象バージョンはカレントバージョンにします。

図 5-10 全文検索の検索条件の指定例

対象バージョン  カレントバージョン  全バージョン

文書に含まれる文字列

結合条件 コンポーネント

AND  OR

オプション  
 同義語  
 カタカナ異表記  
 アルファベット異表記  
 全角・半角異表記

| プロパティ     | 一致条件   | 検索値                             |
|-----------|--------|---------------------------------|
| 文書名       | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>            |
| 更新者名      | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>            |
| 更新日時      | 完全一致 ▼ | 2001 / 4 / 1<br>~ 2002 / 3 / 31 |
| コメント      | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>            |
| バージョン名    | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>            |
| バージョンコメント | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>            |

結合条件  AND  OR

3. 「検索」ボタンをクリックします。

検索が実行されます。検索結果は、リストフレームの「検索結果一覧」画面に表示されます。

### (3) 注意事項

日時を表すプロパティに不完全な値を指定した場合や、不正な値を指定した場合、エラーになります。例えば、年月日のどれかを指定してどれかを省略した場合、1970年1月1日～2037年12月31日の範囲外の年月日を指定した場合、または2001年13月0日など、実在しない年月日を指定した場合は、エラーになります。

## 5.4.2 チェックアウト中の文書を検索する

### (1) 機能概要

チェックアウト中の文書の検索では、文書のプロパティ値を検索条件として、検索を実行します。検索できるのは、自分がチェックアウトした文書だけです。ただし、セキュリティ管理者の場合は、自分がチェックアウトした文書以外も検索できます。

検索実行後に表示される「検索結果一覧」画面から、個々の文書のプロパティを参照したり、コンテンツをダウンロードしたりできます。

### (2) 操作手順

- メニューの「検索」アンカーをクリックします。  
ツリーフレームに「全文検索条件指定」画面が表示されます。リストフレームにはブランク画面が表示されます。
- 「チェックアウト中文書検索」アンカーをクリックします。  
ツリーフレームに「チェックアウト中文書検索条件指定」画面が表示されます。
- 検索条件を指定します。

## 5. 操作

検索条件には、プロパティの値を指定できます。

例えば、文書名が「Web」で始まる文書で、チェックアウト日時が「2002年2月27日」である文書を検索する場合は、次のように指定します。

図 5-11 チェックアウト中文書検索の検索条件の指定例

| プロパティ       | 一致条件   | 検索値                                |
|-------------|--------|------------------------------------|
| 文書名         | 前方一致 ▼ | Web                                |
| チェックアウトユーザ名 | 部分一致 ▼ |                                    |
| チェックアウト日時   | 完全一致 ▼ | 2002 / 2 / 27<br>~ [ ] / [ ] / [ ] |
| コメント        | 部分一致 ▼ |                                    |

結合条件  AND  OR

4. 「検索」ボタンをクリックします。

検索が実行されます。検索結果は、リストフレームの「検索結果一覧」画面に表示されます。

### (3) 注意事項

日時を表すプロパティに不完全な値を指定した場合や、不正な値を指定した場合、エラーになります。例えば、年月日のどれかを指定してどれかを省略した場合、1970年1月1日～2037年12月31日の範囲外の年月日を指定した場合、または2001年13月0日など、実在しない年月日を指定した場合は、エラーになります。

## 5.4.3 フォルダを検索する

### (1) 機能概要

フォルダに対して、プロパティの値を検索条件として、検索を実行します。

検索実行後に表示される「検索結果一覧」画面から、個々のフォルダのプロパティを参照したり、カレントフォルダを変更したりできます。

### (2) 操作手順

1. メニューの「検索」アンカーをクリックします。  
ツリーフレームに「全文検索条件指定」画面が表示されます。リストフレームにはブランク画面が表示されます。
2. 「フォルダ検索」アンカーをクリックします。  
ツリーフレームに「フォルダ検索条件指定」画面が表示されます。
3. 検索条件を指定します。  
検索条件には、プロパティの値を指定できます。  
例えば、更新者名が「鈴木 一郎」であるフォルダか、またはコメントに「規約」が含まれるフォルダを検索する場合は、次のように指定します。

図 5-12 フォルダ検索の検索条件の指定例

| プロパティ | 一致条件   | 検索値  |
|-------|--------|--|
| フォルダ名 | 部分一致 ▼ |  |
| 更新者名  | 部分一致 ▼ | 鈴木 一郎  |
| 更新日時  | 完全一致 ▼ | <input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/><br>~ <input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/> |
| コメント  | 部分一致 ▼ | 規約   |

結合条件  AND  OR

4. 「検索」ボタンをクリックします。

検索が実行されます。検索結果は、リストフレームの「検索結果一覧」画面に表示されます。

### (3) 注意事項

日時を表すプロパティに不完全な値を指定した場合や、不正な値を指定した場合、エラーになります。例えば、年月日のどれかを指定してどれかを省略した場合、1970年1月1日～2037年12月31日の範囲外の年月日を指定した場合、または2001年13月0日など、実在しない年月日を指定した場合は、エラーになります。

## 5.4.4 検索条件の指定方法

ここでは、検索条件の指定方法について説明します。

### (1) 検索タームに指定できるワイルドカードおよび特殊文字

検索タームに指定できるワイルドカードおよび特殊文字を次の表に示します。

表 5-6 検索タームに指定できるワイルドカードおよび特殊文字の意味と指定例

| ワイルドカードと特殊文字 | 意味   | 指定例           | ヒットする検索タームの例   |
|--------------|--|---------------|--|
| *            | 0文字以上の任意の文字列に相当します。                              | 文書 * 検索       | <ul style="list-style-type: none"> <li>文書と記事を検索</li> <li>文書の検索</li> </ul>    |
|              |  | 文書検索 *        | <ul style="list-style-type: none"> <li>文書検索に...</li> <li>文書検索システム</li> </ul> |
| ?            | 任意の1文字に相当します。                                    | - ? 二 ?       | <ul style="list-style-type: none"> <li>一石二鳥</li> <li>一番二番</li> </ul>         |
|              | 連続して記述すると、連続した文字数に相当します。                         | ?? システム       | <ul style="list-style-type: none"> <li>最新システム</li> <li>旧式システム</li> </ul>     |
|              | 指定した文字列を、文書のコンテンツの先頭または末尾に含むことに相当します。            | 東京都           | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都港区</li> <li>東京都で開催</li> </ul>      |
|              | 文字列を囲んで指定した場合、指定した文字列だけを文書のコンテンツ中に含むことに相当します。    | 株式会社          | <ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社</li> </ul>                       |
| ¥            | ワイルドカード、特殊文字の意味を消して、通常の文字として扱う場合に指定します（エスケープ文字）。 | ¥* 高速 ¥? システム | <ul style="list-style-type: none"> <li>* 高速 ? システム</li> </ul>                |

注 ワイルドカードおよび特殊文字は、半角で指定してください。

## (2) 全文検索条件に指定できるオプションの意味と検索例

全文検索条件に指定できるオプションの意味と検索例について説明します。

### 同義語

同義語展開検索を実行します。同義語展開検索では、同義語辞書の定義に従って、検索タームの同義語が展開されます。例えば、同義語辞書に「コンピュータ」と「Computer」が同義語であると登録されている場合、「コンピュータ」を検索タームに指定すると、「コンピュータ」または「Computer」をコンテンツに含む文書が検索されます。

同義語辞書の登録方法については、マニュアル「HiRDB Text Search Plug-in」、またはマニュアル「HiRDB XML Extension」を参照してください。

### カタカナ異表記

かたかな異表記展開検索を実行します。かたかな異表記展開検索では、検索タームのかたかな表記が展開されます。例えば、「バイオリン」を検索タームに指定すると、「バイオリン」または「ヴァイオリン」をコンテンツに含む文書が検索されます。

### アルファベット異表記

アルファベット異表記展開検索を実行します。アルファベット異表記展開検索では、検索タームを、次の4パターンに展開します。

- 指定した文字列
- すべてが大文字
- すべてが小文字
- 先頭だけが大きい文字

例えば、「Doc」を検索タームに指定すると、「Doc」「DOC」「doc」をコンテンツに含む文書が検索されます。

### 全角・半角異表記

全角半角異表記展開検索を実行します。全角半角異表記展開検索では、検索タームの中の文字のうち、全角から半角に変換できるもの、または半角から全角に変換できるものに対して、次の3パターンに展開します。

- 指定した文字列
- すべてが全角文字列
- すべてが半角文字列

例えば、「Text」を検索タームに指定すると、「Text」または「Text」をコンテンツに含む文書が検索されます。

## (3) プロパティ検索条件に指定する一致条件の意味

プロパティ検索条件に指定する一致条件の意味について次の表に示します。

表 5-7 一致条件の意味

| 一致条件 | 説明  |
|------|---|
| 完全一致 | プロパティの値が指定した条件値と完全に一致するオブジェクトを検索します。<br>例えば、「『更新者名』が『日立太郎』であるオブジェクト」という条件で検索します。「更新者名」が「日立太郎」のオブジェクトだけがヒットします。<br>日時を表すプロパティの一致条件に指定する場合は、「開始日時」<=「更新日時」<=「終了日時」である文書またはフォルダを検索します。 |

| 一致条件 | 説明  |
|------|---|
| 不一致  | プロパティの値が指定した条件値と一致しないオブジェクトを検索します。<br>例えば、「『更新者名』が『日立太郎』ではないオブジェクト」という条件で検索します。「更新者名」が「日立花子」のオブジェクトや「田中太郎」のオブジェクトなどがヒットし、「更新者名」が「日立太郎」のオブジェクトはヒットしません。<br>日時を表すプロパティの一致条件に指定する場合は、「開始日時」>「更新日時」>「終了日時」である文書またはフォルダを検索します。 |
| 部分一致 | プロパティの値に指定した条件値を含むオブジェクトを検索します。<br>例えば、「『更新者名』に『日立』を含むオブジェクト」という条件で検索します。「更新者名」が「日立太郎」、「鈴木日立」などのオブジェクトがヒットします。  |
| 前方一致 | プロパティの値が指定した条件値で始まるオブジェクトを検索します。<br>例えば、「『更新者名』が『日立』で始まるオブジェクト」という条件で検索します。「更新者名」が「日立太郎」、「日立花子」などのオブジェクトがヒットします。  |
| 後方一致 | プロパティの値が指定した条件値で終わるオブジェクトを検索します。<br>例えば、「『更新者名』が『太郎』で終わるオブジェクト」という条件で検索します。「更新者名」が「日立太郎」、「東京太郎」などのオブジェクトがヒットします。  |

注 一致条件を「部分一致」、「前方一致」、または「後方一致」とする場合で、条件値にワイルドカード（「\*」、「?」、「|」）または特殊文字（「¥」）を含むときは、その前に「¥」をエスケープ文字として付ける必要があります。

## 5.4.5 文書またはフォルダの検索に使用する画面

文書またはフォルダを検索する時に使用する画面について説明します。

### (1) 「全文検索条件指定」画面

「全文検索条件指定」画面について説明します。この画面は、ツリーフレームに表示されます。

図 5-13 「全文検索条件指定」画面

| プロパティ     | 一致条件   | 検索値  |
|-----------|--------|--|
| 文書名       | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>   |
| 更新者名      | 完全一致 ▼ | <input type="text"/>   |
| 更新日時      | 完全一致 ▼ | <input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/><br>~ <input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/> |
| コメント      | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>   |
| バージョン名    | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>   |
| バージョンコメント | 部分一致 ▼ | <input type="text"/>   |

結合条件  AND  OR

「チェックアウト中文書検索」アンカー

ツリーフレームに「チェックアウト中文書検索条件指定」画面を表示します。

「フォルダ検索」アンカー

ツリーフレームに「フォルダ検索条件指定」画面を表示します。

「検索」ボタン

検索を開始します。

検索実行後、リストフレームに「検索結果一覧」画面が表示されます。

「条件リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

(対象バージョン・検索ターム・結合条件・オプションの指定)

対象バージョン、検索ターム、結合条件およびオプションを指定します。指定する項目について次の表に示します。

表 5-8 対象バージョン・検索ターム・結合条件・オプションの指定

| 項目              | 説明  |
|-----------------|---|
| 「対象バージョン」ラジオボタン | <p>検索の対象とする文書のバージョンについて指定します。デフォルトでは「カレントバージョン」が選択されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カレントバージョン<br/>カレントバージョンだけを全文検索の対象にする場合に選択します。</li> <li>全バージョン<br/>すべてのバージョンを全文検索の対象にする場合に選択します。</li> </ul> |

| 項目                   | 説明  |
|----------------------|---|
| 「文書に含まれる文字列」テキストボックス | 検索タームを入力します。一つの検索タームは255バイト以内で指定してください。検索タームは五つまで入力できます。<br>検索タームには、このときワイルドカード（「*」、「?」）や特殊文字（「 」、「¥」）が使用できます。<br>ワイルドカードおよび特殊文字の詳細については、「5.4.4 検索条件の指定方法」を参照してください。  |
| 「結合条件」ラジオボタン         | 「文書に含まれる文字列」テキストボックスに複数の文字列を指定した場合に、それらの結合条件を指定します。<br>デフォルトでは「AND」が選択されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• AND<br/>指定したすべての検索タームが含まれる文書が検索されます。例えば、「最新技術」と「コンピュータ」という二つの検索タームを指定した場合、両方の検索タームを含んでいる文書がヒットします。</li> <li>• OR<br/>指定した検索タームのどれかが含まれる文書が検索されます。例えば、「最新技術」と「コンピュータ」という二つの検索タームを指定した場合、どちらかの検索タームを含んでいる文書がヒットします。</li> </ul>   |
| 「オプション」チェックボックス      | 全文検索のオプションを指定します。<br>チェックボックスをチェックしたオプションが有効になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 同義語<br/>同義語検索オプションが有効になります。</li> <li>• カタカナ異表記<br/>かな異表記検索オプションが有効になります。</li> <li>• アルファベット異表記<br/>アルファベット異表記検索オプションが有効になります。</li> <li>• 全角・半角異表記<br/>全角・半角異表記検索オプションが有効になります。</li> </ul> <p>オプションは複数組み合わせで指定できます。<br/>デフォルトでは、どのオプションも選択されていません。<br/>それぞれのオプションを指定した場合にヒットする検索タームの例については、「5.4.4 検索条件の指定方法」を参照してください。</p> |

#### （プロパティの指定）

プロパティを指定します。指定する項目について次の表に示します。

表 5-9 プロパティの指定（「全文検索条件指定」画面）

| プロパティ | 項目            | 説明   |
|-------|---------------|--|
| 文書名   | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。<br>デフォルトでは「部分一致」が選択されています。 |
|       | 「検索値」テキストボックス | 文書名またはその一部を255バイト以内で指定します。   |
| 更新者名  | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。<br>デフォルトでは「部分一致」が選択されています。 |
|       | 「検索値」テキストボックス | 更新者名またはその一部を255バイト以内で指定します。  |
| 更新日時  | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」のどちらかを選択できます。<br>デフォルトでは「完全一致」が選択されています。                  |

## 5. 操作

| プロパティ     | 項目            | 説明   |
|-----------|---------------|--|
|           | 「検索値」テキストボックス | 検索したい範囲の、開始日時と終了日時を指定します。年（西暦 4 けたの整数）、月（2 けたまでの整数）、日（2 けたまでの整数）で、開始日時と終了日時をそれぞれ指定します。<br>指定できるのは、「1970 年 1 月 1 日」～「2037 年 12 月 31 日」までです。<br>開始日時、終了日時の指定はどちらかを省略することもできます。省略した場合、一致条件に「完全一致」を指定したときは、指定した日時と完全に等しい更新日時の文書を検索します。一致条件に「不一致」を指定したときは、指定した日時と異なる更新日時の文書を検索します。<br>なお、年月日を一部省略することはできません。年だけを指定した検索などはできません。 |
| コメント      | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。<br>デフォルトでは「部分一致」が選択されています。   |
|           | 「検索値」テキストボックス | コメントまたはその一部を 255 バイト以内で指定します。  |
| バージョン名    | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。<br>デフォルトでは「部分一致」が選択されています。   |
|           | 「検索値」テキストボックス | バージョン名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。  |
| バージョンコメント | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。<br>デフォルトでは「部分一致」が選択されています。   |
|           | 「検索値」テキストボックス | バージョンコメントまたはその一部を 255 バイト以内で指定します。   |
|           | 「結合条件」ラジオボタン  | 複数の項目を指定した場合に、それらの結合条件を指定します。デフォルトでは「AND」が選択されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• AND<br/>指定したすべての検索条件を満たす文書が検索されます。</li> <li>• OR<br/>指定した検索条件のどれかを満たす文書が検索されます。</li> </ul>  |

### (2) 全文検索の「検索結果一覧」画面

全文検索実行時に表示される「検索結果一覧」画面について説明します。

図 5-14 全文検索の「検索結果一覧」画面

| 検索結果一覧                               |                 |        |                     |    |  |
|--------------------------------------|-----------------|--------|---------------------|----|--|
| <<   <   (20件中1~10件表示)   >   >>   更新 |                 |        |                     |    |  |
| バージョン名                               | 文書名 ↑           | 更新者    | 更新日時                | 操作 |  |
| 4                                    | Java版動作結果報告     | 東海 富士子 | 2002/01/13 00:51:35 |    |  |
| 1                                    | Webアプリケーション開発方針 | 鈴木 一郎  | 2002/02/15 13:17:29 |    |  |
| 1                                    | コンポーネントの再利用方針   | 群馬 五郎  | 2002/02/25 12:38:55 |    |  |
| 1                                    | サンプルWebアプリケーション | 東京 雪江  | 2002/01/31 15:19:37 |    |  |
| 1                                    | プロジェクトA企画概要     | 鈴木 一郎  | 2002/02/13 23:29:20 |    |  |
| 2                                    | プロジェクトA企画概要     | 鈴木 一郎  | 2002/03/02 01:01:04 |    |  |
| 1                                    | プロジェクトZZZ事例報告   | 四国 花子  | 2002/01/17 15:33:39 |    |  |
| 1                                    | 複製資料2002年2月27日  | 青森 亀雄  | 2002/02/28 17:29:01 |    |  |
| 1                                    | 企画資料            | 九州 次郎  | 2002/02/15 13:24:53 |    |  |
| 2                                    | 企画資料            | 鈴木 一郎  | 2002/03/15 13:46:00 |    |  |
| <<   <   (20件中1~10件表示)   >   >>   更新 |                 |        |                     |    |  |

(リスト表示)

全文検索の結果の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-10 全文検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示

| 列名     | アンカー / アイコン     | 説明  |
|--------|-----------------|---|
| バージョン名 | 「バージョンプロパティ」    | クリックすると、サブウィンドウに「バージョンプロパティ」画面が表示されます。  |
|        | (アンカー)または(テキスト) | バージョンごとのバージョン名(バージョン名プロパティ)が表示されます。アンカーをクリックすると、該当バージョンのコンテンツが表示されます。なお、そのバージョンの登録文書ファイルが未登録の場合、アンカーではなく、テキストで表示されます。 |
| 文書名    | 「プロパティ」         | クリックすると、サブウィンドウに文書の「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。  |
|        | (アンカー)または(テキスト) | 文書名(オブジェクト名プロパティ)が表示されます。アンカーをクリックすると、カレントバージョンのコンテンツが表示されます。なお、カレントバージョンの登録文書ファイルが未登録の場合、アンカーではなく、テキストで表示されます。       |
| 更新者    | -               | 更新者名(更新者名プロパティ)が表示されます。   |
| 更新日時   | -               | 更新日時(更新日時プロパティ)が表示されます。   |
| 操作     | 「削除」            | クリックすると、文書の削除を確認するメッセージダイアログが表示されます。  |
|        | 「チェックアウト」       | チェックアウトされていない文書の場合に表示されます。クリックすると、チェックアウトを確認するメッセージダイアログが表示されます。  |
|        | 「チェックイン」        | 自分がチェックアウトした文書の場合、またはセキュリティ管理者の場合に表示されます。クリックすると、サブウィンドウに、「チェックイン(1/2)」画面が表示されます。                                     |

| 列名 | アンカー / アイコン  | 説明   |
|----|--|--|
|    |  「チェックアウト<br>キャンセル」 | 自分がチェックアウトした文書の場合、またはセキュリティ管理者の場合に表示されます。<br>クリックすると、チェックアウトの取り消しを確認するメッセージダイアログが表示されます。 |

また、全文検索の「検索結果一覧」画面で表示される項目の、初期状態でのソートの優先順位およびソート方向は、次に示す表のとおりです。これ以外の項目は、ソートキーにはなりません。

表 5-11 全文検索の「検索結果一覧」画面の項目のソート順位とソート方向

| ソートキーになる項目 | 優先順位 | 方向 |
|------------|------|----|
| 文書名        | 1    | 昇順 |
| バージョン名     | 2    | 昇順 |
| 更新者        | 3    | 昇順 |
| 更新日時       | 4    | 降順 |

### (3) 「チェックアウト中文書検索条件指定」画面

「チェックアウト中文書検索条件指定」画面について説明します。この画面はツリーフレームに表示されません。

図 5-15 「チェックアウト中文書検索条件指定」画面



#### 「全文検索」アンカー

ツリーフレームに「全文検索条件指定」画面が表示されます。

#### 「フォルダ検索」アンカー

ツリーフレームに「フォルダ検索条件指定」画面が表示されます。

#### 「検索」ボタン

検索を開始します。

検索実行後、リストフレームに「検索結果一覧」画面が表示されます。

#### 「条件リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

## (プロパティの指定)

プロパティ検索条件を指定します。指定項目について、次の表に示します。

表 5-12 プロパティの指定 (「チェックアウト中文書検索条件指定」画面)

| 項目              |                   | 説明   |
|-----------------|-------------------|--|
| 文書名             | 「一致条件」<br>リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。<br>デフォルトでは「部分一致」が選択されています。   |
|                 | 「検索値」<br>テキストボックス | 文書名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。   |
| チェックアウト<br>ユーザ名 | 「一致条件」<br>リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。<br>デフォルトでは「部分一致」が選択されています。   |
|                 | 「検索値」<br>テキストボックス | チェックアウトユーザのユーザ名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。<br>指定を省略した場合は、すべてのユーザによってチェックアウトされた文書が検索の対象になります。   |
| チェックアウト<br>日時   | 「一致条件」<br>リストボックス | 「完全一致」「不一致」のどちらかを選択できます。<br>デフォルトでは「完全一致」が選択されています。  |
|                 | 「検索値」<br>テキストボックス | 検索したい範囲の、開始日時と終了日時を指定します。年(西暦 4 けたの整数)、月(2 けたまでの整数)、日(2 けたまでの整数)で、開始日時と終了日時をそれぞれ指定します。指定できるのは、「1970 年 1 月 1 日」～「2037 年 12 月 31 日」までです。<br>開始日時、終了日時の指定はどちらかを省略することもできます。省略した場合、一致条件に「完全一致」を指定したときは、指定した日時と完全に等しいチェックアウト日時の文書を検索します。一致条件に「不一致」を指定したときは、指定した日時と異なるチェックアウト日時の文書を検索します。<br>なお、年月日を一部省略することはできません。年だけを指定した検索などはできません。 |
| コメント            | 「一致条件」<br>リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。<br>デフォルトでは「部分一致」が選択されています。   |
|                 | 「検索値」<br>テキストボックス | コメントまたはその一部を 255 バイト以内で指定します。  |
| 「結合条件」ラジオボタン    |                   | 複数の項目を指定した場合に、それらの結合条件を指定します。デフォルトでは「AND」が選択されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• AND<br/>指定したすべての検索条件を満たす文書が検索されます。</li> <li>• OR<br/>指定した検索条件のどれかを満たす文書が検索されます。</li> </ul>  |

注 セキュリティ管理者の場合に表示される項目です。

## (4) チェックアウト中文書検索の「検索結果一覧」画面

チェックアウト中文書検索実行時に表示される「検索結果一覧」画面について説明します。

図 5-16 チェックアウト中文書検索の「検索結果一覧」画面

| 検索結果一覧   |             |                     |      |   |
|--|-------------|---------------------|------|---|
| <<   <   (4件中1~4件表示)   >   >>   更新   |             |                     |      |   |
| 文書名 ↑  | チェックアウトユーザ名 | チェックアウト日時           | コメント | 操作  |
|  カタログ資料     | 鈴木 一郎       | 2002/03/05 17:16:48 |      |    |
|  プレゼンテーション  | 鈴木 一郎       | 2002/03/05 11:30:20 |      |    |
|  プロジェクトA企画案 | 鈴木 一郎       | 2002/03/14 14:37:51 | 素案   |    |
|  設計メモ       | 鈴木 一郎       | 2002/03/03 14:37:17 |      |    |
| <<   <   (4件中1~4件表示)   >   >>   更新   |             |                     |      |   |

(リスト表示)

チェックアウト中文書検索の結果の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-13 チェックアウト中文書検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示

| 列名          | アンカー / アイコン  | 説明  |
|-------------|--|---|
| 文書名         |  「プロパティ」          | クリックすると、サブウィンドウに文書の「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。  |
|             | (アンカー)または<br>(テキスト)  | 文書名(オブジェクト名プロパティ)が表示されます。アンカーをクリックすると、カレントバージョンのコンテンツが表示されます。なお、カレントバージョンの登録文書ファイルが未登録の場合、アンカーではなく、テキストで表示されます。 |
| チェックアウトユーザ名 | -  | チェックアウトユーザ名(チェックアウトユーザ名プロパティ)が表示されます。   |
| チェックアウト日時   | -  | チェックアウト日時(チェックアウト日時プロパティ)が表示されます。   |
| コメント        | -  | コメント(コメントプロパティ)が表示されます。   |
| 操作          |  「削除」           | クリックすると、文書の削除を確認するメッセージダイアログが表示されます。  |
|             |  「チェックイン」       | クリックすると、サブウィンドウに、「チェックイン(1/2)」画面が表示されます。  |
|             |  「チェックアウトキャンセル」 | クリックすると、チェックアウトの取り消しを確認するメッセージダイアログが表示されます。   |

また、チェックアウト中文書検索の「検索結果一覧」画面で表示される項目の、初期状態でのソートの優先順位およびソート方向は、次に示す表のとおりです。これ以外の項目は、ソートキーにはなりません。

表 5-14 チェックアウト中文書検索の「検索結果一覧」画面の項目のソート順位とソート方向

| ソートキーになる項目名 | 優先順位 | 方向 |
|-------------|------|----|
| 文書名         | 1    | 昇順 |
| チェックアウトユーザ名 | 2    | 昇順 |
| チェックアウト日時   | 3    | 降順 |

## (5) 「フォルダ検索条件指定」画面

「フォルダ検索条件指定」画面について説明します。この画面は、ツリーフレームに表示されます。

図 5-17 「フォルダ検索条件指定」画面

| プロパティ | 一致条件 | 検索値       |
|-------|------|-----------|
| フォルダ名 | 部分一致 |           |
| 更新者名  | 完全一致 |           |
| 更新日時  | 完全一致 | / / ~ / / |
| コメント  | 部分一致 |           |

結合条件  AND  OR

「全文検索」アンカー

ツリーフレームに「全文検索条件指定」画面が表示されます。

「チェックアウト中文書検索」アンカー

ツリーフレームに「チェックアウト中文書検索条件指定」画面が表示されます。

「検索」ボタン

検索を開始します。

検索結果は「検索結果一覧」画面に表示されます。

「条件リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

(プロパティの指定)

プロパティ検索条件を指定します。指定項目について、次の表に示します。

表 5-15 プロパティの指定(「フォルダ検索条件指定」画面)

| 項目    | 説明            |  |
|-------|---------------|--|
| フォルダ名 | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。デフォルトでは「部分一致」が選択されています。 |
|       | 「検索値」テキストボックス | フォルダ名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。                                   |
| 更新者名  | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。デフォルトでは「部分一致」が選択されています。 |
|       | 「検索値」テキストボックス | 更新者名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。                                    |
| 更新日時  | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」のどちらかを選択できます。デフォルトでは「完全一致」が選択されています。                  |

| 項目            | 説明   |  |
|---------------|--|--|
| 「検索値」テキストボックス | 検索したい範囲の、開始日時と終了日時を指定します。年（西暦 4 けたの整数）、月（2 けたまでの整数）、日（2 けたまでの整数）で、開始日時と終了日時をそれぞれ指定します。指定できるのは、「1970 年 1 月 1 日」～「2037 年 12 月 31 日」までです。開始日時、終了日時の指定はどちらかを省略することもできます。省略した場合、一致条件に「完全一致」を指定したときは、指定した日時と完全に等しい更新日時のフォルダを検索します。一致条件に「不一致」を指定したときは、指定した日時と異なる更新日時のフォルダを検索します。なお、年月日を一部省略することはできません。年だけを指定した検索などはできません。 |  |
| コメント          | 「一致条件」リストボックス  | 「完全一致」「部分一致」「不一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。デフォルトでは「部分一致」が選択されています。 |
|               | 「検索値」テキストボックス  | コメントまたはその一部を 255 バイト以内で指定します。                                    |
| 「結合条件」ラジオボタン  | 複数の項目を指定した場合に、それらの結合条件を指定します。デフォルトでは「AND」が選択されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• AND<br/>指定したすべての検索条件を満たすフォルダが検索されます。</li> <li>• OR<br/>指定した検索条件のどれかを満たすフォルダが検索されます。</li> </ul>  |  |

## (6) フォルダ検索の「検索結果一覧」画面

フォルダ検索実行時に表示される「検索結果一覧」画面について説明します。

図 5-18 フォルダ検索の「検索結果一覧」画面

| 検索結果一覧                              |       |                     |       |    |
|-------------------------------------|-------|---------------------|-------|----|
| <<   <   (36件中1～5件表示)   >   >>   更新 |       |                     |       |    |
| フォルダ名 ↑                             | 更新者   | 更新日時                | コメント  | 操作 |
| Aプロジェクト                             | 鈴木 一郎 | 2002/02/18 15:04:49 |       |    |
| Eプロジェクト                             | 鈴木 一郎 | 2002/02/26 15:20:29 | 凍結中   |    |
| プロジェクトX                             | 四国 花子 | 2002/02/18 15:04:53 | 事務規約  |    |
| 競合他社情報                              | 大阪 月美 | 2002/02/18 15:04:59 | 規約類含む |    |
| 連絡事項                                | 青森 亀雄 | 2002/02/18 15:05:05 | 各種規約  |    |
| <<   <   (36件中1～5件表示)   >   >>   更新 |       |                     |       |    |

### (リスト表示)

フォルダ検索の結果の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-16 フォルダ検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示

| 列名    | アンカー / アイコン | 説明   |
|-------|-------------|--|
| フォルダ名 | 「プロパティ」     | クリックすると、サブウィンドウにフォルダの「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。 |

| 列名   | アンカー / アイコン  | 説明  |
|------|--|---|
|      | (アンカー)   | フォルダ名 (オブジェクト名プロパティ) が表示されます。<br>アンカーをクリックすると、カレントフォルダが変更され、選択したフォルダの「オブジェクト一覧」画面が表示されます。 |
| 更新者  | -  | 更新者名 (更新者名プロパティ) が表示されます。   |
| 更新日時 | -  | 更新日時 (更新日時プロパティ) が表示されます。   |
| コメント | -  | コメント (コメントプロパティ) が表示されます。   |
| 操作   |  「削除」 | クリックすると、フォルダの削除を確認するメッセージダイアログが表示されます。  |

また、フォルダの「検索結果一覧」画面で表示される項目の、初期状態でのソートの優先順位およびソート方向は、次に示す表のとおりです。これ以外の項目は、ソートキーにはなりません。

表 5-17 フォルダ検索の「検索結果一覧」画面の項目のソート順位とソート方向

| ソートキーになる項目 | 優先順位 | 方向 |
|------------|------|----|
| フォルダ名      | 1    | 昇順 |
| 更新者        | 2    | 昇順 |
| 更新日時       | 3    | 降順 |

## 5.5 文書のコンテンツを表示する

---

文書のコンテンツを表示する方法について説明します。

### 5.5.1 コンテンツを表示する

#### (1) 機能概要

文書の一つのバージョンに対応するコンテンツを表示します。

#### (2) 操作手順

##### (a) カレントバージョンのコンテンツを表示する

文書のカレントバージョンのコンテンツを表示します。

1. 「オブジェクト一覧」画面、全文検索の「検索結果一覧」画面、またはチェックアウト中文書検索の「検索結果一覧」画面で、コンテンツを表示したい文書を含む一覧を表示します。  
「オブジェクト一覧」画面の表示方法については、「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。「検索結果一覧」画面の表示方法については、「5.4.1 文書を検索する」または「5.4.2 チェックアウト中の文書を検索する」を参照してください。
2. 「名前」列または「文書名」列のアンカーをクリックします。  
選択した文書のカレントバージョンのコンテンツが表示されます。  
コンテンツをダウンロードしたい場合は、アンカーを右クリックすると表示されるメニューを選択して、ファイルに保存してください。  
なお、選択した文書のカレントバージョンの登録文書ファイルが未登録の場合、「名前」列または「文書名」列の文書名は、アンカーではなくテキストで表示されます。この場合、コンテンツは表示できません。

##### (b) バージョンを指定してコンテンツを表示する

1. 全文検索の「検索結果一覧」画面、または「バージョン一覧」画面で、コンテンツを表示したい文書を含む一覧を表示します。  
「バージョン一覧」画面の表示方法については、「5.8.2 バージョン一覧を表示する」を参照してください。文書の「検索結果一覧」画面の表示方法については、「5.4.1 文書を検索する」を参照してください。
2. コンテンツを表示したいバージョンの「バージョン名」列のアンカーをクリックします。  
選択したバージョンのコンテンツが表示されます。  
コンテンツをダウンロードしたい場合は、アンカーを右クリックすると表示されるメニューを選択して、ファイルに保存してください。  
なお、選択した文書のバージョンの登録文書ファイルが未登録の場合、「バージョン名」列のバージョン名は、アンカーではなくテキストで表示されます。この場合、コンテンツは表示できません。

#### (3) 注意事項

アクセス権がない文書のコンテンツを表示しようとした場合は、エラーになります。

## 5.6 文書のバージョンを追加する

---

文書のバージョンを追加する方法について説明します。

### 5.6.1 文書をチェックアウトする

#### (1) 機能概要

文書のバージョンの追加を予約して、ほかのユーザに更新操作をさせないようにします。

また、チェックアウトする時には、文書のカレントバージョンのコンテンツをダウンロードできます。

#### (2) 操作手順

1. 「オブジェクト一覧」画面または「検索結果一覧」画面を表示して、チェックアウトしたい文書を含む一覧を表示します。  
「オブジェクト一覧」画面の表示方法については、「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。「検索結果一覧」画面の表示方法については、「5.4.1 文書を検索する」を参照してください。
2. チェックアウトする文書の「操作」列の「チェックアウト」アイコン  をクリックします。  
チェックアウトを確認するメッセージダイアログが表示されます。
3. 「OK」ボタンをクリックします。  
チェックアウトが実行されます。サブウィンドウに「チェックアウト結果」画面が表示されます。  
チェックアウトした文書のコンテンツをダウンロードする場合は、「チェックアウトした文書を取得する」アンカーを右クリックすると表示されるメニューを選択して、ファイルに保存してください。

#### (3) 注意事項

次の場合はエラーになります。

すでにチェックアウトされている文書をチェックアウトしようとした場合

一覧表示後にほかのユーザによって削除された文書など、存在しない文書をチェックアウトしようとした場合

アクセス権がない文書をチェックアウトしようとした場合

### 5.6.2 チェックアウトを取り消す

#### (1) 機能概要

自分がチェックアウトした文書のチェックアウトを取り消します。セキュリティ管理者の場合は、自分以外のユーザがチェックアウトした文書のチェックアウトも取り消せます。

#### (2) 操作手順

1. 「オブジェクト一覧」画面または「検索結果一覧」画面を表示して、チェックアウトを取り消したい文書を含む一覧を表示します。  
「オブジェクト一覧」画面の表示方法については、「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。文書の「検索結果一覧」画面の表示方法については、「5.4.1 文書を検索する」または「5.4.2 チェックアウト中の文書を検索する」を参照してください。

## 5. 操作

2. チェックアウトを取り消す文書の「操作」列の「チェックアウトキャンセル」アイコン  をクリックします。  
チェックアウトの取り消しを確認するメッセージダイアログが表示されます。
3. 「OK」ボタンをクリックします。  
チェックアウトの取り消しが実行されます。結果を表すメッセージダイアログが表示されます。

### (3) 注意事項

次の場合はエラーになります。

チェックアウトされていない文書の「チェックアウトキャンセル」アイコンをクリックした場合

一覧表示後にほかのユーザによって削除された文書など、存在しない文書の「チェックアウトキャンセル」アイコンをクリックした場合

アクセス権がない文書の「チェックアウトキャンセル」アイコンをクリックした場合

チェックアウトしたユーザ以外のユーザであり、セキュリティ管理者ではないユーザが「チェックアウトキャンセル」アイコンをクリックした場合

## 5.6.3 文書をチェックインする

### (1) 機能概要

自分がチェックアウトした文書をチェックインします。セキュリティ管理者の場合は、自分以外のユーザがチェックアウトした文書もチェックインできます。この操作によって文書の更新（バージョンアップ）が完了します。

チェックインする時には、文書のプロパティおよび追加するバージョンのプロパティを設定できます。また、新しいバージョンのコンテンツに登録するファイルを同時に更新したり、全文検索インデクスの作成を指定したりすることもできます。

### (2) 操作手順

1. 「オブジェクト一覧」画面または「検索結果一覧」画面を表示して、チェックインしたい文書を含む一覧を表示します。  
「オブジェクト一覧」画面の表示方法については、「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。文書の「検索結果一覧」画面の表示方法については、「5.4.1 文書を検索する」または「5.4.2 チェックアウト中の文書を検索する」を参照してください。
2. チェックインする文書の「操作」列の「チェックイン」アイコン  をクリックします。  
サブウィンドウに「チェックイン (1/2)」画面が表示されます。
3. 文書のプロパティおよびバージョンプロパティを指定します。  
例えば、「プロジェクト A 企画案」をバージョンアップする場合に、バージョンコメントに状態を表すコメントを記入するときは、次のように指定します。

図 5-19 チェックイン時のプロパティの指定例

| プロパティ     | 設定値        |
|-----------|------------|
| 文書名       | プロジェクトA企画案 |
| コメント      |            |
| バージョン名    | 2 (必須)     |
| バージョンコメント | 企画1課レビュー済み |

- 「登録文書ファイルの設定」ボタンをクリックします。  
サブウィンドウに、「チェックイン (2/2)」画面が表示されます。
- 「登録文書ファイル」ファイル選択ボックスにコンテンツとして登録するファイルのパスを指定します。  
指定方法については、「5.3.2 文書を新規に作成する」を参照してください。
- 全文検索インデクスを作成する場合は、「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックスをチェックするか、または「全文検索用インデクスファイル」ファイル選択ボックスに全文検索用ファイルのファイルパスを指定します。  
指定方法については、「5.3.2 文書を新規に作成する」を参照してください。
- 「チェックイン」ボタンをクリックします。  
チェックインが実行されます。サブウィンドウに、「チェックイン完了」画面が表示されます。  
なお、チェックイン後、メインウィンドウに表示されている「オブジェクト一覧」画面または「検索結果一覧」画面で操作を続ける場合は、これらの画面のリスト表示の「更新」アンカーをクリックしてください。リスト表示が最新の状態に更新されます。

### (3) 注意事項

「チェックイン (1/2)」画面で、省略できない項目である「バージョン名」を指定しないで「登録文書ファイルの設定」ボタンをクリックした場合はエラーになります。

また、次の場合は、「チェックイン (2/2)」画面で「チェックイン」ボタンをクリックした時にエラーになります。

「チェックイン (1/2)」画面の「文書名」と「チェックイン (2/2)」画面の「登録文書ファイル」のどちらの指定も省略してチェックインしようとした場合

チェックアウトされていない文書をチェックインしようとした場合

アクセス権がない文書をチェックインしようとした場合

チェックアウトしたユーザ以外のユーザであり、セキュリティ管理者ではないユーザがチェックインしようとした場合

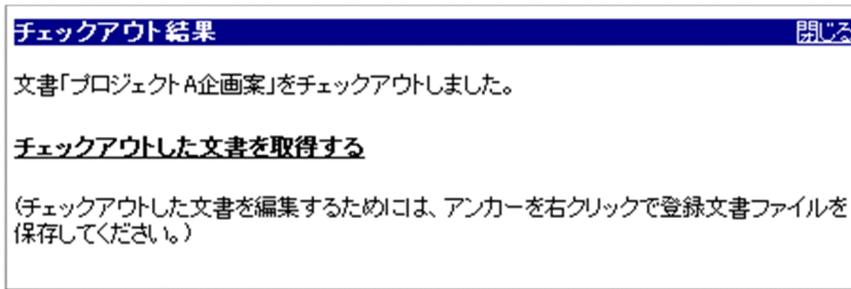
## 5.6.4 文書のバージョンを追加する時に使用する画面

文書のバージョンを追加する時に使用する画面について説明します。

### (1) 「チェックアウト結果」画面

「チェックアウト結果」画面について説明します。

図 5-20 「チェックアウト結果」画面



「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

「チェックアウトした文書を取得する」アンカー

右クリックで表示されるメニューを選択して、チェックアウトした文書のコンテンツをファイルに保存します。

なお、登録文書ファイルが未登録の場合、このアンカーは表示されません。

## (2) 「チェックイン (1/2)」画面

「チェックイン (1/2)」画面について説明します。

図 5-21 「チェックイン (1/2)」画面

| プロパティ     | 設定値        |
|-----------|------------|
| 文書名       | プロジェクトA企画案 |
| コメント      |            |
| バージョン名    | 2 (必須)     |
| バージョンコメント | 企画1課レビュー済み |

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

「登録文書ファイルの設定」ボタン

「チェックイン (2/2)」画面を表示します。必要に応じてプロパティを編集してからクリックしてください。

プロパティ

チェックインするバージョンのプロパティを指定します。バージョン名以外は、チェックアウト前のバージョンと同じ値が設定されています。必要に応じて編集してください。

指定項目するについて、次の表に示します。

表 5-18 チェックインするバージョンに指定するプロパティ

| 項目                  | 説明  |
|---------------------|---|
| 「文書名」テキストボックス       | 文書名（オブジェクト名プロパティ）を 255 バイト以内で指定します。<br>この項目を省略すると、「チェックイン（2/2）」画面で指定する登録文書ファイルのファイル名が文書名になります。ただし、この項目と、登録文書ファイルの両方を省略することはできません。 |
| 「コメント」テキストボックス      | 文書のコメント（コメントプロパティ）を 255 バイト以内で指定します。  |
| 「バージョン名」テキストボックス    | チェックイン後の新しいバージョンに設定するバージョン名（バージョン名プロパティ）を 255 バイト以内で指定します。この項目は省略できません。デフォルトでは、バージョン番号が設定されています。                                  |
| 「バージョンコメント」テキストボックス | バージョンコメントを 255 バイト以内で指定します。   |

「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

### (3) 「チェックイン（2/2）」画面

「チェックイン（2/2）」画面について説明します。

図 5-22 「チェックイン（2/2）」画面

| プロパティ     | 設定値        |
|-----------|------------|
| 文書名       | プロジェクトA企画案 |
| コメント      |            |
| バージョン名    | 2          |
| バージョンコメント | 企画1課レビュー済み |

「戻る」アンカー

「チェックイン（1/2）」画面に戻ります。

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

「チェックイン」ボタン

文書のチェックインを実行します。チェックイン後、「チェックイン完了」画面が表示されます。

「登録文書ファイル」ファイル選択ボックス、「全文検索用インデクスファイル」ファイル選択ボックス、「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックスの内容を設定してから、クリックしてください。

省略できない項目が指定されていない場合、エラーになります。

「登録文書ファイル」ファイル選択ボックス

チェックインするバージョンにコンテンツとして登録するファイルを指定します。

ファイルは、「参照...」ボタンをクリックすると表示される、ファイルの選択ダイアログで選択してください。なお、ファイルパスの手入力による編集はできません。

この指定を省略した場合は、チェックイン前のカレントバージョンに登録されていた登録文書ファイルがチェックインするバージョンに登録されます。チェックイン前のカレントバージョンの登録文書ファイルが未登録の場合、チェックインするバージョンの登録文書ファイルも未登録になります。このファイル選択ボックスの指定を省略した場合、「全文検索用インデクスファイル」ファイル選択ボックスの指定は無効になります。

「チェックイン (1/2)」画面で「文書名」の指定を省略した場合は、この項目に指定したファイル名から拡張子を除いた文字列が、文書名として設定されます。この場合、「登録文書ファイル」の指定は省略できません。

#### 「全文検索用インデクスファイル」ファイル選択ボックス

チェックインする文書を全文検索の対象にする場合に、全文検索インデクスを作成する基になるファイルを指定します。テキスト形式のファイル (MIME が「text/」で始まる形式のファイル) を、「参照...」ボタンをクリックすると表示される、ファイルの選択ダイアログで選択してください。なお、ファイルパスの手入力による編集はできません。

ただし、「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックスがチェックされている場合、指定は無視されます。

#### 注

全文検索インデクスとは、文書を全文検索するためにデータベースに登録するインデクスです。

#### 「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックス

登録文書ファイルから全文検索インデクスを作成する場合にチェックします。

登録文書ファイルがテキスト形式のファイル (MIME が「text/」で始まる形式のファイル) の場合にだけ指定できます。登録文書ファイルがこれ以外の形式の場合は、意図しない全文検索インデクスが作成されたり、エラーになったりすることがあります。この場合、このチェックボックスは指定しないで、登録文書ファイルと内容が同じテキスト形式のファイルを全文検索用ファイルとして指定してください。

デフォルトでは、チェックされていません。

#### 「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

#### プロパティ

「チェックイン (1/2)」画面で設定したプロパティが表示されます。

注 「全文検索用インデクスファイル」ファイル選択ボックスの指定を省略して「全文検索用インデクスファイルとして登録文書ファイルを使用する」チェックボックスをチェックしなかった場合、全文検索インデクスは作成されません。

### (4) 「チェックイン完了」画面

「チェックイン完了」画面には、チェックインした文書の文書名が表示されます。「閉じる」アンカーをクリックして、サブウィンドウを閉じてください。

なお、「オブジェクト一覧」画面または「検索結果一覧」画面をチェックイン後の状態に更新したい場合は、リスト表示の「更新」アンカーをクリックしてください。「更新」アンカーをクリックすると、リスト表示の「操作」列のアイコンが、「チェックイン」アイコン  および「チェックアウトキャンセル」アイコン  から、「チェックアウト」アイコン  に変わります。

## 5.7 文書，フォルダ，または文書のバージョンを削除する

文書，フォルダを削除する方法，または文書のバージョンを削除する方法について説明します。

### 5.7.1 文書またはフォルダを削除する

#### (1) 機能概要

文書またはフォルダを削除します。文書またはフォルダを削除すると，上位フォルダから設定されているリンクも削除されます。また，文書を削除すると，文書が保持しているすべてのバージョンが削除されます。

#### (2) 操作手順

1. 「オブジェクト一覧」画面または「検索結果一覧」画面で，削除したい文書またはフォルダを含む一覧を表示します。  
「オブジェクト一覧」画面の表示方法については，「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。「検索結果一覧」画面の表示方法については，「5.4 文書またはフォルダを検索する」を参照してください。
2. 削除する文書またはフォルダの「操作」列の「削除」アイコン  をクリックします。  
オブジェクトを削除することを確認するメッセージダイアログが表示されます。
3. 「OK」ボタンをクリックします。  
オブジェクトの削除が実行されます。結果を表すメッセージダイアログが表示されます。また，「オブジェクト一覧」画面および「フォルダツリー」画面の表示が更新されます。

#### (3) 注意事項

次の場合はエラーになります。

下に文書またはフォルダが存在するフォルダを削除しようとした場合

アクセス権がない文書またはフォルダを削除しようとした場合

セキュリティ管理者以外のユーザが，ほかのユーザによってチェックアウト中の文書を削除しようとした場合

### 5.7.2 文書のバージョンを削除する

#### (1) 機能概要

文書の特定のバージョンを削除します。ただし，文書は最低一つのバージョンを保持する必要があります。このため，すべてのバージョンを削除することはできません。

#### (2) 操作手順

1. 「バージョン一覧」画面を表示して，バージョンを削除したい文書のバージョン一覧を表示します。  
バージョン一覧の表示方法は，「5.8.2 バージョン一覧を表示する」を参照してください。
2. 削除するバージョンの「操作」列の「バージョン削除」アイコン  をクリックします。  
バージョンの削除を確認するメッセージダイアログが表示されます。

## 5. 操作

3. 「OK」ボタンをクリックします。

バージョンの削除が実行されて、結果を表すメッセージダイアログが表示されます。また、「バージョン一覧」画面が更新されます。

### (3) 注意事項

次の場合はエラーになります。

チェックアウト中の文書のバージョンを削除しようとした場合

アクセス権がない文書を削除しようとした場合

文書の唯一のバージョンを削除しようとした場合

## 5.8 プロパティとアクセス権を参照する

文書またはフォルダに設定されているプロパティとアクセス権を参照する方法について説明します。また、文書のバージョンのプロパティを参照する方法についても説明します。

### 5.8.1 文書またはフォルダのプロパティとアクセス権を参照する

#### (1) 機能概要

文書のプロパティまたはフォルダのプロパティの値を参照します。同時に、文書またはフォルダに設定されているアクセス権を参照します。

なお、ルートフォルダのプロパティおよびアクセス権は参照できません。

#### (2) 操作手順

1. 「オブジェクト一覧」画面または「検索結果一覧」画面で、プロパティを参照したい文書またはフォルダを含む一覧を表示します。  
「オブジェクト一覧」画面の表示方法については、「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。「検索結果一覧」画面の表示方法については、「5.4 文書またはフォルダを検索する」を参照してください。

2. 「名前」列、「文書名」列または「フォルダ名」列の「プロパティ」アイコン（文書  またはフォルダ  ）をクリックします。  
文書またはフォルダのプロパティとアクセス権が、文書の「プロパティとアクセス権」画面またはフォルダの「プロパティとアクセス権」画面に表示されます。「プロパティとアクセス権」画面は、サブウィンドウに表示されます。

#### (3) 注意事項

アクセス権がない文書またはフォルダのプロパティとアクセス権を参照しようとした場合は、エラーになります。

### 5.8.2 バージョン一覧を表示する

#### (1) 機能概要

「プロパティとアクセス権」画面から、文書の「バージョン一覧」画面を表示します。

「バージョン一覧」画面では、各バージョンのコンテンツをダウンロードしたり、バージョンを削除したりできます。

#### (2) 操作手順

1. 「オブジェクト一覧」画面または「検索結果一覧」画面で、バージョン一覧を表示したい文書を含む一覧を表示します。  
「オブジェクト一覧」画面の表示方法については、「5.2.1 オブジェクト一覧を表示する」を参照してください。「検索結果一覧」画面の表示方法については、「5.4.1 文書を検索する」を参照してください。
2. バージョン一覧を表示したい文書の「名前」列または「文書名」列の「プロパティ」アイコン  をクリックします。

サブウィンドウに文書の「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。

- 「バージョン一覧表示」ボタンをクリックします。  
バージョン一覧が、サブウィンドウの「バージョン一覧」画面に表示されます。

### 5.8.3 バージョンプロパティを参照する

#### (1) 機能概要

文書のバージョンプロパティの値を参照します。

#### (2) 操作手順

- 全文検索の「検索結果一覧」画面または「バージョン一覧」画面を表示して、バージョンプロパティを参照したい文書を含むバージョンの一覧を表示します。  
「検索結果一覧」画面の表示方法については、「5.4.1 文書を検索する」を参照してください。「バージョン一覧」画面の表示方法については、「5.8.2 バージョン一覧を表示する」を参照してください。
- 「バージョン名」列の「バージョンプロパティ」アイコン  をクリックします。  
選択したバージョンのバージョンプロパティが、サブウィンドウの「バージョンプロパティ」画面に表示されます。

### 5.8.4 プロパティとアクセス権の参照に使用する画面

プロパティを参照する時または更新する時に使用する画面について説明します。

#### (1) フォルダの「プロパティとアクセス権」画面

フォルダの「プロパティとアクセス権」画面について説明します。この画面は、サブウィンドウに表示されます。

図 5-23 フォルダの「プロパティとアクセス権」画面

| プロパティ |                     | 設定値 |  |
|-------|---------------------|-----|--|
| フォルダ名 | 2002年上期プロジェクト       |     |  |
| 作成者名  | 日立 太郎               |     |  |
| 作成日時  | 2002/02/15 15:48:17 |     |  |
| 更新者名  | 日立 太郎               |     |  |
| 更新日時  | 2002/02/15 15:48:17 |     |  |
| コメント  | プロジェクト基準参照のこと。      |     |  |

| 対象        | 名前    | パーミッション |
|-----------|-------|---------|
| 所有者       | 日立 太郎 | すべて     |
| プライマリグループ | (なし)  |         |
| 全ユーザ      |       | 参照      |
| 共有ACL     | (なし)  |         |

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

### 「プロパティ更新」ボタン

「プロパティ更新」画面を表示します。

ログインユーザがプロパティを更新する権利を持っている場合にだけ表示されます。

### プロパティ

次のプロパティが表示されます。表示される項目について次の表に示します。

表 5-19 フォルダのプロパティ

| プロパティ | 説明                          |
|-------|-----------------------------|
| フォルダ名 | フォルダ名（オブジェクト名プロパティ）が表示されます。 |
| 作成者名  | 作成者名（作成者名プロパティ）が表示されます。     |
| 作成日時  | 作成日時（作成日時プロパティ）が表示されます。     |
| 更新者名  | 更新者名（更新者名プロパティ）が表示されます。     |
| 更新日時  | 更新日時（更新日時プロパティ）が表示されます。     |
| コメント  | コメント（コメントプロパティ）が表示されます。     |

### 「アクセス権更新」ボタン

「アクセス権更新」画面を表示します。

アクセス権を更新する権利を持つ、所有者またはセキュリティ管理者の場合にだけ表示されます。

### アクセス権

フォルダに設定されているアクセス権が表示されます。表示される項目について次の表に示します。

表 5-20 フォルダのアクセス権

| 対象        | 項目      | 説明   |
|-----------|---------|--|
| 所有者       | 名前      | 所有者名が表示されます。   |
|           | パーミッション | 所有者に対して設定されているパーミッションが表示されます。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」のどれかが表示されます。                |
| プライマリグループ | 名前      | プライマリグループ名が表示されます。<br>プライマリグループを設定していない場合は、「名前」列と「パーミッション」列にわたって「(なし)」と表示されます。 |
|           | パーミッション | プライマリグループに対して設定されているパーミッションが表示されます。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが表示されます。      |
| 全ユーザ      | パーミッション | すべてのユーザに対して設定されているパーミッションが表示されます。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが表示されます。        |
| 共有 ACL    | 名前      | バインドしている共有 ACL 名が表示されます。<br>共有 ACL をバインドしていない場合は、「(なし)」と表示されます。                |

## (2) 文書の「プロパティとアクセス権」画面

文書の「プロパティとアクセス権」画面について説明します。この画面は、サブウィンドウに表示されます。

図 5-24 文書の「プロパティとアクセス権」画面

| プロパティ       |                     | プロパティ更新 |
|-------------|---------------------|---------|
| プロパティ       | 設定値                 |         |
| 文書名         | 市場調査                |         |
| 作成者名        | 四国 花子               |         |
| 作成日時        | 2002/01/19 19:15:18 |         |
| 更新者名        | 鈴木 一郎               |         |
| 更新日時        | 2002/02/25 12:38:55 |         |
| コメント        |                     |         |
| バージョン名      | 2                   |         |
| バージョンコメント   | 2002/2調査結果          |         |
| 登録文書ファイル名   | 調査結果.xls            |         |
| 登録文書ファイルサイズ | 172,032 バイト         |         |

| アクセス権     |       |         | アクセス権更新 |
|-----------|-------|---------|---------|
| 対象        | 名前    | パーミッション |         |
| 所有者       | 鈴木 一郎 | すべて     |         |
| プライマリグループ | (なし)  |         |         |
| 全ユーザ      |       | 参照      |         |
| 共有ACL     | (なし)  |         |         |

| バージョン一覧    | バージョン一覧表示 |
|------------|-----------|
| チェックアウト状態: | チェックアウトなし |

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

「プロパティ更新」ボタン

「プロパティ更新」画面を表示します。

チェックアウト中ではない文書の場合、およびログインユーザがプロパティを更新する権利を持っている場合に表示されます。

プロパティ

次のプロパティが表示されます。表示される項目について次の表に示します。

表 5-21 文書のプロパティ

| 項目        | 説明                                    |
|-----------|---------------------------------------|
| 文書名       | 文書名（オブジェクト名プロパティ）が表示されます。             |
| 作成者名      | 作成者名（作成者名プロパティ）が表示されます。               |
| 作成日時      | 作成日時（作成日時プロパティ）が表示されます。               |
| 更新者名      | 更新者名（更新者名プロパティ）が表示されます。               |
| 更新日時      | 更新日時（更新日時プロパティ）が表示されます。               |
| コメント      | コメント（コメントプロパティ）が表示されます。               |
| バージョン名    | バージョン名（バージョン名プロパティ）が表示されます。           |
| バージョンコメント | バージョンコメント（バージョンコメントプロパティ）が表示され<br>ます。 |

| 項目          | 説明  |
|-------------|---|
| 登録文書ファイル名   | カレントバージョンの登録文書ファイル名（登録文書ファイル名プロパティ）が表示されます。登録文書ファイルが登録されていない場合は、「(未登録)」と表示されます。     |
| 登録文書ファイルサイズ | カレントバージョンの登録文書ファイルサイズ（登録文書ファイルサイズプロパティ）が表示されます。登録文書ファイルが登録されていない場合は、「(未登録)」と表示されます。 |

#### 「アクセス権更新」ボタン

「アクセス権更新」画面を表示します。

アクセス権を更新する権利を持つ、所有者またはセキュリティ管理者の場合にだけ表示されます。

#### アクセス権

文書に設定されているアクセス権が表示されます。表示されるアクセス権は、フォルダの場合と同じです。詳細は、「(1) フォルダの「プロパティとアクセス権」画面」を参照してください。

#### 「バージョン一覧表示」ボタン

サブウィンドウに「バージョン一覧」画面を表示します。

#### チェックアウト状態：

チェックアウト状態が表示されます。次のどちらかが表示されます。

- チェックアウトなし  
チェックアウトされていません。
- チェックアウト中  
チェックアウトされています。

### (3) 「バージョン一覧」画面

「バージョン一覧」画面について説明します。この画面はサブウィンドウに表示されます。

図 5-25 「バージョン一覧」画面



#### 「戻る」アンカー

「プロパティとアクセス権」画面に戻ります。

#### 「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

#### 文書名

文書名（オブジェクト名プロパティ）が表示されます。

#### (リスト表示)

表示している文書のバージョンの一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-22 「バージョン一覧」画面のリスト表示

| 列名     | アンカー / アイコン  | 説明  |
|--------|--|---|
| バージョン名 |  「バージョンプロパティ」 | クリックすると、サブウィンドウに「バージョンプロパティ」画面が表示されます。  |
|        | (アンカー)または<br>(テキスト)  | バージョンごとのバージョン名(バージョン名プロパティ)が表示されます。<br>アンカーをクリックすると、そのバージョンのコンテンツが表示されます。<br>なお、そのバージョンの登録文書ファイルが未登録の場合、アンカーではなく、テキストで表示されます。   |
| 更新者名   | -  | そのバージョンの更新者名(更新者名プロパティ)が表示されます。   |
| 更新日時   | -  | そのバージョンの更新日時(更新日時プロパティ)が表示されます。   |
| コメント   | -  | バージョンコメント(バージョンコメントプロパティ)が表示されます。   |
| 操作     |  「削除」         | クリックすると、バージョンの削除を確認するメッセージダイアログが表示されます。<br>なお、このアイコンは、次の場合には表示されません。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>バージョンが一つだけの場合</li> <li>バージョンを削除するアクセス権がない場合</li> <li>文書がチェックアウト中の場合</li> </ul> |

また、「バージョン一覧」画面で表示される項目の、初期状態でのソートの優先順位およびソート方向は、次に示す表のとおりです。これ以外の項目は、ソートキーにはなりません。

表 5-23 「バージョン一覧」画面の項目のソート順位とソート方向

| ソートキーになる項目 | 優先順位 | 方向 |
|------------|------|----|
| 更新日時       | 1    | 降順 |
| バージョン名     | 2    | 昇順 |
| 更新者名       | 3    | 昇順 |

#### (4) 「バージョンプロパティ」画面

「バージョンプロパティ」画面について説明します。この画面は、サブウィンドウに表示されます。

図 5-26 「バージョンプロパティ」画面

| バージョンプロパティ        |                     | 戻る | 閉じる |
|-------------------|---------------------|----|-----|
| <b>プロパティ</b>      |                     |    |     |
| プロパティ             | 設定値                 |    |     |
| 文書名               | 市場調査                |    |     |
| 作成者名              | 四国 花子               |    |     |
| 作成日時              | 2002/01/19 19:15:18 |    |     |
| 更新者名              | 鈴木 一郎               |    |     |
| 更新日時              | 2002/02/25 12:38:55 |    |     |
| コメント              |                     |    |     |
| <b>バージョンプロパティ</b> |                     |    |     |
| プロパティ             | 設定値                 |    |     |
| バージョン名            | 2                   |    |     |
| バージョン更新者名         | 鈴木 一郎               |    |     |
| バージョン更新日時         | 2002/02/25 12:38:55 |    |     |
| バージョンコメント         | 2002/2調査結果          |    |     |
| 登録文書ファイル名         | 調査報告.xls            |    |     |
| 登録文書ファイルサイズ       | 172,032 バイト         |    |     |

「戻る」アンカー

「バージョン一覧」画面に戻ります。

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

プロパティ

バージョンングオブジェクトのプロパティが表示されます。表示される項目について次の表に示します。

表 5-24 プロパティ (バージョンングオブジェクトのプロパティ)

| 項目   | 説明                           |
|------|------------------------------|
| 文書名  | 文書名 (オブジェクト名プロパティ) が表示されます。  |
| 作成者名 | 文書の作成者名 (作成者名プロパティ) が表示されます。 |
| 作成日時 | 文書の作成日時 (作成日時プロパティ) が表示されます。 |
| 更新者名 | 文書の更新者名 (更新者名プロパティ) が表示されます。 |
| 更新日時 | 文書の更新日時 (更新日時プロパティ) が表示されます。 |
| コメント | 文書のコメント (コメントプロパティ) が表示されます。 |

バージョンプロパティ

バージョンプロパティが表示されます。表示される項目について次の表に示します。

表 5-25 バージョンプロパティ (バージョンオブジェクトのプロパティ)

| 項目        | 説明                                      |
|-----------|---|
| バージョン名    | バージョン名 (バージョン名プロパティ) が表示されます。           |
| バージョン更新者名 | バージョンの更新者名 (更新者名プロパティ) が表示されます。         |
| バージョン更新日時 | バージョンの更新日時 (更新日時プロパティ) が表示されます。         |
| バージョンコメント | バージョンコメント (バージョンコメントプロパティ) が表示されま<br>す。 |

## 5. 操作

| 項目          | 説明  |
|-------------|---|
| 登録文書ファイル名   | そのバージョンの登録文書ファイル名（登録文書ファイル名プロパティ）が表示されます。登録文書ファイルが登録されていない場合は、「(未登録)」と表示されます。     |
| 登録文書ファイルサイズ | そのバージョンの登録文書ファイルサイズ（登録文書ファイルサイズプロパティ）が表示されます。登録文書ファイルが登録されていない場合は、「(未登録)」と表示されます。 |

## 5.9 プロパティを更新する

文書またはフォルダのプロパティを更新する方法について説明します。

### 5.9.1 文書またはフォルダのプロパティを更新する

#### (1) 機能概要

文書のプロパティまたはフォルダのプロパティの値を更新します。ただし、ルートフォルダおよびチェックアウト中の文書のプロパティは更新できません。

#### (2) 操作手順

1. プロパティを更新する文書またはフォルダの「プロパティとアクセス権」画面を表示します。  
「プロパティとアクセス権」画面の表示方法については、「5.8.1 文書またはフォルダのプロパティとアクセス権を参照する」を参照してください。
2. 「プロパティ更新」ボタンをクリックします。  
サブウィンドウに文書の「プロパティ更新」画面またはフォルダの「プロパティ更新」画面が表示されます。  
なお、「プロパティ更新」ボタンが表示されていない場合は、その文書またはフォルダのプロパティは更新できません。
3. プロパティの設定値を変更します。  
更新できるプロパティはテキストボックスで表示されています。  
例えば、フォルダ名を「2002年4月-6月プロジェクト」に変更する場合、次のように指定します。

図 5-27 プロパティ更新時の指定例（フォルダの場合）

| プロパティ | 設定値                   |
|-------|-----------------------|
| フォルダ名 | 2002年4月-6月プロジェクト (必須) |
| 作成者名  | 日立 太郎                 |
| 作成日時  | 2002/02/15 15:48:17   |
| 更新者名  | 日立 太郎                 |
| 更新日時  | 2002/02/15 15:48:17   |
| コメント  | プロジェクト基準参照のこと。        |

4. 「更新」ボタンをクリックします。  
プロパティが更新されます。結果を表すメッセージダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、サブウィンドウに、プロパティが更新された「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。

#### (3) 注意事項

次の場合はエラーになります。

「プロパティ更新」画面で、省略できない項目である文書名またはフォルダ名を指定しない状態で「更新」ボタンをクリックした場合

アクセス権がない文書またはフォルダのプロパティを更新しようとした場合

### 5.9.2 プロパティの更新に使用する画面

プロパティの更新に使用する画面について説明します。

## (1) フォルダの「プロパティ更新」画面

「プロパティ更新」画面について説明します。この画面は、サブウィンドウに表示されます。

図 5-28 フォルダの「プロパティ更新」画面

更新プロパティを設定してください。

プロパティ

| プロパティ | 設定値                 |
|-------|---------------------|
| フォルダ名 | 2002上期プロジェクト (必須)   |
| 作成者名  | 日立 太郎               |
| 作成日時  | 2002/02/15 15:48:17 |
| 更新者名  | 日立 太郎               |
| 更新日時  | 2002/02/15 15:48:17 |
| コメント  | プロジェクト基準参照のこと。      |

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

「更新」ボタン

フォルダのプロパティを更新します。更新後、設定値が更新された「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。

省略できない項目が指定されていない場合、エラーになります。

「キャンセル」ボタン

「プロパティとアクセス権」画面に戻ります。

「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

プロパティ

「プロパティとアクセス権」画面で表示されていたプロパティが表示され、更新できるプロパティの設定値はテキストボックスに表示されます。

表示されるプロパティについて次の表に示します。

表 5-26 フォルダの「プロパティ更新」画面に表示されるプロパティ

| 項目              | 説明   |
|-----------------|--|
| 「フォルダ名」テキストボックス | フォルダ名（オブジェクト名プロパティ）を 255 バイト以内で指定します。この項目は省略できません。 |
| 作成者名            | 作成者名（作成者名プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。               |
| 作成日時            | 作成日時（作成日時プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。               |
| 更新者名            | 更新者名（更新者名プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。               |
| 更新日時            | 更新日時（更新日時プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。               |
| 「コメント」テキストボックス  | コメント（コメントプロパティ）を 255 バイト以内で指定します。                  |

## (2) 文書の「プロパティ更新」画面

「プロパティ更新」画面について説明します。この画面は、サブウィンドウに表示されます。

図 5-29 文書の「プロパティ更新」画面

| プロパティ     | 設定値                 |
|-----------|---------------------|
| 文書名       | 調査結果分析 (必須)         |
| 作成者名      | 鈴木 一郎               |
| 作成日時      | 2002/01/15 15:45:43 |
| 更新者名      | 鈴木 一郎               |
| 更新日時      | 2002/03/01 18:46:46 |
| コメント      | ベース資料: 市場調査         |
| バージョン名    | 5                   |
| バージョンコメント |                     |

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

「更新」ボタン

文書のプロパティを更新します。更新後、設定値が更新された「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。

省略できない項目が指定されていない場合、エラーになります。

「キャンセル」ボタン

「プロパティとアクセス権」画面に戻ります。

「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

プロパティ

「プロパティとアクセス権」画面で表示されていたプロパティが表示され、変更できるプロパティの設定値はテキストボックスに表示されます。

表示されるプロパティについて次の表に示します。

表 5-27 文書の「プロパティ更新」画面に表示されるプロパティ

| 項目            | 説明   |
|---------------|--|
| 「文書名」テキストボックス | 文書名（オブジェクト名プロパティ）を 255 バイト以内で指定します。この項目は省略できません。 |
| 作成者名          | 作成者名（作成者名プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。             |
| 作成日時          | 作成日時（作成日時プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。             |
| 更新者名          | 更新者名（更新者名プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。             |
| 更新日時          | 更新日時（更新日時プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。             |

## 5. 操作

| 項目             | 説明   |
|----------------|--|
| 「コメント」テキストボックス | コメント（コメントプロパティ）を 255 バイト以内で指定します。              |
| バージョン名         | バージョン名（バージョン名プロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。       |
| バージョンコメント      | バージョンコメント（バージョンコメントプロパティ）が表示されます。この項目は変更できません。 |

## 5.10 アクセス権を更新する

文書またはフォルダのアクセス権を更新する方法について説明します。

なお、ユーザ、組織、グループまたは共有 ACL など、アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する方法については、「5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する」を参照してください。

### 5.10.1 文書またはフォルダのアクセス権を更新する

#### (1) 機能概要

文書またはフォルダのアクセス権を更新します。ただし、チェックアウト中の文書およびルートフォルダのアクセス権は更新できません。また、アクセス権を更新できるのは、その文書もしくはフォルダの所有者、またはセキュリティ管理者だけです。

#### (2) 操作手順

1. アクセス権を更新する文書またはフォルダの「プロパティとアクセス権」画面を表示します。  
「プロパティとアクセス権」画面の表示方法については、「5.8.1 文書またはフォルダのプロパティとアクセス権を参照する」を参照してください。
2. 「アクセス権更新」ボタンをクリックします。  
サブウィンドウに「アクセス権更新」画面が表示されます。  
なお、「アクセス権更新」ボタンが表示されていない場合は、その文書またはフォルダのアクセス権は更新できません。
3. アクセス権を変更します。  
例えば、フォルダの所有者を「鈴木 一郎」に変更して、全ユーザのパーミッションを「参照」に変更したい場合は、次のように指定します。

図 5-30 アクセス権更新時の指定例

| 対象        | 名前  | パーミッション                              |
|-----------|---|--------------------------------------|
| 所有者       | 鈴木 一郎 <input type="button" value="選択"/>                                   | <input type="button" value="すべて"/> ▾ |
| プライマリグループ | 企画1課 <input type="button" value="選択"/> <input type="button" value="クリア"/> | <input type="button" value="更新"/> ▾  |
| 全ユーザ      |   | <input type="button" value="参照"/> ▾  |
| 共有ACL     | (なし)  | <input type="button" value="選択"/>    |

所有者、プライマリグループおよび共有 ACL の設定方法については、「5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する」を参照してください。

4. 「更新」ボタンをクリックします。  
アクセス権が更新されます。結果を表すメッセージダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、サブウィンドウに、アクセス権が更新された「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。

### 5.10.2 アクセス権の更新に使用する画面

アクセス権を更新する時に使用する画面について説明します。

## (1) 「アクセス権更新」画面

「アクセス権更新」画面について説明します。この画面は、サブウィンドウに表示されます。

図 5-31 「アクセス権更新」画面

アクセス権更新 閉じる

アクセス権を設定してください。 更新 キャンセル

フォルダ名: 2002年4月-6月プロジェクト

アクセス権 リセット

| 対象        | 名前  | パーミッション                                       |
|-----------|---|---|
| 所有者       | 鈴木 一郎 <span style="margin-left: 10px;">選択</span>  | すべて <span style="margin-left: 10px;">▼</span> |
| プライマリグループ | 企画1課 <span style="margin-left: 10px;">選択</span> <span style="margin-left: 10px;">クリア</span> | 更新 <span style="margin-left: 10px;">▼</span>  |
| 全ユーザ      |   | 参照 <span style="margin-left: 10px;">▼</span>  |
| 共有ACL     | (なし)  | 選択  |

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

「更新」ボタン

アクセス権を更新します。更新後、アクセス権が更新された「プロパティとアクセス権」画面が表示されます。

「キャンセル」ボタン

サブウィンドウの表示を切り替えて、「プロパティとアクセス権」画面に戻ります。

フォルダ名または文書名

フォルダの場合は、フォルダ名が表示されます。  
文書の場合は、文書名が表示されます。

アクセス権

「プロパティとアクセス権」画面で表示されていたアクセス権が表示されます。

「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。  
更新できるアクセス権について、次の表に示します。

表 5-28 更新できるアクセス権

| 対象        | 項目               | 説明   |
|-----------|------------------|--|
| 所有者       | 名前               | 所有者名が表示されます。   |
|           | 「選択」ボタン          | 所有者にするユーザを選択します。クリックすると、サブウィンドウが2分割画面に切り替わり、アップフレームに「ユーザ選択条件指定」画面が表示されます |
|           | 「パーミッション」リストボックス | パーミッションを選択します。「すべて」「更新」「リンク」「参照」のどれかが選択できます。                             |
| プライマリグループ | 名前               | プライマリグループ名が表示されます  |

| 対象     | 項目               | 説明   |
|--------|------------------|--|
|        | 「選択」ボタン          | プライマリグループに設定する組織またはグループを選択します。<br>クリックすると、サブウィンドウが2分割画面に切り替わり、アップフレームに「組織選択条件指定」画面が表示されます。 |
|        | 「クリア」ボタン         | プライマリグループの設定をクリアします。<br>プライマリグループが設定されていない場合は、表示されません。                                     |
|        | 「パーミッション」リストボックス | パーミッションを選択します。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが選択できます。                                       |
| 全ユーザ   | 「パーミッション」リストボックス | パーミッションを選択します。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが選択できます。                                       |
| 共有 ACL | 名前               | バインドする共有 ACL が表示されます。  |
|        | 「選択」ボタン          | バインドする共有 ACL を選択します。<br>クリックすると、サブウィンドウが2分割画面に切り替わり、アップフレームに「共有 ACL 選択条件指定」画面が表示されます。      |
|        | 「クリア」ボタン         | 共有 ACL の設定をクリアします。<br>共有 ACL が設定されていない場合は、表示されません。   |

## 5.11 共有 ACL を管理する

共有 ACL を管理する方法について説明します。共有 ACL は、複数の文書またはフォルダに対して同じアクセス権を設定するためのオブジェクトです。

なお、共有 ACL を操作できるのは、セキュリティ管理者だけです。セキュリティ管理者がログインした場合だけ、メニューに「共有 ACL 管理」アンカーが表示されます。

### 5.11.1 共有 ACL を新規に作成する

#### (1) 機能概要

共有 ACL を新規に作成します。

#### (2) 操作手順

- メニューの「共有 ACL 管理」アンカーをクリックします。  
ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面が表示されます。リストフレームにはブランク画面が表示されます。
- 「共有 ACL 作成」アンカーをクリックします。  
2 分割画面に切り替わり、ボディフレームに「共有 ACL 新規作成」画面が表示されます。
- 共有 ACL 名、コメントを指定します。  
例えば、「企画 1 課内のレビュー時に使用するレビュー用 ACL」を作成する場合は、次のように指定します。

図 5-32 共有 ACL 作成時の共有 ACL 名およびコメントの指定例

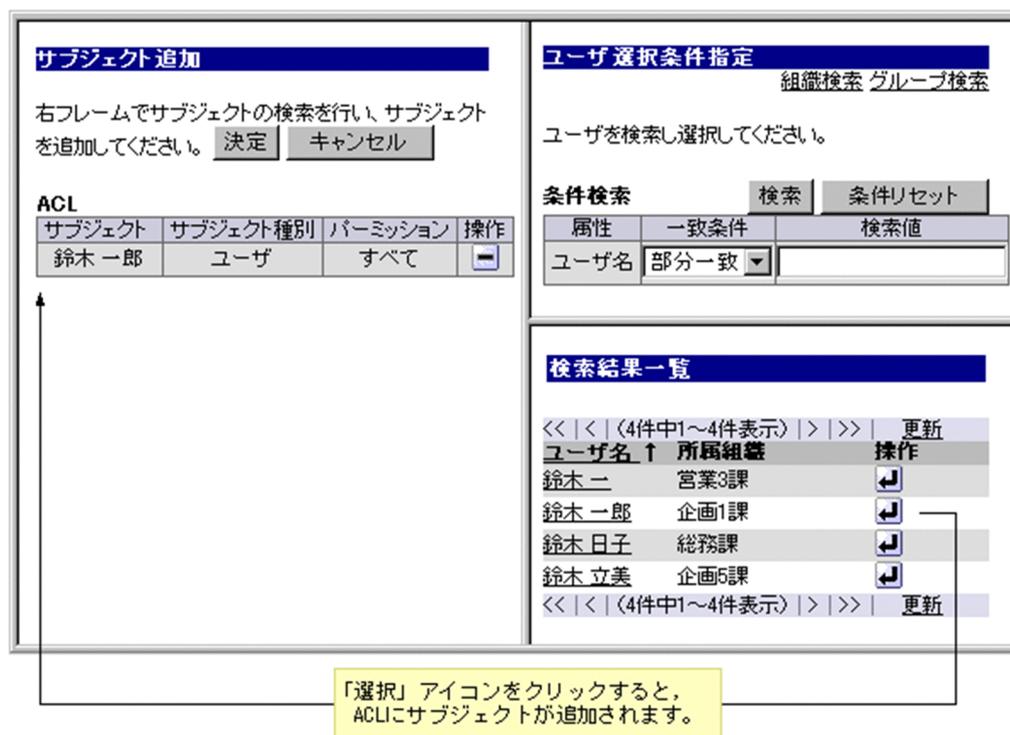
| プロパティ    | 設定値            |
|----------|----------------|
| 共有 ACL 名 | レビュー用 ACL (必須) |
| 作成者名     | 日立 太郎          |
| コメント     | 企画1 課内レビュー時に設定 |

- ACL の「選択」ボタンをクリックします。  
4 分割画面に切り替わります。  
ツリーフレームに「サブジェクト追加」画面が表示されます。  
リストフレームの上部に、「ユーザ選択条件指定」画面が表示されます。リストフレームの下部には、ブランク画面が表示されます。
- 「ユーザ選択条件指定」画面、またはアンカーをクリックして表示した「組織選択条件指定」画面もしくは「グループ選択条件指定」画面で、検索条件を指定します。  
ユーザ検索、組織検索またはグループ検索についての詳細は、「5.12.1 ユーザを検索して選択する」または「5.12.2 組織またはグループを検索して選択する」を参照してください。
- 「検索」ボタンをクリックします。  
サブジェクトの検索が実行されます。検索結果は、ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面、組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面またはグループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面に表示されます。  
「検索結果一覧」画面は、リストフレームの下部に表示されます。
- 「検索結果一覧」画面のリスト表示から、サブジェクトに設定したいユーザ、組織またはグループの

「操作」列の「選択」アイコン  をクリックします。

ツリーフレームの「サブジェクト追加」画面の一覧に、選択した組織、ユーザまたはグループがサブジェクトとして追加されます。

図 5-33 共有 ACL 作成時のサブジェクト追加



8. 追加したいサブジェクトの数だけ、手順 5. ~手順 7. を繰り返します。  
一つの共有 ACL にサブジェクトは 64 個まで設定できます。  
なお、追加したサブジェクトを削除する場合は、「サブジェクト追加」画面の「操作」列の「削除」アイコン  をクリックします。
9. 「サブジェクト追加」画面の「決定」ボタンをクリックします。  
「共有 ACL 新規作成」画面が表示されます。ACL の「サブジェクト」に、手順 8. までに設定したサブジェクトが表示されます。パーミッションは「すべて」になっています。
10. それぞれのサブジェクトに対して設定するパーミッションを、リストボックスから選択します。  
パーミッションは、「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」が設定できます。
11. 「作成」ボタンをクリックします。  
共有 ACL が作成されます。作成後、ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面が表示され、リストフレームには空白画面が表示されます。

### (3) 注意事項

「共有 ACL 新規作成」画面で、省略できない項目である「共有 ACL 名」を指定しないで「作成」ボタンをクリックした場合は、エラーになります。

## 5.11.2 共有 ACL を更新する

### (1) 機能概要

共有 ACL を更新します。共有 ACL の更新では、共有 ACL 名、コメント、および設定されている ACL を更新できます。

例えば、すでに登録されている共有 ACL にサブジェクトを追加または削除したり、パーミッションを変更したりできます。

### (2) 操作手順

1. メニューの「共有 ACL 管理」アンカーをクリックします。  
ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面が表示されます。リストフレームにはブランク画面が表示されます。
2. 検索条件を指定します。  
例えば、コメントに「企画 1 課」が含まれる共有 ACL を検索する場合は、次のように指定します。

図 5-34 共有 ACL 更新時の検索条件の指定例

| プロパティ  | 一致条件   | 検索値  |
|--------|--------|------|
| 共有ACL名 | 部分一致 ▼ |      |
| コメント   | 部分一致 ▼ | 企画1課 |

結合条件  AND  OR

3. 「検索」ボタンをクリックします。  
共有 ACL の検索が実行されます。検索結果は、共有 ACL 検索の「検索結果一覧」画面に表示されます。「検索結果一覧」画面は、リストフレームに表示されます。
4. 「検索結果一覧」画面の「共有 ACL 名」列のアンカーをクリックします。  
ボディフレームに「共有 ACL 更新」画面が表示されます。
5. 共有 ACL の名前およびコメントを変更したい場合は、「共有 ACL 名」テキストボックスまたは「コメント」テキストボックスの設定値を変更します。
6. ACL を編集します。すでに登録されているサブジェクトに対して設定するパーミッションを変更する場合は、設定 ACL のパーミッションを変更します。パーミッションはリストボックスから選択します。  
また、サブジェクトを削除する場合は、「操作」列の「削除」アイコン  をクリックします。  
パーミッションの変更またはサブジェクトの削除だけ実行する場合は、手順 7. ~ 手順 13. を実行する必要はありません。手順 14. に進んでください。
7. ACL の「選択」ボタンをクリックします。  
4 分割画面に切り替わります。  
ツリーフレームに「サブジェクト追加」画面が表示されます。  
リストフレームの上部に、「ユーザ選択条件指定」画面が表示されます。リストフレームの下部には、ブランク画面が表示されます。
8. 「ユーザ選択条件指定」画面、またはアンカーをクリックして表示した「組織選択条件指定」画面もしくは「グループ選択条件指定」画面で、検索条件を指定します。  
ユーザ検索、組織検索またはグループ検索についての詳細は、「5.12.1 ユーザを検索して選択する」または「5.12.2 組織またはグループを検索して選択する」を参照してください。

9. 「検索」ボタンをクリックします。  
サブジェクトの検索が実行されます。検索結果は、ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面、組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面またはグループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面に表示されます。「検索結果一覧」画面は、リストフレームの下部に表示されます。
10. 「検索結果一覧」画面のリスト表示から、サブジェクトに設定したいユーザ、組織またはグループの「操作」列の「選択」アイコン  をクリックします。  
ツリーフレームの「サブジェクト追加」画面の一覧に、選択した組織、ユーザまたはグループがサブジェクトとして追加されます。
11. 追加したいサブジェクトの数だけ、手順 8. ~ 手順 10. を繰り返します。  
一つの共有 ACL にサブジェクトは 64 個まで設定できます。  
なお、追加したサブジェクトを削除する場合は、「サブジェクト追加」画面の「操作」列の「削除」アイコン  をクリックします。
12. 「サブジェクト追加」画面の「決定」ボタンをクリックします。  
「共有 ACL 更新」画面が表示されます。「ACL」の「サブジェクト」に、手順 11. までに設定したサブジェクトが追加されて表示されます。追加したサブジェクトのパーミッションは「すべて」になっています。
13. それぞれのサブジェクトに対して設定するパーミッションを、リストボックスから選択します。  
パーミッションは、「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」が設定できます。
14. 「更新」ボタンをクリックします。  
共有 ACL が更新されます。更新後、ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面が表示され、リストフレームにはブランク画面が表示されます。

### (3) 注意事項

「共有 ACL 更新」画面で、省略できない項目である「共有 ACL 名」を指定しないで「更新」ボタンをクリックした場合は、エラーになります。

## 5.11.3 共有 ACL を削除する

### (1) 機能概要

共有 ACL を削除します。

なお、共有 ACL を削除すると、削除した共有 ACL をバインドしていた文書またはフォルダのアクセス権が更新されます。

### (2) 操作手順

1. メニューの「共有 ACL 管理」アンカーをクリックします。  
ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面が表示されます。リストフレームにはブランク画面が表示されます。
2. 検索条件を指定します。  
検索条件には、共有 ACL 名およびコメントと、それらの一致条件を指定できます。
3. 「検索」ボタンをクリックします。  
検索が実行されます。検索結果は、リストフレームの共有 ACL 検索の「検索結果一覧」画面に表示されます。

## 5. 操作

4. 「検索結果一覧」画面の「操作」列の「削除」アイコン  をクリックします。  
削除を確認するメッセージダイアログが表示されます。
5. 「OK」ボタンをクリックします。  
共有 ACL の削除が実行されます。実行後、「検索結果一覧」画面が更新されます。

### 5.11.4 共有 ACL の管理に使用する画面

共有 ACL の管理で使用する画面について説明します。

#### (1) 「共有 ACL 検索条件指定」画面

「共有 ACL 検索条件指定」画面について説明します。この画面はツリーフレームに表示されます。

図 5-35 「共有 ACL 検索条件指定」画面



「共有 ACL 作成」アンカー

ボディフレームに「共有 ACL 新規作成」画面を表示します。

「検索」ボタン

共有 ACL 検索を開始します。

検索実行後、リストフレームに「検索結果一覧」画面が表示されます。

「条件リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

検索条件

共有 ACL の検索条件を指定します。指定する項目について次の表に示します。

表 5-29 検索条件の指定（「共有 ACL 検索条件指定」画面）

| 項目       | 説明            |   |
|----------|---------------|---|
| 共有 ACL 名 | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。デフォルトでは、「部分一致」が選択されています。 |
|          | 「条件値」テキストボックス | 共有 ACL 名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。                                 |
| コメント     | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。デフォルトでは、「部分一致」が選択されています。 |

| 項目            | 説明  |
|---------------|---|
| 「条件値」テキストボックス | コメントまたはその一部を 255 バイト以内で指定します。   |
| 「結合条件」ラジオボタン  | 複数の項目を指定した場合に、それらの結合条件を指定します。デフォルトでは「AND」が指定されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AND<br/>指定したすべての検索条件を満たす共有 ACL が検索されます。</li> <li>OR<br/>指定した検索条件のどれかを満たす共有 ACL が検索されます。</li> </ul> |

## (2) 共有 ACL 検索の「検索結果一覧」画面

「検索結果一覧」画面について説明します。この画面は、リストフレームに表示されます。

図 5-36 共有 ACL 検索の「検索結果一覧」画面

| 検索結果一覧                        |       |                     |                   |    |  |
|-------------------------------|-------|---------------------|-------------------|----|--|
| <<   <   (3件中1~3件表示)   >   >> |       | 更新                  |                   |    |  |
| 共有ACL名 ↑                      | 更新者   | 更新日時                | コメント              | 操作 |  |
| レビュー済み資料                      | 四国 花子 | 2002/02/26 23:01:51 | レビュー済み。編集不可。      |    |  |
| レビュー用ACL                      | 日立 太郎 | 2002/02/26 23:07:55 | レビュー時に設定してください。   |    |  |
| 外部レビュー用ACL                    | 日立 太郎 | 2002/02/26 23:09:56 | 外部レビュー時に設定してください。 |    |  |
| <<   <   (3件中1~3件表示)   >   >> |       | 更新                  |                   |    |  |

### (リスト表示)

共有 ACL 検索結果の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-30 共有 ACL 検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示

| 列名       | アンカー / アイコン | 説明   |
|----------|-------------|--|
| 共有 ACL 名 | (アンカー)      | 共有 ACL 名 (オブジェクト名プロパティ) が表示されます。アンカーをクリックすると、ボディフレームに「共有 ACL 更新」画面が表示されます。 |
| 更新者      | -           | 共有 ACL の更新者名 (更新者名プロパティ) が表示されます。  |
| 更新日時     | -           | 共有 ACL の更新日時 (更新日時プロパティ) が表示されます。  |
| コメント     | -           | コメント (コメントプロパティ) が表示されます。  |
| 操作       | 「削除」        | クリックすると、共有 ACL の削除を確認するメッセージダイアログが表示されます。                                  |

また、共有 ACL 検索の「検索結果一覧」画面で表示される項目の、初期状態でのソートの優先順位およびソート方向は、次に示す表のとおりです。これ以外の項目は、ソートキーにはなりません。

表 5-31 共有 ACL 検索の「検索結果一覧」画面の項目のソート順位とソート方向

| ソートキーになる項目 | 優先順位 | 方向 |
|------------|------|----|
| 共有 ACL 名   | 1    | 昇順 |
| 更新者        | 2    | 昇順 |
| 更新日時       | 3    | 降順 |

## (3) 「共有 ACL 新規作成」画面

「共有 ACL 新規作成」画面について説明します。この画面は、ボディフレームに表示されます。

図 5-37 「共有 ACL 新規作成」画面

## 「作成」ボタン

共有 ACL の作成を実行します。プロパティおよび ACL に必要な情報を指定してからクリックしてください。

省略できない項目が指定されていない場合、エラーになります。

## 「キャンセル」ボタン

共有 ACL の作成をキャンセルして、ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面、リストフレームにブランク画面を表示した画面に戻ります。

## プロパティ

共有 ACL に設定するプロパティを指定します。指定する項目について次の表に示します。

表 5-32 共有 ACL のプロパティに指定する項目

| 項目                 | 説明  |
|--------------------|---|
| 「共有 ACL 名」テキストボックス | 作成する共有 ACL の名前（オブジェクト名プロパティ）を 255 バイト以内で指定します。この項目は省略できません。 |
| 作成者名               | ログインユーザのユーザ名が表示されます。この項目は変更できません。                           |
| 「コメント」テキストボックス     | コメントを、必要に応じて 255 バイト以内で指定します。                               |

## ACL

共有 ACL に設定する ACL が表示されます。初期状態では何も表示されません。「サブジェクト追加」画面でサブジェクトを追加すると、サブジェクトとそのサブジェクト種別が表示され、「パーミッション」リストボックスが表示されます。

## 「選択」ボタン

ACL を追加・編集するための画面を表示します。

4 分割画面に切り替わり、ツリーフレームに「サブジェクト追加」画面、リストフレームの上部に「ユーザ選択条件指定」画面、リストフレームの下部にブランク画面が表示されます。

## 「パーミッション」リストボックス

サブジェクトが追加されている場合に「パーミッション」列に表示されます。サブジェクトに対して設定するパーミッションをリストボックスから選択します。「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが選択できます。

サブジェクトが追加されていない場合は表示されません。

「削除」アイコン 

選択した行のサブジェクトを、ACL から削除します。

サブジェクトが追加されていない場合は表示されません。

## 「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

## (4) 「共有 ACL 更新」画面

「共有 ACL 更新」画面について説明します。この画面は、ボディフレームに表示されます。

図 5-38 「共有 ACL 更新」画面

**共有ACL更新**

プロパティとACLを入力してください。

**プロパティ**

| プロパティ  | 設定値   |
|--------|---|
| 共有ACL名 | <input type="text" value="レビュー用ACL"/> <span style="color: red;">(必須)</span> |
| 作成者名   | 日立 太郎   |
| 作成日時   | 2002/02/26 23:01:51   |
| 更新者名   | 日立 太郎   |
| 更新日時   | 2002/02/26 23:01:51   |
| コメント   | <input type="text" value="レビュー時に設定してください。"/>                                |

**ACL**

| サブジェクト | サブジェクト種別 | パーミッション                              | 操作                               |
|--------|----------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 日立 太郎  | ユーザ      | <input type="button" value="すべて"/> ▼ | <input type="button" value="−"/> |
| 鈴木 一郎  | ユーザ      | <input type="button" value="リンク"/> ▼ | <input type="button" value="−"/> |
| 企画1課   | 組織・グループ  | <input type="button" value="すべて"/> ▼ | <input type="button" value="−"/> |

## 「更新」ボタン

共有 ACL を更新します。更新後、ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面が表示されま

す。

#### 「キャンセル」ボタン

ツリーフレームに「共有 ACL 検索条件指定」画面を表示した画面に戻ります。

#### プロパティ

プロパティが表示されます。変更できるプロパティの設定値は、テキストボックスに表示されます。表示されるプロパティについて次の表に示します。

表 5-33 「共有 ACL 更新」画面に表示されるプロパティ

| 項目                 | 説明  |
|--------------------|---|
| 「共有 ACL 名」テキストボックス | 共有 ACL 名（オブジェクト名プロパティ）を 255 バイト以内で指定します。この項目は省略できません。 |
| 作成者名               | 作成者名（作成者名プロパティ）が表示されます。                               |
| 作成日時               | 作成日時（作成日時プロパティ）が表示されます。                               |
| 更新者名               | 更新者名（更新者名プロパティ）が表示されます。                               |
| 更新日時               | 更新日時（更新日時プロパティ）が表示されます。                               |
| 「コメント」テキストボックス     | コメント（コメントプロパティ）を 255 バイト以内で指定します。                     |

#### ACL

共有 ACL に設定する ACL が表示されます。ACL が設定されていない場合は何も表示されません。

「サブジェクト追加」画面でサブジェクトを追加すると、追加したサブジェクトとそのサブジェクト種別が表示され、「パーミッション」リストボックスが表示されます。

#### 「選択」ボタン

ACL を追加・編集するための画面を表示します。

4 分割画面に切り替わり、ツリーフレームに「サブジェクト追加」画面、リストフレームの上部に「ユーザ選択条件指定」画面、リストフレームの下部にブランク画面が表示されます。

#### 「パーミッション」リストボックス

サブジェクトが追加されている場合に「パーミッション」列に表示されます。サブジェクトに対して設定するパーミッションをリストボックスから選択します。「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが選択できます。

サブジェクトが追加されていない場合は表示されません。

#### 「削除」アイコン

選択した行のサブジェクトを、ACL から削除します。

サブジェクトが追加されていない場合は表示されません。

#### 「リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

### (5) 「サブジェクト追加」画面

「サブジェクト追加」画面について説明します。この画面は、ツリーフレームに表示されます。

図 5-39 「サブジェクト追加」画面

| サブジェクト追加   |          |         |                                   |
|--|----------|---------|-----------------------------------|
| 右フレームでサブジェクトの検索を行い、サブジェクトを追加してください。                                    |          |         |                                   |
| <input type="button" value="決定"/> <input type="button" value="キャンセル"/> |          |         |                                   |
| ACL  |          |         |                                   |
| サブジェクト   | サブジェクト種別 | パーミッション | 操作                                |
| 鈴木 一郎  | ユーザ      | すべて     | <input type="button" value="削除"/> |
| 九州 次郎  | ユーザ      | 参照      | <input type="button" value="削除"/> |
| 企画1課   | 組織・グループ  | 参照      | <input type="button" value="削除"/> |

#### 「決定」ボタン

追加，削除するサブジェクトを決定して，「共有 ACL 新規作成」または「共有 ACL 更新」画面を表示します。

#### 「キャンセル」ボタン

「共有 ACL 新規作成」または「共有 ACL 更新」画面に戻ります。

#### ACL

共有 ACL に設定する ACL が表示されます。ユーザ検索，組織検索またはグループ検索を実行して，検索結果からサブジェクトを選択すると，一覧にサブジェクトが追加されます。

一覧の各行には，サブジェクト，サブジェクト種別およびパーミッションと，「削除」アイコン

が表示されます。

#### 「削除」アイコン

選択した行のサブジェクトを，ACL から削除します。

## 5.12 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する

アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する方法について説明します。アクセス権を設定する場合、パーミッションを設定する対象である、ユーザ、組織またはグループを選択する必要があります。また、共有 ACL によってアクセス権を設定する場合、バインドする共有 ACL を選択する必要があります。

なお、この節の操作手順の説明では、文書またはフォルダの作成時や、アクセス権の更新時などにアクセス権を設定する画面を表示した状態から説明します。

### 5.12.1 ユーザを検索して選択する

#### (1) 機能概要

所有者または ACL のサブジェクトになるユーザを検索して選択します。

ユーザの検索は、LDAP 対応のディレクトリサービスで管理されている情報を検索する、ディレクトリ情報検索 (LDAP アクセス) で実行します。サンプル Web アプリケーションは、LDAP 対応のディレクトリサービスに対して、JNDI 経由でアクセスします。

検索したユーザのユーザ情報を参照することもできます。

#### (2) 操作手順

##### (a) 所有者を設定または更新する場合

1. 「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面を表示します。または、所有者を変更する文書もしくはフォルダの「アクセス権更新」画面を表示します。  
「フォルダ新規作成」画面および「文書新規作成 (1/2)」画面の表示方法については、「5.3 文書またはフォルダを作成する」を参照してください。「アクセス権更新」画面の表示方法については、「5.10 アクセス権を更新する」を参照してください。
2. 「所有者」の「選択」ボタンをクリックします。  
ユーザ選択画面が表示されます。ユーザ選択画面では、ツリーフレームまたはサブウィンドウのアップフレームに、「ユーザ選択条件指定」画面が表示されます。この時、リストフレームまたはサブウィンドウのダウンフレームにはブランク画面が表示されます。
3. 検索条件を指定します。  
例えば、「鈴木 一郎」を所有者にするために、ユーザ名が「鈴木」で始まるユーザを検索する場合、次のように指定します。なお、この図は、アクセス権更新時のサブウィンドウでの表示例です。

図 5-40 ユーザ選択画面の指定例（アクセス権更新時に所有者を選択する場合）

| 属性   | 一致条件 | 検索値 |
|------|------|-----|
| ユーザ名 | 前方一致 | 鈴木  |

## 4. 「検索」ボタンをクリックします。

検索が実行されます。検索結果は、ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面に表示されます。

「検索結果一覧」画面は、リストフレームまたはサブウィンドウのダウンフレームに表示されます。

図 5-41 ユーザ選択画面の検索結果の例（アクセス権更新時に所有者を選択する場合）

| 属性   | 一致条件 | 検索値 |
|------|------|-----|
| ユーザ名 | 前方一致 | 鈴木  |

| 検索結果一覧 |      |    |
|--------|------|----|
| ユーザ名 ↑ | 所属組織 | 操作 |
| 鈴木 二   | 営業3課 |    |
| 鈴木 一郎  | 企画1課 |    |
| 鈴木 日子  | 総務課  |    |
| 鈴木 立美  | 企画5課 |    |

なお、検索したユーザについての情報を参照したい場合は、検索結果の「ユーザ名」列のアンカーをクリックしてください。ユーザ名、所属組織および所属グループが表示された、「ユーザ情報」画面がサブウィンドウに表示されます。

## 5. 「検索結果一覧」画面に表示されている一覧から、サブジェクトに設定したいユーザの「操作」列の

「選択」アイコン をクリックします。

選択したユーザが所有者に設定されます。設定後、手順 1. で表示した「フォルダ新規作成」画面、「文

## 5. 操作

書新規作成 (1/2) 画面または「アクセス権更新」画面が表示されます。

### (b) 共有 ACL のサブジェクトにユーザを追加する場合

この操作は、共有 ACL を管理するセキュリティ管理者だけが実行します。

#### 1. 「共有 ACL 新規作成」画面または「共有 ACL 更新」画面を表示します。

「共有 ACL 新規作成」画面の表示方法については、「5.11.1 共有 ACL を新規に作成する」を参照してください。「共有 ACL 更新」画面の表示方法については、「5.11.2 共有 ACL を更新する」を参照してください。

#### 2. 「共有 ACL 新規作成」または「共有 ACL 更新」画面の ACL の「選択」ボタンをクリックします。

ツリーフレームに「サブジェクト追加」画面が表示され、リストフレームの上部に「ユーザ選択条件指定」画面が表示されます。この時、リストフレームの下部にはブランク画面が表示されます。

#### 3. 「ユーザ選択条件指定」画面で検索条件を指定します。

例えば、「鈴木 一郎」をサブジェクトに追加するために、ユーザ名が「鈴木」で始まるユーザを検索する場合、次のように指定します。

図 5-42 ユーザ選択画面の指定例 (共有 ACL のサブジェクトにユーザを選択する場合)

| ACL    |          |         |     |
|--------|----------|---------|-----|
| サブジェクト | サブジェクト種別 | パーミッション | 操作  |
| 日立 太郎  | ユーザ      | すべて     | [-] |
| 企画1課   | 組織・グループ  | 更新      | [-] |

| ユーザ選択条件指定          |      |     |
|--------------------|------|-----|
| 組織検索 グループ検索        |      |     |
| ユーザを検索し選択してください。   |      |     |
| 条件検索 [検索] [条件リセット] |      |     |
| 属性                 | 一致条件 | 検索値 |
| ユーザ名               | 前方一致 | 鈴木  |

#### 4. 「検索」ボタンをクリックします。

検索が実行されます。検索結果は、リストフレームの下部の「検索結果一覧」画面に表示されます。

図 5-43 ユーザ選択画面の検索結果の例（共有 ACL のサブジェクトにユーザを選択する場合）

| サブジェクト追加   |          |         |                                  |
|--|----------|---------|----------------------------------|
| 右フレームでサブジェクトの検索を行い、サブジェクトを追加してください。 <input type="button" value="決定"/> <input type="button" value="キャンセル"/> |          |         |                                  |
| ACL  |          |         |                                  |
| サブジェクト   | サブジェクト種別 | パーミッション | 操作                               |
| 日立 太郎  | ユーザ      | すべて     | <input type="button" value="−"/> |
| 企画1課   | 組織・グループ  | 更新      | <input type="button" value="−"/> |

| ユーザ選択条件指定        |      |   |
|------------------|------|---|
| 組織検索 グループ検索      |      |   |
| ユーザを検索し選択してください。 |      |   |
| 条件検索             |      | <input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="条件リセット"/> |
| 属性               | 一致条件 | 検索値   |
| ユーザ名             | 前方一致 | 鈴木  |

| 検索結果一覧   |      |                                  |
|--|------|----------------------------------|
| <<  <   (4件中1~4件表示)  >  >> <input type="button" value="更新"/> |      |                                  |
| ユーザ名 ↑   | 所属組織 | 操作                               |
| 鈴木 一   | 営業3課 | <input type="button" value="↓"/> |
| 鈴木 一郎  | 企画1課 | <input type="button" value="↓"/> |
| 鈴木 日子  | 総務課  | <input type="button" value="↓"/> |
| 鈴木 立美  | 企画6課 | <input type="button" value="↓"/> |
| <<  <   (4件中1~4件表示)  >  >> <input type="button" value="更新"/> |      |                                  |

なお、検索したユーザについての情報を参照したい場合は、検索結果の「ユーザ名」列のアンカーをクリックしてください。ユーザ名、所属組織および所属グループが表示された、「ユーザ情報」画面がサブウィンドウに表示されます。

- 「検索結果一覧」画面に表示されている一覧から、サブジェクトに設定したいユーザの「操作」列の「選択」アイコン  をクリックします。  
ツリーフレームの「サブジェクト追加」画面の一覧に、選択したユーザがサブジェクトとして追加されます。
- 「サブジェクト追加」画面で「決定」ボタンをクリックします。  
選択したユーザが共有 ACL のサブジェクトに追加されます。追加後、「共有 ACL 新規作成」画面または「共有 ACL 更新」画面が表示されます。

## 5.12.2 組織またはグループを検索して選択する

### (1) 機能概要

プライマリグループまたは ACL のサブジェクトとして、組織またはグループを検索して選択します。組織は、組織検索によって検索します。グループは、グループ検索によって検索します。

組織検索およびグループ検索は、LDAP 対応のディレクトリサービスで管理されている情報を検索する、ディレクトリ情報検索 (LDAP アクセス) です。サンプル Web アプリケーションは、LDAP 対応のディレクトリサービスに対して、JNDI 経由でアクセスします。

共有 ACL のサブジェクトを追加する場合は、検索した組織またはグループに所属しているユーザを検索することもできます。

### (2) 操作手順

#### (a) プライマリグループを設定または更新する場合

- 「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面を表示します。または、プライマリグループを

変更する文書もしくはフォルダの「アクセス権更新」画面を表示します。

「フォルダ新規作成」画面および「文書新規作成（1/2）」画面の表示方法については、「5.3 文書またはフォルダを作成する」を参照してください。「アクセス権更新」画面の表示方法については、「5.10 アクセス権を更新する」を参照してください。

2. 「プライマリグループ」の「選択」ボタンをクリックします。グループを設定する場合は、表示された画面で、さらに、「グループ検索」アンカーをクリックします。  
組織選択画面またはグループ選択画面が表示されます。組織選択画面またはグループ選択画面では、ツリーフレームまたはサブウィンドウのアップフレームに、「組織選択条件指定」画面または「グループ選択条件指定」画面が表示されます。この時、リストフレームまたはサブウィンドウのダウンフレームにはブランク画面が表示されます。
3. 検索条件を指定します。  
例えば、組織の「企画1課」をプライマリグループに設定するために、組織名に「企画」が含まれる組織を検索する場合、次のように指定します。なお、この図は、アクセス権更新時のサブウィンドウでの表示例です。

図 5-44 組織選択画面の指定例（アクセス権更新時にプライマリグループを選択する場合）

| 属性  | 一致条件 | 検索値 |
|-----|------|-----|
| 組織名 | 部分一致 | 企画  |

4. 「検索」ボタンをクリックします。  
検索が実行されます。検索結果は、組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面またはグループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面に表示されます。「検索結果一覧」画面は、リストフレームまたはサブウィンドウのダウンフレームに表示されます。

図 5-45 組織選択画面の検索結果の例（アクセス権更新時にプライマリグループを選択する場合）

| 組織選択条件指定        |      | 戻る   閉じる |
|-----------------|------|----------|
| グループ検索          |      |          |
| 組織を検索し選択してください。 |      |          |
| 所属組織検索          | 検索   |          |
| 条件検索            | 検索   | 条件リセット   |
| 属性              | 一致条件 | 検索値      |
| 組織名             | 部分一致 | 企画       |

| 検索結果一覧                        |    |
|-------------------------------|----|
| 更新                            |    |
| <<   <   (6件中1~6件表示)   >   >> |    |
| 組織名 ↑                         | 操作 |
| 企画1課                          |    |
| 企画2課                          |    |
| 企画3課                          |    |
| 企画4課                          |    |
| 企画5課                          |    |
| 企画6課                          |    |
| 更新                            |    |

5. 「検索結果一覧」画面に表示されている一覧から、サブジェクトに設定したい組織またはグループの「操作」列の「選択」アイコン をクリックします。

プライマリグループに、選択した組織またはグループが設定されます。設定後、「フォルダ新規作成」画面または「文書新規作成 (1/2)」画面が表示されます。プライマリグループが、選択した組織またはグループに変更されています。

また、自分が所属する組織またはグループを検索する場合は、「組織選択条件指定」画面の「所属組織検索」の「検索」ボタン、または「グループ選択条件指定」画面の「所属グループ検索」の「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果として、自分が所属する組織またはグループの「検索結果一覧」画面が、リストフレームまたはサブウィンドウのダウンフレームに表示されます。

(b) 共有 ACL のサブジェクトに組織またはグループを追加する場合

この操作は、共有 ACL を管理するセキュリティ管理者だけが実行します。

1. 「共有 ACL 新規作成」画面または「共有 ACL 更新」画面を表示します。  
「共有 ACL 新規作成」画面の表示方法については、「5.11.1 共有 ACL を新規に作成する」を参照してください。「共有 ACL 更新」画面の表示方法については、「5.11.2 共有 ACL を更新する」を参照してください。
2. 「共有 ACL 新規作成」画面または「共有 ACL 更新」画面の ACL の「選択」ボタンをクリックします。  
ツリーフレームに「サブジェクト追加」画面が表示され、リストフレームの上部に「ユーザ選択条件指定」画面が表示されます。この時、リストフレームの下部には空白画面が表示されます。
3. 「ユーザ選択条件指定」画面の「組織検索」アンカーまたは「グループ検索」アンカーをクリックします。  
リストフレームの上部に「組織選択条件指定」画面または「グループ選択条件指定」画面が表示されま

## 5. 操作

す。

### 4. 検索条件を指定します。

例えば、組織の「企画2課」をサブジェクトに設定するために、組織名に「企画」が含まれる組織を検索する場合、次のように指定します。

図 5-46 組織選択画面の指定例（共有 ACL のサブジェクトに組織を選択する場合）

The screenshot shows a web interface for selecting organizations. It is divided into two main sections: 'サブジェクト追加' (Subject Addition) on the left and '組織選択条件指定' (Organization Selection Condition Specification) on the right.

**サブジェクト追加**

右フレームでサブジェクトの検索を行い、サブジェクトを追加してください。

**ACL**

| サブジェクト | サブジェクト種別 | パーミッション | 操作                               |
|--------|----------|---------|----------------------------------|
| 日立 太郎  | ユーザ      | すべて     | <input type="button" value="−"/> |
| 企画1課   | 組織・グループ  | 更新      | <input type="button" value="−"/> |
| 鈴木 一郎  | ユーザ      | すべて     | <input type="button" value="−"/> |

**組織選択条件指定**

組織を検索し選択してください。

**所属組織検索**

**条件検索**

| 属性  | 一致条件                              | 検索値                             |
|-----|-----------------------------------|---------------------------------|
| 組織名 | <input type="text" value="部分一致"/> | <input type="text" value="企画"/> |

### 5. 「検索」ボタンをクリックします。

検索が実行されます。検索結果は、組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面またはグループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面に表示されます。「検索結果一覧」画面は、リストフレームの下部に表示されます。

図 5-47 組織選択画面の検索結果の例（共有 ACL のサブジェクトに組織を選択する場合）

| サブジェクト追加   |          |         |                                  |
|--|----------|---------|----------------------------------|
| 右フレームでサブジェクトの検索を行い、サブジェクトを追加してください。 <input type="button" value="決定"/> <input type="button" value="キャンセル"/> |          |         |                                  |
| ACL  |          |         |                                  |
| サブジェクト   | サブジェクト種別 | パーミッション | 操作                               |
| 日立 太郎  | ユーザ      | すべて     | <input type="button" value="−"/> |
| 企画1課   | 組織・グループ  | 更新      | <input type="button" value="−"/> |
| 鈴木 一郎  | ユーザ      | すべて     | <input type="button" value="−"/> |

| 組織選択条件指定        |                                   |                                       |
|-----------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| ユーザ検索 グループ検索    |                                   |                                       |
| 組織を検索し選択してください。 |                                   |                                       |
| 所属組織検索          | <input type="button" value="検索"/> |                                       |
| 条件検索            | <input type="button" value="検索"/> | <input type="button" value="条件リセット"/> |
| 属性              | 一致条件                              | 検索値                                   |
| 組織名             | 部分一致                              | 企画                                    |

| 検索結果一覧   |                                  |
|--|----------------------------------|
| <<  <   (6件中1~6件表示)  >  >>   <input type="button" value="更新"/> |                                  |
| 組織名 ↑  | 操作                               |
| 企画1課   | <input type="button" value="↓"/> |
| 企画2課   | <input type="button" value="↓"/> |
| 企画3課   | <input type="button" value="↓"/> |
| 企画4課   | <input type="button" value="↓"/> |
| 企画5課   | <input type="button" value="↓"/> |
| 企画6課   | <input type="button" value="↓"/> |
| <<  <   (6件中1~6件表示)  >  >>   <input type="button" value="更新"/> |                                  |

なお、検索した組織またはグループに所属するユーザを検索したい場合は、検索結果の「組織名」列または「グループ名」列のアンカーをクリックしてください。所属ユーザの検索が実行され、ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面が表示されます。

- 「検索結果一覧」画面に表示されている一覧から、サブジェクトに設定したい組織またはグループの「操作」列の「選択」アイコン  をクリックします。  
ツリーフレームの「サブジェクト追加」画面の一覧に、選択した組織またはグループがサブジェクトとして追加されます。
- 「サブジェクト追加」画面で「決定」ボタンをクリックします。  
選択した組織またはグループが共有 ACL のサブジェクトに追加されます。追加後、「共有 ACL 新規作成」画面または「共有 ACL 更新」画面が表示されます。

また、自分が所属する組織またはグループを検索する場合は、「組織選択条件指定」画面の「所属組織検索」の「検索」ボタン、または「グループ選択条件指定」画面の「所属グループ検索」の「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果として、自分が所属する組織またはグループが、リストフレームの下部に表示されます。

### 5.12.3 共有 ACL を検索して選択する

#### (1) 機能概要

文書またはフォルダにバインドする共有 ACL を検索します。共有 ACL のプロパティの値を検索条件に指定できます。

検索実行後、検索結果からバインドする共有 ACL を選択できます。

なお、バインドする共有 ACL がまだ作成されていない場合は、まず、「5.11.1 共有 ACL を新規に作成する」を参照して、共有 ACL を作成してください。ただし、共有 ACL を作成できるのはセキュリティ管理者だけです。

## (2) 操作手順

1. 「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面を表示します。または、文書もしくはフォルダの「アクセス権更新」画面を表示します。  
「フォルダ新規作成」画面および「文書新規作成 (1/2)」画面の表示方法については、「5.3 文書またはフォルダを作成する」を参照してください。「アクセス権更新」画面の表示方法については、「5.10 アクセス権を更新する」を参照してください。
2. 共有 ACL の「選択」ボタンをクリックします。  
ツリーフレームまたはサブウィンドウのアップフレームに「共有 ACL 選択条件指定」画面が表示されます。この時、リストフレームまたはサブウィンドウのダウンフレームにはブランク画面が表示されます。
3. 検索条件を指定します。  
例えば、共有 ACL 名に「公開」を含み、コメントに「プロジェクト A」を含む共有 ACL を検索する場合は、次のように指定します。

図 5-48 共有 ACL 選択画面の指定例 (アクセス権更新時に共有 ACL を選択する場合)

共有ACL選択条件指定 戻る 閉じる

共有ACLを検索し、一覧から選択してください。

検索 条件リセット

**検索条件**

| プロパティ  | 一致条件 | 検索値     |
|--------|------|---------|
| 共有ACL名 | 部分一致 | 公開      |
| コメント   | 部分一致 | プロジェクトA |

結合条件  AND  OR

4. 「検索」ボタンをクリックします。  
検索が実行されます。検索結果は、リストフレームまたはサブウィンドウのダウンフレームの共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面に表示されます。

図 5-49 共有 ACL 選択画面の検索結果の例（アクセス権更新時に共有 ACL を選択する場合）

共有ACL選択条件指定
戻る | 閉じる

共有ACLを検索し、一覧から選択してください。

**検索条件**

| プロパティ  | 一致条件   | 検索値     |
|--------|--------|---------|
| 共有ACL名 | 部分一致 ▼ | 公開      |
| コメント   | 部分一致 ▼ | プロジェクトA |

結合条件  AND  OR

---

**検索結果一覧**

<< | < | (2件中1~2件表示) | > | >> | 更新

| 共有ACL名 | 更新者   | 更新日時                | コメント            | 操作 |
|--------|-------|---------------------|-----------------|----|
| 外部公開   | 四国 花子 | 2002/02/26 23:01:51 | プロジェクトA<br>関連部署 | ↓  |
| 企画部公開用 | 日立 太郎 | 2002/03/15 23:07:55 | プロジェクトA,<br>C専用 | ↓  |

<< | < | (2件中1~2件表示) | > | >> | 更新

なお、検索した共有 ACL のプロパティを参照したい場合は、検索結果の「共有 ACL 名」列のアンカーをクリックしてください。共有 ACL のプロパティが表示された、「共有 ACL 表示」画面が、サブウィンドウに表示されます。

5. 「検索結果一覧」画面の「操作」列の「選択」アイコン  をクリックします。

共有 ACL 名に、選択した共有 ACL が設定されます。設定後、「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面または「アクセス権更新」画面が表示されます。

### 5.12.4 一致条件の指定方法

ユーザ、組織、グループまたは共有 ACL を検索する時には、一致条件を指定できます。

一致条件の指定方法については、「5.4.4 検索条件の指定方法」を参照してください。

### 5.12.5 アクセス権の設定に必要な情報を検索して選択する時に使用する画面

アクセス権の設定に必要な情報である、ユーザ、組織、グループまたは共有 ACL の検索および選択に使用する画面について説明します。

#### (1) 「ユーザ選択条件指定」画面

「ユーザ選択条件指定」画面について説明します。この画面は、次のフレームに表示されます。

文書またはフォルダの作成時に所有者を選択する場合、この画面は、ツリーフレームに表示されます。

文書またはフォルダのアクセス権の更新時に所有者を選択する場合、この画面は、サブウィンドウのアップフレームに表示されます。

ACLのサブジェクトを選択する場合、この画面は、リストフレームの上部に表示されます。

また、それぞれの場合で、表示されるアンカーが一部異なります。

「ユーザ選択条件指定」画面の例を次に示します。この図は、ACLのサブジェクトを選択する場合の「ユーザ選択条件指定」画面です。

図 5-50 サブジェクト選択時の「ユーザ選択条件指定」画面

| 属性   | 一致条件 | 検索値 |
|------|------|-----|
| ユーザ名 | 部分一致 |     |

#### 「戻る」アンカー

「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面または「アクセス権更新」画面に戻ります。  
ACLのサブジェクトを選択する場合には表示されません。

#### 「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。  
サブウィンドウの場合に表示されます。

#### 「組織検索」アンカー

「組織選択条件指定」画面を表示します。  
ACLのサブジェクトを選択する場合に表示されます。

#### 「グループ検索」アンカー

「グループ選択条件指定」画面を表示します。  
ACLのサブジェクトを選択する場合に表示されます。

#### 条件検索

##### 「検索」ボタン

検索を開始します。  
検索結果は「検索結果一覧」画面に表示されます。「検索結果一覧」画面が表示される画面は、「組織選択条件指定」画面が表示されている画面によって異なります。

##### 「条件リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

##### 「一致条件」リストボックス

一致条件をリストボックスから選択します。  
「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかが選択できます。デフォルトでは、「部分一致」が選択されています。

##### 「検索値」テキストボックス

ユーザ名またその一部を 255 バイト以内で指定します。

## (2) ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面

ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面について説明します。

文書またはフォルダの作成時に所有者を選択する場合、この画面は、リストフレームに表示されます。

文書またはフォルダのアクセス権の更新時に所有者を選択する場合、この画面は、サブウィンドウのダウンフレームに表示されます。

ACLのサブジェクトを選択する場合、この画面は、リストフレームの下部に表示されます。

ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面の例を次に示します。この図は、文書またはフォルダの作成時に所有者を選択するための「検索結果一覧」画面です。

図 5-51 ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面

| 検索結果一覧                         |      |    |
|--------------------------------|------|----|
| << <   (4件中1~4件表示)   > >>   更新 |      |    |
| ユーザ名 ↑                         | 所属組織 | 操作 |
| 鈴木 一                           | 営業3課 |    |
| 鈴木 一郎                          | 企画1課 |    |
| 鈴木 日子                          | 総務課  |    |
| 鈴木 立美                          | 企画5課 |    |
| << <   (4件中1~4件表示)   > >>   更新 |      |    |

### (リスト表示)

ユーザ選択条件指定検索の結果の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-34 ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示

| 列名   | アンカー / アイコン | 説明  |
|------|-------------|---|
| ユーザ名 | (アンカー)      | ユーザ名が表示されます。<br>アンカーをクリックすると、サブウィンドウに「ユーザ情報」画面が表示されます。  |
| 所属組織 | -           | ユーザの所属組織が、コンマで区切られて表示されます。  |
| 操作   | 「選択」        | クリックすると、ユーザが選択されます。<br>選択後の画面は、次のようになります。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>ACLのサブジェクトを選択する場合は、「サブジェクト追加」画面の一覧に選択したユーザが追加されます。</li> <li>それ以外の場合は、「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面または「アクセス権更新」画面に戻ります。</li> </ul> |

また、ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示は、「ユーザ名」をキーにしてソートできます。初期状態では、昇順にソートされています。

## (3) 「ユーザ情報」画面

「ユーザ情報」画面について説明します。この画面は、サブウィンドウに表示されます。

図 5-52 「ユーザ情報」画面

| ユーザ情報  |             | 閉じる |
|--------|-------------|-----|
| ユーザ名   | 鈴木 一郎       |     |
| 所属組織   | 企画1課        |     |
| 所属グループ | プロジェクトAグループ |     |

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。

(ユーザ情報)

表示される項目について次の表に示します。

表 5-35 ユーザ情報の表示項目

| 項目     | 説明                                   |
|--------|--------------------------------------|
| ユーザ名   | ユーザ名が表示されます。                         |
| 所属組織   | ユーザが所属する組織の組織名が、コンマで区切られて表示されます。     |
| 所属グループ | ユーザが所属するグループのグループ名が、コンマで区切られて表示されます。 |

#### (4) 「組織選択条件指定」画面

「組織選択条件指定」画面について説明します。

この画面は、次のフレームに表示されます。

文書またはフォルダの作成時にプライマリグループを選択する場合、この画面は、ツリーフレームに表示されます。

文書またはフォルダのアクセス権の更新時にプライマリグループを選択する場合、この画面は、サブウィンドウのアップフレームに表示されます。

ACLのサブジェクトを選択する場合、この画面は、リストフレームの上部に表示されます。

また、それぞれの場合で、表示されるアンカーが一部異なります。

「組織選択条件指定」画面の例を次に示します。この図は、ACLのサブジェクトを選択する場合の「組織選択条件指定」画面です。

図 5-53 「組織選択条件指定」画面

| 組織選択条件指定        |        | ユーザ検索 | グループ検索 |
|-----------------|--------|-------|--------|
| 組織を検索し選択してください。 |        |       |        |
| 所属組織検索          |        | 検索    |        |
| 条件検索            |        | 検索    | 条件リセット |
| 属性              | 一致条件   | 検索値   |        |
| 組織名             | 部分一致 ▼ |       |        |

#### 「戻る」アンカー

「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成（1/2）」画面または「アクセス権更新」画面に戻ります。  
ACLのサブジェクトを選択する場合には表示されません。

#### 「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。  
サブウィンドウの場合に表示されます。

#### 「ユーザ検索」アンカー

「ユーザ選択条件指定」画面を表示します。  
ACLのサブジェクトを選択する場合には表示されます。

#### 「グループ検索」アンカー

「グループ選択条件指定」画面を表示します。

#### 所属組織検索

##### 「検索」ボタン

ログインユーザが所属する組織の検索を開始します。検索結果は「検索結果一覧」画面に表示されます。

#### 条件検索

##### 「検索」ボタン

検索を開始します。  
検索結果は「検索結果一覧」画面に表示されます。

##### 「条件リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

##### 「一致条件」リストボックス

一致条件をリストボックスから選択します。  
「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかが選択できます。デフォルトでは、「部分一致」が選択されています。

##### 「検索値」テキストボックス

組織名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。

### (5) 組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面

組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面について説明します。

文書またはフォルダの作成時にプライマリグループを選択する場合、この画面は、リストフレームに表示されます。

文書またはフォルダのアクセス権の更新時にプライマリグループを選択する場合、この画面は、サブウィンドウのダウンフレームに表示されます。

ACLのサブジェクトを選択する場合、この画面は、リストフレームの下部に表示されます。

組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面の例を次に示します。この図は、ACLにサブジェクトを追加する時の「検索結果一覧」画面です。

図 5-54 組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面



(リスト表示)

組織選択条件指定検索の結果の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-36 組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示

| 列名  | アンカー / アイコン  | 説明   |
|-----|--|--|
| 組織名 | (アンカー)または<br>(テキスト)  | 組織名が表示されます。<br>ACLのサブジェクトを追加する時にだけ、アンカーで表示されます。アンカーをクリックすると、その組織に所属しているユーザの検索が実行され、所属ユーザの「検索結果一覧」画面が表示されます。  |
| 操作  |  「選択」 | クリックすると、組織が選択されます。<br>選択後の画面は、次のようになります。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>ACLのサブジェクトを選択する場合は、「サブジェクト追加」画面の一覧に選択したユーザが追加されます。</li> <li>それ以外の場合は、「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面または「アクセス権更新」画面に戻ります。</li> </ul> |

また、組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示は、「組織名」をキーにしてソートできます。初期状態では、昇順にソートされています。

## (6) 「グループ選択条件指定」画面

「グループ選択条件指定」画面について説明します。この画面は、次のフレームに表示されます。

文書またはフォルダの作成時にプライマリグループを選択する場合、この画面は、ツリーフレームに表示されます。

文書またはフォルダのアクセス権の更新時にプライマリグループを選択する場合、この画面は、サブウィンドウのアップフレームに表示されます。

ACLのサブジェクトを選択する場合、この画面は、リストフレームの上部に表示されます。

また、それぞれの場合で、表示されるアンカーが一部異なります。

「グループ選択条件指定」画面の例を次に示します。この図は、ACLのサブジェクトを選択する場合の「グループ選択条件指定」画面です。

図 5-55 「グループ選択条件指定」画面

グループ選択条件指定 ユーザ検索 組織検索

グループを検索し選択してください。

所属グループ検索

条件検索

| 属性    | 一致条件   | 検索値 |
|-------|--------|-----|
| グループ名 | 部分一致 ▼ |     |

#### 「戻る」アンカー

「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成（1/2）」画面または「アクセス権更新」画面に戻ります。  
ACLのサブジェクトを選択する場合には表示されません。

#### 「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。  
サブウィンドウの場合に表示されます。

#### 「ユーザ検索」アンカー

「ユーザ選択条件指定」画面を表示します。  
ACLのサブジェクトを選択する場合には表示されます。

#### 「組織検索」アンカー

「組織選択条件指定」画面を表示します。

#### 所属グループ検索

##### 「検索」ボタン

ログインユーザが所属するグループの検索を開始します。検索結果は「検索結果一覧」画面に表示されます。

#### 条件検索

##### 「検索」ボタン

検索を開始します。  
検索結果は「検索結果一覧」画面に表示されます。

##### 「条件リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

##### 「一致条件」リストボックス

一致条件をリストボックスから選択します。  
「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかが選択できます。デフォルトでは、「部分一致」が選択されています。

##### 「検索値」テキストボックス

グループ名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。

### (7) グループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面

グループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面について説明します。

「グループ選択条件指定」画面について説明します。この画面は、表示する場合によって表示画面が異なります。

文書またはフォルダの作成時にプライマリグループを選択する場合、この画面は、リストフレームに表示されます。

文書またはフォルダのアクセス権の更新時にプライマリグループを選択する場合、この画面は、サブウィンドウのダウンフレームに表示されます。

ACLのサブジェクトを選択する場合、この画面は、リストフレームの下部に表示されます。

グループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面の例を次に示します。この図は、ACLにサブジェクトを追加する時の「検索結果一覧」画面です。

図 5-56 グループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面

| 検索結果一覧                          |   |
|---------------------------------|---|
| <<  <   (2件中1~2件表示)  >  >>   更新 |   |
| グループ名 ↑                         | 操作  |
| Aプロジェクトグループ                     |  |
| Eプロジェクトグループ                     |  |
| <<  <   (2件中1~2件表示)  >  >>   更新 |   |

(リスト表示)

グループ選択条件指定検索の結果の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-37 グループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示

| 列名    | アンカー/アイコン  | 説明  |
|-------|--|---|
| グループ名 | (アンカー)または<br>(テキスト)  | グループ名が表示されます。<br>ACLのサブジェクトを追加する時にだけ、アンカーで表示されます。アンカーをクリックすると、そのグループに所属しているユーザの検索が実行され、所属ユーザの「検索結果一覧」画面が表示されます。   |
| 操作    |  「選択」 | クリックすると、グループが選択されます。<br>選択後の画面は、次のようになります。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>ACLのサブジェクトを選択する場合は、「サブジェクト追加」画面の一覧に選択したユーザが追加されます。</li> <li>それ以外の場合は、「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成(1/2)」画面または「アクセス権更新」画面に戻ります。</li> </ul> |

また、グループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示は、「グループ名」をキーにしてソートできます。初期状態では、昇順にソートされています。

## (8) 「共有 ACL 選択条件指定」画面

「共有 ACL 選択条件指定」画面について説明します。この画面は、次のフレームに表示されます。

文書またはフォルダの作成時にバインドする共有 ACL を選択する場合、この画面は、ツリーフレームに表示されます。

文書またはフォルダのアクセス権の更新時にバインドする共有 ACL を選択する場合、この画面は、サブウィンドウのアップフレームに表示されます。

「共有 ACL 選択条件指定」画面の例を次に示します。この図は、文書またはフォルダのアクセス権の更新時にバインドする共有 ACL を選択するための「共有 ACL 選択条件指定」画面です。

図 5-57 「共有 ACL 選択条件指定」画面

「戻る」アンカー

「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面または「アクセス権更新」画面に戻ります。

「閉じる」アンカー

サブウィンドウを閉じます。  
サブウィンドウの場合に表示されます。

「検索」ボタン

共有 ACL 選択条件指定検索を実行します。検索結果は「検索結果一覧」画面に表示されます。

「条件リセット」ボタン

指定内容をリセットします。

検索条件

共有 ACL の検索条件を指定します。指定する項目について次の表に示します。

表 5-38 検索条件の指定（「共有 ACL 選択条件指定」画面）

| 属性           | 項目            | 説明  |
|--------------|---------------|---|
| 共有 ACL 名     | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。デフォルトでは、「部分一致」が選択されています。   |
|              | 「検索値」テキストボックス | 共有 ACL 名またはその一部を 255 バイト以内で指定します。   |
| コメント         | 「一致条件」リストボックス | 「完全一致」「不一致」「部分一致」「前方一致」「後方一致」のどれかを選択できます。デフォルトでは、「部分一致」が選択されています。   |
|              | 「検索値」テキストボックス | コメントまたはその一部を 255 バイト以内で指定します。   |
| 「結合条件」ラジオボタン |               | 複数の項目を指定した場合に、それらの結合条件を指定します。デフォルトでは「AND」が指定されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AND<br/>指定したすべての検索条件を満たす共有 ACL が検索されます。</li> <li>OR<br/>指定した検索条件のどれかを満たす共有 ACL が検索されます。</li> </ul> |

## (9) 共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面

共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面について説明します。この画面は、表示する場合によって表示画面が異なります。

文書またはフォルダの作成時にバインドする共有 ACL を選択する場合、この画面は、リストフレームに表示されます。

文書またはフォルダのアクセス権の更新時にバインドする共有 ACL を選択する場合、この画面は、サブウィンドウのダウンフレームに表示されます。

共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面の例を次に示します。この図は、文書またはフォルダの作成時にバインドする共有 ACL を選択するための「検索結果一覧」画面です。

図 5-58 共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面

| 検索結果一覧                             |       |                     |                   |    |  |
|------------------------------------|-------|---------------------|-------------------|----|--|
| <<   <   (3件中1~3件表示)   >   >>   更新 |       |                     |                   |    |  |
| 共有ACL名 ↑                           | 更新者   | 更新日時                | コメント              | 操作 |  |
| レビュー済み資料                           | 四国 花子 | 2002/02/26 23:01:51 | レビュー済み。編集不可。      |    |  |
| レビュー用ACL                           | 日立 太郎 | 2002/02/26 23:07:55 | レビュー時に設定してください。   |    |  |
| 外部レビュー用ACL                         | 日立 太郎 | 2002/02/26 23:09:56 | 外部レビュー時に設定してください。 |    |  |
| <<   <   (3件中1~3件表示)   >   >>   更新 |       |                     |                   |    |  |

(リスト表示)

共有 ACL 検索の検索結果の一覧が表示されます。データ部分に表示される内容について、次の表に示します。

表 5-39 共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面のリスト表示

| 列名       | アンカー / アイコン | 説明   |
|----------|-------------|--|
| 共有 ACL 名 | (アンカー)      | 共有 ACL 名 (オブジェクト名プロパティ) が表示されます。アンカーをクリックすると、リストフレームに「共有 ACL 表示」画面が表示されます。   |
| 更新者      | -           | 共有 ACL の更新者名 (更新者名プロパティ) が表示されます。  |
| 更新日時     | -           | 共有 ACL の更新日時 (更新日時プロパティ) が表示されます。  |
| コメント     | -           | コメント (コメントプロパティ) が表示されます。  |
| 操作       | 「選択」        | クリックすると、共有 ACL が選択されます。選択後、「フォルダ新規作成」画面、「文書新規作成 (1/2)」画面または「アクセス権更新」画面に戻ります。 |

また、共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面で表示される項目の、初期状態でのソートの優先順位およびソート方向は、次に示す表のとおりです。これ以外の項目は、ソートキーにはなりません。

表 5-40 共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面の項目のソート順位とソート方向

| ソートキーになる項目名 | 優先順位 | 方向 |
|-------------|------|----|
| 共有 ACL 名    | 1    | 昇順 |
| 更新者         | 2    | 昇順 |
| 更新日時        | 3    | 降順 |

## (10)「共有 ACL 表示」画面

「共有 ACL 表示」画面について説明します。

図 5-59 「共有 ACL 表示」画面

| 共有ACL表示      |                     | 戻る      |
|--------------|---------------------|---------|
| <b>プロパティ</b> |                     |         |
| プロパティ        | 設定値                 |         |
| 共有ACL名       | レビュー用ACL            |         |
| 作成者名         | 日立 太郎               |         |
| 作成日時         | 2002/02/26 23:01:51 |         |
| 更新者名         | 日立 太郎               |         |
| 更新日時         | 2002/02/26 23:01:51 |         |
| コメント         | レビュー時に設定してください。     |         |
| <b>ACL</b>   |                     |         |
| サブジェクト       | サブジェクト種別            | パーミッション |
| 日立 太郎        | ユーザ                 | すべて     |
| 鈴木 一郎        | ユーザ                 | すべて     |
| 企画1課         | 組織・グループ             | 参照      |

「戻る」アンカー

「検索結果一覧」画面に戻ります。

プロパティ

共有 ACL のプロパティが表示されます。表示される項目について次の表に示します。

表 5-41 共有 ACL のプロパティ

| プロパティ    | 説明                                |
|----------|-----------------------------------|
| 共有 ACL 名 | 共有 ACL 名 (オブジェクト名プロパティ) が表示されます。  |
| 作成者名     | 共有 ACL の作成者名 (作成者名プロパティ) が表示されます。 |
| 作成日時     | 共有 ACL の作成日時 (作成日時プロパティ) が表示されます。 |
| 更新者名     | 共有 ACL の更新者名 (更新者名プロパティ) が表示されます。 |
| 更新日時     | 共有 ACL の更新日時 (更新日時プロパティ) が表示されます。 |
| コメント     | コメント (コメントプロパティ) が表示されます。         |

ACL

設定されている ACL が表示されます。一覧で表示されます。表示される項目について次の表に示します。

表 5-42 共有 ACL の ACL

| 項目       | 説明  |
|----------|---|
| サブジェクト   | サブジェクト名が表示されます。   |
| サブジェクト種別 | サブジェクト種別が表示されます。<br>「ユーザ」「組織・グループ」のどちらかが表示されます。           |
| パーミッション  | パーミッションが表示されます。<br>「すべて」「更新」「リンク」「参照」「なし」のどれかが表示されま<br>す。 |



# 6

## カスタマイズ

この章では、Eclipse を使用して、サンプル Web アプリケーションをカスタマイズする方法について説明します。

- 
- 6.1 カスタマイズの概要
  - 6.2 JSP ファイルの編集
  - 6.3 Java クラスファイルの編集
  - 6.4 配置ディスクリプタの編集
  - 6.5 メタ情報定義ファイルの編集
  - 6.6 カスタマイズ例
  - 6.7 カスタマイズ時の注意事項
-

## 6.1 カスタマイズの概要

サンプル Web アプリケーションをカスタマイズするときは、カスタマイズの内容に応じて、次の表に示すファイルを編集します。このとき、Eclipse を使用すると、ファイルの編集からアプリケーションのパッケージングまで統合的にカスタマイズできます。

表 6-1 サンプル Web アプリケーションでのカスタマイズと編集するファイル

| カスタマイズの内容  | 編集するファイル  |
|--|---|
| 画面の変更<br>(画面の配色の変更, 表示項目の配置の変更, 表示するプロパティの変更 <sup>1</sup> など)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• JSP ファイル</li> </ul>  |
| 画面遷移の変更<br>(文書作成画面をポップアップ表示するなど)                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>• JSP ファイル</li> </ul>  |
| 画面の統合と分割<br>(文書作成画面を 2 画面構成から 1 画面構成にするなど)                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Web 依存アプリケーションクラスの DocumentBroker クラスファイル</li> <li>• JSP ファイル</li> </ul>   |
| オブジェクトクラスの追加<br>(バージョンなし文書オブジェクトを追加するなど)                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Web 依存アプリケーションクラスの DocumentBroker クラスファイル</li> <li>• コアアプリケーションクラスの DocumentBroker クラスファイル</li> <li>• メタ情報定義ファイル</li> <li>• JSP ファイル</li> </ul>                                    |
| プロパティの追加<br>(バージョン付き文書オブジェクトまたはバージョンなしフォルダオブジェクトにプロパティを追加するなど) | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Web 依存アプリケーションクラスの DocumentBroker クラスファイル</li> <li>• コアアプリケーションクラスの DocumentBroker クラスファイル</li> <li>• メタ情報定義ファイル</li> <li>• JSP ファイル<sup>2</sup></li> </ul>                        |
| 配置ディスクリプタのコンテキストパラメタの追加  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 配置ディスクリプタ</li> <li>• Web 依存アプリケーションクラスの DocumentBroker クラスファイル<sup>2</sup></li> <li>• コアアプリケーションクラスの DocumentBroker クラスファイル<sup>2</sup></li> <li>• JSP ファイル<sup>2</sup></li> </ul> |

注 1

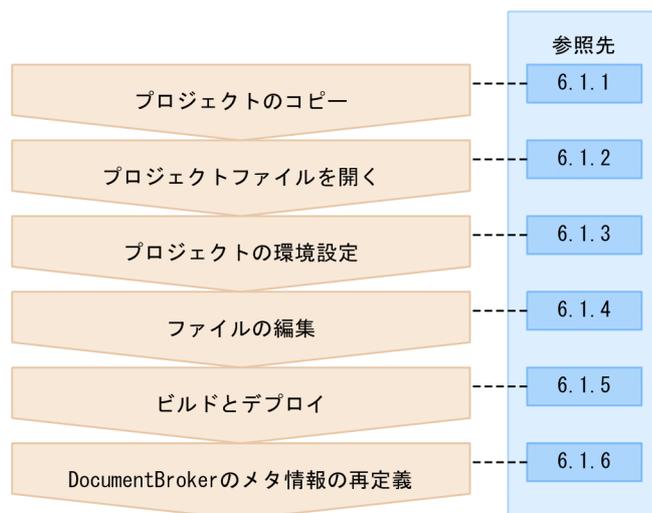
サンプル Web アプリケーションで使用していないプロパティを表示するときは、「プロパティの追加」のカスタマイズも必要になります。

注 2

必要に応じて編集するファイルです。

Eclipse を使用してサンプル Web アプリケーションをカスタマイズする場合の作業の流れを次の図に示します。

図 6-1 カスタマイズ作業の流れ



### 6.1.1 プロジェクトのコピー

サンプル Web アプリケーションのカスタマイズでは、次に示すディレクトリ以下のファイルおよびディレクトリを、下位のディレクトリやファイルも含めて使用します。

<インストールディレクトリ>\¥DocBroker¥Developer¥sample¥websample

#### ! 注意事項

カスタマイズするときは、Eclipse のプロジェクトディレクトリに取り込まれたファイルを編集してください。DocumentBroker Developer のインストール先以下のファイルを直接編集すると、カスタマイズする前の状態のファイルが必要になったときに、編集したファイルを別の場所に退避して DocumentBroker Developer を再インストールする必要があります。

### 6.1.2 プロジェクトを開く

Eclipse を起動して、以下のプロジェクトを作成します。

- Web プロジェクト
- エンタープライズアプリケーションプロジェクト

「エンタープライズ・アプリケーション・プロジェクト」は、次のとおり設定してください。

- プロジェクト名：任意のプロジェクト名を指定します。  
例：dbjsample
- J2EE 仕様レベル：[ Java EE 6.0 ] を指定します。
- 作成のタスク：[ 新規 Web モジュール・プロジェクト ] をチェックします。

以降、必要に応じて設定を変更してください。

詳細はマニュアル「Cosminexus V9 アプリケーションサーバ アプリケーション開発ガイド」を参照してください。

### 6.1.3 プロジェクトの環境設定

次に示すプロジェクトの環境設定をします。なお、ここでは、例として Eclipse の場合の手順を示します。

#### (1) DocumentBroker クラスライブラリの設定

次に示す手順で DocumentBroker クラスライブラリを設定します。

1. 「ビルド・パス」から「外部アーカイブの追加」をクリックします。
2. DocumentBroker クラスライブラリの名前とパスを指定して、「OK」ボタンをクリックします。  
ライブラリパス：<インストールディレクトリ>\¥DocBroker\¥Developer\¥lib\¥dlib5\_j2ee.jar

DocumentBroker クラスライブラリが「参照ライブラリー」として設定されます。

#### (2) Eclipse の設定

Eclipse 上で JDK の設定します。詳細はマニュアル「Cosminexus V9 アプリケーションサーバ アプリケーション開発ガイド」を参照してください。

#### (3) JSP と Servlet を実行する J2EE サーバの設定

Eclipse から操作する J2EE サーバを設定します。詳細はマニュアル「Cosminexus V9 アプリケーションサーバ アプリケーション開発ガイド」を参照してください。

#### (4) リソースの取り込み

次に示すディレクトリのファイルを解凍して、Web モジュール・プロジェクトに必要なファイルをプロジェクトに取り込みます。

ソース・フォルダー：

<インストールディレクトリ>\¥DocBroker\¥Developer\¥sample\¥websample\¥src

Web ルート・フォルダー：

<インストールディレクトリ>\¥DocBroker\¥Developer\¥sample\¥websample\¥dbjsample

#### ! 注意事項

デフォルトで取り込まれる「index.jsp」は削除します。

### 6.1.4 ファイルの編集

カスタマイズの内容に応じて、編集するファイルを Eclipse から選択して編集します。Eclipse では主に、次に示すファイルが編集できます。

- JSP ファイル  
JSP ファイルの詳細は、「6.2 JSP ファイルの編集」を参照してください。
- Java クラスファイル  
Java クラスファイルの詳細は、「6.3 Java クラスファイルの編集」を参照してください。
- 配置ディスクリプタ  
配置ディスクリプタの詳細は、「6.4 配置ディスクリプタの編集」を参照してください。

サンプル Web アプリケーションは、基本的にコマンドサーブレットクラスの Java クラスファイルと JSP

ファイルが1対1で対応している構造になっています。このため、サンプル Web アプリケーションをカスタマイズするときは、コマンドサーブレットクラスの Java クラスファイルと JSP ファイルを対で編集してください。

コマンドサーブレットクラスの Java クラスファイルと JSP ファイルとの対応は、「6.3.3 Java クラスファイルと JSP ファイルの対応」を参照してください。

### 6.1.5 ビルドとデプロイ

ファイルの編集が終了したら、Eclipse が自動的にビルドを実行します。

#### ! 注意事項

「プロジェクト」メニューの「自動的にビルド」にチェックがある場合、作成した Web アプリケーションは、デバッグが完了したあとに「サーバー」ビューから「デプロイメントの追加」を実行してデプロイします。デプロイ形式については展開ディレクトリ形式を推奨します。詳細はマニュアル「Cosminexus V9 アプリケーションサーバ アプリケーション開発ガイド」を参照してください。

### 6.1.6 DocumentBroker のメタ情報の再定義

メタ情報定義ファイルの編集が必要なカスタマイズの場合は、テキストエディタなどでメタ情報定義ファイルを編集します。メタ情報定義ファイルの詳細は、「6.5 メタ情報定義ファイルの編集」を参照してください。

メタ情報定義ファイルを編集したときは、編集したメタ情報定義ファイルを使用して、DocumentBroker の文書空間のメタ情報を再定義してください。文書空間のメタ情報の定義方法は、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」を参照してください。

### 6.1.7 Eclipse 使用時の注意事項

Eclipse の操作方法や設定については、マニュアル「Cosminexus V9 アプリケーションサーバ アプリケーション開発ガイド」を参照してください。

なお、サンプル Web アプリケーションでは「EJB プロジェクト」および「組み込みデータベース」は使用しません。

## 6.2 JSP ファイルの編集

JSP ファイルは、WWW ブラウザに画面を表示するための HTML データを生成するファイルです。

次に示すようなカスタマイズをするときは、JSP ファイルを編集してください。

- 画面のスタイルやレイアウトを変更する場合
- 画面遷移を変更する場合
- 画面を統合または分割する場合
- サンプル Web アプリケーションで使用していないクラスを追加して使用する場合

JSP ファイルは、次に示す格納場所のファイルをコピーして使用してください。

<インストールディレクトリ>\¥DocBroker¥Developer¥sample¥websample¥dbjsample¥jsp¥\*.jsp

サンプル Web アプリケーションで使用している JSP ファイルの一覧を次の表に示します。

表 6-2 JSP ファイル一覧

| JSP ファイル名                          | 内容  |
|------------------------------------|---|
| dwcACSearchFrmH.jsp                | ユーザ、共有 ACL、および組織検索用フレーム（上下分割）               |
| dwcACSearchFrmW.jsp                | ユーザ、共有 ACL、および組織検索用フレーム（左右分割）               |
| dwcAddACEFrm.jsp                   | 共有 ACL のサブジェクト選択用フレーム                       |
| dwcAutoLogin.jsp                   | ログイン画面表示先制御 JSP                             |
| dwcAutoLogin2.jsp                  | ログイン画面                                      |
| dwcBlank.jsp                       | 検索画面などの結果表示の初期表示空白画面                        |
| dwcCancelCheckOutDocResult.jsp     | 文書オブジェクトのチェックアウトキャンセル結果ダイアログ表示              |
| dwcCCoDocRes.jsp                   | チェックアウト中文書検索結果表示                            |
| dwcCDispPerm.jsp                   | アクセス権表示用部品                                  |
| dwcCDocRes.jsp                     | 全文検索結果の一覧表示用部品                              |
| dwcCFolderCont.jsp                 | フォルダ下のオブジェクト一覧表示用部品                         |
| dwcCheckInDocParts1.jsp            | チェックイン（1/2）画面<br>チェックイン時のプロパティ設定画面          |
| dwcCheckInDocParts2.jsp            | チェックイン（2/2）画面<br>チェックイン時の登録文書ファイル設定画面       |
| dwcCheckInDocResult.jsp            | 文書オブジェクトのチェックイン結果ダイアログ表示                    |
| dwcCheckOutDocResult.jsp           | 文書オブジェクトのチェックアウト結果ダイアログ表示                   |
| dwcCheckOutDocSearchCond.jsp       | チェックアウト中文書選択条件指定                            |
| dwcCheckOutDocSearchResultList.jsp | チェックアウト中文書検索結果表示                            |
| dwcCInputPerm.jsp                  | アクセス権設定用部品                                  |
| dwcCoDownload.jsp                  | チェックアウト結果画面                                 |
| dwcCreateDocParts1.jsp             | 文書新規作成（1/2）画面<br>文書新規作成時のプロパティおよびアクセス権の設定画面 |
| dwcCreateDocParts2.jsp             | 文書新規作成（2/2）画面<br>文書新規作成時の登録文書ファイル設定画面       |
| dwcCreateDocResult.jsp             | 文書オブジェクト作成結果ダイアログ表示                         |
| dwcCreateFolderParts1.jsp          | フォルダ新規作成画面<br>フォルダ新規作成時のプロパティおよびアクセス権の設定画面  |

| JSP ファイル名                           | 内容   |
|-------------------------------------|--|
| dwcCreateFolderResult.jsp           | フォルダオブジェクト作成結果ダイアログ表示                                |
| dwcCreatePublicACLParts1.jsp        | 共有 ACL 新規作成画面<br>共有 ACL 新規作成時のプロパティ設定およびサブジェクトの選択画面  |
| dwcCreatePublicACLResult.jsp        | 共有 ACL 作成結果ダイアログ表示                                   |
| dwcCRes.jsp                         | フォルダ検索結果のリスト表示用部品<br>フォルダ一覧を表示するための部品                |
| dwcCSrchPropCond.jsp                | プロパティ検索条件部品<br>プロパティ検索条件を表示するための部品                   |
| dwcDocPropList.jsp                  | 文書オブジェクトのプロパティとアクセス権画面                               |
| dwcDocVersionList.jsp               | 文書オブジェクトのバージョン一覧画面                                   |
| dwcDocVersionPropList.jsp           | 文書オブジェクトのバージョンプロパティ画面                                |
| dwcDownloadDoc.jsp                  | 文書オブジェクトのコンテンツのダウンロード用画面<br>文書オブジェクトのコンテンツを表示する      |
| dwcEntry.jsp                        | サンプル Web アプリケーションエントリアンカー表示画面                        |
| dwcErrorPage.jsp                    | エラーメッセージ画面   |
| dwcFolderContentList.jsp            | フォルダ下のオブジェクト一覧表示                                     |
| dwcFolderPropList.jsp               | フォルダオブジェクトのプロパティとアクセス権画面                             |
| dwcFolderSearchCond.jsp             | フォルダ選択条件指定   |
| dwcFolderSearchResultList.jsp       | フォルダ検索結果のリスト表示                                       |
| dwcFolderTree.jsp                   | フォルダツリー  |
| dwcGroupOrgUserSearchResultList.jsp | 組織またはグループの所属ユーザ検索結果一覧                                |
| dwcGroupSearchCond.jsp              | グループ選択条件指定   |
| dwcGroupSearchResultList.jsp        | グループ検索の検索結果一覧  |
| dwcHead0.jsp                        | ヘッダ情報部品<br>Java クラスのインポートや共通で使用する変数を定義               |
| dwcLogout.jsp                       | ログアウト画面<br>ログアウト後に表示する画面                             |
| dwcMainFrm.jsp                      | サンプル Web アプリケーションのメインフレーム<br>サンプル Web アプリケーションのメイン画面 |
| dwcMenu.jsp                         | 文書管理システムのメニュー  |
| dwcNaviBar.jsp                      | ナビゲーションバー部品<br>一覧リストの上限に配置する件数や更新ボタンを表示するバー          |
| dwcOrgSearchCond.jsp                | 組織選択条件指定   |
| dwcOrgSearchResultList.jsp          | 組織検索の検索結果一覧  |
| dwcPublicACLPropList.jsp            | 共有 ACL のプロパティとサブジェクトの表示画面                            |
| dwcPublicACLSearchCond.jsp          | 共有 ACL 選択条件指定  |
| dwcPublicACLSearchResultList.jsp    | 共有 ACL 検索の検索結果一覧                                     |
| dwcRemeveDocResult.jsp              | 文書オブジェクトの削除結果ダイアログ表示                                 |
| dwcRemeveDocVersionResult.jsp       | 文書オブジェクトのバージョン削除結果ダイアログ表示                            |
| dwcRemeveFolderResult.jsp           | フォルダオブジェクトの削除結果ダイアログ表示                               |
| dwcRemevePublicACLResult.jsp        | 共有 ACL の削除結果ダイアログ表示                                  |
| dwcSearchFrm.jsp                    | 検索用フレーム  |
| dwcSelectSubjectResult.jsp          | サブジェクト選択結果画面   |

## 6. カスタマイズ

| JSP ファイル名                        | 内容                                 |
|----------------------------------|------------------------------------|
| dwcStyle.jsp                     | 表示スタイル部品                           |
| dwcSubFrm.jsp                    | オブジェクト一覧表示用サブフレーム                  |
| dwcSubSrchFrm.jsp                | サブウィンドウ用検索フレーム                     |
| dwcTextSearchCond.jsp            | 全文検索選択条件指定                         |
| dwcTextSearchResultList.jsp      | 全文検索結果の一覧表示                        |
| dwcUpdateDocPropParts1.jsp       | 文書オブジェクトのプロパティ更新画面                 |
| dwcUpdateDocPropResult.jsp       | 文書オブジェクトのプロパティ更新結果ダイアログ表示          |
| dwcUpdateFolderPropParts1.jsp    | フォルダオブジェクトのプロパティ更新画面               |
| dwcUpdateFolderPropResult.jsp    | フォルダオブジェクトのプロパティ更新結果ダイアログ表示        |
| dwcUpdatePermParts1.jsp          | アクセス権更新画面                          |
| dwcUpdatePermResult.jsp          | アクセス権更新結果ダイアログ表示                   |
| dwcUpdatePublicACLPropParts1.jsp | 共有 ACL のプロパティ更新とサブジェクトの選択画面        |
| dwcUpdatePublicACLPropResult.jsp | 共有 ACL のプロパティ更新とサブジェクトの選択結果ダイアログ表示 |
| dwcUserInfo.jsp                  | ユーザ情報画面                            |
| dwcUserSearchCond.jsp            | ユーザ検索条件指定                          |
| dwcUserSearchResultList.jsp      | ユーザ検索結果の一覧表示                       |

## 6.3 Java クラスファイルの編集

Java クラスファイルは、サンプル Web アプリケーションの機能を実装したファイルです。サンプル Web アプリケーションでは、次に示す 2 種類の Java クラスファイルを提供しています。

- Web 依存アプリケーションクラスの Java クラスファイル：Web 上の処理に依存したクラス群の Java クラスファイルです。
- コアアプリケーションクラスの Java クラスファイル：Web 上の処理に依存しないクラス群の Java クラスファイルです。

次に示すようなカスタマイズをするときは、Java クラスファイルを編集してください。

- 画面の統合や分割をする場合
- サンプル Web アプリケーションで使用していないクラスを追加して使用する場合
- サンプル Web アプリケーションで使用していないプロパティを追加して使用する場合

### 参考

サンプル Web アプリケーションの Java クラスおよび Java クラスで提供するメソッドの詳細については、javadoc で出力するドキュメントを参照してください。  
javadoc は、ソースファイルの中の宣言やドキュメンテーションコメントを解析し、クラス、内部クラス、インターフェース、コンストラクタ、メソッド、およびフィールドについて説明した一連の Web ページを生成するツールです。

### 6.3.1 Web 依存アプリケーションクラスの Java クラスファイル

Web 依存アプリケーションクラスの Java クラスファイルの格納先を次に示します。

```
<インストールディレクトリ
>%DocBroker%Developer%sample%websample%src%jp%co%Hitachi%soft%docbroker%sampleAPP%web
%*.java
```

Web 依存アプリケーションクラスには、次に示すクラスが含まれています。

#### (1) コマンドディスパッチャクラス

クライアントからの HTTP リクエストを受け付けて、リクエスト（コマンド）に応じた Servlet に処理を分岐させる Servlet のクラスです。コマンドディスパッチャクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-3 コマンドディスパッチャクラスの Java クラスファイル

| 機能名                   | Java クラスファイル名             | 機能概要   |
|-----------------------|---------------------------|--|
| 通常リクエスト対応のディスパッチャ     | DwcDispatchSrv.java       | クライアントから HTTP リクエストを受け付けてリクエストに応じたコマンドサーブレットに処理を分岐させます。                          |
| マルチパーツリクエスト対応のディスパッチャ | DwcUploadDispatchSrv.java | クライアントから HTTP マルチパーツリクエストを受け付けてリクエストに応じたコマンドサーブレットに処理を分岐させます。ファイルのアップロード時に使用します。 |

## (2) コマンドサーブレットクラス

リクエストに応じた処理を実行する Servlet のクラスです。コマンドサーブレットクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-4 コマンドサーブレットクラスの Java クラスファイル

|          | 機能名            | Java クラスファイル名                  | 機能概要   |
|----------|----------------|--------------------------------|--|
| オブジェクト操作 | 文書作成           | DwcCreateDocSrv.java           | 文書作成の制御を行います。文書作成部品 1 ~ 3 を使用して文書作成を実行します。                       |
|          | 文書作成部品 1       | DwcCreateDocParts1Srv.java     | 文書作成時のプロパティ入力画面を表示します。DwcCreateDocSrv.java を介して実行されます。           |
|          | 文書作成部品 2       | DwcCreateDocParts2Srv.java     | 文書作成時のファイル指定画面を表示します。DwcCreateDocSrv.java を介して実行されます。            |
|          | 文書作成部品 3       | DwcCreateDocParts3Srv.java     | 文書の作成を実行します。DwcCreateDocSrv.java を介して実行されます。                     |
|          | 文書削除           | DwcRemeveDocSrv.java           | 文書の削除を実行します。   |
|          | チェックアウト        | DwcCheckOutDocSrv.java         | 文書のチェックアウトを実行します。  |
|          | チェックイン         | DwcCheckInDocSrv.java          | 文書のチェックインの制御を行います。チェックイン部品 1 ~ 3 を使用して文書のチェックインを実行します。           |
|          | チェックイン部品 1     | DwcCheckInDocParts1Srv.java    | 文書チェックイン時のプロパティ入力画面を表示します。DwcCheckInDocSrv.java を介して実行されます。      |
|          | チェックイン部品 2     | DwcCheckInDocParts2Srv.java    | 文書チェックイン時のファイル指定画面を表示します。DwcCheckInDocSrv.java を介して実行されます。       |
|          | チェックイン部品 3     | DwcCheckInDocParts3Srv.java    | 文書のチェックインを実行します。DwcCheckInDocSrv.java を介して実行されます。                |
|          | チェックアウトの取り消し   | DwcCancelCheckOutDocSrv.java   | 文書のチェックアウトの取り消しを実行します。   |
|          | コンテンツのダウンロード   | DwcDownloadDocSrv.java         | コンテンツのダウンロードを実行します。  |
|          | 文書のプロパティ参照     | DwcGetDocPropSrv.java          | 文書のプロパティを参照します。  |
|          | 文書のプロパティ更新     | DwcUpdateDocPropSrv.java       | 文書のプロパティ更新の制御を行います。文書のプロパティ更新部品 1 ~ 2 を使用してプロパティ更新を実行します。        |
|          | 文書のプロパティ更新部品 1 | DwcUpdateDocPropParts1Srv.java | 文書のプロパティ更新時のプロパティ入力画面を表示します。DwcUpdateDocPropSrv.java を介して実行されます。 |
|          | 文書のプロパティ更新部品 2 | DwcUpdateDocPropParts2Srv.java | 文書のプロパティ更新を実行します。DwcUpdateDocPropSrv.java を介して実行されます。            |
|          | バージョン一覧表示      | DwcGetDocVersionListSrv.java   | 文書のバージョン一覧を参照します。  |
|          | バージョンプロパティ参照   | DwcGetDocVersionPropSrv.java   | 文書のバージョンプロパティを参照します。   |
|          | バージョン削除        | DwcRemoveDocVersionSrv.java    | 文書のバージョンを削除します。  |

| 機能名                 | Java クラスファイル名                        | 機能概要  |                             |
|---------------------|--------------------------------------|---|-----------------------------|
| フォルダ作成              | DwcCreateFolderSrv.java              | フォルダ作成の制御を行います。フォルダ作成部品 1 ~ 2 を使用してフォルダ作成を実行します。                            |                             |
| フォルダ作成部品 1          | DwcCreateFolderParts1Srv.java        | フォルダ作成時のプロパティ入力画面を表示します。DwcCreateFolderSrv.java を介して実行されます。                 |                             |
| フォルダ作成部品 2          | DwcCreateFolderParts2Srv.java        | フォルダの作成を実行します。DwcCreateFolderSrv.java を介して実行されます。                           |                             |
| フォルダ削除              | DwcRemoveFolderSrv.java              | フォルダの削除を実行します。  |                             |
| フォルダのプロパティ参照        | DwcGetFolderPropSrv.java             | フォルダのプロパティを参照します。   |                             |
| フォルダのプロパティ更新        | DwcUpdateFolderPropSrv.java          | フォルダのプロパティ更新の制御を行います。フォルダのプロパティ更新部品 1 ~ 2 を使用してプロパティ更新を実行します。               |                             |
| フォルダのプロパティ更新部品 1    | DwcUpdateFolderPropParts1Srv.java    | フォルダのプロパティ更新時のプロパティ入力画面を表示します。DwcUpdateFolderPropSrv.java を介して実行されます。       |                             |
| フォルダのプロパティ更新部品 2    | DwcUpdateFolderPropParts2Srv.java    | フォルダのプロパティ更新を実行します。DwcUpdateFolderPropSrv.java を介して実行されます。                  |                             |
| 共有 ACL 作成           | DwcCreatePublicACLSrv.java           | 共有 ACL 作成の制御を行います。共有 ACL 作成部品 1 ~ 2 を使用して共有 ACL 作成を実行します。                   |                             |
| 共有 ACL 作成部品 1       | DwcCreatePublicACLParts1Srv.java     | 共有 ACL 作成時のプロパティ入力画面を表示します。DwcCreatePublicACLSrv.java を介して実行されます。           |                             |
| 共有 ACL 作成部品 2       | DwcCreatePublicACLParts2Srv.java     | 共有 ACL 作成を実行します。DwcCreatePublicACLSrv.java を介して実行されます。                      |                             |
| 共有 ACL 削除           | DwcRemovePublicACLSrv.java           | 共有 ACL の削除を実行します。   |                             |
| 共有 ACL のプロパティ参照     | DwcGetPublicACLPropSrv.java          | 共有 ACL のプロパティを参照します。  |                             |
| 共有 ACL のプロパティ更新     | DwcUpdatePublicACLPropSrv.java       | 共有 ACL のプロパティ更新の制御を行います。共有 ACL のプロパティ更新部品 1 ~ 2 を使用してプロパティ更新を実行します。         |                             |
| 共有 ACL のプロパティ更新部品 1 | DwcUpdatePublicACLPropParts1Srv.java | 共有 ACL のプロパティ更新時のプロパティ入力画面を表示します。DwcUpdatePublicACLPropSrv.java を介して実行されます。 |                             |
| 共有 ACL のプロパティ更新部品 2 | DwcUpdatePublicACLPropParts2Srv.java | 共有 ACL のプロパティ更新を実行します。DwcUpdatePublicACLPropSrv.java を介して実行されます。            |                             |
| システム開始・終了           | ログイン                                 | DwcLoginSrv.java  | ユーザ認証を行いシステムにログインします。       |
|                     | ログアウト                                | DwcLogoutSrv.java   | システムからログアウトします。             |
| オブジェクト一覧            | フォルダツリー表示                            | DwcGetFolderTreeSrv.java  | ルートフォルダを基点としたフォルダツリーを取得します。 |
|                     | フォルダリスト表示                            | DwcGetFolderContentListSrv.java   | フォルダ下のオブジェクトの一覧を取得します。      |

## 6. カスタマイズ

|           | 機能名                | Java クラスファイル名                   | 機能概要  |
|-----------|--------------------|---------------------------------|---|
| ルートフォルダ一覧 | ルートフォルダ一覧表示        | DwcGetRootFolderListSrv.java    | ルートフォルダの一覧を取得します。                                   |
| 検索        | 全文検索条件指定表示         | DwcTextSearchCondSrv.java       | 全文検索条件指定画面を表示します。                                   |
|           | 全文検索実行             | DwcTextSerchSrv.java            | 全文検索を実行します。   |
|           | チェックアウト中文書検索条件指定表示 | DwcCheckOutDocSerchCondSrv.java | チェックアウト中文書検索条件指定画面を表示します。                           |
|           | チェックアウト中文書検索実行     | DwcCheckOutDocSerchSrv.java     | チェックアウト中文書検索を実行します。                                 |
|           | フォルダ検索条件指定表示       | DwcFolderSerchCondSrv.java      | フォルダ検索条件指定画面を表示します。                                 |
|           | フォルダ検索実行           | DwcFolderSerchSrv.java          | フォルダ検索を実行します。                                       |
|           | 共有 ACL 検索条件指定表示    | DwcPublicACLSerchCondSrv.java   | 共有 ACL 検索条件指定画面を表示します。                              |
|           | 共有 ACL 検索実行        | DwcPublicACLSerchSrv.java       | 共有 ACL 検索を実行します。                                    |
| 共有 ACL 管理 | サブジェクト選択表示         | DwcSelectSubjectCondSrv.java    | 共有 ACL のサブジェクト選択画面を表示します。                           |
|           | サブジェクト選択           | DwcSelectSubjectSrv.java        | 共有 ACL のサブジェクトを選択します。                               |
| LDAP 検索   | ユーザ検索条件指定表示        | DwcUserSearchCondSrv.java       | ユーザ検索条件指定画面を表示します。                                  |
|           | ユーザ検索実行            | DwcUserSearchSrv.java           | ユーザ検索を実行します。  |
|           | グループ・組織内ユーザ検索実行    | DwcGroupOrgUserSearchSrv.java   | グループ・組織内ユーザ検索を実行します。                                |
|           | ユーザ情報表示            | DwcGetUserInfoSrv.java          | ユーザ情報を表示します。  |
|           | 組織検索条件指定表示         | DwcOrgSearchCondSrv.java        | 組織検索条件指定画面を表示します。                                   |
|           | 組織検索実行             | DwcOrgSearchSrv.java            | 組織検索を実行します。   |
|           | グループ検索条件指定表示       | DwcGroupSearchCondSrv.java      | グループ検索条件指定画面を表示します。                                 |
|           | グループ検索実行           | DwcGroupSearchSrv.java          | グループ検索を実行します。                                       |
| アクセス権     | アクセス権更新            | DwcUpdatePermSrv.java           | アクセス権更新の制御を行います。アクセス権更新部品 1 ~ 2 を使用してアクセス権更新を実行します。 |
|           | アクセス権更新部品 1        | DwcUpdatePermPart1Srv.java      | アクセス権更新の画面を表示します。DwcUpdatePermSrv.java を介して実行されます。  |
|           | アクセス権更新部品 2        | DwcUpdatePermPart2Srv.java      | アクセス権を更新します。DwcUpdatePermSrv.java を介して実行されます。       |
|           | アクセス権選択 (所有者)      | DwcSelectOwnerSrv.java          | 所有者選択画面を表示します。                                      |
|           | アクセス権選択 (グループ・組織)  | DwcSelectGroupOrgSrv.java       | グループ選択画面または組織選択画面を表示します。                            |
|           | アクセス権選択 (共有 ACL)   | DwcSelectPublicACLSrv.java      | 共有 ACL 選択画面を表示します。                                  |
| スーパークラス   | コマンドサーブレット         | DwcCmdSrv.java                  | コマンドサーブレットのスーパークラスです。                               |
|           | 検索                 | DwcSearchSrv.java               | 検索機能のスーパークラスです。                                     |

| 機能名     | Java クラスファイル名         | 機能概要                 |
|---------|-----------------------|----------------------|
| LDAP 検索 | DwcLdapSearchSrv.java | LDAP 検索機能のスーパークラスです。 |
| その他     | DwcNullSrv.java       | JSP ファイルの遷移だけを行います。  |

### (3) AP フレームクラス

HttpSessionBindingListener インターフェースを実装し、HTTP セッションに AP セッションをバインドする機能を持つクラスです。サンプル Web アプリケーションの HTTP セッションの役割をします。AP フレームクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-5 AP フレームクラスの Java クラスファイル

| 機能名      | Java クラスファイル名 | 機能概要                          |
|----------|---------------|-------------------------------|
| AP セッション | DwcFrame.java | HTTP セッションに AP セッションをバインドします。 |

### (4) Web アプリケーション共通情報クラス

サンプル Web アプリケーションで共通の情報を扱うクラスです。HTTP セッション単位の情報を保持する AP フレームクラスを管理します。Web アプリケーション共通情報クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-6 Web アプリケーション共通情報クラスの Java クラスファイル

| 機能名                | Java クラスファイル名 | 機能概要                                   |
|--------------------|---------------|--|
| Web アプリケーション共通情報管理 | DwcApp.java   | HTTP セッション単位の情報を保持する AP フレームクラスを管理します。 |

### (5) 処理結果クラス

オブジェクト操作に関するサーブレットの処理結果情報を保持するクラスです。処理結果クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-7 処理結果クラスの Java クラスファイル

| 機能名            | Java クラスファイル名              | 機能概要   |
|----------------|----------------------------|--|
| エラー情報          | DwcErrorNotify.java        | サーブレットの処理にエラーが発生した場合のエラー情報を保持します。                                    |
| 処理結果情報 1       | DwcNormalNotify.java       | サーブレットの処理結果が正常な場合にオブジェクトの情報 (オブジェクトタイプ、オブジェクト名) を保持します。              |
| 処理結果情報 2       | DwcNormalNotifyWithID.java | サーブレットの処理結果が正常な場合にオブジェクトの情報 (オブジェクトタイプ、オブジェクト名、オブジェクトの OIID) を保持します。 |
| 処理結果情報のスーパークラス | DwcResultNotify.java       | 処理結果情報のスーパークラスです。  |

### (6) 例外クラス

サンプル Web アプリケーション (Web 依存アプリケーションクラス) の例外を扱うクラスです。例外クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

## 6. カスタマイズ

表 6-8 例外クラスの Java クラスファイル (Web 依存アプリケーションクラス)

| 機能名                    | Java クラスファイル名                        | 機能概要                              |
|------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| サポート外のリクエストを受け付けた場合の例外 | DwcNotSupportedRequestException.java | サポートされていないリクエストを受け付けた場合のエラーを表します。 |

### (7) ユティリティクラス

Web 依存アプリケーションクラスで使用する部品を提供するクラスです。ユティリティクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-9 ユティリティクラスの Java クラスファイル (Web 依存アプリケーションクラス)

| 機能名       | Java クラスファイル名 | 機能概要  |
|-----------|---------------|---|
| ユティリティを提供 | DwcWUtil.java | 文字列のエンコード、フィルタリング、スペース除去、フェッチ条件指定、ソート条件取得などの部品を提供します。 |

### (8) 定数定義クラス

定数を定義するクラスです。定数定義クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-10 定数定義クラスの Java クラスファイル (Web 依存アプリケーションクラス)

| 機能名         | Java クラスファイル名    | 機能概要                 |
|-------------|------------------|----------------------|
| サーブレット定数定義  | DwcSrvDef.java   | サーブレットで使用する定数を定義します。 |
| リクエストパラメタ定数 | DwcParamDef.java | リクエストパラメタを定義します。     |

### (9) リクエストパラメタクラス

リクエストパラメタを扱うクラスです。リクエストパラメタクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-11 リクエストパラメタクラスの Java クラスファイル

| 機能名                             | Java クラスファイル名                  | 機能概要                                |
|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| リクエストパラメタを扱うインターフェース            | DwcRequest.java                | リクエストパラメタを扱うインターフェースです。             |
| 通常のリクエストパラメタを扱う                 | DwcNormalRequest.java          | リクエストパラメタを取得します。                    |
| マルチパーツ (LIST 型) を含むリクエストパラメタを扱う | DwcMultiPartRequest.java       | マルチパーツ (LIST 型) を含むリクエストパラメタを取得します。 |
| マルチパーツリクエスト用部品                  | DwcMultiPartRequestReader.java | マルチパーツ (LIST 型) リクエストを読み込みます。       |

### (10) メッセージクラス

メッセージを定義するクラスです。メッセージクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-12 メッセージクラスの Java クラスファイル

| 機能名     | Java クラスファイル名     | 機能概要                    |
|---------|-------------------|-------------------------|
| メッセージ定義 | DwcSrvMsgDef.java | サーブレットで使用するメッセージを定義します。 |

## (11) プロパティ情報クラス

プロパティ情報を扱うクラスです。プロパティ情報クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-13 プロパティ情報クラスの Java クラスファイル

| 機能名        | Java クラスファイル名            | 機能概要   |
|------------|--------------------------|--|
| プロパティ情報を扱う | DwcOperateDataProps.java | リクエストパラメタで指定されたプロパティ名称や画面遷移の引き継ぎに使用するプロパティ情報などを保持するメソッドを提供します。 |

### 6.3.2 コアアプリケーションクラスの Java クラスファイル

コアアプリケーションクラスの Java クラスファイルの格納先を次に示します。

<インストールディレクトリ

```
>%DocBroker%\Developer\sample\websample\src\jp\co\Hitachi\soft\docbroker\sampleAPP\core
\*.java
```

コアアプリケーションクラスには、次に示すクラスが含まれています。

#### (1) アプリケーション情報クラス

アプリケーションに共通な情報を管理するクラスです。オブジェクトモデル（文書管理モデル）に関する情報、LDAP アクセス関連の情報などを保持します。アプリケーション情報クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-14 アプリケーション情報クラスの Java クラスファイル

| 機能名                   | Java クラスファイル名       | 機能概要   |
|-----------------------|---------------------|--|
| アプリケーション全体に共通な情報を管理する | DwcCoreApp.java     | オブジェクトモデル（文書管理モデル）に関する情報、LDAP アクセス関連の情報などを保持します。   |
| コンテキストパラメタの内容を保持する    | DwcAppParams.java   | 配置ディスクリプタ（web.xml）のコンテキストパラメタのパラメタ名とキーを対で保持します。    |
| 文書管理モデルを保持する          | DwcModelMap.java    | 配置ディスクリプタ（web.xml）のコンテキストパラメタの指定に基づく文書管理モデルを保持します。 |
| リソース情報を取得するインターフェース   | DwcGetResource.java | サーブレットコンテキストからリソースの情報を取得するためのインターフェースです。           |

#### (2) セッションクラス

AP セッションを扱うクラスです。DocBro セッションの確立、切断、トランザクションの開始、確定、取り消しを行います。また、ログインユーザのユーザ情報や、トークン、ソートパラメタ、ワークディレクトリ情報などの AP セッション内での共有情報を保持します。セッションクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-15 セッションクラスの Java クラスファイル

| 機能名                  | Java クラスファイル名    | 機能概要  |
|----------------------|------------------|---|
| AP セッションを扱う          | DwcSession.java  | DocBro セッションの確立・切断、およびトランザクションの開始・確定・取り消しを行います。               |
| ワークディレクトリを管理する       | DwcDir.java      | ファイルのダウンロード時やアップロード時に使用する作業用のディレクトリを管理します。                    |
| アプリケーション情報にアクセスする    | DwcIframe.java   | アプリケーションのセッション情報、コンテキストパラメタ情報を管理しているフレームにアクセスするためのインターフェースです。 |
| AP セッションごとのトークンを管理する | DwcTokenMap.java | AP セッション内で誤って同じ操作を連続して実行するのを防ぐためにトークンを管理します。                  |
| トランザクションを制御する        | DwcTran.java     | トランザクションの開始・確定・取り消しを行います。                                     |

#### (3) オブジェクトクラス

オブジェクトを扱うクラスです。オブジェクトクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-16 オブジェクトクラスの Java クラスファイル

| 機能名              | Java クラスファイル名         | 機能概要                                      |
|------------------|-----------------------|---|
| オブジェクトのスーパークラス   | DwcCmnObj.java        | オブジェクト共通の処理を行います。                         |
| 文書オブジェクトを扱う      | DwcDocObj.java        | 文書オブジェクトの作成・削除，チェックイン・チェックアウトなどの操作を行います。  |
| フォルダオブジェクトを扱う    | DwcFolderObj.java     | フォルダオブジェクトの作成・削除，下位オブジェクトの一覧取得などの操作を行います。 |
| ルートフォルダオブジェクトを扱う | DwcRootFolderObj.java | ルートフォルダの作成・削除，一覧取得などの操作を行います。             |
| 共有 ACL オブジェクトを扱う | DwcPubObj.java        | 共有 ACL オブジェクトの作成・削除などの操作を行います。            |

#### (4) LDAP アクセスクラス

LDAP 対応のディレクトリサービスにアクセスするためのクラスです。LDAP アクセスクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-17 LDAP アクセスクラスの Java クラスファイル

| 機能名                  | Java クラスファイル名            | 機能概要                              |
|----------------------|--------------------------|-----------------------------------|
| LDAP 検索を行う           | DwcLdapImpl.java         | LDAP にアクセスして指定された情報を取得します。        |
| LDAP アクセスデータをキャッシュする | DwcLdapCacheManager.java | LDAP アクセスデータをキャッシュに保持します。         |
| LDAP データキャッシュ        | DwcCacheData.java        | LDAP 検索条件と取得データを保持します。            |
| LDAP 検索を行うインターフェース   | DwcLdap.java             | LDAP から指定された情報を取得するためのインターフェースです。 |

#### (5) フォルダを扱うクラス

フォルダを扱うためのクラスです。フォルダを扱うクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-18 フォルダを扱うクラスの Java クラスファイル

| 機能名                | Java クラスファイル名            | 機能概要                         |
|--------------------|--------------------------|------------------------------|
| フォルダツリーを扱う         | DwcFolderTree.java       | 各フォルダをノードとしたツリー構造で管理します。     |
| フォルダツリーの各ノードを扱う    | DwcFolderNode.java       | フォルダノードの開閉状態やプロパティ値などを保持します。 |
| フォルダパスを扱う          | DwcFolderPath.java       | 表示用のフォルダのパスを取得します。           |
| 表示用のフォルダツリーを扱う     | DwcDispFolderTree.java   | 表示用のフォルダノードをリストで管理します。       |
| 表示用フォルダツリーの各ノードを扱う | DwcDispFolderNode.java   | 表示用にフォルダの開閉状態やプロパティを保持します。   |
| 表示用フォルダパスを扱う       | DwcDispFolderPath.java   | 表示用のフォルダパスを構成する情報を保持します。     |
| ルートフォルダを検索する       | DwcRootFolderSearch.java | ルートフォルダを検索し，一覧を取得します。        |

#### (6) 検索クラス

検索を行うためのクラスです。検索クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-19 検索クラスの Java クラスファイル

| 機能名            | Java クラスファイル名      | 機能概要   |
|----------------|--------------------|--|
| 検索条件に関する情報を扱う  | DwcSearchInfo.java | edmSQL 文, 検索対象テーブル名, ?パラメタリスト, 検索対象タイプ(文書検索, フォルダ検索, チェックアウト中文書検索, 共有 ACL 検索)を保持します。 |
| edmSQL の組み立て部品 | DwcQnode.java      | edmSQL 文を組み立てるための部品を提供します。   |
| 検索結果取得情報を扱う    | DwcFetchInfo.java  | 検索結果の取得開始位置, 取得件数, 最大取得件数などを保持します。   |
| ?パラメタを扱う       | DwcQParam.java     | ?パラメタとプロパティ情報を保持します。   |

### (7) コンパレータクラス

検索結果をソートするためのクラスです。コンパレータクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-20 コンパレータクラスの Java クラスファイル

| 機能名                | Java クラスファイル名          | 機能概要                                 |
|--------------------|------------------------|--------------------------------------|
| 検索結果のコンパレータ        | DwcResComp.java        | 検索結果 DbjResultSet をソートするためのコンパレータです。 |
| フォルダー一覧表示用のコンパレータ  | DwcFolderContComp.java | フォルダー一覧をソートするためのコンパレータです。            |
| LDAP 取得データ用のコンパレータ | DwcLdapResComp.java    | LDAP 取得データをソートするためのコンパレータです。         |
| バージョン一覧用のコンパレータ    | DwcVerListComp.java    | バージョン一覧をソートするためのコンパレータです。            |

### (8) プロパティデータクラス

プロパティに関するデータを扱うクラスです。プロパティデータクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-21 プロパティデータクラスの Java クラスファイル

| 機能名             | Java クラスファイル名         | 機能概要  |
|-----------------|-----------------------|---|
| プロパティに関するデータを扱う | DwcDataOfSetProp.java | 文書, フォルダ, および共有 ACL に定義されているプロパティに関するデータを扱う DbjPropSet インターフェースとそれ以外のデータをプロパティとして扱う場合の DbjPropSet インターフェースを保持します。 |
| 表示用プロパティを扱う     | DwcDispList.java      | DbjPropSet や DbjVerObjList インターフェースなどを要素として表示用プロパティを取得します。  |

### (9) ユティリティクラス

コアアプリケーションクラスで使用する部品を提供するクラスです。ユティリティクラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-22 ユティリティクラスの Java クラスファイル (コアアプリケーションクラス)

| 機能名       | Java クラスファイル名 | 機能概要                                   |
|-----------|---------------|--|
| ユティリティを提供 | DwcUtil.java  | 日時変換, 文字列操作, オブジェクトタイプチェックなどの部品を提供します。 |

### (10) 定数定義クラス

コアアプリケーションクラスで使用する定数を定義するクラスです。定数定義クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-23 定数定義クラスの Java クラスファイル (コアアプリケーションクラス)

| 機能名                       | Java クラスファイル名 | 機能概要                        |
|---------------------------|---------------|-----------------------------|
| コアアプリケーションクラスで使用する定数を定義する | DwcDef.java   | コアアプリケーションクラスで使用する定数を定義します。 |

### (11) 例外クラス

サンプル Web アプリケーション (コアアプリケーションクラス) の例外クラスです。例外クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-24 例外クラスの Java クラスファイル (コアアプリケーションクラス)

| 機能名                             | Java クラスファイル名                       | 機能概要  |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|
| サンプル Web アプリケーションで用いる例外のスーパークラス | DwcException.java                   | サンプル Web アプリケーションで用いる例外のスーパークラスです。              |
| 日付内容不正時の例外                      | DwcDateFmtException.java            | 日付指定の内容不正の例外です。                                 |
| 不完全日付指定例外                       | DwcIncompleteDateException.java     | 日付指定の不完全例外です。                                   |
| 日付順序不正の例外                       | DwcInvalidOrderDateException.java   | 日付を範囲指定する場合の順序不正の例外です。                          |
| 文書管理モデルのモデル操作違反の例外              | DwcModelViolationException.java     | サンプル Web アプリケーションでサポートしている文書管理モデルのモデル操作違反の例外です。 |
| サポート外のオブジェクト例外                  | DwcNotSupportedObjectException.java | サンプル Web アプリケーションでサポートしていないオブジェクトを扱った場合の例外です。   |
| ルートフォルダが存在しない場合の例外              | DwcRootFolderNotFoundException.java | ルートフォルダが存在しない場合の例外です。                           |
| 空でないフォルダ削除時の例外                  | DwcFolderNotEmptyException.java     | 下位に文書またはフォルダが格納されているフォルダを削除しようとした時の例外です。        |

### (12) 内部エラー例外クラス

サンプル Web アプリケーションの内部エラー例外クラスです。内部エラー例外クラスの Java クラスファイルを次の表に示します。

表 6-25 内部エラー例外クラスの Java クラスファイル

| 機能名                      | Java クラスファイル名         | 機能概要                            |
|--------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| サンプル Web アプリケーション内部エラー例外 | DwcInternalError.java | サンプル Web アプリケーション内部エラー例外のクラスです。 |

### 6.3.3 Java クラスファイルと JSP ファイルの対応

サンプル Web アプリケーションが提供する Web 依存アプリケーションクラスのコマンドサーブレットクラスの Java クラスファイルと、JSP ファイルとの対応を次の表に示します。

表 6-26 Java クラスファイルと JSP ファイルの関連

|          | 機能名              | Java クラスファイル名                     | JSP ファイル名                      |
|----------|------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| オブジェクト操作 | 文書作成             | DwcCreateDocSrv.java              | -                              |
|          | 文書作成部品 1         | DwcCreateDocParts1Srv.java        | dwcCreateDocParts1.jsp         |
|          | 文書作成部品 2         | DwcCreateDocParts2Srv.java        | dwcCreateDocParts2.jsp         |
|          | 文書作成部品 3         | DwcCreateDocParts3Srv.java        | dwcCreateDocResult.jsp         |
|          | 文書削除             | DwcRemeveDocSrv.java              | dwcRemeveDocResult.jsp         |
|          | チェックアウト          | DwcCheckOutDocSrv.java            | dwcCheckOutDocResult.jsp       |
|          | チェックイン           | DwcCheckInDocSrv.java             | -                              |
|          | チェックイン部品 1       | DwcCheckInDocParts1Srv.java       | dwcCheckInDocParts1.jsp        |
|          | チェックイン部品 2       | DwcCheckInDocParts2Srv.java       | dwcCheckInDocParts2.jsp        |
|          | チェックイン部品 3       | DwcCheckInDocParts3Srv.java       | dwcCheckInDocResult.jsp        |
|          | チェックアウトの取り消し     | DwcCancelCheckOutDocSrv.java      | dwcCancelCheckOutDocResult.jsp |
|          | コンテンツのダウンロード     | DwcDownloadDocSrv.java            | dwcDownloadDoc.jsp             |
|          | 文書のプロパティ参照       | DwcGetDocPropSrv.java             | dwcDocPropList.jsp             |
|          | 文書のプロパティ更新       | DwcUpdateDocPropSrv.java          | -                              |
|          | 文書のプロパティ更新部品 1   | DwcUpdateDocPropParts1Srv.java    | dwcUpdateDocPropParts1.jsp     |
|          | 文書のプロパティ更新部品 2   | DwcUpdateDocPropParts2Srv.java    | dwcUpdateDocPropResult.jsp     |
|          | バージョン一覧表示        | DwcGetDocVersionListSrv.java      | dwcDocVersionList.jsp          |
|          | バージョンプロパティ参照     | DwcGetDocVersionPropSrv.java      | dwcDocVersionPropList.jsp      |
|          | バージョン削除          | DwcRemeveDocVersionSrv.java       | dwcRemeveDocVersionResult.jsp  |
|          | フォルダ作成           | DwcCreateFolderSrv.java           | -                              |
|          | フォルダ作成部品 1       | DwcCreateFolderParts1Srv.java     | dwcCreateFolderParts1.jsp      |
|          | フォルダ作成部品 2       | DwcCreateFolderParts2Srv.java     | dwcCreateFolderResult.jsp      |
|          | フォルダ削除           | DwcRemoveFolderSrv.java           | dwcRemeveFolderResult.jsp      |
|          | フォルダのプロパティ参照     | DwcGetFolderPropSrv.java          | dwcFolderPropList.jsp          |
|          | フォルダのプロパティ更新     | DwcUpdateFolderPropSrv.java       | -                              |
|          | フォルダのプロパティ更新部品 1 | DwcUpdateFolderPropParts1Srv.java | dwcUpdateFolderPropParts1.jsp  |
|          | フォルダのプロパティ更新部品 2 | DwcUpdateFolderPropParts2Srv.java | dwcUpdateFolderPropResult.jsp  |

| 機能名                 | Java クラスファイル名                        | JSP ファイル名                        |  |
|---------------------|--------------------------------------|----------------------------------|--|
| 共有 ACL 作成           | DwcCreatePublicACLSrv.java           | -                                |  |
| 共有 ACL 作成部品 1       | DwcCreatePublicACLParts1Srv.java     | dwcCreatePublicACLParts1.jsp     |  |
| 共有 ACL 作成部品 2       | DwcCreatePublicACLParts2Srv.java     | dwcCreatePublicACLResult.jsp     |  |
| 共有 ACL 削除           | DwcRemevePublicACLSrv.java           | dwcRemevePublicACLResult.jsp     |  |
| 共有 ACL のプロパティ参照     | DwcGetPublicACLPropSrv.java          | dwcPublicACLPropList.jsp         |  |
| 共有 ACL のプロパティ更新     | DwcUpdatePublicACLPropSrv.java       | -                                |  |
| 共有 ACL のプロパティ更新部品 1 | DwcUpdatePublicACLPropParts1Srv.java | dwcUpdatePublicACLPropParts1.jsp |  |
| 共有 ACL のプロパティ更新部品 2 | DwcUpdatePublicACLPropParts2Srv.java | dwcUpdatePublicACLPropResult.jsp |  |
| システム開始・終了           | ログイン                                 | DwcLoginSrv.java                 | dwcMainFrm.jsp   |
|                     | ログアウト                                | DwcLogOutSrv.java                | dwcLogout.jsp  |
| オブジェクト一覧            | フォルダツリー表示                            | DwcGetFolderTreeSrv.java         | dwcFolderTree.jsp  |
|                     | フォルダリスト表示                            | DwcGetFolderContentListSrv.java  | dwcFolderContentList.jsp   |
| ルートフォルダ一覧           | ルートフォルダ一覧表示                          | DwcGetRootFolderListSrv.java     | -  |
| 検索                  | 全文検索条件指定表示                           | DwcTextSearchCondSrv.java        | dwcSearchFrm.jsp<br>( dwcTextSearchCond.jsp )  |
|                     | 全文検索実行                               | DwcTextSerchSrv.java             | dwcTextSearchResultList.jsp  |
|                     | チェックアウト中文書検索条件指定表示                   | DwcCheckOutDocSerchCondSrv.java  | dwcSearchFrm.jsp<br>( dwcCheckOutDocSearchCond.jsp )   |
|                     | チェックアウト中文書検索実行                       | DwcCheckOutDocSerchSrv.java      | dwcCheckOutDocSearchResultList.jsp   |
|                     | フォルダ検索条件指定表示                         | DwcFolderSerchCondSrv.java       | dwcSearchFrm.jsp<br>( dwcFolderSearchCond.jsp )  |
|                     | フォルダ検索実行                             | DwcFolderSerchSrv.java           | dwcFolderSearchResultList.jsp  |
|                     | 共有 ACL 検索条件指定表示                      | DwcPublicACLSerchCondSrv.java    | dwcACSearchFrmW.jsp/<br>dwcACSearchFrmH.jsp<br>( dwcPublicACLSearchCond.jsp )                          |
|                     | 共有 ACL 検索実行                          | DwcPublicACLSerchSrv.java        | dwcPublicACLSearchResultList.jsp   |
| 共有 ACL 管理           | サブジェクト選択表示                           | DwcSelectSubjectCondSrv.java     | dwcAddACEFrm.jsp<br>( dwcSelectSubjectResult.jsp ,<br>dwcSubSearchFrm.jsp ,<br>dwcUserSearchCond.jsp ) |
|                     | サブジェクト選択                             | DwcSelectSubjectSrv.java         | dwcSelectSubjectResult.jsp   |
| LDAP 検索             | ユーザ検索条件指定表示                          | DwcUserSearchCondSrv.java        | dwcSubSearchFrm.jsp<br>( dwcUserSearchCond.jsp )   |
|                     | ユーザ検索実行                              | DwcUserSearchSrv.java            | dwcUserSearchResultList.jsp  |
|                     | グループ・組織内ユーザ検索実行                      | DwcGroupOrgUserSearchSrv.java    | dwcGroupOrgUserSearchResultList.jsp  |
|                     | ユーザ情報表示                              | DwcGetUserInfoSrv.java           | dwcUserInfo.jsp  |

## 6. カスタマイズ

| 機能名               | Java クラスファイル名               | JSP ファイル名  |
|-------------------|-----------------------------|--|
| 組織検索条件指定表示        | DwcOrgSearchCondSrv.java    | dwcSubSearchFrm.jsp<br>( dwcOrgSearchCond.jsp )  |
| 組織検索実行            | DwcOrgSearchSrv.java        | dwcOrgSearchResultList.jsp   |
| グループ検索条件指定表示      | DwcGroupSearchCondSrv.java  | dwcSubSearchFrm.jsp<br>( dwcGroupSearchCond.jsp )  |
| グループ検索実行          | DwcGroupSearchSrv.java      | dwcGroupSearchResultList.jsp   |
| アクセス権             |                             |  |
| アクセス権更新           | DwcUpdatePermSrv.java       | -  |
| アクセス権更新部品1        | DwcUpdatePermPart1sSrv.java | dwcUpdatePermPart1.jsp   |
| アクセス権更新部品2        | DwcUpdatePermPart2sSrv.java | dwcUpdatePermResult.jsp  |
| アクセス権選択 (所有者)     | DwcSelectOwnerSrv.java      | dwcACSearchFrmW.jsp/<br>dwcACSearchFrmH.jsp<br>( dwcUserSearchCond.jsp )                           |
| アクセス権選択 (グループ・組織) | DwcSelectGroupOrgSrv.java   | dwcACSearchFrmW.jsp/<br>dwcACSearchFrmH.jsp<br>( dwcOrgSearchCond.jsp/<br>dwcGroupSearchCond.jsp ) |
| アクセス権選択 (共有 ACL)  | DwcSelectPublicACLSrv.java  | dwcACSearchFrmW.jsp/<br>dwcACSearchFrmH.jsp<br>( dwcPublicACLSearchCond.jsp )                      |

( 凡例 ) - : 対応する JSP ファイルがないことを意味します。

注 ( ) 内は、フレーム JSP 内で使用している JSP を示します。

## 6.4 配置ディスクリプタの編集

---

配置ディスクリプタ (web.xml) は、Web アプリケーションの設定を記述するファイルです。

この配置ディスクリプタの定義を変更することで、サンプル Web アプリケーションの LDAP についての設定や、オブジェクトモデルの設定を変更できます。サンプル Web アプリケーションで提供する配置ディスクリプタの詳細は、「2.3 サンプル Web アプリケーションの設定」を参照してください。

また、サンプル Web アプリケーションで使用していないコンテキストパラメタを、配置ディスクリプタに追加することもできます。このカスタマイズの方法については、「6.6.1 配置ディスクリプタのコンテキストパラメタの追加」を参照してください。

## 6.5 メタ情報定義ファイルの編集

---

メタ情報定義ファイルは、サンプル Web アプリケーションで使用するクラスとプロパティについて定義しているファイルです。

次に示す場合に、メタ情報定義ファイルを編集して、DocumentBroker にメタ情報を追加します。

- サンプル Web アプリケーションで使用していないクラスを追加して使用する場合
- サンプル Web アプリケーションで使用していないプロパティを追加して使用する場合
- 文書オブジェクトの全文検索インデクス用プロパティを変更して使用する場合

メタ情報定義ファイルは任意のディレクトリへコピーして、コピーしたファイルを編集してください。

サンプル Web アプリケーションで提供するメタ情報の定義については、「3.5 サンプル Web アプリケーションで扱うメタ情報定義」を参照してください。

### ! 注意事項

メタ情報定義ファイルを編集するときは、コピーしたファイルを編集してください。インストール先のファイルを直接編集すると、編集する前の状態のファイルが必要になったときに、編集したファイルを別の場所に退避して DocumentBroker を再インストールする必要があります。

---

## 6.6 カスタマイズ例

サンプル Web アプリケーションのカスタマイズ例として、次に示すカスタマイズをするときのファイルの編集方法について説明します。

- 配置ディスクリプタのコンテキストパラメタの追加
- プロパティの追加

### 6.6.1 配置ディスクリプタのコンテキストパラメタの追加

サンプル Web アプリケーションで使用していないコンテキストパラメタを配置ディスクリプタ (web.xml) に追加して、サンプル Web アプリケーションの実行時に追加したコンテキストパラメタを使用します。

この例では、会議室アプリケーションを作成する場合に、会議種別や会議参加者の最大数を定義するためのコンテキストパラメタを追加します。

#### (1) コンテキストパラメタを追加する

コンテキストパラメタを配置ディスクリプタに追加します。このとき、追加するコンテキストパラメタには、カスタマイズによって追加したことがわかるように、アプリケーション名などをコンテキストパラメタ名の先頭に付けることを推奨します。

この例では、会議室アプリケーション名として meeting を付けて、コンテキストパラメタ名を meeting.type (会議種別) と meeting.member.max (会議参加者の最大数) にします。

#### (例) 配置ディスクリプタの編集例

```
<web-app>
  :
  <context-param>
    <param-name>app.mode</param-name>
    <param-value />
  </context-param>
  :
  <context-param>
    <param-name>meeting.type</param-name>
    <param-value />
  </context-param>
  <context-param>
    <param-name>meeting.member.max</param-name>
    <param-value />
  </context-param>
  :
```

#### (2) デフォルト値の設定

追加したコンテキストパラメタにデフォルト値を設定できます。

コンテキストパラメタに対するデフォルト値の設定は、アプリケーション起動時にコアアプリケーションクラスの DwcCoreApplication.java の initParams メソッドで行います。デフォルト値の定義には、コアアプリケーションクラスの DwcAppParams.java の setParamOrDefault メソッドを使用します。

各クラスとメソッドの詳細は、javadoc で出力するドキュメントを参照してください。

この例では、次に示す定義を DwcCoreApplication.java と DwcAppParams.java に追加して、meeting.type (会議種別) のデフォルト値に「standard」を、meeting.member.max (会議参加者の最大数) のデフォルト値に「20」を設定します。

## 6. カスタマイズ

### (例1) DwcCoreApp.java の編集例

```
public class DwcCoreApp {
    :
    public final static String PARAM_MEETING_APP_TYPE = "meeting.type";
    public final static String PARAM_MEETING_APP_MEMBER_MAX = "meeting.member.max";
    :
    public void initParams() {
        String value = null;
        :
    }
```

### (例2) DwcAppParams.java の編集例

```
// meeting application
params.setParamOrDefaultString(PARAM_MEETING_APP_TYPE, "standard");
setIntContextParamValue(PARAM_MEETING_APP_MEMBER_MAX, 20);
:
```

## (3) 追加したコンテキストパラメタを取得する

追加したコンテキストパラメタの指定内容を取得するには、コアアプリケーションクラスの DwcAppParams.java の `getParamOrDefault` メソッドを使用します。

クラスとメソッドの詳細は、javadoc で出力するドキュメントを参照してください。

この例では、次に示す定義を DwcAppParams.java に追加して、追加したコンテキストパラメタ `meeting.type` (会議種別) を取得します。

### (例) DwcAppParams.java の編集例

```
    :
    value = params.getParamOrDefault(PARAM_MEETING_APP_TYPE, null);
    :
```

## 6.6.2 プロパティの追加

既存のクラスにプロパティを追加して使用します。

この例では、サンプル Web アプリケーションの文書クラスのプロパティに文書種別を追加します。

### (1) コンテキストパラメタを追加する

サンプル Web アプリケーションでは、オブジェクトモデル (クラス、プロパティ) に関する情報は、配置ディスクリプタに定義して設定を変更できるようになっています。このため、追加するプロパティを配置ディスクリプタのコンテキストパラメタのオブジェクトモデルに追加します。

この例では、文書種別プロパティ (`model.prop.docType`) を追加します。

### (例) 配置ディスクリプタの編集例

```
<web-app>
    :
    <context-param>
        <param-name>app.mode</param-name>
        <param-value />
    </context-param>
    :
    <context-param>
        <param-name>model.prop.docType</param-name>
        <param-value />
    </context-param>
    :
```

## (2) オブジェクトモデルクラスに定義を追加する

サンプル Web アプリケーションでは、オブジェクトモデル（クラス、プロパティ）についての情報をコアアプリケーションクラスの `DwcModelMap.java` で保持しています。このため、追加するプロパティの定義を `DwcModelMap.java` に追加します。

クラスの詳細は、javadoc で出力するドキュメントを参照してください。

(例) `DwcModelMap.java` の編集例

```
public class DwcModelMap {
    :
    public final static String PARAM_MODEL_PROP_DOCTYPE = "model.prop.docType";
    DwcModelMap(DwcAppParams params) {
        :
        propDocType = params.getParam(PARAM_MODEL_PROP_DOCTYPE);
        :
        propTypeMap.put(propDocType, typeStr);
    }
    :
    public String propDocType = null;
    :
}
```

## (3) デフォルト値の設定

追加したコンテキストパラメタにデフォルト値を設定できます。

コンテキストパラメタに対するデフォルト値の設定は、アプリケーション起動時にコアアプリケーションクラスの `DwcCoreApp.java` の `initParams` メソッドで行います。デフォルト値の定義には、コアアプリケーションクラスの `DwcAppParams.java` の `setParamOrDefault` メソッドを使用します。

各クラスとメソッドの詳細は、javadoc で出力するドキュメントを参照してください。

この例では、次に示す定義を `DwcCoreApp.java` と `DwcAppParams.java` に追加して、`model.prop.docType`（文書種別プロパティ）のデフォルト値に「`dwcProp_DocType`」を設定します。

(例) `DwcCoreApp.java` の編集例

```
public class DwcCoreApp {
    :
    public void initParams() {
        :
        // model.
        :
        params.setParamOrDefault(DwcModelMap.PARAM_MODEL_PROP_DOCTYPE,
            "dwcProp_DocType");
        :
    }
}
```

## (4) 文書を扱う処理で操作するプロパティを追加する

追加したプロパティは、JSP ファイルから、コマンドサーブレットに渡すリクエストパラメタでプロパティを指定することで参照・更新することができます。

この例では、追加した `model.prop.docType`（文書種別プロパティ）の参照・更新を行います。なお、参照・更新の対象となる個所については、「6.3.3 Java クラスファイルと JSP ファイルの対応」を参照して検討します。

(例) JSP ファイルの編集例

```
<html>
    :
    <input type="hidden" name="<%= DwcParamDef.GET_PROP %>0" value="<%= model.prop.docType %>">
```

## 6. カスタマイズ

```
</html>      :  
<html>      :  
  <input type="hidden" name="<%= DwcParamDef.SET_PROP %>0" value="<%= model.prop.docType  
  %>">  
</html>      :
```

## 6.7 カスタマイズ時の注意事項

---

複数のルートフォルダを扱う場合、複数の画面構成で異なるルートフォルダを扱う操作を想定していません。このため、次の操作を行う場合には注意が必要です。

- 複数の WWW ブラウザで異なるルートフォルダを扱う場合  
WWW ブラウザ単位に異なる HTTP セッションを割り当てる必要があります。
- ポップアップ画面を有する画面構成でルートフォルダを切り替える場合  
ポップアップ画面を一度閉じてから、ルートフォルダを切り替えてください。



# 付録

---

付録 A WWW ブラウザ使用時の注意事項

---

付録 B このマニュアルの参考情報

---

付録 C 用語解説

---

---

## 付録 A WWW ブラウザ使用時の注意事項

WWW ブラウザを使用する時、次のことに注意してください。

WWW ブラウザの Cookie についての設定を、Cookie を常に受け付ける設定にして使用してください。

WWW ブラウザのキャッシュについての設定を、起動ページを表示するごとに文書を確認する設定にして使用してください。

WWW ブラウザから文字を入力する場合は、半角かたかな文字は使用しないでください。入力文字列の文字コードが正確に解析できなくなり、不正な動作をするおそれがあります。

ボタンやリンクを選択する場合は、ダブルクリックしないでください。連続して 2 回の処理が要求されて、エラーになる場合があります。

ログアウトしたあとや更新処理を実行したあとで、WWW ブラウザの「戻る」ボタンで前に表示していた画面を表示しないでください。最新の情報と異なる画面が表示されることがあります。この画面で操作を実行しようとする、エラーになる場合があります。

## 付録 B このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

### 付録 B.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

なお、本文に記載のマニュアル名称は、「uCosminexus DocumentBroker」を「DocumentBroker」と表記しています。

#### DocumentBroker のマニュアル

- uCosminexus DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド (3021-3-401)  
DocumentBroker を使用する環境を定義、管理および運用する場合に参照してください。
- uCosminexus DocumentBroker Version 5 概説 (3021-3-402)  
DocumentBroker の機能について知りたい場合に参照してください。
- uCosminexus DocumentBroker Version 5 メッセージ (3021-3-405)  
DocumentBroker が出力するメッセージについて知りたい場合に参照してください。
- uCosminexus DocumentBroker Version 5 リファレンス API (3021-3-403)  
DocumentBroker クラスライブラリの詳細、インターフェースの詳細、およびメソッドの文法について知りたい場合に参照してください。

#### 関連製品のマニュアル (HiRDB)

- HiRDB 全文検索プラグイン HiRDB Text Search Plug-in Version 9 (3020-6-481)
- HiRDB XML 拡張機能 HiRDB XML Extension Version 9 (3020-6-480)

#### 関連製品のマニュアル (その他)

- Cosminexus V9 アプリケーションサーバ アプリケーション開発ガイド (3020-3-Y20)

### 付録 B.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名称を次に示す略称で表記しています。

| 製品名称   | 略称                             |
|--|--------------------------------|
| Cosminexus Application Server Version 9              | Cosminexus                     |
| Cosminexus Developer Version 9                       |                                |
| uCosminexus DocumentBroker Developer Version 5       | DocumentBroker                 |
| uCosminexus DocumentBroker Platform Version 5        |                                |
| uCosminexus DocumentBroker Runtime Library Version 5 |                                |
| uCosminexus DocumentBroker Developer Version 5       | DocumentBroker Developer       |
| uCosminexus DocumentBroker Platform Version 5        | DocumentBroker Platform        |
| uCosminexus DocumentBroker Runtime Library Version 5 | DocumentBroker Runtime Library |
| HiRDB Server Version 9                               | HiRDB                          |
| Oracle Directory Server Enterprise Edition           | Oracle Directory Server        |

このほか、このマニュアルでは、次に示す表記方法を使用しています。

- DocumentBroker が提供する Java 言語対応のクラスライブラリを DocumentBroker クラスライブラリ

と表記します。

- Java™ を Java と表記します。
- Enterprise JavaBeans™ を Enterprise JavaBeans と表記します。
- JavaBeans™ を JavaBeans と表記します。
- Java™ Development Kit を JDK と表記します。
- Java Naming and Directory Interface™ を JNDI と表記します。
- JavaServer Pages™ を JSP と表記します。
- Java™ Servlet を Servlet と表記します。
- Java™ 2 Platform, Enterprise Edition を Java 2 Platform, Enterprise Edition または J2EE と表記します。

### 付録 B.3 DocumentBroker のマニュアルで使用する略語

DocumentBroker のマニュアルで使用する英略語を次に示します。

| 英略語    | 英字での表記   |
|--------|--|
| ACE    | Access Control Element   |
| ACFlag | Access Control Flag  |
| ACL    | Access Control List  |
| AIIM   | Association for Information and Image Management International |
| API    | Application Programming Interface                              |
| ASCII  | American Standard Code for Information Interchange             |
| BES    | Back End Server  |
| BLOB   | Binary Large Object  |
| BMP    | Bit Map  |
| BNF    | Backus Normal Form   |
| BOA    | Basic Object Adapter   |
| CD-ROM | Compact Disc Read Only Memory                                  |
| CGI    | Common Gateway Interface                                       |
| CPU    | Central Processing Unit  |
| CR     | Carriage Return  |
| CSV    | Comma Separated Value  |
| DAP    | Directory Access Protocol                                      |
| DAT    | Digital Audio Tape   |
| DB     | Database   |
| DBMS   | Database Management System                                     |
| DCD    | Document Content Description                                   |
| DDE    | Dynamic Data Exchange  |
| DIT    | Directory Information Tree                                     |
| DLL    | Dynamic Linking Library  |
| DMA    | Document Management Alliance                                   |
| DN     | Distinguished Name   |
| EOF    | End of File  |

| 英略語    | 英字での表記  |
|--------|---|
| ESIS-B | Element Structure Information Set-Binary Format |
| EUC    | Extended UNIX Code                              |
| GIF    | Graphics Interchange Format                     |
| GUI    | Graphical User Interface                        |
| GUID   | Globally Unique Identifier                      |
| HTML   | Hypertext Markup Language                       |
| HTTP   | Hypertext Transfer Protocol                     |
| IANA   | Internet Assigned Numbers Authority             |
| ID     | Identifier                                      |
| IPF    | Itanium(R) Processor Family                     |
| ISO    | International Organization for Standardization  |
| JIS    | Japanese Industrial Standards                   |
| JPEG   | Joint Photographic Expert Group                 |
| LAN    | Local Area Network                              |
| LDAP   | Lightweight Directory Access Protocol           |
| LF     | Line Feed                                       |
| MFC    | Microsoft Foundation Class                      |
| MIME   | Multipurpose Internet Mail Extensions           |
| OCR    | Optical Character Reader                        |
| OIID   | Object Instance Identifier                      |
| OMG    | Object Management Group                         |
| ORB    | Object Request Broker                           |
| ORDB   | Object Relational Database                      |
| OS     | Operating System                                |
| OTS    | Object Transaction Service                      |
| PC     | Personal Computer                               |
| PDF    | Portable Document Format                        |
| RDB    | Relational Database                             |
| RDN    | Relative Distinguished Name                     |
| RFC    | Request for Comment                             |
| RTF    | Rich Text Format                                |
| SGML   | Standard Generalized Markup Language            |
| SMTP   | Simple Mail Transfer Protocol                   |
| SQL    | Structured Query Language                       |
| TCP/IP | Transmission Control Protocol/Internet Protocol |
| UOC    | User Own Coding                                 |
| URL    | Uniform Resource Locator                        |
| UTC    | Universal Time Coordinated                      |
| W3C    | World Wide Web Consortium                       |
| WWW    | World Wide Web                                  |

| 英略語 | 英字での表記                     |
|-----|----------------------------|
| XML | Extensible Markup Language |

## 付録 B.4 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ  $1,024$  バイト,  $1,024^2$  バイト,  $1,024^3$  バイト,  $1,024^4$  バイトです。

---

## 付録 C 用語解説

サンプル Web アプリケーションで使用する用語について説明します。

ここで説明していないサンプル Web アプリケーションの用語については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」またはマニュアル「DocumentBroker Version 5 概説」を参照してください。

---

### (英字)

#### AP セッション

クライアントとサーバ間のアプリケーションのセッションのことです。エンドユーザがログインしてからログアウトするまでの間、確立されています。

AP セッションは、Java クラスの一つによって表されます。このクラスは、AP セッションの情報を保持して、DocBro セッションを管理する機能を持っています。

#### AP フレーム

HTTP セッションに AP セッションをバインドする機能を持つ Java クラスです。HttpSessionBindingListener インターフェースを実装しています。HTTP セッションにバインドまたはアンバインドする時点で、AP セッションを初期化または終了します。

#### DocBro セッション

サンプル Web アプリケーションと DocumentBroker との間のセッションのことです。AP セッション内で、DocumentBroker にログインしてからログアウトするまでの間、確立されています。

#### DocumentBroker クラスライブラリ

DocumentBroker Platform が提供しているインターフェースです。

サンプル Web アプリケーションでは、データベースにアクセスするために、DocumentBroker クラスライブラリの機能を使用します。

#### HTTP セッション

WWW ブラウザと WWW サーバ間のセッションのことです。

#### JavaBeans

サンプル Web アプリケーションでは、Servlet の処理結果を保持して、Servlet と JSP 間のデータの受け渡しをするために使用されます。

#### JSP

WWW ブラウザに表示する HTML データを生成する機能を持っています。

サンプル Web アプリケーションでは、クライアントからの HTTP リクエストの結果を画面に表示する、プレゼンテーション層の役割を果たします。

#### Servlet

クライアントからの HTTP リクエストを受け付けて、処理ごとに分岐し、処理を実行する機能を持っています。サンプル Web アプリケーションで扱う Servlet には、コマンドディスパッチャとコマンドサーブレットがあります。

#### Web 依存アプリケーションクラス

サンプル Web アプリケーションで提供する Java クラスのうち、Web 上の処理に依存するクラス群です。

#### Web コンテナサーバ

Servlet や JSP を使用するためのサーバです。サンプル Web アプリケーションでは、Cosminexus Component

Container を使用します。

## (ア行)

---

### オブジェクト

サンプル Web アプリケーションでは、文書、フォルダおよび共有 ACL といった、サンプル Web アプリケーションで管理する対象である文書空間オブジェクトのことを、オブジェクトといいます。

## (カ行)

---

### カレントフォルダ

「オブジェクト一覧」画面などの表示対象になるフォルダです。  
AP セッションで管理され、一つの AP セッションは一つのカレントフォルダを持ちます。

### カレント列

リスト表示されたソートキーになる列のうち、その時点でソートの優先順位が最も高い列のことです。リスト表示では、カレント列の横に、ソート方向を表す記号が表示されます。

### 共有 ACL

複数の文書またはフォルダに対して同じアクセス権を設定するために使用するオブジェクトです。  
DocumentBroker クラスライブラリのパブリック ACL に対応します。

### 検索ターム

全文検索を実行する時に、キーとして指定する文字列です。

### コアアプリケーションクラス

サンプル Web アプリケーションで提供する Java クラスのうち、Web 上の処理に依存しないクラス群です。

### コマンドサーブレット

コマンドディスパッチャによって分岐された処理を実行する機能を持つ Servlet です。

### コマンドディスパッチャ

クライアントからの HTTP リクエストを受け付けて、ほかの Servlet (コマンドサーブレット) に処理を分岐させる機能を持つ Servlet です。

## (サ行)

---

### サンプル Web アプリケーション

DocumentBroker がサンプルとして提供しているアプリケーションプログラムです。DocumentBroker クラスライブラリを使用して開発されたコンポーネントで構成されています。  
ユーザアプリケーションプログラムを開発する際に、アプリケーションプログラムのアーキテクチャを参考にできます。また、DocumentBroker クラスライブラリのクラス、インターフェース、メソッドなどの具体的な使用方法について参考にできます。

### セキュリティ管理者

アクセス制御機能を利用した文書空間で、アクセス権判定を受けることなく、すべての文書空間オブジェクトに特別な権限でアクセスする権利を持ったユーザです。

セキュリティ管理者は、セキュリティ定義ファイルに定義します。セキュリティ定義ファイルの定義方法については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」を参照してください。

## 全文検索用インデクスファイル

全文検索インデクスを作成する基になる、テキスト形式のファイルのことです。

## (タ行)

---

### ディレクトリサービス

ネットワーク上にあるユーザや組織の情報などの資源とその属性を記憶し、検索できるようにしたシステムです。DocumentBroker では、Active Directory や Oracle Directory Server Enterprise Edition などの製品を使用した LDAP 対応のディレクトリサービスと連携できます。LDAP 対応のディレクトリサービスとして使用できる製品の詳細については、マニュアル「DocumentBroker Version 5 システム導入・運用ガイド」を参照してください。

### 登録文書ファイル

文書のコンテンツに登録するファイルです。文書を新規作成する時、または文書をチェックインする時に指定します。

## (ハ行)

---

### フォルダ

文書やフォルダをまとめて管理する機能を持つオブジェクトです。サンプル Web アプリケーションでは、ルートフォルダを頂点としたツリーを形成します。また、使用できるリンク種別は、直接型リンクだけです。DocumentBroker クラスライブラリのバージョンなしフォルダに対応します。

### フォルダツリー

ルートフォルダを頂点とした、フォルダの階層構造を指します。

### 文書

コンテンツを管理するオブジェクトです。複数のバージョンを持つことができ、それぞれのバージョンにコンテンツを持つことができます。DocumentBroker クラスライブラリのバージョン付き文書に対応します。

## (マ行)

---

### メニュー

ログインしている間、常にヘッドフレームに表示されているアンカー群です。オブジェクト一覧の表示、検索の実行、およびログアウトを実行するためのアンカーが表示されています。特権ユーザの場合は、共有 ACL の管理を実行するためのアンカーも表示されています。

## (ラ行)

---

### リスト表示

複数のオブジェクトのプロパティの一覧などを、個々のオブジェクトを操作するためのアイコンとともに表示した画面です。最初に表示する時に取得したキャッシュデータの一部を表示しています。表示範囲を切り替えたり、列の値をキーにソートしたりできます。

### ルートフォルダ

フォルダ階層の頂点になるフォルダです。セキュリティ管理者が最初にログインしたときに自動的に一つ作成されます。作成するルートフォルダの名前やルートフォルダの数は、配置ディスクリプタのコンテキストパラメタに指定できます。

## (ワ行)

---

### ワークディレクトリ

ファイルのダウンロードやアップロードを実行する時に使用する、作業用ディレクトリです。

---

# 索引

## 記号

---

「アクセス権更新」画面 134  
「オブジェクト一覧」画面 84  
「共有 ACL 検索条件指定」画面 140  
「共有 ACL 更新」画面 143  
「共有 ACL 選択条件指定」画面 162  
「共有 ACL 表示」画面 165  
「グループ選択条件指定」画面 160  
「検索結果一覧」画面 105, 108, 110, 157, 160, 162, 164  
「サブジェクト追加」画面 144  
「全文検索条件指定」画面 101  
「組織選択条件指定」画面 158  
「チェックアウト結果」画面 115  
「チェックアウト中文書検索条件指定」画面 106  
「チェックイン (1/2)」画面 116  
「チェックイン (2/2)」画面 117  
「バージョン一覧」画面 125  
「バージョンプロパティ」画面 126  
「フォルダ検索条件指定」画面 109  
「フォルダ新規作成」画面 89  
「プロパティ更新」画面 130, 131  
「プロパティとアクセス権」画面 122, 124  
「文書新規作成 (1/2)」画面 91  
「文書新規作成 (2/2)」画面 93  
「ユーザ情報」画面 157  
「ユーザ選択条件指定」画面 155  
「ログアウト」画面 82  
「ログイン」画面 82

## 数字

---

2 分割画面 59  
3 分割画面 59  
4 分割画面 60

## A

---

ACE 30  
ACFlag 36, 39  
ACL 30, 41  
app.default.renditonType 22  
app.defineTextPath 22  
app.docspace 23  
app.html.header 23  
app.initialPage 23  
app.login.title 23

app.logo 23  
app.mode 22  
app.small\_logo 23  
app.workPath 23  
AP セッション 6, 203  
AP セッション固有のワークディレクトリ 16  
AP セッションを表すクラス 9  
AP フレーム 10, 203  
AP ワークディレクトリ 15

## C

---

Cosminexus Component Container の環境設定 17

## D

---

debug 22  
DIT 18  
DocBro セッション 6, 203  
DocumentBroker 7  
DocumentBroker クラスライブラリ 2, 203  
dwcClass\_Folder\_c クラス 52  
dwcClass\_VerDoc\_ch クラス 52  
dwcClass\_VerDoc\_dv クラス 53  
dwcProp\_Attr 52, 53, 54  
dwcProp\_CheckOutTime 52, 53, 54  
dwcProp\_Comment 52, 53, 54  
dwcProp\_CreateTime 52, 53, 54  
dwcProp\_Creator 52, 53, 54  
dwcProp\_DisplayCreator 52, 53, 54  
dwcProp\_DisplayModifier 52, 53, 54  
dwcProp\_DisplayOwner 52, 53, 54  
dwcProp\_DisplayPrimaryGroup 52, 53, 54  
dwcProp\_DisplayReservedUser 52, 53, 54  
dwcProp\_DocName 52, 53, 54  
dwcProp\_FileSize 52, 53, 54  
dwcProp\_Modifier 52, 53, 54  
dwcProp\_ModifyTime 52, 53, 54  
dwcProp\_Name 52, 53, 54  
dwcProp\_ReservedUser 52, 53, 54  
dwcProp\_VersioningOIID 54  
dwcProp\_VersionNumber 52, 53, 54

## E

---

Eclipse 使用時の注意事項 171  
edmClass\_PublicACL クラス 54  
edmProp\_ContentIndexStatus 54

edmProp\_DocLength 54  
edmProp\_RawScore 54  
edmProp\_Score 54  
edmProp\_TextIndex 54  
EIS 7

## F

---

folcont.cacheMaxRow 23  
folcont.displayResultRow 23

## H

---

HiRDB 7  
HTTP セッション 6, 203

## J

---

JavaBeans 9, 203  
Java クラスファイルの編集 175  
JSP 10, 203  
JSP ファイル 15  
JSP ファイルの編集 172

## L

---

ldap.attr.displayGrpName 21  
ldap.attr.displayOrgName 20  
ldap.attr.displayUserName 20  
ldap.attr.groupMember 20  
ldap.attr.grpId 21  
ldap.attr.orgId 20  
ldap.attr.userId 20  
ldap.grpObjectClass 20  
ldap.grpSearchDn 20  
ldap.hostName 20  
ldap.orgObjectClass 20  
ldap.orgSearchDn 20  
ldap.port 20  
ldap.usrObjectClass 20  
ldap.usrSearchDn 20  
LDAP アクセス 146, 149  
LDAP アクセスクラス 9  
LDAP 対応のディレクトリサービス 7  
LDAP 対応のディレクトリサービスの設定 18  
LDAP についての情報の設定 20  
LDAP についての情報を設定するコンテキストパラメータ 20

## M

---

model.class.document 21

model.class.documentVersion 21  
model.class.folder 21  
model.prop.attr 21  
model.prop.checkOutTime 21  
model.prop.comment 21  
model.prop.createTime 21  
model.prop.creator 21  
model.prop.displayCreator 21  
model.prop.displayModifier 21  
model.prop.displayOwner 21  
model.prop.displayPrimaryGroup 22  
model.prop.displayReservedUser 22  
model.prop.docName 22  
model.prop.fileSize 22  
model.prop.modifier 21  
model.prop.modifyTime 21  
model.prop.name 21  
model.prop.reservedUser 21  
model.prop.versioningOIID 22  
model.prop.versionNumber 22

## R

---

release 22

## S

---

sample 14  
sample ディレクトリ下のディレクトリ構成 14  
search.cacheMaxRow 25  
search.dictionary 25  
search.displayResultRow 25  
Servlet 9, 203  
subsearch.cacheMaxRow 25  
subsearch.displayResultRow 25

## U

---

URL 26

## W

---

war ファイルの構成 15  
web.xml 15, 20  
websample 14  
websample ディレクトリ下の dbjsample 14  
websample ディレクトリ下の etc 14  
websample ディレクトリ下の src 15  
Web 依存アプリケーションクラス 8, 203  
Web コンテナ 7  
Web コンテナサーバ 7, 203

Web コンテナサーバのセットアップ〔Cosminexus  
Component Container の環境設定〕 17  
WWW サーバ 7  
WWW サーバとの連携〔Cosminexus Component  
Container の環境設定〕 17  
WWW ブラウザの設定 17

## あ

---

アクセス権更新 63  
アクセス権を更新する 133  
アクセス権を設定できるユーザ 33  
アクセス制御 33  
アクセス制御エレメント 30  
アクセス制御情報 33  
アクセス制御リスト 30  
アップフレーム 61  
アプリケーション全体での処理の流れ 11  
アルファベット異表記 100

## い

---

イメージファイル 15

## え

---

エスケープ文字 99  
エラー 63  
エンタープライズ情報システム 7  
エントリ 63  
エントリ画面 82

## お

---

オブジェクト 204  
オブジェクト一覧 63, 83  
オブジェクト一覧を表示する 83  
オブジェクト一覧を表示するフォルダを切り替える  
83  
オブジェクト種別 34, 52, 53, 54  
オブジェクト名 34  
オブジェクトモデルについての情報の設定 21  
オブジェクトモデルの情報を設定するコンテキストパ  
ラメタ 21

## か

---

カスタマイズ 167  
カスタマイズ時の注意事項 195  
カスタマイズの概要 168  
カスタマイズ例 191  
カタカナ異表記 100

画面遷移 66  
画面とメッセージダイアログの種類 63  
カレントバージョン 29  
カレントフォルダ 70, 204  
カレント列 74, 204  
環境設定 13  
完全一致 100

## き

---

起動 26  
共有 ACL 30, 31, 36, 39, 204  
共有 ACL 検索画面 63  
共有 ACL 検索条件指定 63  
共有 ACL 更新 63  
共有 ACL 新規作成 63  
共有 ACL 選択画面 63  
共有 ACL 選択条件指定 63  
共有 ACL 選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面  
164  
共有 ACL のプロパティ 41  
共有 ACL のプロパティに設定される値 50  
共有 ACL のプロパティを更新する時に設定されるプ  
ロパティ 51  
共有 ACL 表示 64  
共有 ACL 名 54  
共有 ACL を検索して選択する 153  
共有 ACL を更新する 138  
共有 ACL を削除する 139  
共有 ACL を作成する時に設定されるプロパティ 50  
共有 ACL を使用したアクセス制御 30  
共有 ACL を新規に作成する 136  
共有 ACL を操作できるユーザ 30

## く

---

クラスファイル 15  
グループエントリ 19  
グループ選択画面 64  
グループ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面  
161

## け

---

検索結果一覧 64  
検索条件の指定方法 99  
検索ターム 96, 204  
検索タームに指定できるワイルドカードおよび特殊文  
字の意味と指定例 99

## こ

コアアプリケーションクラス 8, 204  
 コアアプリケーションを表すクラス 9  
 更新者 ID 35, 38, 52, 53, 54  
 更新者名 35, 38, 52, 53, 54  
 更新日時 35, 38, 52, 53, 54  
 後方一致 101  
 コマンドサーブレット 9, 204  
 コマンドディスパッチャ 9, 204  
 コメント 36, 39, 52, 53, 54  
 コンテキストパラメタ 20, 21, 22  
 コンテンツを表示する 112  
 コンポーネントの再利用についての注意事項 12

## さ

再ログインする 81  
 削除する 119  
 作成者 ID 34, 38, 52, 53, 54  
 作成者名 34, 38, 52, 53, 54  
 作成日時 34, 38, 52, 53, 54  
 サブジェクト 30  
 サブジェクト追加 64  
 サンプル Web アプリケーション 2, 204  
 サンプル Web アプリケーションで使用するアクセス  
 制御情報 33  
 サンプル Web アプリケーションでのカスタマイズと  
 編集するファイル 168  
 サンプル Web アプリケーションとは 2  
 サンプル Web アプリケーションのエラー処理 11  
 サンプル Web アプリケーションの処理の流れ 11  
 サンプル Web アプリケーションの設定 20  
 サンプル Web アプリケーションのメタ情報定義ファ  
 イル 17  
 サンプル Web アプリケーションのルートディレクト  
 リ 14

## し

所有者 ID 35, 39  
 所有者名 35, 39, 52, 53, 54  
 シングル画面 58

## す

すべてのオブジェクトに定義されているプロパティ  
 34

## せ

セキュリティ管理者 204

## セッション 6

全角・半角異表記 100  
 前提環境の設定 17  
 全文検索画面 64  
 全文検索条件指定 64  
 全文検索の「検索結果一覧」画面 104  
 全文検索用インデクスファイル 205  
 前方一致 101

## そ

組織エントリ 18  
 組織選択画面 64  
 組織選択条件指定 64  
 組織選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面 159  
 組織またはグループを検索して選択する 149  
 そのほかの情報の設定 22

## た

ダウンフレーム 61

## ち

チェックアウト 29  
 チェックアウト結果 64  
 チェックアウト中の文書を検索する 97  
 チェックアウト中文書検索画面 64  
 チェックアウト中文書検索条件指定 64  
 チェックアウト中文書検索の「検索結果一覧」画面  
 107  
 チェックアウト日時 37, 39, 40, 53, 54  
 チェックアウトユーザ ID 37, 39, 40, 53, 54  
 チェックアウトユーザ名 37, 39, 40, 53, 54  
 チェックアウトを取り消す 113  
 チェックイン 29  
 チェックイン (1/2) 64  
 チェックイン (2/2) 64  
 チェックイン完了 64

## つ

ツリーフレーム 58

## て

ディプロイ { Cosminexus Component Container の  
 環境設定 } 17  
 ディレクトリ構成 14  
 ディレクトリサービス 205  
 ディレクトリ情報検索 146, 149

## と

同義語 100  
 動作モード 22  
 登録文書のレンディションタイプ 40  
 登録文書ファイル 205  
 登録文書ファイルサイズ 37, 40, 53, 54  
 登録文書ファイル名 37, 39, 40, 53, 54

## は

バージョンニング OIID 40, 54  
 バージョニングオブジェクト 28  
 バージョニングオブジェクトのプロパティ 36  
 バージョンアップ 114  
 バージョン一覧 64  
 バージョン一覧を表示する 121  
 バージョンオブジェクト 28  
 バージョンオブジェクトのプロパティ 37  
 バージョンコメント 39, 54  
 バージョン作成者 ID 38  
 バージョン作成者名 38  
 バージョン付き文書 31  
 バージョンなしフォルダ 31  
 バージョン番号 37, 40, 53, 54  
 バージョンプロパティ 64  
 バージョンプロパティを参照する 122  
 バージョン名 37, 53  
 パーミッション 30, 33  
 配置ディスクリプタ 15, 20  
 配置ディスクリプタの編集 189  
 パブリック ACL 31

## ふ

ファイル構成 14  
 ファイルの格納先 14  
 不一致 101  
 フォルダ 30, 31, 205  
 フォルダ検索画面 65  
 フォルダ検索条件指定 65  
 フォルダ検索の「検索結果一覧」画面 110  
 フォルダ新規作成 65  
 フォルダツリー 65, 70, 205  
 フォルダ内容表示画面 63  
 フォルダの「プロパティ更新」画面 130  
 フォルダの「プロパティとアクセス権」画面 122  
 フォルダのアクセス権を更新する時に設定されるプロパティ 49  
 フォルダの階層構造 30  
 フォルダの更新 49

フォルダのプロパティ 40  
 フォルダのプロパティに設定される値 48  
 フォルダ名 52  
 フォルダを検索する 98  
 フォルダを更新する時に設定されるプロパティ 49  
 フォルダを作成する時に設定されるプロパティ 48  
 フォルダを新規に作成する 87  
 部分一致 101  
 プライマリグループ ID 36, 39  
 プライマリグループ名 36, 39, 52, 53, 54  
 ブランク 65  
 プロパティ更新 65  
 プロパティとアクセス権 65  
 プロパティとアクセス権を参照する 121  
 プロパティに設定される値 42  
 プロパティによる検索 96  
 プロパティの種類 34  
 プロパティを更新する 129  
 文書 28, 31, 205  
 文書管理モデル 27  
 文書管理モデルの概要 3  
 文書空間オブジェクトとの対応 31  
 文書新規作成 (1/2) 65  
 文書新規作成 (2/2) 65  
 文書とフォルダに定義されているプロパティ 36  
 文書の「プロパティ更新」画面 131  
 文書の「プロパティとアクセス権」画面 123  
 文書のアクセス権を更新する時に設定されるプロパティ 44  
 文書の構成 28  
 文書のコンテンツに含まれる文字列による検索 96  
 文書のチェックアウトを取り消す時に設定されるプロパティ 47  
 文書のバージョン管理 3, 29  
 文書のバージョンを削除する 119  
 文書のバージョンを削除する時に設定されるプロパティ 47  
 文書のプロパティ 36, 37  
 文書のプロパティに設定される値 42  
 文書のプロパティを更新する時に設定されるプロパティ 44  
 文書またはフォルダのアクセス権を更新する 133  
 文書またはフォルダのプロパティとアクセス権を参照する 121  
 文書またはフォルダのプロパティを更新する 129  
 文書またはフォルダを削除する 119  
 文書名 53  
 文書を検索する 96  
 文書を作成する時に設定されるプロパティ 42  
 文書をチェックアウトする 113

文書をチェックアウトする時に設定されるプロパティ 45  
文書をチェックインする 114  
文書をチェックインする時に設定されるプロパティ 46

## へ

---

ベースフレーム 58  
ヘッドフレーム 58

## ほ

---

ボディフレーム 58

## め

---

メタ情報 17  
メタ情報定義 52  
メタ情報定義ファイルの編集 190  
メニュー 65, 70, 205

## ゆ

---

ユーザエン트리 18  
ユーザ権限 77  
ユーザ情報 65  
ユーザ選択画面 65  
ユーザ選択条件指定 65  
ユーザ選択条件指定検索の「検索結果一覧」画面 157  
ユーザ定義ファイルの設定〔Cosminexus Component Container の環境設定〕 17  
ユーザを検索して選択する 146

## り

---

リスト表示 72, 205  
リストフレーム 58

## る

---

ルートフォルダ 3, 30, 80, 205  
ルートフォルダを作成する 80

## ろ

---

ログアウト 65  
ログアウトする 81  
ログイン 65  
ログインする 80

## わ

---

ワークディレクトリ 15, 206  
ワークディレクトリクラス 9